

平成 28 年 度

# 主要な施策の実績報告

四 條 畷 市

議  
會  
事  
務  
局

政  
策  
企  
画  
部

總  
務  
部

市  
民  
生  
活  
部

都  
市  
整  
備  
部

健  
康  
福  
祉  
部  
福  
祉  
事  
務  
所

田  
原  
支  
所  
會

計  
課

農  
業  
委  
員  
會  
事  
務  
局

行  
政  
委  
員  
會  
事  
務  
局

教  
育  
委  
員  
會



平成28年度決算に伴う主要な施策の成果  
及び基金の運用状況について

決算を議会の認定に付するに当たって、地方自治法第233条第5項の  
規定に基づき主要な施策の成果及び地方自治法第241条第5項の規定に  
基づき基金の運用状況を次のとおり提出する。

平成29年9月1日

四條畷市長 東 修 平



# 目 次

	頁
1 一般会計予算 .....	2
2 概 況 .....	4
3 歳入の状況 .....	4
4 税の徴収状況 .....	6
5 歳出の状況 .....	8
6 建設事業の状況 .....	12
7 地方債現在高の状況 .....	16
8 国民健康保険特別会計 .....	18
9 後期高齢者医療特別会計 .....	20
10 土地取得特別会計 .....	21
11 実質収支の状況 .....	22
12 地方消費税（社会保障財源化分）の充当状況 .....	23
各部別事業概要	
議会事務局 .....	25
政策企画部 .....	43
秘書広報課 .....	45
企画調整課 .....	56
総務部 .....	63
総務課 .....	65
人事課 .....	79
財政課 .....	91
税務課 .....	101

徴収対策課	123
市民生活部	131
人権政策課	133
地域協働課	139
産業観光課	148
消費生活センター	161
市民課	164
都市整備部	175
危機管理課	177
建設課	185
都市計画課	204
生活環境課	210
健康福祉部・福祉事務所	235
子ども政策課	237
手当医療課	247
子育て総合支援センター	256
児童発達支援センター	267
市立保育所	273
市立幼稚園	280
生活福祉課	285
高齢福祉課	297
障がい福祉課	305
保険年金課	325
保健センター	345
田原支所	371

会 計 課 .....	381
農業委員会事務局 .....	385
行政委員会事務局 .....	391
監査委員事務局 .....	393
選挙管理委員会事務局 .....	395
公平委員会 .....	403
固定資産評価審査委員会 .....	404
教育委員会 .....	405
教育環境整備室 .....	407
教育総務課 .....	411
学校教育課 .....	422
学校給食センター .....	443
地域教育課 .....	446
公民館 .....	477
図書館 .....	483
13 基金の運用状況 .....	497





# 主要な施策の実績報告

# 1 一般会計予算

款	当初予算 (A)	構成比 %	補 正				
			第1号	第2号	第3号	第4号	第5号
1 市 税	6,706,071	33.7					
2 地 方 譲 与 税	94,000	0.5					
3 利 子 割 交 付 金	16,000	0.1					
4 配 当 割 交 付 金	75,000	0.4					
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	62,000	0.3					
6 地 方 消 費 税 交 付 金	885,000	4.4					
7 ゴルフ場利用税交付金	25,000	0.1					
8 自動車取得税交付金	34,000	0.2					
9 地 方 特 例 交 付 金	36,000	0.2				46	
10 地 方 交 付 税	3,550,000	17.8				155,368	
11 交通安全対策特別交付金	7,000	0.0					
12 分担金及び負担金	270,911	1.4					
13 使用料及び手数料	215,804	1.1					
14 国 庫 支 出 金	3,745,588	18.8		53,275		8,987	
15 府 支 出 金	1,593,619	8.0		825			
16 財 産 収 入	254,900	1.3					
17 寄 附 金	3,600	0.0				28	
18 繰 入 金	204,700	1.0		8,144			
19 諸 収 入	209,868	1.0		2,500	10,000	2,000	
20 市 債	1,926,900	9.7				△60,800	
21 繰 越 金	0	0.0				509,587	
歳 入 合 計	19,915,961	100.0	0	64,744	10,000	615,216	0
1 議 会 費	203,425	1.0					
2 総 務 費	1,661,633	8.3		15,775	8,390	486,657	
3 民 生 費	9,470,052	47.6		1,227	1,610	121,074	
4 衛 生 費	1,777,929	8.9		1,340		347	
5 農 林 水 産 業 費	50,267	0.3		33,977			
6 商 工 費	39,821	0.2					
7 土 木 費	1,762,379	8.8					
8 消 防 費	673,011	3.4				2,000	
9 教 育 費	1,652,020	8.3		12,425		5,138	
10 公 債 費	2,595,250	13.0					
11 諸 支 出 金	10,174	0.1					
12 予 備 費	20,000	0.1					
13 災 害 復 旧 費	0	0.0					
歳 出 合 計	19,915,961	100.0	0	64,744	10,000	615,216	0

※前年度からの繰越予算は含んでいない

(単位：千円)

予 算						合 計 (A) + (B)	構 成 比 %
第 6 号	第 7 号	第 8 号	第 9 号	第 10 号	計 (B)		
					0	6,706,071	31.3
					0	94,000	0.4
					0	16,000	0.1
					0	75,000	0.3
					0	62,000	0.3
					0	885,000	4.1
					0	25,000	0.1
					0	34,000	0.2
					46	36,046	0.2
					155,368	3,705,368	17.3
					0	7,000	0.0
					0	270,911	1.3
		379			379	216,183	1.0
		396,275	△206,356		252,181	3,997,769	18.6
		7,037	△54,825		△46,963	1,546,656	7.2
					0	254,900	1.2
					28	3,628	0.0
6,224		119,961		1,145	135,474	340,174	1.6
			7,254		21,754	231,622	1.1
		636,900	△80,000		496,100	2,423,000	11.3
					509,587	509,587	2.4
6,224	0	1,160,552	△333,927	1,145	1,523,954	21,439,915	100.0
		△5,411	△200		△5,611	197,814	0.9
		△53,717	369,523		826,628	2,488,261	11.6
		125,771	△322,584		△72,902	9,397,150	43.8
		△19,550	△188,042		△205,905	1,572,024	7.4
		4,009	△11,301		26,685	76,952	0.4
		3,087			3,087	42,908	0.2
		5,911	△91,207		△85,296	1,677,083	7.8
			4,786		6,786	679,797	3.2
		1,041,451	△94,902	1,145	965,257	2,617,277	12.2
		59,001			59,001	2,654,251	12.4
					0	10,174	0.0
					0	20,000	0.1
6,224					6,224	6,224	0.0
6,224	0	1,160,552	△333,927	1,145	1,523,954	21,439,915	100.0

※第1号、第5号、第7号補正は債務負担行為のみの補正につき歳入歳出計上額なし

## 2 概 況

1 人 口	平成22年国調人口 a	57,554 人	2 産 業 構 造	区 分	
	平成27年国調人口 b	56,075 人		就業人口（平成27年国調）	
	人口増加率 $\frac{b-a}{a} \times 100$	△2.6 %		構 成 比	
	住民基本台帳人口 （平成29年3月31日）	55,937 人	3	面	積
	人口集中地区人口 （平成27年国調）	46,332 人	4	人 口 密 度	
		5	財 政 力 指 数	年 度 指 数	

## 3 歳 入 の 状 況

区 分	決 算 額 (A)	臨 時 的 な も の (B)	
		特 定 財 源	一 般 財 源
1 市 税	6,807,903		545,131
2 地 方 譲 与 税	96,228		
3 利 子 割 交 付 金	10,190		
4 配 当 割 交 付 金	37,152		
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	21,907		
6 地 方 消 費 税 交 付 金	902,470		
7 ゴルフ場利用税交付金	26,984		
8 自動車取得税交付金	38,349		
9 地方特例交付金等	36,046		
10 地 方 交 付 税	3,713,838		358,470
11 交通安全対策特別交付金	7,237		
小 計	11,698,304		903,601
12 分 担 金 及 び 負 担 金	254,665	1,852	0
13 使 用 料	142,015	350	2,630
14 手 数 料	67,777	0	0
15 国 庫 支 出 金	3,665,607	486,798	55,755
16 府 支 出 金	1,513,651	180,887	3,176
17 財 産 収 入	21,698	1,836	10,889
18 寄 附 金	1,827	334	1,493
19 繰 入 金	53,110	3,110	50,000
20 繰 越 金	510,996	1,409	509,587
21 諸 収 入	358,820	28,472	246,385
22 市 債	1,887,800	1,233,600	654,200
歳 入 合 計 (D)	20,176,270	1,938,648	2,437,716
平成27年度歳入合計 (E)	20,252,210	1,803,204	2,449,509
差 引 増 減 額 (D)-(E)	△75,940	135,444	△11,793

第 1 次	第 2 次	第 3 次	6	基準財政需要額 (除 錯 誤)	9,113,057 千円
141人	6,329人	16,114人	7	基準財政収入額 (除 錯 誤)	5,750,192 千円
0.6%	28.0%	71.4%	8	標準税収入額	7,326,223 千円
18.69 km <sup>2</sup>			9	普通交付税額	3,355,368 千円
3,000 人 / km <sup>2</sup>			10	標準財政規模	11,335,937 千円
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平 均		
0.599	0.604	0.631	0.611		

(単位：千円)

差引経常的なもの (A) - (B) (C)	(C) の 内 訳		決算額構成比 %	対前年度伸び率 %
	特 定 財 源	一 般 財 源		
6,262,772		6,262,772	33.7	3.4
96,228		96,228	0.5	△4.5
10,190		10,190	0.1	△57.2
37,152		37,152	0.2	△33.5
21,907		21,907	0.1	△64.2
902,470		902,470	4.5	△11.0
26,984		26,984	0.1	△1.0
38,349		38,349	0.2	4.7
36,046		36,046	0.2	3.1
3,355,368		3,355,368	18.4	△6.5
7,237		7,237	0.0	△6.6
10,794,703		10,794,703	58.0	△1.8
252,813	248,608	4,205	1.3	6.4
139,035	82,943	56,092	0.7	16.4
67,777	67,777	0	0.3	3.1
3,123,054	3,123,054	0	18.2	7.7
1,329,588	1,329,588	0	7.5	△1.2
8,973	0	8,973	0.1	△3.5
0		0	0.0	△96.5
0		0	0.3	24.2
0		0	2.5	△2.0
83,963	83,932	31	1.8	10.2
0		0	9.3	△6.0
15,799,906	4,935,902	10,864,004	100.0	△0.4
15,999,497	4,933,738	11,065,759		
△199,591	2,164	△201,755		

## 4 税の徴収状況

税目別 区分	調定済額			収
	現年課税分 (A)	滞納繰越分 (B)	合計 (C)	現年課税分 (D)
一 普通税	6,235,494	253,582	6,489,076	6,174,593
1 法定普通税	6,235,494	253,582	6,489,076	6,174,593
(1) 市町村民税	3,087,629	133,790	3,221,419	3,051,020
(ア) 個人均等割	85,353	3,947	89,300	84,261
(イ) 所得割	2,690,696	121,903	2,812,599	2,656,732
上記のうち退職所得分	25,517	0	25,517	25,517
(ウ) 法人均等割	130,922	7,099	138,021	129,661
(エ) 法人税割	180,658	841	181,499	180,366
(2) 固定資産税	2,720,026	115,008	2,835,034	2,697,491
(ア) 純固定資産税	2,706,252	115,008	2,821,260	2,683,717
I 土地	1,139,752	50,770	1,190,522	1,130,274
II 家屋	1,267,861	52,128	1,319,989	1,257,295
III 償却資産	298,639	12,110	310,749	296,148
(イ) 交付金	13,774	—	13,774	13,774
(3) 軽自動車税	77,696	4,784	82,480	75,939
(4) 市たばこ税	350,143	0	350,143	350,143
(5) 鉱産税	—	—	—	—
(6) 特別土地保有税	0	0	0	0
(ア) 保有分	0	0	0	0
(イ) 取得分	0	0	0	0
(ウ) 遊休土地分	0	0	0	0
2 法定外普通税	—	—	—	—
二 目的税	543,745	24,944	568,689	539,234
1 都市計画税	542,002	24,944	566,946	537,491
(1) 土地	300,681	13,885	314,566	298,178
(2) 家屋	241,321	11,059	252,380	239,313
2 入湯税	1,743	0	1,743	1,743
合計	6,779,239	278,526	7,057,765	6,713,827
国民健康保険料	1,275,722	381,369	1,657,091	1,171,491

(単位：千円)

入 済 額		徴 収 率 (%)			
滞納繰越分 (E)	合 計 (F)	$\frac{(D)}{(A)} \times 100$	$\frac{(E)}{(B)} \times 100$	$\frac{(F)}{(C)} \times 100$	前年度における 徴 収 率
86,436	6,261,029	99.0	34.1	96.5	95.7
86,436	6,261,029	99.0	34.1	96.5	95.7
50,026	3,101,046	98.8	37.4	96.3	95.6
1,510	85,771	98.7	38.3	96.0	95.6
46,637	2,703,369	98.7	38.3	96.1	95.4
0	25,517	100.0	—	100.0	100.0
1,872	131,533	99.0	26.4	95.3	93.8
7	180,373	99.8	0.8	99.4	99.5
35,228	2,732,719	99.2	30.6	96.4	95.4
35,228	2,718,945	99.2	30.6	96.4	95.4
15,552	1,145,826	99.2	30.6	96.2	95.4
15,967	1,273,262	99.2	30.6	96.5	95.4
3,709	299,857	99.2	30.6	96.5	95.5
—	13,774	100.0	—	100.0	100.0
1,182	77,121	97.7	24.7	93.5	92.1
0	350,143	100.0	—	100.0	100.0
—	—	—	—	—	—
0	0	—	—	—	—
0	0	—	—	—	—
0	0	—	—	—	—
0	0	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
7,640	546,874	99.2	30.6	96.2	95.4
7,640	545,131	99.2	30.6	96.2	95.4
4,253	302,431	99.2	30.6	96.1	95.4
3,387	242,700	99.2	30.6	96.2	95.4
0	1,743	100.0	—	100.0	100.0
94,076	6,807,903	99.0	33.8	96.5	95.7
102,257	1,273,748	91.8	26.8	76.9	75.1



## 5 歳 出 の 状 況

### (1) 性 質 別

区 分		決 算 額 (A)	臨 時 的 な も の (B)	
			特 定 財 源	一 般 財 源
1	人 件 費	2,733,364	21,084	55,522
2	物 件 費	2,198,284	105,030	236,129
3	維 持 補 修 費	49,399	0	0
4	扶 助 費	5,806,615	192,545	15,485
5	補 助 費 等	2,523,462	16,689	285,762
6	公 債 費	2,651,917	0	79,365
内 訳	(1) 元 利 償 還 金	2,651,291	0	79,365
	(2) 一 時 借 入 金 利 子	626		
7	積 立 金	716,937	2,143	714,794
8	投 資 及 び 出 資 ・ 貸 付 金	120,000	0	120,000
9	繰 出 金	1,933,714	0	186,230
10	前 年 度 繰 上 充 用 金	0		0
	計	18,733,692	337,491	1,693,287
11	建 設 事 業 費	993,898	601,379	392,519
12	災 害 復 旧 事 業 費	7,146	0	7,146
	歳 出 合 計 (D)	19,734,736	938,870	2,092,952
	平 成 27 年 度 歳 出 合 計 (E)	19,741,214	1,152,915	2,038,837
	差 引 増 減 額 (D)-(E)	△6,478	△214,045	54,115

(単位：千円)

差引経常的なもの (A) - (B) (C)	(C) の 内 訳		決 算 額 比 構 成 比 %	対 前 年 度 伸 び 率 %
	特 定 財 源	一 般 財 源		
2,656,758	321,821	2,334,937	13.9	△2.9
1,857,125	237,528	1,619,597	11.2	△0.8
49,399	733	48,666	0.3	△20.6
5,598,585	4,008,902	1,589,683	29.4	4.5
2,221,011	112,957	2,108,054	12.8	△4.4
2,572,552	854,900	1,717,652	13.4	4.5
2,571,926	854,900	1,717,026	13.4	4.5
626		626	0.0	11.4
			3.6	24.4
0	0	0	0.6	71.4
1,747,484	398,839	1,348,645	9.8	△0.4
			0.0	0.0
16,702,914	5,935,680	10,767,234	95.0	1.7
			5.0	△25.1
			0.0	皆 増
16,702,914	5,935,680	10,767,234	100.0	0.0
16,549,462	5,584,027	10,965,435		
153,452	351,653	△198,201		

## (2) 目 的 別

科 目	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)
議 会 費	1 9 7 , 8 1 4	1 9 4 , 0 4 2
総 務 費	2 , 5 2 3 , 3 2 1	2 , 1 2 2 , 8 6 9
民 生 費	9 , 4 0 8 , 8 3 4	9 , 0 0 6 , 1 8 1
衛 生 費	1 , 5 7 2 , 0 2 4	1 , 4 6 5 , 2 7 9
農 林 水 産 業 費	7 6 , 9 5 2	7 0 , 6 2 0
商 工 費	4 2 , 9 0 8	3 8 , 4 5 0
土 木 費	1 , 6 7 7 , 0 8 3	1 , 6 4 9 , 8 4 4
消 防 費	6 7 9 , 7 9 7	6 7 3 , 3 6 9
教 育 費	2 , 9 7 7 , 2 8 3	1 , 8 4 4 , 8 4 7
公 債 費	2 , 6 5 4 , 2 5 1	2 , 6 5 1 , 9 1 7
諸 支 出 金	1 0 , 1 7 4	1 0 , 1 7 2
予 備 費	1 0 , 4 9 7	0
災 害 復 旧 費	7 , 6 5 7	7 , 1 4 6
歳 出 合 計	2 1 , 8 3 8 , 5 9 5	1 9 , 7 3 4 , 7 3 6 (D)

(単位：千円)

翌年度繰越額 (C)	予算現額に対する差額 (A) - { (B) + (C) }	支出割合	
		$\frac{(B)}{(A)} \times 100$	$\frac{(B)}{(D)} \times 100$
0	3,772	98.1%	1.0%
4,310	396,142	84.1	10.8
0	402,653	95.7	45.6
0	106,745	93.2	7.4
0	6,332	91.8	0.4
0	4,458	89.6	0.2
0	27,239	98.4	8.4
0	6,428	99.1	3.4
1,018,361	114,075	62.0	9.3
0	2,334	99.9	13.4
0	2	100.0	0.1
0	10,497	0.0	0.0
0	511	93.3	0.0
1,022,671	1,081,188	90.4	100.0

## 6 建設事業の状況

区 分	事業費	財 源		
		国庫支出金	府支出金	分 担 金 負 担 金 寄 附 金
1 普通建設事業費	993,898	215,139	5,581	0
(1) 補助事業	440,561	215,139	5,581	0
住宅改造助成事業	1,600		755	
つどいの広場整備事業	6,458		4,305	
公立保育所カメラ設置事業	248		186	
道路・橋梁修繕事業	5,000	2,750		
一般道路改良事業	10,080	5,544		
交通安全施設整備事業	5,000	2,750		
既存民間建築物耐震診断・耐震改修等補助事業	1,340	670	335	
四條畷市総合公園整備事業	200,000	100,000		
小学校防火シャッター設置事業（繰越）	5,982	2,000		
小学校校舎増築改修等事業	910			
中学校施設整備事業（繰越）	203,943	101,425		
(2) 単独事業	553,337	0	0	0
本庁舎営繕工事	4,920			
北出コミュニティ広場整備事業	2,052			
防犯灯新設工事	811			
防犯灯LED化事業	12,919			
防犯カメラ設置事業	1,891			
福祉コミュニティーセンター空調設備取替事業	13,759			
市立幼稚園調理室等整備事業	20,185			
市立幼稚園園庭等整備事業	3,283			
児童発達支援センター等整備事業（繰越）	5,359			

(単位：千円)

内 訳			備 考
地 方 債	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源	
378,700	1,959	392,519	
202,100	206	17,535	
		845	
		2,153	つどいの広場「おかやま」
		62	事故予防用カメラ
1,800	206	244	橋梁修繕工事実施設計委託料
4,100		436	
1,100		1,150	市道岡山東五丁目4号線歩道設計委託料、市道中野本町1号線路肩改良工事、市道田原1号線等グリーンベルト設置工事
		335	
90,000		10,000	多目的広場新設工事、受変電設備整備工事、駐車場整備工事
3,700		282	南小防火シャッター設置工事
900		10	岡部小屋内運動場トイレ改修実施設計委託料
100,500		2,018	畷中・西中施設整備工事
176,600	1,753	374,984	
		4,920	議場音響設備等改良工事、防犯カメラ設置工事
		2,052	北出コミュニティ広場フェンス取替工事
		811	
		12,919	1,048基分
		1,891	
		13,759	
		20,185	四條畷あおぞら幼稚園調理室等整備工事
		3,283	四條畷あおぞら幼稚園園庭整備工事
3,100	1,753	506	外構工事等

区 分	事 業 費	財 源		
		国庫支出金	府支出金	分 担 金 寄 附 金
住宅用太陽光発電設備設置事業	3,798			
大阪湾広域臨海環境整備 センター等負担金	24			
環境センター大規模改修事業	24,260			
砂栽培設備設置事業	19,620			
公用車購入事業	3,995			
道路・橋梁修繕事業	691			
一般道路改良事業	18,246			
交通安全施設整備事業	10,960			
街 路 事 業	53,602			
四條畷市総合公園整備事業	15,665			
緑化樹植栽工事	171			
教育センター空調等取替事業	2,495			
小学校校舎増築改修等事業	818			
中学校施設整備事業（繰越）	139,914			
中学校施設整備事業	586			
市民総合センター非常用 自家発電装置取替事業	20,574			
市民総合体育館空調等改良事業	115,973			
給食センター機器等改修事業	27,000			
支 弁 人 件 費	29,766			
2 災 害 復 旧 事 業 費	7,146	0	0	0
投 資 的 経 費 合 計	1,001,044	215,139	5,581	0
平 成 27 年 度 計 投 資 的 経 費 合 計	1,326,638	101,945	42,161	0
差 引	△325,594	113,194	△36,580	0

(単位：千円)

内 訳			備 考
地 方 債	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源	
		3,798	
		24	
		24,260	
		19,620	
		3,995	2台購入(建設課)
		691	前記補助事業の単独事業分
		18,246	
		10,960	市道中野本町1号線路肩改良工事、市道坪井南下線他歩道舗装工事、市道岡山東5丁目4号線歩道設計業務委託
		53,602	雁屋畑線整備事業
		15,665	前記補助事業の単独事業分
		171	
		2,495	空調設備等取替工事
800		18	前記補助事業の単独事業分
132,900		7,014	前記補助事業の単独事業分
		586	畷中・西中整備建築確認申請
20,500		74	
19,300		96,673	空調設備改良工事、メインアリーナ照明LED化他工事
		27,000	厨房機器修繕工事
		29,766	
0	0	7,146	
378,700	1,959	399,665	
575,600	108,685	498,247	
△196,900	△106,726	△98,582	



## 7 地方債現在高の状況

区 分	平成27年度末 現在高 (A)	平成28年度 発行額 (B)	平成28年度償	
			元 金 (C)	利 子
1 公共事業等債	263,062	53,900	38,627	3,241
2 緊急防災・減災事業債	87,920	20,500	10,493	576
3 全国防災事業債	27,000		1,080	100
4 教育・福祉施設等 整備事業債	2,534,773	478,000	514,728	43,219
(1) 学校教育施設等 整備事業債	2,286,165	476,500	502,897	41,112
(2) 社会福祉施設 整備事業債	248,427	1,500	11,650	2,105
(3) 一般廃棄物処理事業債	181		181	2
5 一般単独事業債	2,227,368	20,900	398,325	27,122
6 退職手当債	376,450		136,300	7,809
7 財源対策債	238,669	43,100	32,183	2,716
8 減税補てん債	369,769		64,308	3,027
9 臨時税収補てん債	31,421		19,926	551
10 臨時財政対策債	9,460,427	1,271,400	1,130,925	84,930
11 都道府県貸付金	390,240		119,774	6,534
12 その他	19,763		4,101	696
合 計	16,026,862	1,887,800	2,470,770	180,521
13 公共用地先行 取得等事業債	629,900		44,400	12,404

(単位：千円)

還 額	(D) の 財 源 内 訳		平成28年度末現在高 (A) + (B) - (C) (E)	(E) の 借 入 先 別 内 訳	
	計 (D)	特 定 財 源		一 般 財 源	政 府 資 金
41,868		41,868	278,335	278,335	
11,069		11,069	97,927	53,464	44,463
1,180		1,180	25,920	25,920	
557,947	237,700	320,247	2,498,045	1,562,373	935,672
544,009	237,700	306,309	2,259,768	1,532,038	727,730
13,755		13,755	238,277	30,335	207,942
183		183	0		
425,447		425,447	1,849,943	214,733	1,635,210
144,109		144,109	240,150		240,150
34,899		34,899	249,586	191,805	57,781
67,335		67,335	305,461	305,461	
20,477		20,477	11,495	11,495	
1,215,855	617,200	598,655	9,600,902	3,087,239	6,513,663
126,308		126,308	270,466		270,466
4,797		4,797	15,662	7,495	8,167
2,651,291	854,900	1,796,391	15,443,892	5,738,320	9,705,572
56,804		56,804	585,500		585,500

## 8 国民健康保険特別会計

### 歳 入

(単位：千円)

科 目	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	予 算 現 額 に 対 する 差 額 (C) - (A)	収 入 割 合		
					$\frac{(C)}{(A)} \times 100$	$\frac{(C)}{(B)} \times 100$	$\frac{(C)}{(D)} \times 100$
国民健康保険料	1,494,252	1,657,091	1,273,748	△220,504	85.2 %	76.9 %	16.1 %
一部負担金	2	0	0	△2	0.0	0.0	0.0
使用料及び手数料	250	573	573	323	229.2	100.0	0.0
国庫支入金	1,654,136	1,709,690	1,709,690	55,554	103.4	100.0	21.7
療養給付費等交付金	107,775	106,852	106,852	△923	99.1	100.0	1.4
前期高齢者交付金	2,020,532	2,023,094	2,023,094	2,562	100.1	100.0	25.6
府支出金	392,454	429,562	429,562	37,108	109.5	100.0	5.4
共同事業交付金	1,906,377	1,654,617	1,654,617	△251,760	86.8	100.0	21.0
財産収入	130	125	125	△5	96.2	100.0	0.0
繰入金	708,890	675,777	675,777	△33,113	95.3	100.0	8.6
繰越金	7,033	7,032	7,032	△1	100.0	100.0	0.1
諸収入	6,936	12,113	11,565	4,629	166.8	95.5	0.1
歳入合計	8,298,767	8,276,526	7,892,635 <sup>(D)</sup>	△406,132	95.1	95.4	100.0

# 歳 出

(単位：千円)

科 目	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予 算 現 額 に 対 する 差 額 (A) - { (B) + (C) }	支 出 割 合	
					$\frac{(B)}{(A)} \times 100$	$\frac{(B)}{(D)} \times 100$
総 務 費	111,309	97,371	0	13,938	87.5 %	1.3 %
保 険 給 付 費	4,978,112	4,675,239	0	302,873	93.9	61.2
後期高齢者支援金等	814,372	806,942	0	7,430	99.1	10.6
前期高齢者納付金等	756	582	0	174	77.0	0.0
老人保健拠出金	35	21	0	14	60.0	0.0
介 護 納 付 費	288,122	284,558	0	3,564	98.8	3.7
共 同 事 業 拠 出 金	1,906,443	1,718,143	0	188,300	90.1	22.5
保 健 事 業 費	63,496	39,076	0	24,420	61.5	0.5
基 金 積 立 金	130	125	0	5	96.2	0.0
公 債 費	1,000	304	0	696	30.4	0.0
諸 支 出 金	15,385	12,428	0	2,957	80.8	0.2
予 備 費	119,607	0	0	119,607	0.0	0.0
歳 出 合 計	8,298,767	7,634,789 <sup>(D)</sup>	0	663,978	92.0	100.0

## 9 後期高齢者医療特別会計

### 歳 入

(単位：千円)

科 目	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	予 算 現 額 に 対 する 差 額 (C) - (A)	収 入 割 合		
					$\frac{(C)}{(A)} \times 100$	$\frac{(C)}{(B)} \times 100$	$\frac{(C)}{(D)} \times 100$
後期高齢者医療 保 険 料	498,280	513,055	503,965	5,685	101.1 %	98.2 %	78.4 %
使用料及び手数料	2	51	51	49	2,550.0	100.0	0.0
繰 入 金	136,614	134,773	134,773	△1,841	98.7	100.0	21.0
諸 収 入	151	174	174	23	115.2	100.0	0.0
繰 越 金	3,665	3,665	3,665	0	100.0	100.0	0.6
歳 入 合 計	638,712	651,718	642,628 <sup>(D)</sup>	3,916	100.6	98.6	100.0

### 歳 出

(単位：千円)

科 目	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予 算 現 額 に 対 する 差 額 (A) - { (B) + (C) }	支 出 割 合		
					$\frac{(B)}{(A)} \times 100$	$\frac{(B)}{(D)} \times 100$	
総 務 費	21,335	19,394	0	1,941	90.9 %		3.0 %
後期高齢者医療 広域連合納付金	614,977	614,974	0	3	100.0		96.9
諸 支 出 金	2,400	413	0	1,987	17.2		0.1
歳 出 合 計	638,712	634,781 <sup>(D)</sup>	0	3,931	99.4		100.0

## 10 土地取得特別会計

### 歳 入

(単位：千円)

科 目	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	予 算 現 額 に 対 する 差 額 (C) - (A)	収 入 割 合		
					$\frac{(C)}{(A)} \times 100$	$\frac{(C)}{(B)} \times 100$	$\frac{(C)}{(D)} \times 100$
財 産 収 入	5,160	5,160	5,160	0	100.0	100.0	9.1
繰 入 金	51,645	51,644	51,644	△1	100.0	100.0	90.9
歳 入 合 計	56,805	56,804	56,804 <sup>(D)</sup>	△1	100.0	100.0	100.0

### 歳 出

(単位：千円)

科 目	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額 (C)	予 算 現 額 に 対 する 差 額 (A) - { (B) + (C) }	支 出 割 合	
					$\frac{(B)}{(A)} \times 100$	$\frac{(B)}{(D)} \times 100$
公 債 費	56,805	56,804	0	1	100.0	100.0
歳 出 合 計	56,805	56,804 <sup>(D)</sup>	0	1	100.0	100.0

## 11 実質収支の状況

(単位：千円)

会社	計	歳入合計	歳出合計	歳差	入歳引額	翌年度へ繰越すべき財源			実質収支	単年度収支
						継続繰越額	繰越明許費額	事故繰越額		
一般	会社計	20,176,270	19,734,736	441,534	0	1,241	0	440,293	△69,294	
特別	国民健康保険 特別会	7,892,635	7,634,789	257,846	0	0	0	257,846	250,814	
	後期高齢者医療 特別会	642,628	634,781	7,847	0	0	0	7,847	4,182	
	土地取得 特別会	56,804	56,804	0	0	0	0	0	0	
小	計	8,592,067	8,326,374	265,693	0	0	0	265,693	254,996	
合	計	28,768,337	28,061,110	707,227	0	1,241	0	705,986	185,702	

## 12 地方消費税（社会保障財源化分）の充当状況

【歳入】 地方消費税交付金（社会保障財源化分） 439,844千円

【歳出】 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた社会保障施策に要する経費 4,752,212千円 (単位：千円)

区分（事業名）	平成28年度 決算額	財源			財源		
		特定財		その他	一般財		その他
		国府支出金	地方債		地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉							
障がい者福祉 (障がい者自立支援介護給付費)	947,375	731,961			41,122		174,292
高齢者福祉 (老人医療扶助費)	75,958	39,054		92	7,027		29,785
児童福祉 (子ども医療扶助費)	173,695	36,504		2	26,189		111,000
母子福祉 (ひとり親家庭医療扶助費)	40,435	20,514		348	3,736		15,837
生活保護 (生活保護扶助費)	1,479,750	1,209,575		10,355	49,598		210,222
小計	2,717,213	2,037,608	0	10,797	127,672		541,136
国民健康保険 (国民健康保険特別会計繰出金)	675,592	303,586			71,015		300,991
介護保険 (くすのき広域連合負担金)	641,422	8,680			120,788		511,954
社会保険 後期高齢者医療 (大阪府後期高齢者医療広域連合負担金 及び後期高齢者医療特別会計繰出金)	566,314	86,573			91,580		388,161
小計	1,883,328	398,839	0	0	283,383		1,201,106
予防接種委託料	121,831	157			23,227		98,447
がん検診等委託料	29,840	27		679	5,562		23,572
小計	151,671	184	0	679	28,789		122,019
合計	4,752,212	2,436,631	0	11,476	439,844		1,864,261





# 議 会 事 務 局



# 議 会 事 務 局

## 1 議員の秘書事務

### (1) 報 酬

(単位：円)

区 分	平成28年4月～平成29年3月
議 長	590,000
副 議 長	555,000
議 員	530,000

### (2) 研 修

研鑽を深め、議会活動の参考とするため、下記研修会に参加した。

実施年月日	内 容	講 師	主 催
平成28年 11月21日	「揺れ動く内外情勢と これからの日本経済」	時事通信社特別解説委員 田崎 史郎 氏	大阪府市議会議長会
平成29年 2月7日	「心のバリアをはずして」	NHK手話ニュースキャスター 中野佐世子 氏	河北市議会議長会

### (3) 行政視察の受入れ

実施年月日	市 名	視 察 内 容	構 成 人 員
平成28年 7月28日	広島県三原市	特徴のある議会運営について	市議会議員（8人） 随 行 職 員（1人）
平成28年 10月19日	茨城県土浦市	四條畷市子ども基本条例について	市議会議員（6人） 随 行 職 員（1人）
平成28年 11月1日	福岡県春日市	英語教育に関する取り組みについて	市議会議員（3人）

## 2 議員の福利厚生等事務

議員の健康保持と疾病予防に資するため、定期健康診査の機会を提供した。

検 診 名	受 診 者 数
基 本 健 康 診 査	5 人
心 電 図 検 査	5
血 液 検 査	5
胃 部 X 線 検 査	6

## 3 調査研究事務

市政への反映に資するため、常任委員会が所管する事務に係る行政視察を行った。

### (1) 常任委員会行政視察

委員会・日程	視 察 先	視 察 内 容
教育福祉常任委員会 平成28年10月25日～26日	宮 崎 県 日 南 市	幼小中一貫教育について
	宮 崎 県 延 岡 市	土曜授業について
総務建水常任委員会 平成28年11月8日～9日	大 分 県 豊 後 高 田 市	“昭和の町”の取り組みについて
	山 口 県 防 府 市	防府市まちなちの駅“うめてらす”運営事業について

## 4 議会情報提供事務

### (1) 四條畷市議会だよりの発行

議会の活動状況を広報するため、議会だよりを発行した。

名 称	議 会 だ よ り	声の議会だよ	点字議会だよ
発 行 回 数	6 回	5 回	5 回
発 行 数	各 24,500 部	テープ C D 27 巻 5 枚	25 部

(2) 議場コンサートの開催

市民に議会と市政への関心を深めていただくことを目的に議場コンサートを開催した。

開催年月日	開催場所	内 容
平成28年12月16日 午後1時から	議 場	カシユ カシユ cache cacheさんによるマリンバ、打楽器、ピアノの アンサンブル

5 会議録作成・整理事務

(1) 本会議開催状況（定例会・臨時会）

会 議 名	定 例 会				臨 時 会		
	平成28年 第 2 回	平成28年 第 3 回	平成28年 第 4 回	平成29年 第 1 回	平成28年 第 1 回	平成28年 第 2 回	
会 期	平成28年 6月7日 ～ 6月24日	平成28年 9月2日 ～ 9月16日	平成28年 12月1日 ～ 12月16日	平成29年 2月23日 ～ 3月24日	平成28年 4月18日 ～ 4月27日	平成28年 5月18日	
開 催 日 数	4 日	3 日	3 日	4 日	2 日	1 日	
市 長 提 出 案 件	条 例	9 件	1 件	11 件	7 件	1 件	件
	予 算	2	5	5	10		
	決 算		6				
	専決処分の承認		1	1		2	1
	人 事 案 件		6	1	2		
	契 約		1				
	そ の 他 (うち報告案件)	2 (1)	7 (5)	2 (0)	4 (3)		
	計	13	27	20	23	3	1
議 員 提 出 案 件	条 例 ( 規 則 )	2		3	1		
	意 見 書	1	2	3	3		1
	決 議		1				
	そ の 他	1			1		
	計	4	3	6	5		1
選 挙 等						4	
請 願							
そ の 他	1	1	1	2			
合 計	18	31	27	30	3	6	
傍 聴 者 数	56人	66人	35人	204人	49人	1人	

## (2) 常任・特別委員会

名 称	日 数	回 数	傍 聴 者 数	付 託 案 件						計
				条 例	予 算	決 算	契 約	請 願	そ の 他	
総務建水常任委員会	1	1	0	4						4
教育福祉常任委員会	1	1	0	1						1
予算決算常任委員会	8	5	0		7	3				10
議会運営委員会	23	23	0							
四條畷市公共施設等 総合管理計画策定に 係る特別委員会	5	5	0						1	1
四條畷市産業振興 ビジョンの策定に係る 特別委員会	5	5	0						1	1
合 計	43	40	0	5	7	3			2	17

## (3) その他の会議

名 称	回 数
会 派 代 表 者 会 議	19 <sup>回</sup>
議 会 だ よ り 編 集 委 員 会	12
議 会 全 員 協 議 会	4
委 員 会 協 議 会	2
合 計	37

(4) 一 般 質 問

会議	年月日	質 問 項 目
第 2 回 定 例 会	平成 28 年 6 月 23 日	1 熊本地震の教訓を生かした防災対策について 2 B型肝炎ワクチン予防接種について 3 デマンドタクシー導入について
		1 通学路の安全対策をより強化するための防犯カメラの設置問題について 2 保育所待機児童の解消問題について 3 高齢者問題について
		1 「ステップ★なわて」内にある児童発達支援センターについて 2 大阪広域水道企業団との統合に係る、議会での付帯決議の進捗状況について
		1 四條畷市生活環境の保全に関する条例について 2 視覚や聴覚その他の障がいのある方々にも、親しみやすい優しさのある行政としての関わり方について 3 今後の上下水道局の有り方と行方について
		1 デマンドタクシーについて 2 四條畷市のまちの将来について
		1 「子育てのまち★四條畷」の実現に向けて～認定こども園について 2 「子育てのまち★四條畷」の実現に向けて～未婚のひとり親世帯へのみなし寡婦(夫)控除の適用について 3 「子育てのまち★四條畷」の実現に向けて～「小1の壁」の解消について
		1 四條畷市の活性化対策について 2 学校再編整備に際しての通学路について 3 認定子ども園について
		1 若者の政策形成過程への参画について 2 食品ロス削減に向けての取り組みについて 3 四條畷市総合公園内の駐車場使用料について
		1 上下水道事業について 2 文書のペーパーレス化について 3 学校統廃合問題について
		1 コミュニティバスの路線の見直しについて 2 介護保険の総合事業について 3 日常生活自立支援事業について 4 国民健康保険・医療助成制度について 5 空き店舗の利用について
		1 公共施設等総合管理計画について



会議	年月日	質 問 項 目
第 3 回 定 例 会	平成 3 年 9 月 15 日	1 四條畷市総合公園について 2 南中学校体育館の整備について 3 四條畷市「575俳句募集」事業を活用した観光事業について 4 「地域連携サポートプラン」協定について
		1 防災対策について 2 新教育長の教育理念と今後の取り組みについて 3 屋内運動場の熱中症対策について 4 小中同窓会に費用助成でまちの活性化を
		1 楠公商店街にトイレ付の休息施設を設置することについて 2 JR忍ヶ丘駅周辺の活性化について 3 道路、歩道の改修と整備の進捗状況について
		1 四條畷市内の公園内・河川敷・道路沿いの草木や街路樹が茂りすぎている件について 2 市民生活の充実をはかり、交通の確保を考え進める件について 3 上下水道局の統合と処理について
	平成 3 年 9 月 15 日	1 上下水道事業について 2 学校統廃合問題について 3 総合運動公園の今後について、維持管理費などの軽減の為の方策について
		1 市道の自転車レーン設置について 2 大阪広域水道企業団との統合に係る、議会での付帯決議の進捗状況について
		1 子育て世代包括支援センター（ネウボラ★なわて）の設置について
		1 加速化する高齢化、困窮化する高齢者対策について 2 これからの介護予防と地域支援事業について
	平成 3 年 9 月 16 日	1 学校教育と統廃合計画について 2 国民健康保険制度について 3 文化施策への市の助成について
		1 歳入の増加に向けた取り組みについて 2 インセンティブ予算について
	平成 3 年 9 月 16 日	1 四條畷市の活性化について 2 小中学校の学びの柱となる、教育振興ビジョンについて 3 子ども、高齢者、障がい者を対象とした現状に留まらない施策、事業の検討状況について

会議	年月日	質 問 項 目	
第 4 回 定 例 会	平成	1 北谷公園の駐車スペース不足について 2 空き家活用について（空き家を活用した図書室の提案型質問） 3 市役所内でのお弁当の販売について 4 コミュニティバスのダイヤ・ルート見直しについて	
		1 楠木正成・正行公と飯盛城跡による四條畷の振興について	
	成	1 高齢者問題について 2 11月19日実施の四條畷市総合防災訓練について 3 防犯カメラの設置について	
		28	1 空き家対策について 2 住居表示の実施について
	年	1 子どもの貧困対策・居場所づくりについて 2 ごみの収集について 3 学校統廃合問題について	
		12	1 各小中学校に補助教員を加配することについて 2 国道163号西中野交差点の渋滞緩和対策について（府道四條畷停車場線） 3 上下水道局事業の分離と今後について
	月	15	1 国民健康保険事業について 2 インフラの老朽化について
		例	1 災害発生時の避難所運営について 2 高齢ドライバー社会と本市の対応について
	16		1 下水道事業について 2 学校整備事業について 3 総合公園の今後について
		日	1 平成29年4月に開設する公立認定こども園の取組み経過について 2 平成31年度に全面オープンを果たす総合公園の取組み経過について 3 地域防災の要となる消防団の備品整備について
			1 歳入の推移予測について 2 読書について
	第 1 回 定 例 会	平成 29 年 3 月 23 ・ 24 日	1 防災と防災力について
			1 旧国道170号（枚方富田林泉佐野線）拡幅について
1 四條畷南中学校の閉校問題について 2 小規模校の効果と問題点について			

会議	年月日	質 問 項 目
第 1 回 定 例 会	平成 1 年 3 月 23 日	1 四條畷南中学校の今後について 2 文化や歴史を軽々しく利用しようとする事について
		1 四條畷市の水道事業において過去に結んだ協定書などの有効性について 2 田原地区公共交通の考え方について（市民を含めた検討委員会の設置について） 3 コミュニティバスの四條畷駅前バス停について 4 田原住民のイオン直行バス希望人数調査について 5 田原地域の商業地について 6 緑風台隣接地の調整区域について 7 混雑時におけるコミュニティバスの大型化について 8 忍ヶ丘駅への大型バスの乗り入れについて 9 国道163号の東中野・西中野交差点周辺における渋滞緩和策について
	3 月 24 日	1 電子母子手帳の導入について 2 子どもの安心の育ちのための「就学援助の入学準備金の3月支給」「こども食堂の充実」「学力確保」について 3 高齢になっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくりのために「〈なわて高齢者プラン2018〉の策定」「総合事業」「空き家を利用した高齢者住宅支援」について
		1 地方創生の本格的事業展開について 2 密集市街地の大規模火災について
	3 月 24 日	1 高齢者ドライバーについて 2 市道の交差点について 3 575俳句事業について 4 市の事業の進め方について
		1 四條畷南中学校の一時閉校という方針について 2 教育現場における三つの課題について 3 公共施設の改善について 4 大阪広域水道企業団との統合問題について
	3 月 24 日	1 防災体制の充実強化について 2 四條畷市総合公園について 3 忍ヶ丘あおぞらこども園について 4 自主財源増加に向けての提案について
		1 四條畷駅・田原台・近鉄生駒駅を結ぶバスの相互乗り入れについて 2 岡山東5丁目（丘の上）へのコミバスについて 3 旧特別養護老人ホーム跡地の売却について 4 英語教育について

(5) 付 議 案 件

① 市長提出案件（報告案件を除く）

会議	案 件 名	議決内容
平成28年第1回臨時議会	専決処分承認を求めることについて（平成27年度四條畷市一般会計補正予算（第7号））	原案可決 全会一致
	専決処分承認を求めることについて（四條畷市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	原案可決 全会一致
	四條畷市小中学校の廃止の是非に係る校区住民投票条例の制定について	否 決 賛成少数
平成28年第2回臨時議会	専決処分承認を求めることについて（四條畷市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について）	承 認 全会一致
平成28年第2回定例会	四條畷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
	四條畷市私立幼稚園就園奨励費補助金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び四條畷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市職員旅費条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市土地開発公社の解散について	可 決 全会一致
	平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
平成28年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 賛成多数	
四條畷市公共建築物の長寿命化の検討を義務付ける条例の制定について	否 決 賛成少数	

会議	案 件 名	議決内容
平成 28 年 第 3 回 定 例 会	四條畷市立認定こども園条例の制定について	原案可決 賛成多数
	平成27年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の 継続審査
	平成27年度四條畷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
	平成27年度四條畷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 全会一致
	平成27年度四條畷市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 全会一致
	平成27年度四條畷市水道事業会計決算の認定について	認 定 全会一致
	平成27年度四條畷市下水道事業会計決算の認定について	認 定 全会一致
	四條畷中学校・四條畷西中学校整備計画に係る契約の締結について	可 決 賛成多数
	平成27年度四條畷市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可 決 全会一致
	平成27年度四條畷市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可 決 全会一致
	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第3号））	承 認 賛成多数
	平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第5号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第6号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
平成28年度四條畷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致	
監査委員の選任について	同 意 全会一致	
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意 全会一致	

会議	案 件 名	議決内容
平成28年第3回定例会	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 全会一致
	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 全会一致
	教育委員会教育長の任命について	同意 賛成多数
	教育委員会教育委員の任命について	同意 賛成多数
平成28年第4回定例会	四條畷市農業委員会委員定数条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市下水道事業の利益の処分に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
	大阪広域水道企業団への水道事業統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 賛成多数
	四條畷市証紙条例の制定について	原案可決 賛成多数
	四條畷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	一般職の職員の退職手当に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
	四條畷市立なわてふれあい教室条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	職員の休日及び休暇に関する条例及び四條畷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	財産の譲与について	可 決 全会一致
四條畷市立教育文化センターの指定管理者の指定について	可 決 全会一致	
平成27年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定について（平成28年第3回定例会から継続）	認 定 賛成多数	

会議	案 件 名	議決内容
平成28年第4回定例会	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第7号））	承認 全会一致
	平成28年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第8号）	原案可決 賛成多数
	人権擁護委員の推薦について	同意 全会一致
平成29年第1回定例会	平成29年度四條畷市国民健康保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
	平成29年度四條畷市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 賛成多数
	平成29年度四條畷市一般会計予算	原案可決 全会一致
	平成29年度四條畷市土地取得特別会計予算	原案可決 全会一致
	平成29年度四條畷市下水道事業会計予算	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第9号）	原案可決 全会一致
	平成28年度四條畷市一般会計補正予算（第10号）	原案可決 全会一致
四條畷市老人医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	

会議	案 件 名	議決内容
平成 29 年 第 1 回 定 例 会	一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	市道の路線認定について	認 定 全会一致
	公平委員会委員の選任について	同 意 全会一致
固定資産評価員の選任について	同 意 全会一致	



② 議員提出案件

会議	案 件 名	議決内容
平成28年臨時2時28分回会	ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書について	原案可決 全会一致
平成28年第2回定例会	四條畷市公共施設等総合管理計画策定に係る特別委員会の設置について	原案可決 全会一致
	四條畷市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書について	原案可決 全会一致
	四條畷市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	否 決 賛成少数
平成28年第3回定例会	北朝鮮の核実験に対する非難決議について	原案可決 全会一致
	食品ロス削減に向けての取組みを進める意見書について	原案可決 全会一致
	待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書について	原案可決 全会一致
平成28年第4回定例会	四條畷市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	四條畷市議会の会期等に関する条例の制定について	原案可決 賛成多数
	四條畷市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決 賛成多数
	「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書について	原案可決 全会一致
	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書について	原案可決 賛成多数
	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書について	原案可決 全会一致

会議	案 件 名	議決内容
平成 29年 第1 回 定 例 会	四條畷市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
	議決すべき計画に関する特別委員会の設置について	原案可決 全会一致
	ホームドアの設置と内方線付き点状ブロックの整備促進を求める意見書について	原案可決 全会一致
	地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書について	原案可決 全会一致
	無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書について	原案可決 全会一致

③ 選挙等その他

会議	案 件 名
平成 28年 第2 回 臨 時 会	議長選挙の件
	副議長選挙の件
	くすのき広域連合議会議員選挙の件
	大東四條畷消防組合議会議員選挙の件
平成 29年 第1 回 定 例 会	議員派遣の件



# 政策企画部



# 秘 書 広 報 課

## 1 市長及び副市長の秘書事務

### (1) 要 望 活 動

本市が抱える課題の解決などに向けて、各省庁及び国会議員に対し、相談及び要望活動を行った。

日 程	相 談 ・ 要 望 先	相 談 ・ 要 望 内 容
平成28年 8 月 8 日	• 国土交通省 • 国会議員	• 四條畷市総合公園整備事業に係る社会資本整備総合交付金について
平成28年11月15日	• 国会議員	• 四條畷市総合公園整備事業に係る社会資本整備総合交付金について • 学校施設環境改善交付金について • 特別交付税について
平成28年11月30日	• 国土交通省 • 国会議員	• 寝屋川治水及び流域下水道に係る平成29年度国交付金について
平成29年 2 月 3 日	• 国会議員	• 特別交付税について
平成29年 2 月 14 日	• 総務省 • 国会議員	• 特別交付税について

### (2) 負 担 金

全国各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の興隆繁栄に寄与することを趣旨に、市民福祉の向上を図り、より良いまちづくりを推進するため、地方分権の推進をはじめ、全都市に共通する課題や単独の市では解決が難しい事案への対応策について調査研究及び意見集約を行い、国会、政府等に対して意見書の提出などの働きかけを行った。

また、日本固有の領土である北方領土返還実現をめざし、その国民運動に寄与し、大阪府内の統一的、全府民的母体運動としての活動を推進するため、北方領土返還に関する広報活動、啓発活動を行った。

#### ① 全 国 市 長 会

平成28年 6 月 8 日に第86回全国市長会議が開催され、各支部から提出の 1 項目の特別提

言、20項目の重点提言及び50項目の提言を決定し、併せて「平成28年熊本地震への対応に関する決議」、「東日本大震災からの復旧・復興及び福島第一原子力発電所事故への対応に関する決議」、「地震・津波・台風等防災対策及び原子力安全・防災対策の充実強化に関する決議」、「地方創生の推進・分権型社会の実現に関する決議」、「都市税財源の充実強化に関する決議」、「持続可能で安定的な社会保障制度の構築に関する決議」の6件を決議し、政府等に対して要請を行った。

## ② 近畿市長会

平成28年5月25日に第123回近畿市長会総会が開催され、各府県市長会から提出の要望等について審議を行い、「都市行財政制度の改善について」、「保健医療・社会保険制度の改革等の推進について」、「社会福祉・公的扶助制度等について」、「都市基盤の整備促進等について」、「防災・災害対策の充実と市民の安全確保について」、「生活環境の整備促進、地域経済の振興などについて」、「平成29年度人権施策並びに予算に関する提言・要望」の7件の要望と「真の分権型社会の実現を求める決議」、「教育現場の実態に即した教職員定数の充実等に関する決議」の2件の決議を採択し、全国市長会及び各省庁等に対して、要請を行った。

## ③ 大阪府市長会

年7回開催される会議において、大阪府より事業等の説明を受けるほか、府内各市から提出された要望を取りまとめ、国及び大阪府等に対して要望を行った。

会議	開催年月日	会議内容
第1回	平成28年5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「平成28年度大阪府市長会役員の選出、並びに近畿市長会及び全国市長会役員の推薦」について</li> <li>• 広域的な観光推進について</li> <li>• 府内の治安情勢と大阪府安全なまちづくり推進会議の活動方針について</li> <li>• 無電柱化を推進する市区町村長の会について</li> <li>• 国保広域化調整会議の平成27年度の議論のとりまとめについて</li> <li>• 副首都化の推進（中長期的な取組み方向）の検討について</li> <li>• 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録に関する要望経過について</li> </ul>

会議	開催年月日	会議内容
第2回	平成28年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平成29年度国の施策並びに予算に関する要望」について</li> <li>「平成29年度大阪府の施策並びに予算に関する要望」について</li> <li>「平成29年度人権施策並びに予算に関する要望」について</li> <li>「平成27年度会務報告」について</li> <li>「平成27年度大阪府市長会一般会計歳入歳出決算」について</li> <li>「平成27年度大阪府市町村非常勤職員公務災害補償等認定委員会審査会会計歳入歳出決算」について</li> <li>自衛官募集の現状と取組みについて</li> <li>大阪880万人訓練の実施について</li> <li>平成27年度「大阪府域地方税徴収機構」事業報告について</li> </ul>
第3回	平成28年8月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「（仮称）消防力強化のための勉強会」について</li> </ul>
第4回	平成28年9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪府市長会理事の補欠選任」について</li> <li>「近畿市長会役員会提出議案」について</li> <li>大規模災害への備え（地籍調査並びに防災農地登録制度の推進）について</li> <li>食博覧会・大阪について</li> <li>大阪都市魅力創造戦略2020（案）について</li> <li>ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会の設置について</li> <li>ランドデザイン・大阪都市圏（案）について</li> <li>東日本大震災被災3県合同訪問要請について</li> <li>「平成29年度人権施策並びに予算に関する要望」の実施報告について</li> <li>「地方単独医療費助成制度の国における制度化等の要望」の実施報告について</li> </ul>
第5回	平成28年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪府市長会理事の補欠選任」について</li> <li>企業主導型保育事業の推進について</li> <li>「地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策」の推進状況及び来年の推進方針等について</li> <li>土砂災害防止法に基づく区域指定完了に伴う地区単位のハザードマップ作成および土砂災害特別警戒区域内の既存家屋移転・補強補助制度の運用について</li> <li>「2025日本万国博覧会」について</li> <li>市町村間の広域連携等の促進に向けて</li> </ul>



会議	開催年月日	会議内容
第6回	平成29年1月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府市長会議案第11号「大阪府市長会副会長の補欠選任」について</li> <li>ラグビーワールドカップ2019日本大会公式サポーターズクラブ会員募集に関する広報について</li> <li>大阪版自治体情報セキュリティクラウドの概要について</li> <li>「消防力強化のための勉強会」の検討状況について</li> <li>福祉医療費助成制度の再構築について</li> <li>大阪発“地方分権改革”ビジョンの改訂について</li> </ul>
第7回	平成29年2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪府市長会理事の補欠選任」について</li> <li>「大阪府市長会健康福祉部会長の補欠選任」について</li> <li>「第124回近畿市長会総会提出議案」について</li> <li>「平成28年度大阪府市長会一般会計歳入歳出補正予算」について</li> <li>「平成29年度大阪府市長会一般会計歳入歳出予算」について</li> <li>「平成29年度大阪府市町村非常勤職員公務災害補償等認定委員会審査会会計歳入歳出予算」について</li> <li>「2025日本万国博覧会誘致委員会」について</li> <li>大阪府「森林環境税」による森林保全対策の実施状況について</li> <li>福祉医療費助成制度の再構築の実施時期について</li> <li>国民健康保険制度改革（市町村標準保険料率の仮試算結果）について</li> <li>市町村振興宝くじ交付金について</li> </ul>

### 重点要望項目

提出機関	要望内容
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市財政の充実強化について</li> <li>教育行政の推進について</li> <li>市民生活・産業施策の充実について</li> <li>環境施策の推進について</li> <li>保険・福祉・医療施策の推進について</li> <li>都市整備の推進について</li> </ul>
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市行財政の充実強化について</li> <li>教育行政の推進について</li> <li>市民生活・産業施策の充実について</li> <li>環境施策の推進について</li> <li>保険・福祉・医療施策の推進について</li> <li>都市整備の推進について</li> <li>人権施策について</li> </ul>

#### ④ 北方領土返還運動推進大阪府民会議

北方領土返還実現をめざし、年1回の定期総会をはじめ、「北方領土の日」祈念大阪府民大会の開催、街頭啓発活動及び研修会等を実施した。

## 2 褒章及び表彰事務

### (1) 有功者表彰

市政の振興発展に寄与し、その功績が顕著である方を表彰することを趣旨に、四條畷市有功者表彰条例及び四條畷市有功者表彰条例施行規則に基づき、平成28年11月29日に四條畷市有功者表彰式を挙行し、有功者として14人を表彰した。

### (2) 感謝状贈呈

四條畷市感謝状贈呈基準に基づき、行政委員、執行機関の附属機関の委員等としてご活躍された市政功労者や寄附団体などに対し、感謝の意を表することを趣旨に、27人及び3団体に感謝状の贈呈を行った。

### (3) 表敬訪問

スポーツや文化活動などで優秀な成績を収めた市民及び全国規模の大会などに出場する市民などを対象に、2団体及び個人11人の表敬訪問の受入れを行い、記念写真及びフォトフレームの記念品を贈呈した。

## 3 渉外事務

四條畷市交際費支出に関する基準及び四條畷市交際費の公開に関する基準に基づき、適正な支出を行うとともに、交際費の執行状況を1月単位で集計し、支出年月日、区分、支出金額、支出内容、支出先をホームページ内に掲載し、適正かつ公平で必要最小限の支出を図り、透明な行政運営の推進に努めた。

		弔 慰	見 舞 い	渉 外	そ の 他	合 計
合計	件数	4 件	0 件	0 件	0 件	4 件
	金額	21,200 円	0 円	0 円	0 円	21,200 円

## 4 ホームページ事務

### (1) ホームページ作成

市民と市政、市民相互を結ぶツールとして、また、市域外の住民へ情報提供を図るため、市ホームページを引き続き活用し、行政に関する情報等の発信やサービスの提供を行った。

(平成28年度ホームページアクセス件数：658,547件)

また、自動翻訳システムにより、英語・中国語・韓国語に変換するホームページの多言語化を実施するとともに、CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）により、文字サイズ・背景色の変更可能で、音声読上げ機能を備え、アクセシビリティに配慮した利用者に優しいホームページを運用した。

さらに、災害時の迅速な情報提供や市の取組み及びイベント等の行政情報を積極的に発信するため、四條畷市公式ツイッターによる情報発信を行った。

### (2) バナー広告

四條畷市広告掲載要綱及び四條畷市ウェブサイト広告掲載取扱要領に基づき、市ホームページに、民間企業等のバナー広告を掲載した。また、ポスター掲示やチラシなどにより、バナー広告の募集を継続的に実施した。

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
広告数	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	6	7	69

## 5 広報事務

### (1) 広報誌発行

毎月1回、市民に市政情報等を的確に提供する広報誌の発行を行い、市内各世帯に配布を行った。

また、高齢者の活躍と生涯学習の機会を創出し、市民参画を得た広報誌づくりを推進することを趣旨とする高齢者の生きがい事業として「高齢者いきいきりポーター」を実施し、地域の催しや市内の高齢者の生きがい自慢などの取材記事を掲載した。

号	発行部数	ページ数	主 な 内 容 及 び 特 集 内 容
平成28年 4月	24,500	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動やスポーツでリフレッシュ！市民総合体育館を活用しよう！</li> <li>• 平成28年度市政運営方針</li> <li>• 平成28年度当初予算</li> </ul>
5月	24,500	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メアブッシュ市訪問団が四條畷に！メアブッシュ交流サポーターの皆さんも活躍！</li> <li>• 平成28年3月31日現在 市の財政状況</li> </ul>
6月	24,500	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 四條畷市総合公園が開園！北河内初の人工芝運動場も！</li> <li>• 耐震に関する費用の一部を補助します</li> <li>• 宿泊施設利用補助制度を使って友好都市三重県紀北町へ行こう！！</li> </ul>
7月	24,500	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「ファミ・サポ」に参画して、子育て家庭をサポートしよう！</li> <li>• 平成28年度全国標準学力検査（NRT）結果の概要</li> <li>• 第6次総合計画における平成28年度実施計画（部長マニフェスト）を策定しました</li> </ul>
8月	24,500	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食べることの大切さを知ろう！</li> <li>• 平成29年4月に四條畷市立（仮称）忍ヶ丘あおぞらこども園が開園します</li> </ul>
9月	24,500	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>• つどいの広場“おかやま”が10月26日にオープン！</li> <li>• 耐震に関する費用の一部を助成します</li> </ul>
10月	24,500	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カードをゲットして室池を舞台にバトルしよう！室池いきもの王国がスタート！</li> <li>• 校区再編に合わせて2つの中学校施設を整備します</li> <li>• 平成27年度会計決算</li> </ul>
11月	24,500	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校の図書室が変わる！子どもたちの「読みたい！」を大切に</li> <li>• 平成28年度全国学力・学習状況調査結果の概要</li> <li>• 平成28年9月30日現在 市の財政状況</li> </ul>
12月	24,500	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもたちがワクワクする授業づくりを！</li> <li>• 職員の給与などを公表します</li> </ul>
平成29年 1月	24,500	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもがイキイキと遊べる公園に！</li> <li>• 四條畷市のお財布の中身が知りたい！</li> </ul>
2月	24,500	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 認知症を正しく知り、地域で見守る 認知症サポーターを知っていますか？</li> <li>• 東修平市長が初登庁</li> <li>• 職員を募集します</li> </ul>
3月	24,500	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 四條畷市立初の認定こども園で教育と保育の一体化を実現！</li> <li>• 教育、この一年</li> <li>• 学校再編整備に関する総合教育会議を開催しました</li> </ul>

(2) 広報検討委員会

広報検討委員会（委員数10人）では、現行の広報誌作成業務委託契約の終了に伴い、新たな契約の委託内容について、現在の問題点や課題等の検討を行った。

（検討内容）

- 広報誌の課題等の抽出、検討、整理
- 仕様書の検討

(3) 点字広報作成

目の不自由な方へ市政情報等を的確に提供するため、点訳ボランティア「あゆみ」に依頼し、広報のダイジェスト版「点字広報」を毎月1回8部発行した。

(4) 声の広報作成

目の不自由な方へ市政情報等を的確に提供するため、広報のダイジェスト版「声の広報」（カセットテープに録音）を毎月1回12部、朗読ボランティア「あけぼの」に依頼し、発行した。

(5) 広報板管理

行政及び地区自治会の情報を広く市民に提供するために設置している広報板（173箇所）を使用して、イベント等のお知らせや啓発活動を実施した。また、各自治会からの要望等により、市内に設置している4箇所の広報板の修理等を行った。

(6) 出前講座

防災や健康など、市民の関心が高い57の講座を設定し、その中から申込みのあった講座の担当者が地域に出向き説明する、出前講座を実施した。

実施件数は、子育て7件、健康4件、防災4件、教育・文化・教養4件、福祉2件、暮らし2件の計23件で、受講者数は557人であった。

(7) 室池いきもの王国プロジェクト

平成28年11月から、四條畷市PRプロジェクトとして大阪電気通信大学との協働及び森の工作館、アイ・アイ・ランドの協力により、室池いきもの王国プロジェクトを実施した。大阪府内でも有数の森林浴スポットである緑の文化園・むろいけ園地を舞台に、フィールドゲーム、トレーディングカード、プロモーションビデオ、ゲームアプリを連動した企画を実施した。

## 6 公 聴 事 務

市民の率直な意見、提言を聴取し、その内容を整理のうえ、市政へ反映することにより、市民を主体に置いたまちづくりを実現していくため、あらゆる方法による公聴事業を実施した。

### (1) 市政への要望・陳情

複数の部課にわたる各種団体からの要望、陳情（7件）を受け付け、関係部課と調整を図り、意見交換の場を設定するとともに、要望内容等への回答、対応を行った。

主な要望内容は、社会保障に関する要望、施策及び予算に関する要望のほか、平成28年熊本地震に対する災害復旧支援に関する要望、田原台7丁目商業地区の開発に伴う要望等であった。

### (2) 市政モニター

市政に関する市民の意見、要望などを迅速、かつ、的確に市政に反映させるため、公募市民による市政モニターを設置し、市政に関する意見・提言を受けるとともに、市の事業等に対するアンケート調査を実施した。

実 施 日	内 容	回答数 / モニター数
平成28年11月下旬	高齢福祉について	14人 / 33人

### (3) 市長への意見箱

市政全般にわたり広く市民から意見・提言をいただくため、市役所本館・東別館、市民総合センター、グリーンホール田原に「市長への意見箱」を設置するとともに、メールやファックス等での受付を行い、公聴の充実を図った。なお、意見箱への意見・提言数は、185件（市役所本館34件、東別館35件、市民総合センター41件、グリーンホール田原4件、メール59件、ファックス3件、封書7件、その他2件）であった。

### (4) 広げよう！地域の輪 市長を囲むまちづくり座談会

開かれた行政を実現するため、市長が地域へ出向き、地域方々との対話を通じて、地域の実情や市政に関する意見等を聴き、市政に反映させることにより、市民参画のまちづくり、ひいては住民自治の確立を進めるとともに、市政に対する市民の理解と関心を深めるため、「広げよう！地域の輪 市長を囲むまちづくり座談会」を12回開催した。

## 開 催 内 容

開催年月日	開催場所	主 な 内 容
平成28年4月20日	東別館201会議室	なわて山守り隊
平成28年4月22日	東別館201会議室	なわて環境ネットワーク
平成28年4月27日	四條畷あおぞら幼稚園遊戯室	四條畷あおぞら幼稚園PTA（ふたば会）
平成28年5月25日	市民総合センター展示ホール	四條畷市民生委員児童委員協議会
平成28年5月30日	東別館203会議室	四條畷市母子寡婦福祉会
平成28年6月15日	四條畷消防署講堂	四條畷市消防団
平成28年6月16日	委 員 会 室	四條畷市文化観光協議会
平成28年6月21日	東別館201会議室	四條畷市老人クラブ連合会
平成28年7月6日	市民総合センター視聴覚室	身体障害者福祉会ろうあ部会
平成28年7月11日	東別館201会議室	四條畷市子ども会育成連絡協議会
平成28年7月20日	東別館201会議室	四條畷市区長会
平成28年7月22日	東別館202会議室	四條畷市人権協会

## 7 ふるさと納税事務（四條畷市サポート寄附金）

市ホームページをはじめ、ポスター及びチラシ等により、ふるさと納税制度の周知を図るとともに、イベント時の啓発やJR忍ヶ丘駅構内にポスターを掲示するなどの積極的な募集を行った。

また、寄附をされた方へのお礼品について、平成28年1月1日からリニューアルを行い、内容を一新するとともに、7品目から23品目に増加し、初めて、体験型のお礼品（乗馬体験教

室)とサービス型のお礼品(宿泊補助券)を追加した。3万円以上寄附された方は、1万円以上寄附された方のコースから2品選ぶか、3万円以上寄附された方のコースから1品選べるようにした。

〈寄附の状況〉

区 分	寄附件数(件)			寄 附 金 額 (円)			寄附金充当 (円)	寄 附 金 充 当 の 使 途	寄 附 金 年 度 末 残 高 (円)
	市民	その他	計	市 民	そ の 他	計			
平成 24年度	15	12	27	2,730,000	540,000	3,270,000	3,203,700	小学校の学習用 パソコン購入 幼稚園の遊具購入 市民総合センター 前モニュメント設置	2,133,338
平成 25年度	10	20	30	513,200	929,928	1,443,128	1,000,000	小中学校一般教具 購入	2,576,466
平成 26年度	22	33	55	352,800	520,000	872,800	1,379,466	小中学校図書購入	2,069,800
平成 27年度	23	27	50	10,331,200	535,000	10,896,200	1,190,000	小中学校図書購入 観光啓発事業	11,776,000
平成 28年度	35	27	62	742,000	695,000	1,437,000	380,000	小中学校図書購入	12,833,000

なお、上記とは別に平成28年度は、平成28年熊本地震によって被害を受けた熊本県、大分県への災害支援寄附(ふるさと納税)を受け付け、5万5,000円(市民2件 3万5,000円、その他1件 2万円)を熊本県へ送金した。



# 企 画 調 整 課

## 1 庁内情報化関係事務

### (1) 情報セキュリティポリシーに基づく実施手順の策定

頻発する標的型サイバー攻撃等の新たな脅威に対し、職員が適切な対策、対応を行うことができるよう、情報セキュリティポリシーに基づく実施手順を策定した。

### (2) 公衆無線LANの設置拡充

地域情報化の推進及び災害対策を趣旨に、平成29年3月に市民総合センター1階ロビー、四條畷図書館、グリーンホール田原3階ロビー及び田原図書館に公衆無線LANを新たに設置した。

### (3) 情報セキュリティポリシー研修会（ITリーダー講習会）

情報セキュリティポリシーの周知及び職員のセキュリティに対する意識向上を図るため、平成29年3月に情報セキュリティポリシー研修会（ITリーダー講習会）を開催し、99人の参加があった。研修会では、策定した実施手順やセキュリティ事故の事例の説明を交えながら、情報セキュリティの重要性について講義を行った。

### (4) 行政情報化推進委員会

業務のシステム化や情報通信機器の整備等、庁内の情報化を総合的に推進するため、行政情報化推進委員会を2回開催した。委員会では、土木積算システムの更改、クライアント運用管理システムの本稼動のほか、庁内ネットワークの再構築等について検討を行った。

### (5) 情報セキュリティ委員会

情報システムの急速な発展に迅速かつ的確に対応しつつ、セキュリティを確保するため、情報セキュリティ委員会を1回開催した。委員会では、自治体情報セキュリティ強化対策及び情報セキュリティポリシーに基づく実施手順、課内相互点検等について検討を行った。

## 2 総合行政ネットワーク関係事務

大阪電子自治体連絡会主催の「平成28年度情報セキュリティ技術セミナー」への出席や各種照会を通じ、各自治体の情報システムについての情報共有、情報セキュリティ意識の向上に努めた。

### 3 住民情報関係事務

#### (1) 住民情報システム関係

住民情報の保護と業務の効率性を高めることを主旨に、システムの運用管理及び委託業者との調整を行い、住民情報システムの円滑な稼働に努めた。

#### (2) 社会保障・税番号制度関係

社会保障・税番号制度に基づく情報連携に向けて、住民情報システム、中間サーバー等の整備を行った。また、平成29年1月～3月にかけて、他市町村、大阪府とLGWAN回線を利用した情報連携をテストする総合運用テストを実施した。

### 4 庁内ネットワーク再構築事務

社会保障・税番号制度に基づく情報連携で利用するLGWAN環境のセキュリティ確保に資するため、LGWAN環境をインターネットと切り離して管理、運用できるよう、情報系ネットワークを2つのネットワーク（LGWAN接続系、インターネット接続系）に分離する庁内ネットワーク再構築を行った。

また、クライアント運用管理システムの本稼働により、記憶媒体制御、端末ログ取得など、国推奨の情報持出し不可設定に準拠する体制を構築した。

### 5 地方創生総合戦略関係事務

本市総合戦略の進捗管理のため、総合戦略協議会を開催し、KPI（重要業績評価指標）を用いた施策の推進状況及び戦略に掲げる来年度事業等の方向性について確認を行った。

また、地方創生のさらなる深化を趣旨とした地方創生加速化交付金については、学校給食センターを拠点に、高床式砂栽培設備で収穫される地場産野菜を使用した学校給食メニューの開発、食育の推進、教育センターの一角に設置したこども食堂の開設及び農産物のブランド化推進を図る、地域、民間、行政と連携した都市型農業の魅力創出と生活困窮者の自立支援事業を申請し、採択された。

なお、ハード整備に特化した地方創生拠点整備交付金事業として、四條畷神社のトイレ改修事業を申請したが、不採択となった。

## 6 諸協議会関係事務

片町線複線化促進期成同盟会として、全線の早期複線化実現及び利用者の安全性の向上を趣旨に、西日本旅客鉄道株式会社に対し要望活動を行うとともに、片町線の利用促進・啓発事業として、沿線を対象とした「学研都市線で行こう！スタンプラリー2016」を実施した。

## 7 地場産野菜活用事務

平成28年8月に採択された地方創生加速化交付金を活用し、学校給食センター敷地内に高床式砂栽培設備を設置し、新鮮な地場産野菜の収穫はもとより、学校給食への納入を可能としたうえ、障がい者等の雇用によって自立支援につなげる体制を整えた。

また、高床式砂栽培設備で収穫された野菜を含む地元農産物のブランド化を図るべく、ロゴマーク等をデザインし、プロモーションのためのパンフレット、のぼり、包装材等の販促物やPR動画を作成した。

## 8 総合計画関係事務

第6次総合計画の効果的な推進に向けて、実施計画に位置づける部長マニフェストを策定し、市広報誌やホームページに掲載した。

## 9 公的個人認証関係事務

公的個人認証基盤システムの適正運用を継続するため、平成28年8月12日に公的個人認証サービス市区町村内部監査を実施し、業務管理マニュアル等の再確認を行った。

## 10 総合調整事務

### (1) 職員提案制度

職員提案実績

(単位：件)

年 度	件 数
平成 26 年 度	1
平成 27 年 度	15
平成 28 年 度	7

## (2) そ の 他

- ① 部長次長連絡調整会議の開催に係る総合調整を行い、その会議の概要について職員に周知を図った。
- ② 大阪府市長会関係をはじめとした国や大阪府に対する要望事項を調整した。
- ③ 市民の利便性向上を図り、地方分権を推進する観点から、大阪府から「終身建物賃貸借事業の認可等」に係る事務権限の移譲を受けた。

## 11 広域行政推進事務

北河内地域における広域的な課題の調査研究、情報交換及び連絡調整を図ることを趣旨に設置した北河内都市連絡会主催者会議において、地方創生、公共施設等総合管理計画及び民間団体との各種協定、連携等についての情報交換を行った。

また、大阪府及び北河内7市で構成する「北河内地域ブロック会議」に出席し、市町村間の広域連携の推進に向けた課題等について意見交換を行った。

## 12 関西文化学術研究都市関係事務

平成28年度から概ね10年間のけいはんな学研都市の方向を示した「新たな都市創造プラン」に基づき、都市づくりの推進と広報活動の推進について立地機関や関係市町と検討する「けいはんな学研都市新たな都市創造会議」都市形成部会、広報部会に参画し、今後の都市形成と広報戦略について協議を行った。

## 13 意見公募手続関係事務

市の基本的な計画・条例等を策定、改定又は廃止するときに、事前に案等を公表し、市民等が意見を述べる機会を設け、市民の視点に立った計画や条例づくりをめざすとともに、市の意思決定の説明責任を果たすために、平成28年度において次のとおり意見公募手続を実施した。

平成28年度に実施した意見公募手続

案 件 名	募 集 期 間	意 見 数	担 当 課
家庭系一般廃棄物（粗大ごみ・不燃ごみ）の分け方、出し方等（案）	平成28年9月1日 ） 平成28年9月30日	6 件	生活環境課
四條畷市産業振興ビジョン（原案）	平成28年10月3日 ） 平成28年11月1日	0 件	産業観光課
四條畷市公共施設等総合管理計画（原案）	平成28年10月14日 ） 平成28年11月14日	0 件	総 務 課
四條畷市環境基本計画（原案）	平成28年10月17日 ） 平成28年11月17日	7 件	生活環境課
第2次四條畷市文化芸術振興計画（原案）	平成28年10月17日 ） 平成28年11月17日	0 件	地域教育課
第2次四條畷市立公民館振興計画（原案）	平成28年10月17日 ） 平成28年11月17日	0 件	公 民 館
四條畷市都市計画マスタープラン改訂（原案）	平成28年10月24日 ） 平成28年11月24日	0 件	都市計画課
四條畷市みんなでつくる協働のまちづくり指針改訂版（原案）	平成28年12月15日 ） 平成29年1月13日	0 件	地域協働課
第2次四條畷市男女共同参画推進計画（原案）	平成28年12月15日 ） 平成29年1月16日	8 件	人権政策課
四條畷市住宅・建築物耐震改修促進計画【改定】（原案）	平成29年1月30日 ～ 平成29年3月1日	0 件	都市計画課
第2次四條畷市識字基本計画（原案）	平成29年2月1日 ～ 平成29年2月28日	12 件	地域教育課

#### 14 本市とイオン株式会社との相互連携関係事務

本市とイオン株式会社双方の資源を有効に活用しながら、協働で地域の活性化と市民サービスの向上を図るため、次のとおり相互連携事業を実施した。

平成28年度に実施した相互連携事業

分 野	件 数
産業及び観光の振興、雇用並びに消費者教育に関すること	1 件
健康維持増進及び食育に関すること	1 件
障がい者に対する支援に関すること	1 件
エネルギーの地産地消の推進に関すること	1 件
教育・歴史・文化・スポーツの振興に関すること	1 件
その他地域の活性化及び市民サービスの向上に関すること	1 件

15 総合教育会議関係事務

平成27年4月1日に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律に即し、福祉施策との連携、市長の権限に関わる事項等を調整するほか、教育委員会のみ  
の権限に属する事項について協議を行うことを趣旨に、総合教育会議を開催した。

平成28年度に開催した総合教育会議

開催年月日	案 件 名
平成28年5月18日	1 教育振興ビジョン（教育大綱）の改訂について 2 いじめ防止の取組みについて 3 認定こども園の設置について
平成28年10月26日	1 平成29年度予算編成方針について 2 いじめ防止の取組みについて 3 認定こども園の設置について 4 地方創生加速化交付金を活用した事業の実施について
平成29年1月25日	1 今後の教育行政について
平成29年3月1日	1 今後の教育行政について



# 総務部





# 総 務 課

## 1 入札参加資格審査・契約事務

平成28年度契約状況

設計金額が50万円以上の契約については、計254件、11億4,999万8千円であった。

区 分		契 約 件 数	契 約 金 額
建 設	土 木	8 件	175,520 千円
	建 築	11	59,370
	舗 装	10	38,649
	そ の 他	23	217,540
	小 計	52	491,079
測 量 ・ 設 計		16	56,111
そ の 他		186	602,808
合 計		254	1,149,998
平 成 2 7 年 度 合 計		251	2,017,338
増 減		3	△867,340

## 2 工事検査事務

平成28年度工事検査状況

本市が発注した工事のうち四條畷市工事検査要綱に基づき実施した工事検査は、次のとおりである。

(単位：件)

工事種別	検査の種類				
	完成検査	一部完成検査	出来高検査	随時検査	計
土 木 工 事	3	0	0	0	3
建 築 工 事	6	0	1	0	7
舗 装	8	0	0	0	8
そ の 他	13	0	1	0	14
合 計	30	0	2	0	32
備 考					

### 3 文 書 事 務

#### (1) 市 議 会

本年度における市議会の招集年月日と提出案件数は、次のとおりである。

	招 集 年 月 日	提 出 案 件 数
平成28年四條畷市議会第1回臨時会	平成28年4月18日	3件
平成28年四條畷市議会第2回臨時会	平成28年5月18日	1件
平成28年四條畷市議会第2回定例会	平成28年6月7日	13件
平成28年四條畷市議会第3回定例会	平成28年9月2日	27件
平成28年四條畷市議会第4回定例会	平成28年12月1日	20件
平成29年四條畷市議会第1回定例会	平成29年2月23日	23件

#### (2) 公 告 式

##### ① 公 示 件 数

(単位：件)

	条 例	規 則	規 程	告 示	公 告	合 計
件 数	33	34	9	140	31	247

##### ② 新 規 制 定 条 例

本年度は、6件の条例を新たに制定した。

条 例 名	公 布 年 月 日
四條畷市立認定こども園条例	平成28年9月7日
四條畷市農業委員会委員定数条例	平成28年12月6日
四條畷市下水道事業の利益の処分に関する条例	平成28年12月6日
大阪広域水道企業団への水道事業統合に伴う関係条例の整備に関する条例	平成28年12月26日
四條畷市議会の会期等に関する条例	平成28年12月26日
四條畷市証紙条例	平成28年12月26日

③ 一部改正条例

本年度に改正を行った条例は、27件であった。

条 例 名	公 布 年 月 日
四條畷市職員旅費条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び四條畷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
四條畷市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
四條畷市私立幼稚園就園奨励費補助金条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
四條畷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
四條畷市手数料条例の一部を改正する条例	平成28年6月9日
四條畷市議会委員会条例の一部を改正する条例	平成28年7月4日
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	平成28年12月6日
一般職の職員の退職手当に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	平成28年12月6日
四條畷市税条例等の一部を改正する条例	平成28年12月6日
四條畷市議会委員会条例の一部を改正する条例	平成28年12月26日
四條畷市立なわてふれあい教室条例の一部を改正する条例	平成28年12月26日
四條畷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	平成28年12月26日
四條畷市都市公園条例の一部を改正する条例	平成28年12月26日
職員の休日及び休暇に関する条例及び四條畷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	平成28年12月26日
四條畷市老人医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	平成29年2月27日
一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例	平成29年2月27日
四條畷市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例	平成29年2月27日
四條畷市税条例等の一部を改正する条例	平成29年2月27日
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成29年2月27日
四條畷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	平成29年2月27日
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	平成29年2月27日

条 例 名	公 布 年 月 日
四條畷市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	平成29年 2月27日
四條畷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	平成29年 3月31日
四條畷市税条例の一部を改正する条例	平成29年 3月31日

④ 新規制定規則

本年度は、6件の規則を新たに制定した。

規 則 名	公 布 年 月 日
四條畷市立児童発達支援センター条例施行規則	平成28年 4月 1日
四條畷市職員の退職管理に関する条例施行規則	平成28年 4月 1日
四條畷市特定民間再開発事業及び地区外転出事務認定施行規則	平成28年 6月28日
四條畷市特定の民間再開発事業認定施行規則	平成28年 6月28日
四條畷市立認定こども園条例施行規則	平成28年10月 1日
四條畷市農業委員会の委員の選任に関する規則	平成29年 2月14日

⑤ 一部改正規則

本年度に改正を行った規則は、27件であった。

規 則 名	公 布 年 月 日
四條畷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年 4月 1日
四條畷市事務分掌条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年 4月 1日
四條畷市消防団の組織等に関する規則の一部を改正する規則	平成28年 4月 1日
四條畷市養育医療の給付に係る費用の徴収に関する規則の一部を改正する規則	平成28年 4月14日
四條畷市立保育所条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年 4月13日
四條畷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料を定める規則の一部を改正する規則	平成28年 4月13日
四條畷市優良宅地等認定事務施行規則の全部を改正する規則	平成28年 6月28日
四條畷市養育医療の給付に係る費用の徴収に関する規則の一部を改正する規則	平成28年 6月28日
四條畷市私立幼稚園就園奨励費補助金条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年 7月 1日
四條畷市会計課設置規則の一部を改正する規則	平成28年 9月 7日
四條畷市立保育所条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年10月 1日

規 則 名	公 布 年 月 日
四條畷市公印規則の一部を改正する規則	平成28年12月12日
四條畷市老人医療費の助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年12月21日
一般職の職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年12月28日
四條畷市職員の育児休業等に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成28年12月28日
四條畷市都市公園条例施行規則の一部を改正する規則	平成29年1月18日
非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成29年1月19日
職員の休暇に関する規則の一部を改正する規則	平成29年1月19日
四條畷市田原支所処務規則の一部を改正する規則	平成29年2月1日
四條畷市事務分掌条例施行規則の一部を改正する規則	平成29年2月1日
四條畷市職員職名規則の一部を改正する規則	平成29年3月23日
職員の勤務時間に関する規則の一部を改正する規則	平成29年3月23日
四條畷市公印規則の一部を改正する規則	平成29年3月24日
四條畷市財務規則の一部を改正する規則	平成29年3月24日
四條畷市特定非営利活動促進法施行細則の一部を改正する規則	平成29年3月29日
四條畷市事務分掌条例施行規則の一部を改正する規則	平成29年3月31日
一般職の職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成29年3月31日

#### ⑥ 廃止規則

本年度に廃止した規則は、1件であった。

規 則 名	公 布 年 月 日
四條畷市老人医療事務取扱規則を廃止する規則	平成28年4月1日

#### ⑦ 一部改正規程

本年度に改正を行った規程は、9件であった。

規 程 名	公 布 年 月 日
四條畷市事務決裁規程の一部を改正する規程	平成28年4月1日
四條畷市国民健康保険料減免規程の一部を改正する規程	平成28年4月1日
四條畷市国民健康保険料減免規程の一部を改正する規程	平成28年6月9日

規 程 名	公 布 年 月 日
四條畷市事務決裁規程の一部を改正する規程	平成29年 2 月 1 日
四條畷市文書管理規程の一部を改正する規程	平成29年 2 月 1 日
四條畷市職員被服貸与規程の一部を改正する規程	平成29年 3 月23日
四條畷市文書管理規程の一部を改正する規程	平成29年 3 月24日
歴史的文書の保存等に関する規程の一部を改正する規程	平成29年 3 月30日
四條畷市事務決裁規程の一部を改正する規程	平成29年 3 月31日

#### 4 情報公開・個人情報保護事務

##### (1) 情報公開事務

四條畷市情報公開条例に基づく行政文書の開示請求が32件あり、そのうち全部開示が16件、部分開示が16件であった。

請求のあった実施機関とその内訳は、市長に対するものが13件、教育委員会に対するものが16件、市長（水道事業）に対するものが2件、選挙管理委員会に対するものが1件であった。

主な請求内容は、次のとおりである。

区 分	請 求 内 容 等
全 部 開 示	四條畷市まちづくり長期計画（教育施設整備計画を含む。）事業化検討調査報告書
	平成25年 3 月27日に開催の教育委員会定例会において審議された「平成25年度四條畷市学校教育基本方針の策定について」の議事録
	高圧電力使用状況が分る文書（施設名、所管課、契約名義、契約電力株式会社、契約種別、契約電力及び使用電力量）
部 分 開 示	平成28年 1 月 1 日から同年 6 月30日までの住居表示受付簿及び当該建物の住居表示台帳（氏名を非開示とした。）
	四條畷市立教育文化センターの指定管理者である阪奈エンタープライズ株式会社の平成25年度応募時に提出された事業計画書及び収支計算書に関する文書並びに平成26年度及び27年度事業報告書（主要株主、出資（出損）者名、印影及び職員名を非開示とした。）
	平成29年 1 月15日に執行された四條畷市長選挙における立候補者の選挙運動費用収支報告書及び同報告書に添付された領収書（印影及び領収書に記載された係の氏名を非開示とした。）

開示決定に対する不服申立ては、なかった。

## (2) 個人情報保護事務

四條畷市個人情報保護条例に基づく自己情報の開示請求が10件あり、そのうち全部開示が3件、部分開示が5件、非開示が2件であった。

請求のあった実施機関とその内訳は、市長に対するものが9件、教育委員会に対するものが1件であった。

主な請求内容は、次のとおりである。

区 分	請 求 内 容 等
全 部 開 示	平成28年2月1日から同年5月20日までの期間における生活保護のケース記録
部 分 開 示	平成28年8月3日付け戸籍全部事項証明に係る交付申請書（印影を非開示とした。）
非 開 示	平成28年1月1日から同年12月31日までの期間における第三者による住民票の写し等交付申請書（当該期間において第三者による申請が無かったため文書不存在）

自己情報の訂正及び利用停止の請求はなく、開示決定に対する不服申立てもなかった。

## 5 行政不服審査制度事務

行政不服審査法に基づく市長への審査請求が3件あり、審査請求の内容及び裁決は以下のとおりである。

審 査 請 求 内 容	裁 決
平成28年度固定資産税・都市計画税賦課決定処分の取消しを求める審査請求	棄 却
ひとり親家庭医療費助成取消処分の取消しを求める審査請求	審 理 継 続 中
市府民税の滞納による差押処分の取消しを求める審査請求	審 理 継 続 中

## 6 庁舎管理事務

### (1) 庁舎等の管理運営

庁舎及び敷地内の良好な環境維持と安全確保を図るため、庁舎清掃業務やエレベーター保守業務などの維持管理業務を行った。



(2) 庁舎立入等許可

庁舎内への立入等許可については、259件の申請を受理し、その全てについて許可を行った。

(3) 電話交換事務

平成28年度の着信実績（月平均）は、次のとおりであった。

（業務時間内 8：45～17：15）

（単位：件）

区 分	月 平 均
応 答 数	1 2 , 6 6 2

(4) 庁舎案内事務

来庁者へのサービス向上を目指し、月平均1,367件の案内事務を処理した。

（単位：件）

庁 舎 案 内 処 理 月 平 均 集 計	
庁 舎 案 内	9 1 0
所在地（公共機関等）案内	8 3
市・府営住宅入居募集問合せ	2 3
そ の 他	3 5 1

(5) セキュリティワイヤーの設置

執務室内のパソコンの盗難及び情報漏洩を防止する観点からセキュリティワイヤーを設置し、情報セキュリティの向上に努めた。

## 7 公用車管理事務

公務を迅速かつ効率的に遂行するため、公用車の適正な維持管理に努めた。

車両（平成29年3月31日現在の公用車保有台数）

（単位：台）

区 分	平成27年度末		平成28年度中増減		平成28年度末	
	台 数	うち消防団車両	増（購入等）	減（廃車等）	台 数	うち消防団車両
四 輪 （軽以外）	30	12	1	0	31	12
軽 四 輪	28	1	6	2	32	1
二 輪 （原 付）	14	0	0	0	14	0

## 8 事故に伴う事務

### (1) 損 害 賠 償

公務中に公用車による損害賠償を伴う事故で、平成28年度中に相手方と示談が成立した結果、損害賠償額は次のとおりである。

示 談 件 数 (件)	損 害 賠 償 額 (円)
4	537,795

### (2) 保険加入状況（平成28年度加入分）

保有する公用車は全国市有物件自動車損害共済に加入し、共済（保険料）分担金として1,010,757円を納めた。また、年度途中の廃車に伴い、共済（保険料）分担金28,248円の返戻があった。

## 9 公有財産に係る事務

### (1) 財産異動報告（四條畷市財務規則第127条第1項）

平成28年度中に次のとおり財産の異動があった。

土 地	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 四條畷南小学校用地内の里道・水路を表示登記したことに伴い、小学校用地が310.48㎡増加した。</li> <li>• 四條畷中学校用地内の里道・水路を表示登記したことに伴い、中学校用地が360.00㎡増加した。</li> <li>• 四條畷南中学校用地内の里道・水路を表示登記したことに伴い、中学校用地が729.00㎡増加した。</li> <li>• 四條畷西中学校用地内の里道・水路を表示登記したことに伴い、中学校用地が435.00㎡増加した。</li> <li>• 児童発達支援センター用地内の一部を分筆登記し道路及び普通財産に異動したことに伴い、児童発達支援センター用地の面積が261.59㎡減少した。</li> <li>• 児童発達支援センターの供用開始に伴い、くすの木園跡地（607.88㎡）の財産区分を行政財産から普通財産に異動した。</li> <li>• 児童発達支援センターの供用開始に伴い、子育て総合支援センター跡地（1481.37㎡）の財産区分を行政財産から普通財産に異動した。</li> <li>• 南野五丁目地内の法定外公共物を表示登記したことに伴い、普通財産の面積が64.00㎡増加した。</li> </ul>
建 物	<ul style="list-style-type: none"> <li>• くすの木園の園舎を除却したことに伴い、延床面積が226.90㎡減少した。</li> <li>• 子育て総合支援センターの園舎を除却したことに伴い、延床面積が479.48㎡減少した。</li> </ul>

### (2) 普通財産管理

管理する普通財産のうち、次のとおり財産の運用を行った。

区 分	件 数	合計面積	合計金額	備 考
貸 付	6 件	5,285.75㎡	18,042,080円	警察跡地駐車場貸付等
処 分	0 件	—	—	

### (3) 行政財産使用許可

許 可 申 請 件 数	許 可 件 数
1 6 件	1 6 件

(4) いきいき交流スペースの使用許可

障がい者の就労支援及び社会参加の促進、並びに市民の利便性の向上を図るため、市役所北別館内の一室を活用し、目的外使用として使用を許可した。

使 用 団 体

障がい者授産施設	2 団体
民間（パン販売）	1 団体
そ の 他	1 団体

(5) 保険加入状況（平成28年度加入分）

区 分	加 入 対 象	共済（保険料）分担金 （円）
全国市有物件建物総合損害共済	市の施設等 54件 121,054㎡	1,925,494
全国市長会公金総合保険	公金（歳入の20%を限度）	129,444
全国市長会市民総合賠償補償保険	市施設、自治体業務、市が主催するイベント等	957,885

(6) 全国市長会市民総合賠償補償保険

住民活動中の不慮の事故に対する補償制度として実施している全国市長会市民総合賠償補償保険の適切な運用に努め、次のとおり処理した。

区 分	請 求 件 数 （件）	給 付 金 額 （円）
通 院	1	5,000

(7) 公共施設等総合管理計画策定に向けた取組み（平成27年度からの継続事業）

計画の策定にあたり、まちづくりを担う市民と行政が協働で取り組むべきとの考えから、以下の取組みを実施し、平成28年12月に四條畷市公共施設等総合管理計画を策定した。

件名	実施時期	内容
公共施設に関するアンケート	平成28年4月	無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に、公共施設の利用状況や様々な方策に対してのご意見を伺うためアンケート票を発送し、統計的手法により集計を行った。 <b>■</b> 発送数 2,000票 <b>■</b> 回収数 484票
市民まちづくりワークショップ	平成28年5月 ） 平成28年9月	市民20人と市職員10人が出席するワークショップを6回開催し、公共施設の課題や課題に対する解決方法、施設の跡地活用や複合化などについて、意見交換を行った。 <b>■</b> 第1回 公共施設の現状分析と課題抽出 <b>■</b> 第2回 公共施設の現状分析と課題抽出 <b>■</b> 第3回 課題に対しての解決方法の抽出 <b>■</b> 第4回 施設類型ごとの方針についての意見交換 <b>■</b> 第5回 施設の複合化及び跡地の活用方法の意見交換 <b>■</b> 第6回 施設の複合化及び跡地の活用方法の意見交換
市民意見公募手続	平成28年10月 ） 平成28年11月	公共施設に関するアンケート及び市民まちづくりワークショップの意見を踏まえて計画（原案）を策定し、市民意見公募手続により、左記の期間に市民意見を募集した結果、意見は0件であった。

(8) 固定資産台帳の整備に向けた取組み（平成27年度からの継続事業）

平成28年3月31日現在を基準日とした固定資産台帳の整備を図るため、各課が所管する資産の棚卸を行い、棚卸資産をそれぞれ固定資産として評価し、固定資産台帳の整備を行った。

## 10 施設営繕事務

施設本来の機能を維持するとともに施設利用者の安全性の確保を図るため、各課からの依頼に基づき、施設の営繕作業を行った。

### (1) 施設・依頼内容別件数（平成29年3月31日現在）

平成28年度の依頼内容は次のとおりである。

(単位：件)

	市役所	出先機関	保育所	合計
修理 (建物・設備・水道・排水・ 備品等の修繕)	76	28	36	140
整備 (移設・設置・改良・撤去・ 草刈り・剪定など)	60	26	28	114
製作 (備品・看板等の製作)	10	1	2	13
その他	0	0	0	0
合計	146	55	66	267

### (2) 処理状況（平成29年3月31日現在）

平成28年度の処理状況は次のとおりである。

(単位：件)

完了	252	
未完了	7	
修理不可能	5	(業者依頼を含む。)
依頼取下げ・異常なし	3	(保留を含む。)
合計	267	

## 11 議会設備改修事務

市庁舎本館3階議場の音響設備の老朽化が進んでいたことから、設備の更新を行い音環境の向上を行った。

## 12 市営住宅管理事務

### (1) 管理戸数

平成29年3月31日時点での管理戸数は、次のとおりである。

(単位：戸)

昭和28年度建設	7
昭和29年度建設	3
計	10

### (2) 入所者数

平成29年3月31日時点での入居者数は、次のとおりである。

(単位：人)

	世帯主		世帯主以外の 入居者	入居者数
		うち単身		
19歳以下	0	0	2	2
20～29歳	0	0	1	1
30～39歳	0	0	0	0
40～49歳	2	1	4	6
50～59歳	0	0	2	2
60～64歳	1	0	0	1
65歳以上	7	3	4	11
計	10	4	13	23

# 人 事 課

## 1 給与支給・任用管理事務

### (1) 採用

平成28年度については、下表のとおり必要な職員の確保を行った。

(単位：人)

区 分		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
一般行政職	一般事務職	8	15	7	
	技術職	社会福祉士	1	3	4
		土木・建築	1 (1)	1 (1)	3
		環 境	1 (1)		
税 務 職		3	2	2	
医 療 技 術 職				1	
看 護 ・ 保 健 職		2	1	1	
福 祉 職		6		2	
企 業 職		1	2 (1)		
技 能 労 務 職					
幼 稚 園 教 育 職				2	
そ の 他 教 育 職		3 (3)	3 (3)	3 (3)	
合 計		26 (5)	27 (5)	25 (3)	
う ち 男		10 (3)	11 (4)	10 (2)	
う ち 女		16 (2)	16 (1)	15 (1)	

(注) ・ ( ) 内は、指導主事、大阪府及び大阪広域水道企業団からの派遣職員を内書。

・ 育児休業代替任期付職員 (平成26年度は3人、平成27年度は1人、平成28年度は6人) を含む。



## (2) 退職

## ① 退職事由別退職者数

(単位：人)

区分	退職事由	男	女	計	平成27年度
一般職	勤続25年未満の自己都合	1	4	5	9 (1)
	公務外死亡・公務外傷病				2
	勤続20年以上25年未満の勸奨 勤続25年以上の自己都合		1	1	
	公務上の死傷病 勤続25年以上の勸奨・整理				1
	定年	3		3	11
	その他	3 (3)	6 (1)	9 (4)	3 (3)
特別職	任期満了	1		1	
	その他	2		2	
合計		10 (3)	11 (1)	21 (4)	26 (4)

(注) ・ ( ) 内は、指導主事、大阪府及び大阪広域水道企業団からの派遣職員を内書。  
 ・ 育児休業代替任期付職員 (5人) を含む。

## ② 年齢別退職者数

(単位：人)

区分	退職者数 (A) + (B)	手当を支給 された職員 (A)	手当を支給されない職員			
			計 (B) (C) ~ (E)	在職期間 6月未満の者 (C)	在職期間通算 による者等 (D)	支給制限 規定該当者 (E)
20歳未満						
20歳以上25歳未満						
25歳以上30歳未満	1	1				
30歳以上35歳未満	4	3	1		1	
35歳以上40歳未満	4 (2)	1	3 (2)		3 (2)	
40歳以上45歳未満	2	2				
45歳以上50歳未満	3 (2)	1	2 (2)		2 (2)	
50歳以上55歳未満						
55歳以上60歳未満	1	1				
60歳	3	3				
61歳以上	3	3				
合計	21 (4)	15	6 (4)		6 (4)	

(注) ・ ( ) 内は、指導主事、大阪府及び大阪広域水道企業団からの派遣職員を内書。  
 ・ 育児休業代替任期付職員 (5人) を含む。

## (3) 任 免

(単位：人)

区 分	採 用	昇 任	異 動	休 職 (※延べ人数)	退 職
平成28年4月	22 (3)	37	39	4	
5月	2			7	
6月					1
7月				6	
8月				1	1
9月				4	1
10月				2	
11月				5	
12月	1			3	
平成29年1月				6	2
2月		6	4	3	1
3月				3	15 (4)
合 計	25 (3)	43	43	44	21 (4)

- (注) ・特別職は除く。  
 ・( )内は、指導主事、大阪広域水道企業団及び大阪府からの派遣職員を内書。  
 ・育児休業代替任期付職員(採用6人)を含む。  
 ・平成28年度に再任用職員として任用した者は38人。  
 ・水道事業の大阪広域水道企業団への統合に伴い、平成29年3月31日をもって企業職員17人(再任用職員を含む)を割愛とした。

(4) 給 与

本市の財政事情を考慮し、特別職の給与について、下記①のとおり平成11年度から引き続き減額措置を実施し、その抑制に努めた。

① 特別職の減額措置

ア 平成17年度まで

区 分	給 料 月 額	平 成 1 1 年 度 从 平 成 1 4 年 度 まで	平 成 1 5 年 度 从 平 成 1 7 年 度 まで
市 長	920,000円	給料月額の10%減額 (828,000円)	給料月額の20%減額 (736,000円)
助 役	790,000円	給料月額の10%減額 (711,000円)	給料月額の15%減額 (671,500円)
収 入 役	730,000円	給料月額の10%減額 (657,000円)	給料月額の15%減額 (620,500円)
教 育 長	730,000円	給料月額の10%減額 (657,000円)	給料月額の15%減額 (620,500円)

(注) ( )内の額は減額後の給料月額

イ 平成24年度まで

区 分	給 料 月 額	平 成 1 8 年 度 从 平 成 2 3 年 度 まで	平 成 2 4 年 度
市 長	920,000円	給料月額の30%減額 (644,000円)	給料月額の15%減額 (782,000円)
副 市 長 (助 役)	790,000円	給料月額の20%減額 (632,000円)	給料月額の10%減額 (711,000円)
教 育 長	730,000円	給料月額の20%減額 (584,000円)	給料月額の10%減額 (657,000円)

(注) ( )内の額は減額後の給料月額

ウ 平成 25 年度

区 分	給 料 月 額	平 成 2 5 年 度
市 長	920,000円	給料月額の30%減額 (644,000円)
副 市 長	790,000円	給料月額の10%減額 (711,000円)
教 育 長	730,000円	給料月額の10%減額 (657,000円)

(注) ( )内の額は減額後の給料月額

エ 平成26年度から

区 分	給 料 月 額	平 成 2 6 年 度 从
市 長	920,000円	給料月額の30%減額 (644,000円)
副 市 長	790,000円	給料月額の20%減額 (632,000円)
教 育 長	730,000円	給料月額の20%減額 (584,000円)

(注) ( ) 内の額は減額後の給料月額

② 初任給の状況 (平成28年4月1日現在)

区 分	行 政 職		
		改 定 前	改 定 後
大 卒	1 級 2 9 号 給	1 8 3 , 3 0 0 円	1 8 4 , 8 0 0 円
短 大 卒	1 級 2 1 号 給	1 6 6 , 1 0 0	1 6 7 , 6 0 0
高 卒	1 級 1 3 号 給	1 5 4 , 3 0 0	1 5 5 , 8 0 0

※平成28年12月に条例改正を行い、平成28年4月に遡及して人事院勧告に基づく給料表の改定を行った。

③ ラスパイレス指数の状況

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ラスパイレス指数	102.0 ( 94.2)	101.5 ( 93.7)	94.0	95.1	94.1

(注) ラスパイレス指数とは、一般行政職について、地方公務員と国家公務員の給与水準を国家公務員の構成を基準として、学歴別、経験年数別に平均給与額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示したものです。

( ) 内の数値は国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特別措置法による措置がないものとした場合の値です。

④ 地 域 手 当

区 分	支 給 率	
	平 成 2 7 年 度	平 成 2 8 年 度
地 域 手 当	5 %	6 %

※平成28年3月に給与条例の改正を行い、人事院勧告に基づき支給率を変更した。

⑤ 職種別職員数及び1人当たり平均給料月額状況

区 分	平成26年4月1日現在		平成27年4月1日現在		平成28年4月1日現在		給料月額 増 加 率
	職員数 (平均年齢)	給 料 月 額 1人当たり	職員数 (平均年齢)	給 料 月 額 1人当たり	職員数 (平均年齢)	給 料 月 額 1人当たり	
一 般 行 政 職	184人 (39.8)歳	2,911百円	194人 (38.6)歳	2,852百円	193人 (38.6)歳	2,829百円	△0.8%
税 務 職	21 (34.7)	2,556	19 (35.8)	2,440	19 (35.3)	2,431	△0.4
医 療 技 術 職	3 (43.7)	2,635	2 (36.1)	2,650	2 (37.1)	2,704	2.0
看 護 ・ 保 健 職	15 (40.2)	2,775	14 (39.8)	2,856	15 (42.1)	2,943	2.7
福 祉 職	43 (40.1)	2,818	40 (40.4)	2,866	40 (40.4)	2,831	△1.2
技 能 労 務 職	24 (51.3)	3,208	21 (51.1)	3,131	20 (51.7)	3,070	△1.9
幼 稚 園 教 育 職	6 (40.9)	2,917	7 (39.3)	2,818	6 (42.4)	2,965	5.2
そ の 他 教 育 職	10 (43.3)	3,670	9 (40.5)	3,687	9 (42.4)	3,790	2.8
企 業 職	25 (45.7)	3,280	26 (46.0)	3,390	26 (46.8)	3,288	△3.0
合 計	331 (40.9)	2,940	332 (40.2)	2,861	330 (40.4)	2,890	1.0

(注) ・くすのき広域連合などへの派遣職員は除く。  
 ・任期付フルタイム勤務職員を含む。

⑥ 級別職員数の状況

ア 行政職等給料表

区 分		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	合計
平成27年 4月1日現在	人 人員	55	93	49	43	23	48	8	11	330
	% 比率	16.6	28.2	14.9	13.0	7.0	14.6	2.4	3.3	100.0
平成28年 4月1日現在	人 人員	48	96	49	37	35	47	8	10	330
	% 比率	14.5	29.1	14.9	11.2	10.6	14.3	2.4	3.0	100.0

イ 任期付職員行政職給料表

区 分		1 級	2 級	3 級	4 級	合 計
平成27年 4月1日現在	人 人員	0	0	2	0	2
	% 比率	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
平成28年 4月1日現在	人 人員	0	0	0	0	0
	% 比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦ 人件費の内訳

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度増減額
1 議員報酬手当	110,596	111,466	△870
2 委員等報酬	236,053	259,305	△23,252
3 市町村長等特別職の給与	32,483	33,540	△1,057
4 職員給	1,875,283	1,826,289	48,994
(1) 基本給	1,250,508	1,212,073	38,435
(ア) 給料	1,149,062	1,122,854	26,208
(イ) 扶養手当	27,304	28,847	△1,543
(ウ) 地域手当	74,142	60,372	13,770
(2) その他の手当	624,775	614,216	10,559
(ア) 住居手当	20,560	20,161	399
(イ) 通勤手当	18,249	17,021	1,228
(ウ) 特殊勤務手当	850	899	△49

(単位：千円)

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	対前年度増減額
(エ) 時間外勤務手当	82,460	93,727	△11,267
(オ) 宿日直手当	0	0	0
(カ) 管理職手当	59,957	56,301	3,656
(キ) 管理職特別勤務手当	2,235	3,338	△1,103
(ク) 期末勤勉手当	440,464	422,769	17,695
(ケ) その他	0	0	0
(3) 臨時職員給与	0	0	0
5 地方公務員共済組合等 負担金	369,010	399,345	△30,335
6 退職金	96,538	181,723	△85,185
(1) 退職手当	96,538	181,723	△85,185
(2) 退職手当組合負担金	0	0	0
7 恩給及び退職年金	0	0	0
8 災害補償費	2,285	1,965	320
(1) 地方公務員災害補償 基金負担金	2,245	1,937	308
(2) その他	40	28	12
9 職員互助会補助金	1,460	1,394	66
10 その他	39,422	33,568	5,854
人件費合計(1~10)	2,763,130	2,848,595	△85,465
事業費支弁に係る 職員の人件費	29,766	34,182	△4,416

## 2 定員管理事務

### (1) 定数及び職員数

簡素で効率的な行政運営を図るため、適正な人員管理に努めた。

(単位：人)

区 分	平成26年4月1日		平成27年4月1日		平成28年4月1日	
	定 数	現 員	定 数	現 員	定 数	現 員
市長事務部局	306	249	306	257	306	254
議会事務局	5	5	5	5	5	4
選挙管理委員会	2	1	2	1	2	1
公平委員会	1	1	1	1	1	1
監査委員	2	1	2	1	2	1
農業委員会	1	1	1	1	1	1
教育委員会	75	48	75	40	75	42
上下水道局	40	25	40	26	40	26
合 計	432	331	432	332	432	330
総 人 口	56,812		56,455		56,207	
人口1,000人当たり職員数	5.8		5.9		5.9	

(注) くすのき広域連合などへの派遣職員は除く。  
任期付フルタイム職員を含む。

### (2) 採 用 試 験

府内統一試験を行い人材確保に努めた。

区 分	実 施 年 月 日	最終合格者数	
競争試験 (府内統一試験)	平成28年9月20日	6	事務職A (大学卒業程度)
		2	事務職B (高校卒業・短期大学卒業程度)
		4	事務職C (保育士・幼稚園教諭)
		1	事務職D (社会福祉士)
		2	事務職E (保健師)
		1	事務職F (土木)
		1	事務職G (建築)



### 3 職員研修事務

#### 基本研修等

職員の能力向上を図り、限られた職員数で行政サービスの維持・向上を目的として人権研修や管理職、一般職員等を対象とした研修を下表のとおり実施した。

また、市町村職員研修研究センター（マッセOSAKA）の法律研修や各種実務研修などに56課程延べ97人、講座・セミナーに6課程11人、研究会に3課程4人、eラーニングに7課程延べ130人が参加した。その他、全国市町村国際文化研修所（JIAM）・市町村職員中央研修所（JAMP）・社団法人日本経営協会・財団法人大阪府都市整備推進センター・社会福祉法人全国手話研修センターの専門研修に8課程11人が参加した。

研修内容	受講対象者	研修期間	受講者数
新規採用職員研修	新規採用職員	平成28年4月1日～6日 平成28年10月24日～10月28日 平成28年11月4日・10日・12日 平成28年11月14日・17日・ 18日・21日・22日	16人
人事評価基礎研修	主任級に昇任した職員	平成28年5月9日	9
自動車安全運転講習会	全職員	平成28年6月17日	31
政策形成研修	全職員	平成28年7月6日～12月28日	7
食中毒予防講演会	給食配膳等に関わる職員	平成28年7月28日	32
管理職マネジメント研修 （4市合同研修）	平成26年度以降課長級に昇任した職員	平成28年7月28日	4
文書構成力向上研修	全職員	平成28年9月6日	16
人事評価研修	主任級以上の職員	平成28年9月23日・29日	66
組織内コミュニケーション研修 （河北研修協議会）	全職員	平成28年12月13日	4
キラッと光る「女性活躍」 組織づくりセミナー （河北研修協議会）	主査級以上の職員	平成29年1月20日	4
人権研修	全職員	平成29年1月23日 2月1日・7日・13日	402
接遇研修 （聴覚障がい者への対応）	全職員	平成29年2月2日・14日	30
人権・同和問題研修	新規採用職員	平成29年2月22日	15

#### 4 健康管理事務

##### 健康管理

職員の健康管理を目的として、全職員を対象に定期健康診断及び胃検診（30歳以上）のほか、従業務の特殊性に応じた薬剤散布従事者健診、破傷風予防接種を実施した。

また、職員自身のストレスへの気づきを促し、職場環境の改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって、職員のメンタル不調を未然に防止すること（一次予防）を目的にストレスチェックを実施した。

#### 5 公務災害等事務

##### 公務災害認定件数

職員の公務上の災害又は通勤による災害に対し、地方公務員災害補償基金などと連携し災害に対する補償を行った。

(単位：人)

区分	認定件数			傷病の程度		被災職員内訳	
	公務災害	通勤災害	計	加療 1月未満	加療 1月以上	技能職員	その他
平成28年4月							
5月							
6月	1		1	1			1
7月	1		1	1			1
8月	1		1		1		1
9月							
10月							
11月							
12月							
平成29年1月	2		2	1	1	2	
2月	1		1	1			
3月							1
合計	6	0	6	4	2	2	4
平成27年度	2	1	3	2	1	0	3
増減	4	△1	3	2	1	2	1

## 6 職員福利厚生事務

地方公務員法第42条の規定に基づく職員の福利厚生事業の計画とその実施については、職員の相互共済及び福利増進を目的として組織されている四條畷市職員桜楓会に委託し、事業費補助を行った。

四條畷市職員桜楓会が実施した事業のうち補助対象となった主な事業は下記のとおり。

会員相互の親睦を図るためのレクリエーション及び会員の文化教養、健康の維持・増進を図るための事業

(単位：人)

事業内容	実施時期	参加人数
ボウリング大会	平成28年7月19日～22日	246
日帰り旅行	平成28年8月28日・9月4日	174

## 7 人事評価制度

人事評価制度は、コミュニケーション・ツールと位置付け、①組織マネジメントの向上 ②人材育成 ③継続的な業績を達成する組織づくり ④挑戦する組織風土の4つを目的に実施している。平成28年度については、評価期間を上半期と下半期に分け全職員を対象に実施した。

なお、課長代理級以上の職員については、人事評価の結果を平成28年度の勤勉手当の成績率及び昇給に反映させた。

## 8 ワークライフバランスの推進

ゆう活（朝型勤務）の実施

職員の健康増進や働き方の見直しを目的に、日照時間が長い夏には、朝早い時間に働き始め、早めに仕事を終えることで、まだ明るい夕方の時間を有効に活用できるよう、7月～9月の間「ゆう活（朝型勤務）」を実施した。（10人、述べ14日）

## 9 障害者差別解消法に基づく要領策定

障害者差別解消法の施行に伴い、「不当な差別的取扱い」の禁止及び「合理的配慮」の提供などについて、適切に対応するため「四條畷市における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を4月に策定した。

# 財 政 課

## 1 予算編成事務

平成28年度の予算編成にあたっては、平成27年度予算に掲げられた各種施策を継続しつつ、「第6次総合計画」の初年度として、計画に位置付けた施策の着実な推進と、子育て支援、通学の安全対策、学力の向上に力点を置いた、本市の独自性を発揮できる内容の予算とした。

新規施策としては、防犯カメラ設置事業、市立認定こども園の開園準備事業、民間保育所の保育士宿舍借上げ支援事業、英語教育推進事業などに係る予算の計上を行った。また、拡充施策としては、「つどいの広場」を岡山一丁目に増設したほか、学校図書館支援事業を西部地域の小学校2校で実施するなどに係る予算の計上など、限られた財源のなかで市民満足度が高い施策への予算の充実を図った。

一般会計当初予算額は199億1,596万1千円で、前年度に比べ1億5,820万2千円、0.8%の減となった。以後、必要に応じて第1号～10号まで予算の補正を行った結果、最終予算額は214億3,991万5千円となり、当初予算に比べ15億2,395万4千円、7.7%の増となった。また、厳しい財政状況を踏まえ、各所管課において自らの創意工夫による経費の節減や収入の確保を行った場合、その額の一部を翌年度予算における奨励として再配分し、自由度が高い事業実施を行えるようにするインセンティブ予算制度を創設した。平成29年度予算から反映させるため各課から申請を受け、審査を行った。

## 2 地方交付税事務

地方交付税の配分を受けるにあたり、配分の基礎となる各種数値の適正な把握を行い、算定を行った。

普通交付税は、33億5,536万8千円で、前年度に比べ2億4,798万6千円、6.9%の減となった。普通交付税が減となった主な要因は次のとおりである。

基準財政需要額における個別算定経費（公債費除き）では、高齢者数の増加による高齢者保健福祉費の増があったものの、過去に発行した市債の算入終了によるその他土木費の減、被生活保護者数の減少による生活保護費の減などにより、前年度に比べ1億7,563万6千円、2.3%減の75億1,979万6千円となった。

個別算定経費（公債費）では、公害防止事業債償還費が減となったものの、臨時財政対策債

償還費の増などにより、3,814万7千円、3.7%増の10億6,515万2千円となった。

包括算定経費では、給与関係経費の減などにより、7,615万円、6.1%の減となり、基準財政需要額から振り替えられる臨時財政対策債振替相当額は、2億30万4千円、23.4%減の6億5,434万6千円となった。

これらの結果、基準財政需要額全体では、91億1,305万7千円となり、前年度（除錯誤）に比べ1,333万5千円、0.1%の減となった。

一方、基準財政収入額は、普通交付税の算定ベースにおいて、利子割交付金等が減となったものの、大型商業施設の資産の増加に伴う固定資産税（償却資産）の増収などの影響により市税が増となったことにより、基準財政収入額全体では、57億5,019万2千円となり、前年度（除錯誤）に比べ2億3,514万1千円、4.3%の増となった。

以上のことから、基準財政需要額は減となり、基準財政収入額は増となったため、算定された普通交付税は減となった。

特別交付税は、3億5,847万円の前年度に比べ1,007万3千円、2.7%の減となった。

(1) 基準財政需要額の状況

(単位：千円)

区 分	平成28年度 A	平成27年度 B	A - B	A / B × 100
個別算定経費 (a) (公債費除き)	7,519,796	7,695,432	△175,636	97.7
個別算定経費 (b) (公債費)	1,065,152	1,027,005	38,147	103.7
包括算定経費 (c)	1,182,455	1,258,605	△76,150	93.9
臨時財政対策債振替相当額 (d)	654,346	854,650	△200,304	76.6
小計 (a) + (b) + (c) - (d)	9,113,057	9,126,392	△13,335	99.9
錯誤措置額	0	1,570	△1,570	—
合計	9,113,057	9,127,962	△14,905	99.8

## (2) 基準財政収入額の状況

(単位：千円)

区 分	平成28年度 A	平成27年度 B	A - B	A / B × 100
市 税	4,603,510	4,496,354	107,156	102.4
利 子 割 交 付 金	15,379	20,404	△5,025	75.4
配 当 割 交 付 金	56,933	31,805	25,128	179.0
株式等譲渡所得割交付金	46,129	13,985	32,144	329.8
地 方 譲 与 税	98,383	97,863	520	100.5
地 方 消 費 税 交 付 金	841,588	767,421	74,167	109.7
市 町 村 交 付 金	10,330	10,629	△299	97.2
ゴルフ場利用税交付金	20,074	20,141	△67	99.7
自動車取得税交付金	22,668	21,452	1,216	105.7
地方特例交付金等	27,035	26,217	818	103.1
交通安全対策特別交付金	8,163	8,780	△617	93.0
小 計	5,750,192	5,515,051	235,141	104.3
錯 誤 措 置 額	0	9,557	△9,557	—
合 計	5,750,192	5,524,608	225,584	104.1

## (3) 年度別地方交付税の状況

(単位：千円)

項目	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率
基準財政需要額 A	8,769,549	△0.6	8,784,574	0.2	8,782,900	0.0	9,126,392	3.9	9,113,057	△0.1
錯誤措置額 B	0	-	18,622	-	0	-	1,570	-	0	-
基準財政需要額 (A + B) C	8,769,549	△0.5	8,803,196	0.4	8,782,900	△0.2	9,127,962	3.9	9,113,057	△0.2
基準財政収入額 D	5,046,682	△2.9	5,117,123	1.4	5,257,009	2.7	5,515,051	4.9	5,750,192	4.3
錯誤措置額 E	0	-	△805	-	0	-	9,557	-	0	-
基準財政収入額 (D + E) F	5,046,682	△3.0	5,116,318	1.4	5,257,009	2.7	5,524,608	5.1	5,750,192	4.1
交付基準額 (C - F) G	3,722,867	3.1	3,686,878	△1.0	3,525,891	△4.4	3,603,354	2.2	3,362,865	△6.7
調整額 H	0	-	0	-	0	-	0	-	7,497	-
交付決定額 (G - H) I	3,722,867	3.1	3,686,878	△1.0	3,525,891	△4.4	3,603,354	2.2	3,355,368	△6.9
特別交付税額 J	407,752	0.6	401,452	△1.5	368,034	△8.3	368,543	0.1	358,470	△2.7
交付税額計 (I + J) K	4,130,619	2.8	4,088,330	△1.0	3,893,925	△4.8	3,971,897	2.0	3,713,838	△6.5
財政力指数 (D / A) L	0.575	-	0.583	-	0.599	-	0.604	-	0.631	-

## 3 地方債事務

持続可能で健全な財政運営を行うため、適正な地方債の発行及び償還管理を行った。

一般会計における地方債の新規発行額（借換債は除く「以下同じ」）は、10億3,290万円で、前年度に比べ3億9,720万円、27.8%の減となった。

この主な要因は、四條畷中学校・四條畷西中学校施設整備事業により教育債が増加したものの、児童発達支援センター等の新築事業が減少したことにより民生債が減少したことなどによる。

新規発行額に占める資金区分の構成割合については、公的資金99.9%（前年度83.8%）、民間資金等0.1%（前年度16.2%）となり、大部分が財政融資資金などの公的資金となった。

償還管理では、将来の財政負担の軽減を図るため大阪府市町村施設整備資金貸付金を7,936万5千円繰上償還した。

一般会計地方債の借入状況

区 分	事 業 名	借 入 先 別 内 訳		償 還 方 法	
		借 入 先	金額 (千円)	利率 (%)	償還年限 (年)
民 生 債	児童発達支援センター・子育て総合支援センター新築事業	地方公共団体 金融機構	2,300	0.10	20
		信用金庫	800	0.09	10
土 木 債	四條畷市総合公園整備事業	財 務 省	90,000	0.30	20
	道路等整備・改良事業	財 務 省	7,000	0.09	15
教 育 債	市民総合体育館照明LED化事業	地方公共団体 金融機構	19,300	0.09	15
	市民総合センター非常用 発電装置取替事業	地方公共団体 金融機構	20,500	0.09	15
	岡部小屋内運動場トイレ改修事業	財 務 省	1,700	0.50	25
	南小防火シャッター設置事業	財 務 省	3,700	0.01	8
	畷中・西中施設整備事業	財 務 省	233,400	0.50	25
臨時財政 対策債	臨 時 財 政 対 策 債	財 務 省	404,000	0.03	※ 20 (1)
		地方公共団体 金融機構	250,200	0.03	※ 20 (1)
小 計			1,032,900		
借 換 債	平 成 28 年 度 借 換 債	都 市 銀 行	493,500	1.15	10
			26,900	1.05	5
		信 用 金 庫	334,500	0.09	10
小 計			854,900		
合 計			1,887,800		

注1：償還年限の（ ）は、据置期間

2：（※）の市債については、10年後利率見直しを行う。



#### 4 財政運営事務

一般会計の決算見込額は、歳入201億7,627万円、歳出197億3,473万6千円、歳入歳出差引4億4,153万4千円で、翌年度に繰り越すべき財源124万1千円を差し引いた実質収支額は4億4,029万3千円となり、単年度収支は、6,929万4千円の赤字となった。

財政基盤の強さを示す指標である財政力指数は、0.631と前年度より0.027ポイント改善した。また、財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、93.5%と前年度より1.5ポイント悪化した。

公債費に係る公債費比率、起債制限比率については、それぞれ9.3%、8.9%となった。

#### 決算の推移

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
歳入合計	18,822,132	18,633,437	20,272,427	20,252,210	20,176,270
歳出合計	18,290,302	17,995,162	19,751,112	19,741,214	19,734,736
歳入歳出差引額	531,830	638,275	521,315	510,996	441,534
翌年度へ繰り越すべき財源	5,709	101,322	95,445	1,409	1,241
実質収支	526,121	536,953	425,870	509,587	440,293
単年度収支	△11,759	10,832	△111,083	83,717	△69,294
財政力指数	0.575	0.583	0.599	0.604	0.631
経常収支比率%	96.1	93.4	98.5	92.0	93.5
公債費比率%	16.5	14.7	12.9	11.3	9.3
起債制限比率 (3ヵ年平均)%	13.4	12.9	11.7	10.1	8.9



## 5 基金管理事務

将来への備えとして計画的に基金への積立てを行い、健全な財政運営を図るため、適正な基金の管理に努めた。

一般会計の基金の状況は、公共施設整備基金、退職手当基金などに合計3億6,214万3千円を積立てるとともに、繰替運用（基金からの長期借入）を行っている公共施設整備基金、福祉基金などに合計1,010万円を返済計画に基づき返済し、完済した。

また、退職手当の財源の一部として退職手当基金から5,000万円、福祉及び緑化事業の財源の一部として福祉基金から257万1千円、緑化基金から53万9千円の合計5,311万円の取崩しを行った。

この結果、平成28年度末（3月31日現在）の基金現在高は、40億6,054万円となり、前年度末（3月31日現在）に比べ4億8,197万円、13.5%の増となった。

なお、出納整理期間中において、地方財政法の規定に基づき、平成27年度決算繰越金の2分の1にあたる2億5,479万4千円を財政調整基金に積み立てるとともに、財政状況を見つつ今後の公共施設の更新等への財源とするため、公共施設整備基金に1億円を積み増したため、5月31日現在での基金現在高は、44億1,533万4千円となった。

### 基金の状況（一般会計）

年 度 項 目	平成27年度（平成28年5月31日現在）			平成28年度		
	残 高 A	うち借入額残高 B	実 質 残 高 C : (A - B)	積 立 額 D	取 崩 額 E	借入返済額 F
財政調整基金	1,616,458	0	1,616,458	1,017	0	0
減 債 基 金	51,212	0	51,212	42	0	0
公 共 施 設 整 備 基 金	903,506	2,100	901,406	300,269	0	2,100
退職手当基金	719,247	0	719,247	60,081	50,000	0
福 祉 基 金	314,515	3,000	311,515	583	2,571	3,000
緑 化 基 金	93,339	1,000	92,339	83	539	1,000
文 化 財 愛 護 基 金	53,230	4,000	49,230	68	0	4,000
合 計	3,751,507	10,100	3,741,407	362,143	53,110	10,100

(単位：千円)

(平成29年3月31日現在)			平成28年度(平成29年5月31日現在) 出納整理期間中の増減			
残高 G:(A+D-E)	うち借入額残高 H:(B-F)	実質残高 I:(G-H)	積立額 J	取崩額 K	残高 L:(G+J-K)	実質残高 M:(L-H)
1,617,475	0	1,617,475	254,794	0	1,872,269	1,872,269
51,254	0	51,254	0	0	51,254	51,254
1,203,775	0	1,203,775	100,000	0	1,303,775	1,303,775
729,328	0	729,328	0	0	729,328	729,328
312,527	0	312,527	0	0	312,527	312,527
92,883	0	92,883	0	0	92,883	92,883
53,298	0	53,298	0	0	53,298	53,298
4,060,540	0	4,060,540	354,794	0	4,415,334	4,415,334

## 6 財政健全化事務

次世代に負担を先送りしない持続可能な行財政構造への転換を図ることを目標とする「四條畷市行財政改革（後期プラン）【H24年度～H28年度】」に掲げた各種の取組みについての進行管理を行い、財政の健全化に取り組んだ。主な目標値に係る成果については次のとおりであり、全ての項目について目標は達成した。

### (1) 主な目標と成果

#### ① 実質収支黒字の堅持

(単位：百万円)

実質収支	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	実績値	537	526	537	426	509	440

#### ② 経常収支比率の改善 [平成28年度までに94%以下とする]

(単位：%)

経常収支比率	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	目標値	—	—	—	—	—	94.0
	実績値	97.7	96.1	93.4	98.5	92.0	93.5

#### ③ 市債（一般会計等）残高の減少

[平成28年度末までに平成22年度末対比で30%以上縮減する]

(単位：億円)

市債残高	年度	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末
	目標値	—	—	187	182	165	150	137
	実績値	195	190	181	173	170 (160)	167 (148)	160 (135)

※一般会計等とは、一般会計と土地取得特別会計を示す。

( )内の数値は、本プラン策定時点において見込んでいなかった臨時財政対策債の新規発行を除いた金額である。

#### ④ 財政調整基金残高の増加 [平成28年度末までに標準財政規模の10%以上とする]

(単位：百万円)

財政調整基金残高	年度	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末
	目標値	—	600	750	900	1,050	1,200
	実績値 [比率] (標準財政規模)	378 [3.3%] (11,288)	528 [4.7%] (11,251)	528 [4.6%] (11,391)	1,314 [11.7%] (11,276)	1,444 [12.6%] (11,448)	1,617 [14.3%] (11,336)

※3月末時点での残高としている。

## 税 務 課

### 【市税収入額等の状況】

#### ○ 収 入 済 額

平成28年度の市税の収入額（合計）は68億790万3千円となり、平成27年度の65億8,307万6千円と比較すると2億2,482万7千円の増となり、伸長率は3.4%の増となった。

（単位：千円）

収 入 済 額		現年課税分	滞納繰越分	合 計
平成28年度	A	6,713,827	94,076	6,807,903
平成27年度	B	6,483,122	99,954	6,583,076
差 引	C : A - B	230,705	△5,878	224,827
伸 長 率 (%)	D : C / B	3.6	△5.9	3.4

#### ○ 徴 収 率

平成28年度の徴収率（合計）は、96.5%となり、平成27年度の95.7%から0.8%上回った。

（単位：%）

徴 収 率		現年課税分	滞納繰越分	合 計
平成28年度	A	99.0	33.8	96.5
平成27年度	B	98.9	31.0	95.7
差 引	C : A - B	0.1	2.8	0.8

#### ○ 平成28年度の税目別市税収入額等

##### (1) 個人市民税

平成27年度と比較して納税義務者数の増等により均等割は108万1千円（1.3%）の増、所得割については、寄附金税額控除や社会保険料控除の増による減収要因はあるものの、総所得金額等の増により847万9千円（0.3%）の増となり合計では956万円（0.3%）増となった。

(単位：千円)

収入済額 (現年課税分+滞納繰越分)		均等割	所得割	合計
平成28年度	A	85,771	2,703,369	2,789,140
平成27年度	B	84,690	2,694,890	2,779,580
差引	C : A - B	1,081	8,479	9,560
伸長率 (%)	D : C / B	1.3	0.3	0.3

## (2) 法人市民税

平成27年度と比較して平成26年度税制改正による法人税割の税率引き下げによる減収の影響はあるものの、大規模商業施設開業等の影響により均等割で2,480万7千円(23.2%)、法人税割では1,554万1千円(9.4%)の増となり、合計では4,034万8千円(14.9%)の増となった。

(単位：千円)

収入済額 (現年課税分+滞納繰越分)		均等割	法人税割	合計
平成28年度	A	131,533	180,373	311,906
平成27年度	B	106,726	164,832	271,558
差引	C : A - B	24,807	15,541	40,348
伸長率 (%)	D : C / B	23.2	9.4	14.9

## (3) 純固定資産税

平成27年度と比較して地価の下落の影響等により土地は2,054万3千円(1.8%)の減となったものの、大規模商業施設建設等の影響により家屋で9,784万5千円(8.3%)、償却資産では1億372万5千円(52.9%)の増となり、合計では1億8,102万7千円(7.1%)の増となった。

(単位：千円)

収入済額 (現年課税分+滞納繰越分)		純固定資産税			
		土地	家屋	償却資産	合計
平成28年度	A	1,145,826	1,273,262	299,857	2,718,945
平成27年度	B	1,166,369	1,175,417	196,132	2,537,918
差引	C : A - B	△20,543	97,845	103,725	181,027
伸長率 (%)	D : C / B	△1.8	8.3	52.9	7.1

#### (4) 都市計画税

平成27年度と比較して地価の下落の影響等により土地は618万円（2.0%）の減、家屋は新築家屋の影響等により223万円（0.9%）の増となり、合計では395万円（0.7%）の減となった。

（単位：千円）

収入済額 (現年課税分+滞納繰越分)		土地	家屋	合計
平成28年度	A	302,431	242,700	545,131
平成27年度	B	308,611	240,470	549,081
差引	C : A - B	△6,180	2,230	△3,950
伸長率 (%)	D : C / B	△2.0	0.9	△0.7

#### (5) 軽自動車税

平成27年度と比較して税率改正の影響等により、1,627万3千円（26.7%）の増となった。

（単位：千円）

収入済額 (現年課税分+滞納繰越分)		軽自動車税
平成28年度	A	77,121
平成27年度	B	60,848
差引	C : A - B	16,273
伸長率 (%)	D : C / B	26.7

#### (6) 市たばこ税及び入湯税

市たばこ税は、平成27年度と比較して売渡し本数が減少したことにより1,806万4千円（4.9%）の減となった。

また、入湯税については、平成27年度と比較して3万1千円（1.8%）の増となった。

（単位：千円）

収入済額 (現年課税分+滞納繰越分)		市たばこ税	入湯税
平成28年度	A	350,143	1,743
平成27年度	B	368,207	1,712
差引	C : A - B	△18,064	31
伸長率 (%)	D : C / B	△4.9	1.8



## 1 市民税賦課事務

### (1) 個人の市民税の納税義務者等の概要

	均等割のみを納める者		均等割と所得割を納める者		
	納税義務者数 A	均等割額 B	納税義務者数 C	均等割額 D	所得割額 E
給与所得者	519人	1,816千円	18,125人	63,437千円	2,207,574千円
営業等所得者	159	557	1,123	3,930	139,177
農業所得者	0	0	1	4	32
その他の所得者	592	2,072	3,669	12,842	305,079
家屋敷等のみ	0	0	0	0	0
合計	1,270	4,445	22,918	80,213	2,651,862
平成27年7月1日現在 合 計	1,263	4,421	22,616	79,157	2,638,379
増 減	7	24	302	1,056	13,483

### (2) 法人市民税の均等割納税義務者数

法人の区分 (地方税法第312条第1項)	標準税率(年額)
第1号該当(資本金等の額1千万円以下で従業者数50人以下又は下記に掲げる法人以外の法人等)	50,000円
第2号該当(資本金等の額1千万円以下で従業者数50人超)	120,000
第3号該当(資本金等の額1千万円超1億円以下で従業者数50人以下)	130,000
第4号該当(資本金等の額1千万円超1億円以下で従業者数50人超)	150,000
第5号該当(資本金等の額1億円超10億円以下で従業者数50人以下)	160,000
第6号該当(資本金等の額1億円超10億円以下で従業者数50人超)	400,000
第7号該当(資本金等の額10億円超で従業者数50人以下)	410,000
第8号該当(資本金等の額10億円超50億円以下で従業者数50人超)	1,750,000
第9号該当(資本金等の額50億円超で従業者数50人超)	3,000,000
合 計	

(注)「従業者数」とは、市内に有する事務所、事業所又は寮等の従業者の数の合計数をいう。

(平成28年7月1日現在)

合 計				
均等割を納める者		所得割を納める者		納税義務者数 A + C
納税義務者数 A + C	均 等 割 額 B + D	納税義務者数 C	所 得 割 額 E	
人 18,644	千円 65,253	人 18,125	千円 2,207,574	人 18,644
1,282	4,487	1,123	139,177	1,282
1	4	1	32	1
4,261	14,914	3,669	305,079	4,261
0	0	0	0	0
24,188	84,658	22,918	2,651,862	24,188
23,879	83,578	22,616	2,638,379	23,879
309	1,080	302	13,483	309

(各年度7月1日現在)

制限税率(年額) 四條畷市適用	納 税 義 務 者 数		
	平成28年度	平成27年度	増 減
60,000円	820人	778人	42人
144,000	4	4	0
156,000	159	132	27
180,000	8	11	△3
192,000	58	30	28
480,000	7	6	1
492,000	70	46	24
2,100,000	0	0	0
3,600,000	5	4	1
	1,131	1,011	120

## 2 市税徴収事務

### (1) 税目別市税収入額の推移

年度 区分 税目	平成24年度				平成25年度				平 税 額
	税 額	構成比 %	対前年度比		税 額	構成比 %	対前年度比		
			増減額	伸長率%			増減額	伸長率%	
(1) 市町村民税	2,939,952	45.3	100,178	3.5	2,956,799	45.3	16,847	0.6	2,930,465
(ア) 個人均等割	72,074	—	520	0.7	72,350	—	276	0.4	84,434
(イ) 所得割	2,650,378	—	129,426	5.1	2,632,517	—	△17,861	△0.7	2,593,166
(ウ) 法人均等割	104,903	—	△3,586	△3.3	112,520	—	7,617	7.3	109,598
(エ) 法人税割	112,597	—	△26,182	△18.9	139,412	—	26,815	23.8	143,267
(2) 固定資産税	2,588,286	39.9	△141,609	△5.2	2,579,053	39.5	△9,233	△0.4	2,601,171
(ア) 純固定資産税	2,573,591	—	△141,490	△5.2	2,565,003	—	△8,588	△0.3	2,586,996
I 土地	1,194,298	—	△16,544	△1.4	1,169,386	—	△24,912	△2.1	1,167,582
II 家屋	1,176,246	—	△115,052	△8.9	1,197,485	—	21,239	1.8	1,225,081
III 償却資産	203,047	—	△9,894	△4.6	198,132	—	△4,915	△2.4	194,333
(イ) 交付金	14,695	—	△119	△0.8	14,050	—	△645	△4.4	14,175
(3) 軽自動車税	55,945	0.9	739	1.3	57,358	0.9	1,413	2.5	59,709
(4) 市たばこ税	339,628	5.3	△18,491	△5.2	371,340	5.7	31,712	9.3	356,847
(5) 特別土地保有税	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
(ア) 保有分	0	—	0	0.0	0	—	0	0.0	0
(イ) 取得分	0	—	0	0.0	0	—	0	0.0	0
(6) 都市計画税	559,517	8.6	△27,819	△4.7	558,318	8.6	△1,199	△0.2	561,597
(ア) 土地	317,851	—	△3,134	△1.0	312,469	—	△5,382	△1.7	311,776
(イ) 家屋	241,666	—	△24,685	△9.3	245,849	—	4,183	1.7	249,821
(7) 入湯税	1,862	0.0	△15	△0.8	1,835	0.0	△27	△1.5	1,722
合 計	6,485,190	100.0	△87,017	△1.3	6,524,703	100.0	39,513	0.6	6,511,511

(単位：千円)

成 26 年 度			平 成 27 年 度				平 成 28 年 度			
構成比 %	対前年度比		税 額	構成比 %	対前年度比		税 額	構成比 %	対前年度比	
	増減額	伸長率%			増減額	伸長率%			増減額	伸長率%
45.0	△26,334	△0.9	3,051,138	46.4	120,673	4.1	3,101,046	45.6	49,908	1.6
—	12,084	16.7	84,690	—	256	0.3	85,771	—	1,081	1.3
—	△39,351	△1.5	2,694,890	—	101,724	3.9	2,703,369	—	8,479	0.3
—	△2,922	△2.6	106,726	—	△2,872	△2.6	131,533	—	24,807	23.2
—	3,855	2.8	164,832	—	21,565	15.1	180,373	—	15,541	9.4
40.0	22,118	0.9	2,552,090	38.8	△49,081	△1.9	2,732,719	40.1	180,629	7.1
—	21,993	0.9	2,537,918	—	△49,078	△1.9	2,718,945	—	181,027	7.1
—	△1,804	△0.2	1,166,369	—	△1,213	△0.1	1,145,826	—	△20,543	△1.8
—	27,596	2.3	1,175,417	—	△49,664	△4.1	1,273,262	—	97,845	8.3
—	△3,799	△1.9	196,132	—	1,799	0.9	299,857	—	103,725	52.9
—	125	0.9	14,172	—	△3	0.0	13,774	—	△398	△2.8
0.9	2,351	4.1	60,848	0.9	1,139	1.9	77,121	1.1	16,273	26.7
5.5	△14,493	△3.9	368,207	5.6	11,360	3.2	350,143	5.2	△18,064	△4.9
0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
—	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—	0	0.0
—	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—	0	0.0
8.6	3,279	0.6	549,081	8.3	△12,516	△2.2	545,131	8.0	△3,950	△0.7
—	△693	△0.2	308,611	—	△3,165	△1.0	302,431	—	△6,180	△2.0
—	3,972	1.6	240,470	—	△9,351	△3.7	242,700	—	2,230	0.9
0.0	△113	△6.2	1,712	0.0	△10	△0.6	1,743	0.0	31	1.8
100.0	△13,192	△0.2	6,583,076	100.0	71,565	1.1	6,807,903	100.0	224,827	3.4

## (2) 市民1人当たりの市税収入額の推移

(単位：円)

税 目		年 度				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市 民 税	個人市民税	47,564	47,611	47,429	49,453	49,862
	法人市民税	3,800	4,434	4,479	4,831	5,576
	計	51,364	52,045	51,908	54,284	55,438
純固定資産税		44,963	45,149	45,824	45,153	48,607
交 付 金		257	247	251	252	246
軽自動車税		977	1,010	1,058	1,083	1,379
市たばこ税		5,934	6,536	6,321	6,551	6,260
特別土地保有税		0	0	0	0	0
都市計画税		9,775	9,827	9,948	9,769	9,745
入 湯 税		33	32	30	30	31
合 計		113,303	114,846	115,340	117,122	121,706
会計年度末の人口		57,238人	56,812人	56,455人	56,207人	55,937人

※計、合計は単純合計としている。

## (3) 徴収率の推移

(単位：%)

区 分		年 度				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
現年課税分		98.6	98.6	98.7	98.9	99.0
滞納繰越分		25.5	26.1	27.7	31.0	33.8
合 計		93.8	94.4	95.1	95.7	96.5

## (4) 口座振替の状況

(単位：千円)

税目 年度	納付額			
	市・府民税	固定資産税 都市計画税	軽自動車税	合計
平成28年度	267,284	976,073	5,264	1,248,621
平成27年度	276,696	949,239	3,841	1,229,776
増減	△9,412	26,834	1,423	18,845

(単位：件)

税目 年度	納付件数			
	市・府民税	固定資産税 都市計画税	軽自動車税	合計
平成28年度	3,373	13,310	1,215	17,898
平成27年度	3,377	13,104	1,128	17,609
増減	△4	206	87	289

## (5) コンビニの利用状況

項目 税目	送付件数 (件)	納付件数 A (件)	コンビニ 納付件数 B (件)	コンビニ 納付額 (円)	利用率 B/A (%)
市・府民税 (当初分)	10,910	19,265	8,282	227,041,663	43.0
市・府民税 (督促状)	5,519	1,554	1,154	27,727,440	74.3
固定資産税 (当初分)	19,311	43,699	12,748	428,155,234	29.2
固定資産税 (督促状)	6,954	2,910	2,116	46,046,125	72.7
軽自動車税 (当初分)	16,775	15,693	8,524	39,480,350	54.3
軽自動車税 (督促状)	1,952	571	447	1,994,100	78.3
計	61,421	83,692	33,271	770,444,912	39.8

### 3 資産税賦課事務

#### (1) 土 地

##### ① 総 括

		地 積			決 定 価	
		評価総地積 A	免 税 点 未 満 の も の	免 税 点 以 上 の も の	総 額 B	免 税 点 未 満 の も の
田	一 般 田	999,064 <sup>㎡</sup>	111,576 <sup>㎡</sup>	887,488 <sup>㎡</sup>	143,413 <sup>千円</sup>	15,119 <sup>千円</sup>
	介 在 田 ・ 市 街 化 区 域 田	49,931	1	49,930	1,509,780	8
畑	一 般 畑	132,615	21,378	111,237	10,166	1,610
	介 在 畑 ・ 市 街 化 区 域 畑	20,561	0	20,561	694,193	0
宅 地	小規模住宅用地	2,195,494	7,401	2,188,093	137,412,336	356,362
	一般住宅用地	438,562	63	438,499	22,128,217	2,213
	商 業 地 等 (非住宅用地)	953,005	72	952,933	54,045,778	3,175
	計	3,587,061	7,536	3,579,525	213,586,331	361,750
山 林	一 般 山 林	3,817,978	730,083	3,087,895	83,446	16,015
	介 在 山 林	6,973	693	6,280	1,127	15
原	野	35,311	8,046	27,265	913	173
雑 種 地	ゴルフ場の用地	455,243	0	455,243	1,001,535	0
	鉄 軌 道 用 地	29,293	0	29,293	809,817	0
	その他の雑種地	738,816	9,868	728,948	17,076,917	10,148
	計	1,223,352	9,868	1,213,484	18,888,269	10,148
合	計	9,872,846	889,181	8,983,665	234,917,638	404,838
平 成 2 7 年 度		9,944,940	893,800	9,051,140	236,584,627	404,804
増	減	△72,094	△4,619	△67,475	△1,666,989	34

(各年度5月1日現在)

格 免 税 点 以上のもの	免税点以上の ものに係る 課税標準額	筆 数			単位当たり 平均価格 B / A
		評価総筆数	免 税 点 未 満 の も の	免 税 点 以 上 の も の	
千円 128,294	千円 128,294	1,851	205	1,646	円 144
1,509,772	495,833	132	1	131	30,237
8,556	8,556	368	47	321	77
694,193	231,391	90	0	90	33,763
137,055,974	22,830,384	18,502	281	18,221	62,588
22,126,004	7,371,208	4,297	13	4,284	50,456
54,042,603	37,639,245	2,891	23	2,868	56,711
213,224,581	67,840,837	25,690	317	25,373	59,544
67,431	67,431	2,868	702	2,166	22
1,112	774	14	4	10	162
740	740	97	27	70	26
1,001,535	1,001,535	129	0	129	2,200
809,817	558,531	194	0	194	27,645
17,066,769	11,871,068	1,764	109	1,655	23,114
18,878,121	13,431,134	2,087	109	1,978	15,440
234,512,800	82,204,990	33,197	1,412	31,785	23,794
236,179,823	83,736,243	33,008	1,426	31,582	23,789
△1,667,023	△1,531,253	189	△14	203	



② 市街化区域農地に関する調

		地 積			決 定 価	
		評価総地積 A	免 税 点 未 満 の も の	免 税 点 以 上 の も の	総 額 B	免 税 点 未 満 の も の
田	特 定 市 農 (平成24以前参入分)	49,931 <sup>㎡</sup>	1 <sup>㎡</sup>	49,930 <sup>㎡</sup>	1,509,780 <sup>千円</sup>	8 <sup>千円</sup>
	特 定 市 農 (平成25以後参入分)	0	0	0	0	0
	上 記 以 外	0	0	0	0	0
	小 計	49,931	1	49,930	1,509,780	8
畑	特 定 市 農 (平成24以前参入分)	20,561	0	20,561	694,193	0
	特 定 市 農 (平成25以後参入分)	0	0	0	0	0
	上 記 以 外	0	0	0	0	0
	小 計	20,561	0	20,561	694,193	0
合 計	特 定 市 農 (平成24以前参入分)	70,492	1	70,491	2,203,973	8
	特 定 市 農 (平成25以後参入分)	0	0	0	0	0
	上 記 以 外	0	0	0	0	0
	小 計	70,492	1	70,491	2,203,973	8
平成 27 年 度		72,816	1	72,815	2,314,820	8
増 減		△2,324	0	△2,324	△110,847	0

(各年度5月1日現在)

格 免 税 点 以上のもの	免税点以上の ものに係る 課税標準額	筆 数			単位当たり 平均価格 B / A
		評価総筆数	免 税 点 未 満 の も の	免 税 点 以 上 の も の	
千円 1,509,772	千円 495,833	132	1	131	円 30,237
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1,509,772	495,833	132	1	131	30,237
694,193	231,391	90	0	90	33,763
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
694,193	231,391	90	0	90	33,763
2,203,965	727,224	222	1	221	31,266
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
2,203,965	727,224	222	1	221	31,266
2,314,812	761,964	230	1	229	31,790
△110,847	△34,740	△8	0	△8	

## (2) 家 屋

	床 面 積			決
	総 数 A	免 税 点 未 満 の も の	免 税 点 以 上 の も の	総 額 B
木 造	1,366,505 <sup>㎡</sup>	16,037 <sup>㎡</sup>	1,350,468 <sup>㎡</sup>	37,054,254 <sup>千円</sup>
木 造 以 外	1,176,091	380	1,175,711	49,597,609
合 計	2,542,596	16,417	2,526,179	86,651,863
平 成 27 年 度 合 計	2,538,910	16,738	2,522,172	86,070,418
増 減	3,686	△321	4,007	591,445

## (3) 償 却 資 産

	決 定 価 格	課 税 標 準 額
構 築 物	6,432,464 <sup>千円</sup>	6,422,953 <sup>千円</sup>
機 械 及 び 装 置	3,177,430	3,106,365
車 輛 及 び 運 搬 具	101,171	101,171
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	3,060,671	3,060,671
総務大臣が価格等を決定し 配分のあったもの	8,550,523	8,351,509
合 計	21,322,259	21,042,669
平 成 27 年 度 合 計	14,168,378	13,898,767
増 減	7,153,881	7,143,902

(各年度5月1日現在)

定 価 格		棟 数			単位当たり 平均価格 B / A
免 税 点 未 満 の 物	免 税 点 以 上 の 物	総 数	免 税 点 未 満 の 物	免 税 点 以 上 の 物	
千円 32,255	千円 37,021,999	15,559	393	15,166	円 27,116
1,836	49,595,773	4,049	19	4,030	42,172
34,091	86,617,772	19,608	412	19,196	34,080
35,196	86,035,222	19,521	420	19,101	33,901
△1,105	582,550	87	△8	95	

(各年度5月1日現在)

課 税 標 準 額 の 内 訳	
特例を受けるもの	左以外のもの
千円 15,706	千円 6,407,247
136,853	2,969,512
0	101,171
0	3,060,671

## (4) 都市計画税の調 (法定免税点以上のもの)

(各年度5月1日現在)

		地積又は 床面積	決定価格	課税標準額	筆数又は棟数
土地 (千㎡)	宅地	3,104	201,094,981 <sup>千円</sup>	90,313,829 <sup>千円</sup>	23,775 <sup>筆</sup>
	その他	269	12,600,389	8,746,793	1,131
	等小計	3,373	213,695,370	99,060,622	24,906
	農地	246	2,231,989	1,482,473	478
	計	3,619	215,927,359	100,543,095	25,384
家屋 (㎡)	木造家屋	1,279,571	35,396,457	35,396,457	14,235 <sup>棟</sup>
	木造以外の家屋	1,057,603	45,194,338	45,166,384	9,298
	計	2,337,174	80,590,795	80,562,841	23,533
合計			296,518,154	181,105,936	
平成27年度			298,574,998	182,629,490	
増減			△2,056,844	△1,523,554	

## (5) 都市計画税の充当状況

(単位：千円)

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	府支出金	地方債	その他特財	税等
街路事業	53,602					53,602
下水道繰出金	778,210					778,210
都市計画事業に係る公債費	167,984					167,984
四條畷市交野市清掃施設組合負担金 (新ごみ処理施設整備事業分)	72,701					72,701
小計 (A)	1,072,497	0	0	0	0	1,072,497
都市計画税 (B)	545,131					545,131
差引 (A - B)	527,366	0	0	0	0	527,366

#### 4 諸税賦課事務

##### (1) 軽自動車の課税台数の推移

		平成 28 年度		平成 27 年度		増 減	
		台 数	構 成 比	台 数	構 成 比	台 数	
原 動 機 付 自 転 車	5 0 cc 以 下	5,745 <sup>台</sup>	34.7%	5,879 <sup>台</sup>	35.5%	△134 <sup>台</sup>	
	9 0 cc 以 下	200	1.2	216	1.3	△16	
	1 2 5 cc 以 下	1,540	9.3	1,460	8.8	80	
	ミ ニ カ ー	33	0.2	29	0.2	4	
軽 自 動 車	二 輪	868	5.2	884	5.3	△16	
	三 輪	旧 税 率	0	0.0	0	0.0	0
		新 税 率	0	0.0		0.0	0
		重 課	0	0.0		0.0	0
		7 5 % 軽 課	0	0.0		0.0	0
		5 0 % 軽 課	0	0.0		0.0	0
		2 5 % 軽 課	0	0.0		0.0	0
	四 輪 乗 用	旧 税 率	4,489	27.1	5,601	33.9	△1,112
		新 税 率	101	0.6		0.0	101
		重 課	887	5.4		0.0	887
		7 5 % 軽 課	2	0.0		0.0	2
		5 0 % 軽 課	131	0.8		0.0	131
		2 5 % 軽 課	173	1.0		0.0	173
四 輪 貨 物	旧 税 率	1,136	6.9	1,757	10.6	△621	
	新 税 率	56	0.3		0.0	56	
	重 課	492	3.0		0.0	492	
	7 5 % 軽 課	0	0.0		0.0	0	
	5 0 % 軽 課	0	0.0		0.0	0	
	2 5 % 軽 課	17	0.1		0.0	17	
特 殊	農 耕 用	12	0.1	12	0.1	0	
	そ の 他	19	0.1	19	0.1	0	
二 輪 の 小 型 自 動 車		671	4.0	692	4.2	△21	
合 計		16,572	100.0	16,549	100.0	23	

(2) 軽自動車の異動件数

		平成28年度		平成27年度		増 減	
		新規登録	廃車登録	新規登録	廃車登録	新規登録	廃車登録
原動機付自転車	50 cc 以下	784 <sup>台</sup>	926 <sup>台</sup>	1,137 <sup>台</sup>	1,261 <sup>台</sup>	△353 <sup>台</sup>	△335 <sup>台</sup>
	90 cc 以下	39	44	29	47	10	△3
	125 cc 以下	322	226	324	252	△2	△26
	ミ ニ カ ー	11	8	12	8	△1	0
軽自動車	二 輪	214	176	177	196	37	△20
	三 輪	0	0	0	0	0	0
	四 輪 乗 用	1,331	1,015	1,218	1,038	113	△23
	四 輪 貨 物	370	374	331	372	39	2
特殊	農 耕 用	1	0	0	0	1	0
	そ の 他	1	3	2	2	△1	1
二輪の小型自動車		170	150	131	146	39	4
合 計		3,243	2,922	3,361	3,322	△118	△400

(3) 市たばこ税に関する調

① 売渡し本数

(単位：本)

区 分		売 渡 し	国 産 品		輸 入 品	合 計	
				内旧3級品			内旧3級品
売渡し本数	合計本数 a		43,227,088	3,635,360	25,364,195	68,591,283	3,635,360
	課返 税還 免控 除除	課税免除 b	0	0	0	0	0
		返還控除 c	228,268	3,040	179,803	408,071	3,040
		計 (b + c) d	228,268	3,040	179,803	408,071	3,040
	差引本数 (a - d) e		42,998,820	3,632,320	25,184,392		68,183,212
参 考	平成27年度の売渡し本数					72,023,197	
	伸 率					94.7%	

② たばこ手持品課税

平成27年度税制改正により、紙巻たばこ3級品に対する特例税率が縮小・廃止されたことに伴い、平成28年度から販売用の紙巻たばこ三級品を所有するたばこ販売業者に対して、「手持ち品課税」を行い37,760円の収入があった。

(4) 入湯税に関する調

区 分		平 成 2 8 年 度	平 成 2 7 年 度
日 帰 り	入 湯 客	71,992 人	69,785 人
	課 税 免 除 者 数	48,751 人	46,955 人
	税 率	75 円/人	75 円/人
	税 額	1,743,075 円	1,712,250 円
宿 泊	入 湯 客	0 人	0 人
	課 税 免 除 者 数	0 人	0 人
	税 率	150 円/人	150 円/人
	税 額	0 人	0 人

(5) 入湯税の充当状況

(単位：千円)

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	府支出金	地 方 債	その他特財	税 等
四條畷市交野市清掃施設組合負担金 (新ごみ処理施設整備事業分除く)	248,198					248,198
消火栓設置工事負担金	2,250					2,250
小 計 (A)	250,448	0	0	0	0	250,448
入 湯 税 (B)	1,743					1,743
差 引 (A - B)	248,705	0	0	0	0	248,705



## 5 税制事務

### (1) 税制改正による主な概要

#### ○ 全 般

##### ① 納税環境整備等

個人市民税、法人市民税に係る延滞金の計算期間等について、修正申告、増額更正があった場合、当該申告に係る同一論点の減額更正があった時は、延滞金の計算期間から一定の期間を控除して計算することとした。

#### ○ 個人市民税

##### ① 特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例の創設

健康の維持増進及び疾病の予防への取組として一定の取組を行う個人に対して、特定一般用医薬品等（スイッチOTC医薬品）購入費のうち、12,000円を超える額を控除（上限88,000円）する医療費控除の特例を創設した。（平成29年1月1日から平成33年12月31日までに購入したもの）

##### ② 特例適用利子等及び特例適用配当等に係る個人の市民税の課税の特例

日本と台湾との間で国際的二重課税の回避等のため「所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための公益財団法人交流協会と亜東関係協会との間の取決め」が締結され、「外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律」が一部改正されたことに伴う所要の規定整備を講じた。

##### ③ 住宅ローン減税

個人住民税における住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）の減税措置について、適用期間を平成33年12月31日まで2年半延長した。

#### ○ 法人市民税

##### ① 法人税割の税率の引き下げ

平成31年10月1日以後に開始する事業年度分の法人税割の税率を12.1%から8.4%に引き下げた。

#### ○ 軽自動車税

##### ① 環境性能割の創設

自動車取得税の廃止時期にあわせて、グリーン化機能を維持、強化する軽自動車税の

環境性能割を創設し、従来の軽自動車税については名称を種別割に改めた。

② グリーン化特例の延長

燃費性能に応じた軽課措置について、重点化をしたうえで2年延長した。

③ 納税義務者の特例

軽課措置の判断を国土交通大臣の認定等に基づき判断することとし、虚偽の申請により認定を取り消しされ不足税額が発生した場合は、不足税額に100分の10の割合を乗じて計算した金額を加算した金額を虚偽の申請をしたものに納税義務を課する措置を講じた。

○ 固定資産税・都市計画税

① 災害に関する課税標準の特例措置

ア 震災等の事由により滅失・損壊した家屋及び償却資産に代わるものとして、当該震災等に際し被災者生活再建支援法が適用された市町村の区域内で取得する家屋及び償却資産に係る減額措置（震災等が発生した年から4年を経過する年の3月31日までの間に取得したものに限り）を創設した。

イ 震災等の事由により滅失又は損壊した家屋の敷地の用に供されていた土地について、当該土地が被災市街地復興推進地域内に存する場合は、被災住宅用地を住宅用地とみなす期間を2年度分から4年度分に拡充した。

② 課税標準の特例

ア 児童福祉法の規定により認可を得た者が、直接家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業（利用定員が5人以下）の用に供する家屋及び償却資産に係る課税標準に乗ずる割合をそれぞれ2分の1とした。

イ 子ども・子育て支援法に規定する企業主導型保育事業の運営費に係る補助を受けた者が、特定事業所内保育施設（企業主導型保育事業）の用に供する固定資産に係る課税標準に乗ずる割合を2分の1とした。

ウ 都市緑地法の規定により指定された緑地保全・緑化推進法人が、認定計画に基づき設置・管理する一定の市民緑地の用に供する土地に係る課税標準に乗ずる割合を3分の2とした。

## (2) 税務関係証明書の発行件数調

区 分		年 度		増 減
		平成 28 年度	平成 27 年度	
市 民 税	課税（所得）証明	8,337 <sup>件</sup>	8,293 <sup>件</sup>	44 <sup>件</sup>
	営 業 証 明	0	7	△ 7
	小 計	8,337	8,300	37
固 定 資 産 税	評 価 証 明	1,297	1,275	22
	登記用評価証明	298	277	21
	住宅用家屋証明	230	242	△ 12
	小 計	1,825	1,794	31
収 入 税	納 税 証 明	467	302	165
	軽自動車検査用 納 税 証 明	1,244	1,258	△ 14
	小 計	1,711	1,560	151
合 計		11,873	11,654	219

## 徴 収 対 策 課

### 【未収入額等の状況】

#### (1) 市 税

平成28年度の市税取扱額は、現年度分で3億3,260万1千円、滞納繰越分で2億7,852万6千円の合計6億1,112万7千円であった。

平成28年度収入済額は、現年度分で2億6,718万8千円、滞納繰越分で9,407万6千円となり、1,558万6千円を不納欠損処分としたため、次年度への繰越未収入額は2億3,427万7千円となった。

#### (2) 国民健康保険料

平成28年度の国民健康保険料取扱額は、現年度分で2億765万3千円、滞納繰越分で3億8,136万9千円の合計5億8,902万2千円であった。

平成28年度収入済額は、現年度分で1億342万2千円、滞納繰越分で1億225万7千円となり、2,857万2千円を不納欠損処分としたため、次年度への繰越未収入額は、3億5,477万1千円となった。

#### (3) 後期高齢者医療保険料

平成28年度の後期高齢者医療保険料取扱額は、現年度分で1,455万4千円、滞納繰越分で914万1千円の合計2,369万5千円であった。

平成28年度収入済額は、現年度分で1,144万8千円滞納繰越分で315万7千円となり、109万3千円を不納欠損処分としたため、次年度への繰越未収入額は799万7千円となった。

#### (4) 現年度徴収（市税・国民健康保険料・後期高齢者医療保険料）

##### ① 督促状送付の取組

- ・納期限を過ぎた市税等に対して、督促状31,437件を送付した。

##### ② 電話催告（市税等コールセンター）

- ・平成28年8月から平成29年3月までの8ヵ月間、市税等コールセンターを開設し、管理者1人オペレータ2人の3人体制で電話による納付案内業務を実施した。業務実績は、納付件数1,493件、納付金額3,618万9千円であった。

③ 納付書等投函業務員

- 平成28年10月から平成29年3月までの6ヵ月間、市税等の納付書等投函業務員2人を任用し、訪問による投函及び納付案内業務を実施した。業務実績は、納付件数1,182件、納付金額1,974万4千円であった。

④ 休日納付相談

- 平日に来庁できない方に対して、休日納付相談を8回実施した。  
業務実績は、相談件数231件であった。

(5) 滞納処分の実施

財産調査のうえ、納付資力があると判断した納税（付）者に対して差押え等の滞納処分を実施した。

(6) 大阪府域地方税徴収機構

平成27年4月1日発足の「大阪府域地方税徴収機構」へ職員一人を派遣し、高額困難事案の滞納整理にあたった。前年度からの延長事案42件に加え、本市から106件8,794万9千円の引継予告を送付し、期日までに連絡がないなどの事案99件を徴収機構へ引き継いだ。

引継ぎ期間は平成28年5月～平成29年2月末までで、141件、最終引継本税額1億4,658万5千円について、37件が事案完結（うち完納件数27件）となり、収入済額は8,650万2千円の実績を得られた。

① 督促状送付件数調

(単位：件)

税 目		年 度		差 引
		平成 28 年度	平成 27 年度	
個人市民税	普通徴収	5,519	5,803	△284
	特別徴収	1,663	1,647	16
法人市民税		68	64	4
固定資産税・都市計画税		6,954	6,919	35
軽自動車税		1,952	2,011	△59
市 税 計		16,156	16,444	△288
国民健康保険料		14,119	15,317	△1,198
後期高齢者医療保険料		1,162	1,127	35
保 險 料 計		15,281	16,444	△1,163
合 計		31,437	32,888	△1,451

② 督促手数料及び延滞金の収納状況

(単位：円)

税 目		年 度		差 引
		平成 28 年度	平成 27 年度	
市 税	督促手数料	742,900	750,614	△7,714
	延滞金	24,824,450	20,345,612	4,478,838
国民健康 保 險 料	督促手数料	573,040	591,870	△18,830
	延滞金	7,472,591	7,531,170	△58,579
後期高齢者 医療保険料	督促手数料	50,800	43,550	7,250
	延滞金	174,000	65,000	109,000

③ 財産差押状況（市税）

種別 \ 区分	平成27年度末現在の差押		平成28年度中の差押執行		平成28年中 収入分一部納付
	件数	税額(円)	件数	税額(円)	税額(円)
不動産	160	60,534,751	35	14,960,086	39,537,384
電話加入権	1	15,950	0	0	0
債権	91	29,663,505	265	48,723,652	41,977,823
動産	2	33,000	0	0	33,000
不動産参加差押	18	43,415,513	49	11,949,866	17,325,216
電話加入権参加差押	2	0	0	0	0
合計	274	133,662,719	349	75,633,604	98,873,423

④ 財産差押状況（国民健康保険料）

種別 \ 区分	平成27年度末現在の差押		平成28年度中の差押執行		平成28年中 収入分一部納付
	件数	保険料額(円)	件数	保険料額(円)	保険料額(円)
不動産	81	31,201,975	15	4,923,880	17,168,263
電話加入権	0	0	0	0	0
債権	68	21,899,279	170	53,322,322	22,618,451
動産	3	3,406,977	0	0	2,509,937
不動産参加差押	28	45,596,982	35	13,613,140	17,663,349
電話加入権参加差押	0	0	0	0	0
合計	180	102,105,213	220	71,859,342	59,960,000

⑤ 財産差押状況（後期高齢者医療保険料）

種別 \ 区分	平成27年度末現在の差押		平成28年度中の差押執行		平成28年中 収入分一部納付
	件数	保険料額(円)	件数	保険料額(円)	保険料額(円)
不動産	3	360,778	0	0	0
電話加入権	0	0	0	0	0
債権	6	1,728,888	10	722,622	693,667
動産	0	0	0	0	0
不動産参加差押	0	0	0	0	0
電話加入権参加差押	0	0	0	0	0
合計	9	2,089,666	10	722,622	693,667

(府民税含む)

平成27年度以前執行分の 差 押 解 除 等		平成28年度執行分の 差 押 解 除 等		平成28年度末現在の差押	
件 数	税 額 (円)	件 数	税 額 (円)	件 数	税 額 (円)
27	1,683,200	11	271,100	157	34,003,153
0	0	0	0	1	15,950
35	6,594,746	220	12,568,902	101	17,245,686
0	0	0	0	2	0
40	3,767,250	7	1,115,400	20	33,157,513
0	0	0	0	2	0
102	12,045,196	238	13,955,402	283	84,422,302

平成27年度以前執行分の 差 押 解 除 等		平成28年度執行分の 差 押 解 除 等		平成28年度末現在の差押	
件 数	保険料額 (円)	件 数	保険料額 (円)	件 数	保険料額 (円)
15	912,570	4	0	77	18,045,022
0	0	0	0	0	0
23	3,113,054	140	20,769,922	75	28,720,174
0	0	0	0	3	897,040
31	5,861,150	3	0	29	35,685,623
0	0	0	0	0	0
69	9,886,774	147	20,769,922	184	83,347,859

平成27年度以前執行分の 差 押 解 除 等		平成28年度執行分の 差 押 解 除 等		平成28年度末現在の差押	
件 数	保険料額 (円)	件 数	保険料額 (円)	件 数	保険料額 (円)
0	0	0	0	3	360,778
0	0	0	0	0	0
3	0	6	0	7	1,757,843
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
3	0	6	0	10	2,118,621



⑥ 交付要求状況

項目	平成27年度末現在		平成28年度中執行分		平成28年度中配当分	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市税	24	8,924,968	44	10,466,227	16	1,719,818
国保	13	2,458,837	18	4,333,310	2	22,010
後期	0	0	1	491,700	0	0

⑦ 電話催告実績調

年度 税目	平成28年度			
	対象	架電	電話番号検索	架電に対する納付
件数	14,581	11,300	749	1,493
金額	607,345,432	347,264,832		36,189,375

⑧ 納付書等投函業務員実績調

年度 税目	平成28年度	
	納付件数	金額
市税	721	14,500,737
国民健康保険料	413	4,420,920
後期高齢者医療保険料	48	822,421
合計	1,182	19,744,078

⑨ 大阪府域地方税徴収機構での実績

		(参考) 引継予告書		引継		事
		件数	本税(料)額	件数	本税(料)額	前年度
						件数
28年度	市税		47,252,641		96,633,573	
	保険料		40,696,542		49,950,944	
	合計	106	87,949,183	141	146,584,517	42
27年度	市税		119,484,721		80,591,466	
	保険料		55,752,803		38,862,775	
	合計	187	175,237,524	142	119,454,241	0

(府民税含む)

個人納付分		配当がなかった分		平成28年度末現在	
件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
8	770,160	12	10,949,617	32	5,951,600
3	148,530	12	2,581,877	14	4,039,730
0	0	0	0	1	491,700

(単位：件、円)

平成27年度			
対象	架電	電話番号検索	架電に対する納付
18,976	11,368	824	1,466
674,724,108	317,383,622		30,597,374

(単位：件、円)

平成27年度	
徴収件数	金額
772	16,214,183
448	6,048,500
50	496,050
1,270	22,758,733

(単位：件、円)

案 からの延長事案	徴収実績			
	完結件数		本税(料)収入額	
本税(料)額		完納		換価・取立額
34,625,817			63,946,420	12,033,090
21,295,667			22,555,250	1,849,985
55,921,484	37	27	86,501,670	13,883,075
0			39,124,063	15,353,929
0			12,450,490	2,112,184
0	47	23	51,574,553	17,466,113



# 市 民 生 活 部



# 人 権 政 策 課

## 1 人権啓発事務

### (1) 啓 発 事 業

人権に関する理解を深め、人権尊重のまちづくりを積極的に推進するため、市民の人権意識の高揚を図る人権啓発事業を実施した。

開 催 年 月 日	内 容 等	場 所	参加人数
平成28年7月10日	つながる命のトーク&コンサート (ちゃんぶるーフェスタ舞台の部)	市民総合センター 市 民 ホ ー ル	163人

開 催 年 月 日	内 容 等	場 所
平成28年12月12日 ┆ 12月16日	北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 アニメ映画「めぐみ」上映	市民総合センター ロ ビ ー

### (2) 人権擁護委員による人権相談

毎月2回（第1・第3木曜日）午後1時から3時まで実施した。

## 2 総合相談事務

市内各種団体の代表や市民により構成され、人権の尊重されるまちづくりの実現に向け活動している四條畷市人権協会に委託し、総合相談事業を実施した。

四條畷市役所内（月曜日～金曜日 午前10時～午後4時）

田原支所内（毎月第1水曜日 午前10時～午後4時）

夜間の電話相談（毎週月曜日 午後5時～午後9時）

### (1) 人 権 相 談

差別やいじめなど、人権に関わるさまざまな問題について市民が安心して相談することができるように努めるとともに、解決に向け相談者への助言や情報提供を行った。

相談件数：386件

## (2) 就労支援相談

障がい者、ひとり親、若年者、中高年齢者等の中で、働く意欲がありながら様々な就労障害要因のために就労できない就労困難者を対象に、ハローワークの求人情報の提供や就労に関する相談業務を行った。

相談件数：62件

## (3) 進路選択支援相談

子どもたちが、家庭の事情や経済的な理由等により勉学をあきらめることなく、それぞれの夢や希望の実現に向けた進路選択ができるよう、奨学金制度の活用方法の紹介や個々のニーズに合わせた進路情報等の提供を行った。

相談件数：3件

## 3 人権協会運営事務

四條畷市人権協会は、人権の視点から様々な活動を展開するにあたり、市内各種団体とのネットワーク作りに努め、人権活動広報事業「まんだまんだフェスティバル～子どもの権利条約inなわて～」(平成29年2月19日)を開催した。

また、平和・人権展や人権週間記念事業を共催、LGBT当事者による学習会を開催するなど、人権意識の向上を目的とする啓発事業を実施した。

## 4 人権啓発活動委託事務

大阪府から委託を受け、12月に人権週間記念事業を行った。

開催年月日	内容等	場所	参加人数
平成28年12月14日	人権週間記念いじめ問題啓発講演会 「あーよかったな あなたがいて」 ～わたし大すき あなた大すき～	市民総合センター 市民ホール	38人

## 5 人権政策課運営事務

### (1) 四條畷市人権文化をはぐくむまちづくり審議会報告

人権擁護都市宣言や人権文化をはぐくむまちづくり条例に掲げる理念の実践に向け、以下のとおり人権文化をはぐくむまちづくり審議会を開催した。

開催年月日	内 容 等	場 所
平成28年7月28日	・委嘱式 ・平成27年度四條畷市人権行政基本方針に基づく行動計画実績報告について	市 役 所 本 館 ミーティングルーム
平成28年11月28日	・平成27年度四條畷市人権行政基本方針に基づく行動計画実績報告の補足について ・各課への質問の取りまとめについて ・人権侵害対応マニュアル（案）について ・今後の実績の取りまとめについて	市 役 所 本 館 ミーティングルーム

(2) 社会を明るくする運動

犯罪のない明るい社会を築くため、犯罪の防止と犯罪者の矯正及び更生保護についての正しい理解を深めることを目的に、第66回“社会を明るくする運動”街頭キャンペーンを行った。

実施年月日	内 容 等	場 所
平成28年7月1日	保護司・更生保護女性会による街頭啓発	田原アカカベ薬局前 J R 四 条 畷 駅 前 J R 忍ヶ丘駅前

(3) 人権施策推進リーダー

日常の業務が人権確立の一翼を担っているという認識の確立のために、各課の主任級職員から人権施策推進リーダーを選出し、人権研修を4回実施した。

(4) 相談機関ネットワーク会議

各相談窓口及び相談機関の担当者並びに相談員の情報交換・情報共有を図り、市民ニーズに対応した問題の解決策や相談機関との連携を強化することを目的に、7回にわたり会議を実施した。

(5) 北河内人権啓発推進協議会

北河内人権啓発推進協議会の前期事業を担当して、拉致問題啓発講演会を以下のとおり行った。

開催年月日	内 容 等	場 所	参加人数
平成28年9月17日	北朝鮮拉致問題啓発講演会 「夢と絆」 講師：蓮池 薫 さん（北朝鮮拉致被害者）	市民総合センター 市 民 ホ ー ル	591人



## 6 男女共同参画施策推進事務

### (1) 男女共同参画啓発事業

男女共同参画社会形成に向け、男女共同参画週間においてパネル展を開催した。全5回開催した「暮らし楽しむ連続講座」では日々の生活を通し、男女共同参画社会について理解を深めた。

また、男女共同参画社会の推進に向けて取り組んでいる1事業所を表彰した。

開催年月日	内 容 等	場 所
平成28年6月22日 ） 6月29日	男女共同参画週間パネル展 (四條畷市総合センター指定管理者(四條畷市ラーニングcommons)と共催)	市民総合センター ロビ

開催年月日	内 容 等	場 所	参加人数
平成28年10月15日 ） 平成29年2月18日 (5回)	「暮らし楽しむ連続講座」 (第1回目のみ子育て総合支援センターと共催)	子育て総合支援センター 市民総合センター 視聴覚室 会議室4 料理室	人 122

### (2) 男 女 川 柳

男女共同参画社会の周知啓発を図るため、小中学生の部と一般の部に分け、男女共同参画をテーマに川柳を募集した。

募集年月日	内 容 等	掲 示 場 所	応募作品数
平成28年12月15日 ） 平成29年1月31日	「男女川柳」の募集と入賞作品の掲示	市役所 市民総合センター 田原支所	741

### (3) 四條畷市男女共同参画推進計画(なわてあじさいプラン)の改定

改定にあたっては、市民向けに男女共同参画に関するアンケート調査を実施し、四條畷市男女共同参画審議会やパブリックコメントにて意見を募り、防災施策への女性の視点を反映することや、女性活躍の推進を図ることを新たに追加するなど、あらゆる視点から検討を重ねた。

### (4) 四條畷市男女共同参画審議会

四條畷市男女共同参画推進計画(なわてあじさいプラン)の改定に係る諮問や進捗状況の報告等を目的に審議会を開催した。

開催年月日	内 容 等	場 所
平成28年8月23日	・男女共同参画推進計画（なわてあじさいプラン）の進捗状況の報告について ・男女共同参画推進計画（なわてあじさいプラン）の改定について	市役所東別館201会議室
平成28年11月16日	・男女共同参画推進計画（なわてあじさいプラン）の改定について（諮問）	市役所東別館201会議室
平成28年12月20日	・男女共同参画推進計画（なわてあじさいプラン）の改定について	市役所本館委員会室
平成29年2月16日	・男女共同参画推進計画（なわてあじさいプラン）の改定について（答申）	市役所本館委員会室

(5) 女性相談員による女性相談

女性相談では、女性が持つ特有の悩みなどを安心して相談できる体制づくりに努めるとともに相談事業の積極的な周知を図った。

女性相談は、毎月2回（第2、4木曜日）午後2時から午後4時20分まで、事前予約制（1人40分以内・1日3人以内）として実施し、相談件数は29件であった。

(6) ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議

DV問題に関わる関係機関相互の連携により、DV被害者の保護と自立支援を円滑に行うことを目的に、平成28年6月に代表者会議を、平成29年3月に実務者会議を開催した。

(7) 女性職員ネットワーク会議

女性職員で構成された会議を2回実施し、委員相互の情報共有及び連携を図るとともに、ワーク・ライフ・バランス並びに女性の職場における活躍を阻害する課題及び、その解決策について、議論を行った。また、3月には職員の健康管理や世代間交流を目的に交流会を以下のとおり開催した。

開催年月日	内 容 等	場 所	参加人数
平成29年3月15日	「疲れをとってリフレッシュ！」 ～自分をたいせつに～	市 役 所 本 館 食 事 室	16人

## 7 平 和 事 務

### (1) 反核平和の火リレー、平和行進

戦争と核兵器のない平和な社会の実現に向け、反核平和の火リレー及び平和行進等に対して支援した。

### (2) 平和・人権展

戦争を知らない世代が増え続ける中、過去の過ちを二度と繰り返さないため後世に戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継ぐことを目的に、平和・人権展を以下のとおり開催した。

開催年月日	内 容 等	場 所	参加人数
平成28年7月30日 （ 7月31日	～語りつごう平和の大切さ～ ・平和・人権パネル展 ・映画上映「ベイマックス」 ・戦中食試食会 （協力：四條畷市婦人会連絡協議会） ・おはなし会 「ベトナム戦争と子ども～枯葉剤～」 ・子どもの権利条約スタンプラリー	市民総合センター	888人

### (3) 平和啓発事業

戦時中に犠牲になった動物達がいたことや、戦争の悲惨さを伝えることにより、子どもたちに平和の大切さを学んでもらうことを目的に、平和啓発事業を以下のとおり実施した。

開催年月日	内 容 等	場 所	参加人数
平成28年8月10日	親子フィールドワーク 「戦争中の動物園展」	大阪市立天王寺動物園	11人
平成28年10月7日	平和学習及びパネル「原爆と人間」貸出	岡 部 小 学 校	108
平成28年10月11日		忍ヶ丘小学校	86
平成28年10月14日		くすのき小学校	86

## 地 域 協 働 課

### 1 市民相談事務

市民の日常生活に関連する諸問題や市政に関する相談を次表のとおり実施した。

相 談 名	実 施 日 時	場 所	担 当
法 律 相 談	毎週火曜日 午後1時～午後5時10分 (受付 相談日6日前から電話予約 定員8人)	市役所本館 第2会議室	大阪弁護士会 弁 護 士
行 政 相 談	毎月第1・3木曜日 午後1時～午後4時 (受付 事前又は当日午後3時まで)		行政相談委員
登 記 相 談	奇数月第3水曜日 午後1時～午後3時 (受付 事前又は当日午後2時30分まで)		司 法 書 士 土 地 家 屋 調 査 士
不 動 産 無 料 一 般 相 談	毎月第2木曜日 午後1時～午後4時 (受付 事前又は当日午後3時30分まで)		大阪府宅地建物取引業協会 なにわ京阪支部会員
くらしの総合相談 (合同相談)	平成28年10月20日 午後1時～午後4時 (受付 事前又は当日午後3時まで)	市役所東別館 201会議室	人権擁護委員 行政相談委員 民生委員・児童委員 弁 護 士 市 職 員
巡回行政相談	平成28年10月18日 午後1時～午後4時 (受付 事前又は当日午後3時まで)	二丁通自治会 二丁通会館	行政相談委員
	平成28年10月18日 午後1時～午後4時 (受付 事前又は当日午後3時まで)	岡山自治会 忍ヶ丘会館	行政相談委員

① 法律相談種別分類表

相 談 種 別		相 談 件 数 (件)	種 別 割 合 (%)
民 事	離 婚	33	12.55
	遺 産 ・ 相 続	45	17.11
	家 事 ( 上 記 以 外 )	23	8.75
	不 動 産	54	20.53
	損 害 賠 償	14	5.32
	債 権 ・ 債 務	15	5.70
	倒 産	17	6.46
	労 働	11	4.18
	知 的 財 産 権 等	0	0
	渉 外	0	0
	そ の 他	14	5.32
交 通 事 故		7	2.66
サ ラ 金 問 題	自 己 破 産	9	3.42
	任 意 整 理	2	0.76
	管 財 管 理	0	0
	債 務 不 存 在	1	0.38
	個 人 再 生	0	0
	そ の 他	7	2.66
消 費 者 問 題		6	2.28
民 暴		0	0
不 動 産 競 売		0	0
遺 言		1	0.38
刑 事		3	1.14
少 年 刑 事		1	0.38
合 計		263	100

※種別割合は、相談種別ごとに小数点第3位を四捨五入して求めているため、合計が一致しない。

## ② 登記相談

相談種別	相談件数(件)	種別割合(%)
相 続	16	100
そ の 他	0	0
合 計	16	100

## ③ 不動産無料一般相談

相談種別	相談件数(件)	種別割合(%)
賃貸契約・借地借家	1	20
売 買 契 約	0	0
宅地建物取引業法	0	0
仲介手数料	0	0
物 件	1	20
そ の 他	3	60
合 計	5	100

## 2 地域コミュニティ推進事務

市内21地区から選出された代表者に対し、区長としての委嘱を行い、区長で構成する区長会に出席し、行政情報の共有を図るとともに、地域課題への対応に取り組んだ。

また、田原地域における地域課題に対応するコミュニティ組織として発足された「田原地域まちづくり協議会」においては、まちづくり予算提案制度を活用した種々の取組みを「安心・安全（防災・防犯）部会」、「景観・環境部会」及び「プロジェクトチーム」を中心に実施され、コミュニティ意識の醸成等に努められた。

さらに、北出コミュニティ広場の適正管理のため、フェンスの取替工事を実施し、コミュニティ活動拠点としての機能強化を図った。

## 3 市民憲章啓発事務

市民憲章推進協議会に対し、1,710,000円の補助を行った。

同協議会では、市民憲章の普及・啓発のため「第42回市民の集い」を開催し、幼稚園演技、大東四條吸消防市民音楽隊によるコンサート、ラグビー体験、ようさんこいフェスティバル、

紀北町の鯛釣り及び物産販売等を行った。（延べ7,500人来場）

また、市民憲章啓発事業として、市民憲章文を掲載したクリアファイルを作成し、市民の集い等で配布した。

#### 4 NPO協働・支援事務

市民へのボランティア・NPO法人等の公益活動に関する情報受発信窓口の充実をはじめ、多様な団体活動への支援を通じ活動の活性化を図り、市民と行政、または市民どうしの協働のまちづくりを推進するため、次の事業を行った。

##### (1) ボランティア・NPO等実態調査

ボランティア・NPO等の活性化及び支援策などの基礎資料とするため、引き続き「ボランティア・NPO等実態調査」を行い、集約した情報を「ボランティア・NPO法人・市民活動団体等 活動情報一覧」として取りまとめ、ホームページに掲載するとともに、地域協働課、田原支所、市民総合センター、四條畷図書館及び田原図書館の5箇所で冊子による情報発信を行った。

区 分	掲 載 団 体 数
ボランティア・市民活動団体	107
NPO法人	14

##### (2) 市民活動応援掲示板の設置

公益活動を行うボランティア・NPO法人、各種市民活動団体等の活動情報を広く市民に周知し、公益活動への理解を深めるとともに、活動の活性化や展開を図り、市民参加を促しながら協働のまちづくりにつなげるため、市役所東別館、市民総合センター、教育文化センター及び田原支所に、「なわて市民活動応援板☆キラリ☆」を設置し、団体に関する情報発信支援を行うとともに市民参加の促進を図った。

##### (3) 特定非営利活動法人の設立・認証等事務

大阪府から権限移譲を受けている特定非営利活動法人（NPO法人）の設立・認証等に係る事務を行った。

特定非営利活動法人の設立認証等事務	処 理 件 数 (件)
法人の設立認証等	1
役員変更等の届出受理	4
定款変更認証	1
定款変更の届出受理	1
事業報告書等の受理及び閲覧等	7
定款変更に係る登記後、登記事項証明書の受理	3

(4) 婚活関連事業に対する支援について

活気と魅力あふれるまちの創造と地域の活性化をめざすことを趣旨に、昨年引き続き、四條畷市商工会青年部が主催する男女の出会いの場「Nawateカップリングパーティー『愛ポット』」の実施にあたり、協力を行った。

実施年月日	内 容	参加人数 (人)	カップリング成立 (組)
平成28年 7月31日	えにし庵におけるバーベキューパーティー	23	7
平成29年 2月26日	アイ・アイ・ランドにおける立食パーティー	51	10

(5) ホストファミリー登録

今後の国際交流の活性化に備え、ホームステイに協力いただけるホストファミリーの募集を行った。

ホストファミリー登録数 (平成28年度末時点)	35 世帯
-------------------------	-------

(6) 語学サポーター登録

外国にルーツを持つ市民や外国からの訪問者の対応に備え、国際交流、観光、緊急時等の場面で通訳・翻訳が可能な語学サポーターの募集を行った。



語学サポーター登録者（重複あり）

言 語	人 数 (人)
英 語	23
韓 国 ・ 朝 鮮 語	4
ス ペ イ ン 語	3
台 湾 語 ( 繁 体 文 字 )	1
中 国 語 ( 簡 体 文 字 )	4
ド イ ツ 語	4
フ ラ ン ス 語	1
タ イ 語	1

(7) 講師派遣協力事業

国際交流分野における学公連携事業の一環として、留学生等を対象とした大阪電気通信大学の日本文化を学ぶ特別講座において、文化活動を行う市民講師の派遣に際しての協力を行った。

参 加 学 生	テ ー マ
中国人留学生16人、オランダ人留学生3人及び韓国人留学生2人 計21人	茶道、書道、華道、着付け、そば打ち、昔ばなし

(8) 外国人のための相談会

外国人住民等にとって暮らしやすい多文化共生のまちづくりをめざし、日常生活や法律等について普段困っていること、疑問に思っていることなどを気軽に相談できる機会の提供を目的として外国人のための相談会を実施した。

実施年月日	相 談 対 応 項 目	相談件数 (件)
平成28年11月25日	在留資格、生活、人権、年金・労働、教育	10

(9) 「四條畷市みんなで作る協働のまちづくり指針 改訂版」の策定

平成21年8月に「四條畷市みんなで作る協働のまちづくり指針」を策定してから、7年が経過し、記載内容の時点修正等、内容改訂を行う必要があったことから、市民活動団体等関係者との意見交換を行いながら、平成29年3月に「四條畷市みんなで作る協働のまちづくり指針 改訂版」を策定した。

## 5 国内友好都市交流事務

### 友好都市交流事務

友好都市三重県紀北町と各分野での交流を次のとおり行った。また、四條畷市民と紀北町民との交流を図るため交付している宿泊施設利用補助券の利用件数は474件であった。

実施年月日	交 流 内 容
	1. イベント交流
平成28年5月8日	(1) 市民体育祭（於 四條畷市） 紀北町の物産販売を行った。
平成28年5月14日 ～15日	(2) 公民館フェスティバル（於 四條畷市） 紀北町の物産販売を行った。
平成28年7月24日	(3) 燈籠祭（於 紀北町） 市内公共施設にポスターを掲示し、周知を行った。
平成28年10月23日	(4) 第42回市民の集い（於 四條畷市） 紀北町から町長ら5人が参加し、友好関係を深めた。また、鯛釣り、 物産販売及びPR活動（「きーほくん」舞台出演）を行った。
平成28年11月5日 ～6日	(5) 市民文化祭（於 四條畷市） 紀北町の物産販売を行った。
平成28年11月27日	(6) 農業まつり（於 四條畷市） 紀北町の物産販売を行った。
平成29年3月11日 ～12日	(7) まつり in 田原（於 四條畷市） 紀北町の物産販売を行った。
	2. 市民団体交流
平成28年7月29日 ～31日	(1) スポーツ団体交流 四條畷市内で活動しているスポーツ団体が「平成28年度四條畷市友好 都市交流事業補助金」を利用して、紀北町において交流を行った。
平成28年10月12日	(2) 文化団体交流 四條畷市内で活動している文化団体が「平成28年度四條畷市友好都市 交流事業補助金」を利用して、紀北町において交流を行った。

## 6 国際友好都市交流事務

国際友好都市ドイツ連邦共和国ノルトライン＝ヴェストファーレン州・メアブッシュ市との交流等を次のとおり行った。

### (1) 国際友好都市ドイツ・メアブッシュ市訪問団の来市

平成28年4月13日から16日の日程で、メアブッシュ市長をはじめとする訪問団の受け入れを行い、本市のまちづくりや自治体の仕組み、教育、歴史文化等への理解を深めることを目

的に、市庁舎、すてっぷ★なわて、学校給食センター及び四條畷西中学校等の施設や各所の視察を通じ、職員、生徒及びメアブッシュ交流サポーター等と交流を行い、友好親善を図った。

(2) 四條畷市・メアブッシュ市子ども国際絵画交流事業

四條畷市とメアブッシュ市の子どもたちが、相互の文化や考えを知り、さまざまな価値観の存在に気付くとともに、互いを認め合う国際理解の精神を育み、友好親善を深める一助となるよう平成24年度から絵画交流を行っており、平成28年度においては、本市から市内7小学校の4年生の絵画計36点をメアブッシュ市あて贈呈した。

(3) メアブッシュ交流サポーター登録

国際友好都市ドイツ・メアブッシュ市との理解と友好関係を深め、新たな国際交流を市民と協働で推進していくため、メアブッシュ交流サポーターの募集を行った。

(平成28年度末登録者数 34人)

(4) 市民文化祭におけるメアブッシュ市の啓発

「市民文化祭2016」において、メアブッシュ交流サポーターの協力のもと、「メアブッシュ紹介コーナー」を設置し、ドイツやメアブッシュ市について、周知啓発を図った。

(5) 国際理解講座<ドイツ交流ひろば>開催

ドイツ及びメアブッシュ市の文化等を知り、国際交流及び多文化理解を深める機会を市民に提供することを目的に、下記のとおり講座を実施した。

実施年月日	テ ー マ	講 師	参加人数(人)
平成28年 12月3日	ドイツ交流ひろば 「ドイツの料理づくりとおはなし ～クリスマスのお菓子 シュトレンを作ってみよう!～」	メアブッシュ交流サポーター 高田奈津子氏	28

## 7 基幹統計調査事務

次の調査を実施した。

### 平成28年経済センサス－活動調査

(目的) 全産業分野の売上(収入)金額や費用等の経理項目を同一時点で網羅的に把握し、我が国における事業所・企業の経済活動を全国的及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を対象とした各種統計調査の母集団情報を得ることを目的とする。

(調査期日) 平成28年6月1日

(調査対象) 全国すべての事業所・企業(農林漁業等を除く)

(調査項目) 名称及び電話番号、所在地、開設時期、主な事業の内容、主な事業の種類又は形態等、従業者数、経営組織、単独事業所・本所・支所の別等、消費税の税込み記入・税抜き記入の別、売上(収入)金額、費用総額及び費用項目、事業別売上(収入)金額、事業別売上(収入)金額の内訳など

(調査方法) 調査客体による自計申告

(調査結果) 調査区数……………75調査区

(調査体制) 指導員数……………2人

調査員数……………22人

委託契約……………1施設1法人

# 産 業 観 光 課

## 1 農業振興事務

### (1) 経営所得安定対策事業

水田の効率的な活用と米の計画的な生産によって、米の需給及び価格の安定並びにわが国の自給率向上を図るために実施する経営所得安定対策について、生産農家と地域の取組みを尊重しながら、米の生産調整等実施計画のとりまとめ及び現地確認等を行った。

### (2) 有害鳥獣捕獲事業

生駒山系に生息するイノブタ等による農業被害や市民の生命及び財産等を脅かす被害が阪地区や下田原地区などで発生しているため、大阪府猟友会大東四條畷支部の協力を得て、平成28年5月1日から平成29年3月31日まで市内山間部に檻等を設置し、捕獲事業を実施した。

(単位：頭)

捕獲頭数	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	28	13	11	11	23

### (3) 防災協力農地登録制度

災害発生時の避難空間、災害復旧用資材置場や仮設住宅建設予定地など、農地の多面的機能を活かして市民の安心安全を確保することを目的に、防災協力農地登録制度を創設した。

## 2 市民と農との交流事務

### (1) 貸し農園開設、運営事業

土に親しみ生活に潤いをもたらす場を提供するとともに、農業生産の重要性を啓発するため、「貸し農園」に対する支援を行った。

#### 貸し農園開設・運営状況

名 称	区 画 数	開 設 年 度	所 在 地
砂第1農園	42	平成24年度	砂三丁目
岡山第2農園	27	平成15年度	岡山二丁目
岡山第3-1農園	33	平成16年度	岡山二丁目

名 称	区画数	開設年度	所在地
岡山第3-2農園	20	平成24年度	岡山二丁目
砂第4農園	33	平成15年度	砂二丁目
砂第5農園	21	平成15年度	砂二丁目
米崎第6農園	40	平成16年度	米崎町
南野一丁目地内 (南野ふれあいファーム)	71	平成18年度	南野一丁目
清滝中町地内 (清滝ふれあいファーム)	12	平成22年度	清滝中町
愛菜ふれあいファーム	10	平成22年度	大字下田原
田原桃源郷農園第1号	26	平成24年度	大字下田原
田原桃源郷農園第2号	8	平成24年度	大字上田原
田原桃源郷農園第3号	3	平成26年度	大字上田原
田原桃源郷農園第4号	6	平成27年度	大字上田原
田原桃源郷農園第6号	2	平成28年度	大字下田原
グリーンガーデン	56	平成24年度	南野一丁目

## (2) 農業祭実施事業

農業の振興と市民に農業への理解を深め、米をはじめとする農産物の消費拡大を推進するため、農家の協力、農業協同組合との共催及び友好都市紀北町の協賛に加え、下記団体の協力のもと平成28年11月27日、四條畷市市民総合センターにおいて農業祭を開催し、約2,500人の参加があった。

協 力 団 体 四條畷市農業委員会、農協各地区支部、農協女性会、四條畷市農業研究クラブ連絡協議会、大阪府北部農業共済組合

### 農産物品評会（出品状況）

地区別	出品者数	出 品 点 数				
		総 数	穀 類	野 菜 類	い も 類	特別作物類
南 野 上	2	6	0	1	0	5
南 野 中	1	4	1	2	1	0
南 野 下	4	4	4	0	0	0
蒨 屋	1	2	0	2	0	0

地区別	出品者数	出品点数				
		総数	穀類	野菜類	いも類	特別作物類
中野	2	3	1	2	0	0
清滝	1	1	0	0	0	1
逢阪	3	7	2	3	2	0
岡山	12	24	8	9	1	6
砂	3	11	1	9	1	0
八の坪(上田原)	1	1	1	0	0	0
中番(上田原)	6	10	5	3	2	0
森山(上田原)	0	0	0	0	0	0
佐水(上田原)	3	5	3	1	0	1
照涌(下田原)	5	6	4	2	0	0
野田(下田原)	3	3	1	2	0	0
片田(下田原)	6	7	6	1	0	0
滝寺(下田原)	3	3	3	0	0	0
合計	56	97	40	37	7	13

### 3 地産地消事務

#### (1) 市内小中学校、保育所への地場産野菜の供給

地場産野菜の安定的利用とその供給の促進を図ることによる生産農家の販路の確保及び児童・生徒等が地場産作物により「食」に触れる機会を創出する観点から、地場産作物の学校給食及び保育所への供給を支援した。

学 校 給 食 供 給 実 績			
品 目	期 間	回 数	供 給 量
タ マ ネ ギ	平成28年5月30日から 平成28年7月7日まで	20 <sup>回</sup>	3,463.3 <sup>kg</sup>
青 ネ ギ	平成28年5月26日から 平成29年3月21日まで	42	1,111.4
味 噌	平成28年7月14日から 平成29年3月21日まで	14	467.5
エ コ 米	平成28年11月2日から 平成29年3月9日まで	7	3,208

学 校 給 食 供 給 実 績			
品 目	期 間	回 数	供 給 量
四 條 畷 米	平成28年 4 月11日から 平成28年 7 月14日まで	29 <sup>回</sup>	18,204 <sup>kg</sup>
チ ン ゲ ン 菜	平成28年 5 月30日から 平成29年 3 月16日まで	7	707.1
小 松 菜	平成28年 4 月11日から 平成29年 3 月21日まで	26	1,393.8

保 育 所 給 食 供 給 実 績			
品 目	期 間	回 数	供 給 量
タ マ ネ ギ	平成28年 5 月31日から 平成28年 7 月20日まで	8 <sup>回</sup>	212.4 <sup>kg</sup>
味 噌	平成29年 1 月23日から 平成29年 3 月13日まで	26	160.7
エ コ 米	平成28年11月 7 日から 平成29年 1 月16日まで	8	320
黒 豆	平成29年 1 月16日	1	3.7
か ぼ ち ゃ	平成28年 9 月26日	1	1.1

## (2) 大阪エコ農産物の作付推進

農薬や化学肥料の使用を通常の2分の1以下に抑え、より安全で安心して食べられる農作物の作付を普及させるため、大阪エコ農産物認証制度に基づき、四條畷市エコ農産物推進協議会を経て、認証されたエコ農産物の支援を行った。

(平成28年度分)

作 物 名	申 請 件 数	備 考
大 豆	4 <sup>件</sup>	味噌加工用大豆
ね ぎ	1	学校給食に供給
水 稲	13	学校給食に供給
え だ ま め	3	市立保育所に供給



#### 4 アドプトフォレスト事業

地球温暖化防止などの環境保全活動を推進するアドプトフォレスト制度の趣旨に賛同し、四條畷市ふれあいの森を中心に、関係団体とともに間伐作業などの活動を実施した。

関 係 団 体	実 施 年 月 日	作 業 内 容
大 阪 厚 生 信 用 金 庫 社 四 條 畷 神 社	平成28年4月9日	竹林整備・間伐、山桜植樹
日 立 造 船 株 式 会 社 公 益 財 団 法 人 オ イ ス カ 大 阪 府	平成28年4月23日	ネザサ刈り、間伐作業
株 式 会 社 ザ ・ パ ッ ク 大 阪 府 森 林 組 合 府 大 阪 府	平成28年6月25日	案内板除幕式、記念植樹
日 立 造 船 株 式 会 社 公 益 財 団 法 人 オ イ ス カ 大 阪 府	平成28年10月22日	ネザサ刈り、植樹
株 式 会 社 ザ ・ パ ッ ク 大 阪 府 森 林 組 合 府 大 阪 府	平成28年11月5日	間伐作業

#### 5 商業振興補助事務

##### (1) 中小企業信用保険法第2条第5項第5号に係る認定書の発行

倒産や金融機関の貸し渋り、金融機関の破綻等中小企業を取り巻く経営環境の悪化に対処するべく、中小企業信用保険法第2条第5項に基づく認定書を発行した。

(平成28年度発行件数 24件)

##### (2) 健康診断機会確保事業

四條畷市商工会に委託し、市内の商工業従事者に対する健康診断機会の確保を図った。

事 業 内 容	実 施 年 月 日	参加事業所数	受 診 者 数
一般健康診断（労働安全衛生規則による胸部X線検査、内診、血圧測定、尿検査、視力、聴力、身体測定、血液検査、心電図検査）に係る企業案内通知郵送料他	平成28年6月9日、10日	68 社	355 人
	平成28年11月18日 (直接受診：11月14日、 16日、17日)	34	63

(3) 創業支援事業

創業支援事業計画（平成28年度～32年度）に基づき、創業を希望する方や、創業されて間もない方を対象に、創業に対する心構え、PL・BS等の財務諸表の作成方法、人材能力開発に関する知識、マーケティングや販売促進戦略など販路開拓方法の習得を目的とするセミナーを開催した。

実施名	実施年月日	内 容	参加者数
創業ワークショップ	平成28年7月9日	起業に向けたグループディスカッション	8人
なわて創業塾	平成28年7月16日	創業時の心構えと財務について 融資制度説明 大阪府施策説明	18
なわて創業塾	平成28年7月23日	マーケティングとアイデアの創出	13
なわて創業塾	平成28年7月30日	アイデアのビジネスモデル化 事業計画書の作成	11

(延べ参加者数：50人)

(4) 地域ブランド化事業

製造業や商店街など地域産業の衰退が懸念されるなか、事業所には新たな対応が求められることから、専門家の派遣による市内事業者の収益性の向上、実地訪問による四條畷市のブランド品開発に向けた調査を行った。

実施事業	実施年月日	内 容	件 数
専門家派遣事業	平成28年4月1日 ） 平成29年3月31日	個別相談、経営支援 持続化補助金の導入支援 創業支援ほか (対象支援者数：45社)	103件

(5) なわてふれあい商工まつりへの支援

平成28年10月30日に四條畷市市民総合センターにおいて、商工会が市内企業、大学、各種団体、府内商工会、近隣の商工会議所などと連携し、企業展示、物産展、屋台、一日商店街などを行う「なわてふれあい商工まつり」に対し、地域産業の活性化を図る観点から必要な助成を行い、6,067人が参加した。

(6) 第13回四條畷楠公まつりへの支援

新たな文化の創造による、ふるさと四條畷市の次代への継承を趣旨に平成29年3月25日と26日に開催された四條畷楠公まつりの実施にあたり支援を行った。

(7) 地車連合パレードへの支援

各地域間の情報交換及び交流を通じて、本市の伝統文化である「だんじり」「蒲団太鼓」の絆を継承し、地域活性化、新たな伝統文化の創造を目的に平成28年10月9日に開催されただんじり蒲団太鼓連合パレードの実施にあたり支援を行った。

## 6 勤労者対策事務

各労働関係団体との連携により、就職に必要な能力開発の支援や雇用及び就労の促進を図るための事業を行うとともに、ハローワークの求人情報を提供し、求職活動に対する支援を行った。

(1) 就職能力開発事業実績

事業名	実施年月日	実施内容	実施場所	対象	参加人数
パソコン実務力アップ講座	平成29年 2月3日、6日、 7日、8日、10日 (全5回の連続講座)	就職力向上のための基礎的なパソコンスキル（ワード・エクセル）について学ぶための講座	四條畷市 商工会館	求職登録している 市民	5人

(2) 雇用・就労創出事業実績

事業名	実施年月日	実施内容	実施場所	対象	参加人数
なわて就職なんでも相談会	平成28年10月30日	①就職相談コーナー ②求人情報コーナー ③障がい者雇用相談コーナー ④職業適性診断コーナー	四條畷市市民 総合センター 3階 会議室 (なわてふれあい商工まつりと 同時開催)	就職困難 者全般	① 9 ② 9 ③ 4 ④ 8 人

(3) 求人情報の活用

求職活動を行っている市民の利便を図るため、ハローワーク門真（門真公共職業安定所）と連携し、市内企業の求人情報を市庁舎内の掲示板等に掲載した。

毎月 2回（年 153件）

## 7 観 光 事 務

### (1) 観光ボランティアガイドの活動

四條畷市の恵まれた自然や歴史的遺産を案内する観光ボランティアガイドのなわてロードガイド「ゆずりは」が、四條畷市の観光PR活動を実施された。（平成29年3月31日時点の登録者14人）

平成28年度の新規事業として、ゆずりは主催事業「四條畷市郷土史カルタウォーク」を実施した。また、市主催事業「四條畷市花屏風五ヶ年計画植樹 平成28年度四條畷市花屏風ハイキング」にも協力いただいた。

#### なわてロードガイド「ゆずりは」のガイド実績

活動年月日	参加会員	活 動 内 容	参 加 者	参加人数
平成28年 4月19日	11 <sup>人</sup>	主催事業「戦国大城郭 河内飯盛山に行く」	一般	45 <sup>人</sup>
平成28年 5月6日	2	申込ガイド	金曜歩き会	10
平成28年 5月19日	3	ボランティアガイド養成講座	養成講座受講者	6
平成28年 5月20日	2	申込ガイド	金曜歩き会	7
平成28年 5月26日	2	ボランティアガイド養成講座	養成講座受講者	6
平成28年 6月2日	2	ボランティアガイド養成講座	養成講座受講者	6
平成28年 6月3日	2	申込ガイド	金曜歩き会	11
平成28年 6月17日	2	申込ガイド	金曜歩き会	10
平成28年 6月24日	10	申込ガイド	KSC 8期歴史探訪クラブ	21
平成28年 9月22日	7	三好長慶フェスタ	一般	10
平成28年 10月1日	3	主催事業「四條畷市郷土史カルタウォーク」	一般	11
平成28年 10月8日	3	主催事業「四條畷市郷土史カルタウォーク」	一般	10
平成28年 10月15日	3	主催事業「四條畷市郷土史カルタウォーク」	一般	9

活動年月日	参加会員	活 動 内 容	参 加 者	参加人数
平成28年 10月22日	4 <sup>人</sup>	主催事業「四條畷市郷土史カルタウォーク」	一般	10 <sup>人</sup>
平成28年 10月23日	2	申込ガイド	史の会	6
平成28年 11月4日	2	新規採用職員研修	平成28年度新規採用職員	16
平成28年 11月12日	5	平成28年度四條畷市花屏風ハイキング	一般	600
平成28年 11月14日	6	元気度アップ講座	一般	21
平成28年 11月20日	4	主催事業「貝原益軒を訪ねて～磐船街道～」	一般	21
平成28年 11月27日	3	申込ガイド	登美ヶ丘南歴史散策	4
平成28年 12月3日	4	畷中校区すこやかネット	小学生、PTA他	120
平成28年 12月4日	7	主催事業「紅葉の室池から田原の里へ」	一般	23

## (2) 四條畷市文化観光協議会の活動

四條畷の魅力を生市内外へ発信し、本市へ多くの人たちを呼び込むため、各イベントを実施された。

### 文化観光協議会の活動実績

事 業 名	実 施 年 月 日
「なわて575」自由句募集事業	平成28年4月15日～10月31日
「室池園地のガイドウォークと国際交流」	平成28年7月30日
サギ草写生会	平成28年8月27日
お月見の夕べ（えにし庵）	平成28年9月10日
市民の集い出店（今昔写真展示・なわて575優秀作品発表・ダンボール紙相撲・あめすくい）	平成28年10月23日
カルタ大会&おもちつき（えにし庵）	平成29年1月9日

(3) 飯盛山ハイキングマップの製作

本市と大東市が連携し、両市の観光ボランティアガイド協力のもと「河内飯盛山登山コースガイドマップ」を製作した。

(4) 観光可視化戦略の展開

平成24年12月に策定した産業振興ビジョンに基づく観光可視化戦略に基づき、本市に豊富に残る歴史遺産等の可視化を戦略に掲げ、四條畷の魅力発信を趣旨とした幅広い施策を地域住民等との協働により推進することで、活力と賑わいのある四條畷市を創造するとともに、それらを起爆剤に、商業・工業・農業が一体となった産業の振興と活性化及び郷土愛の醸成を図ることを目的とし、次のとおり事業を実施した。

実施年月日	事業名	内容	備考
平成28年 4月15日 ） 平成28年 10月31日	「なわて575」 自由句募集事業	5・7・5の17文字を使用した 自由句の募集 (四條畷市文化観光協議会事業)	自由句応募数378句
平成28年 6月 ） 平成29年 2月	俳句入門講座	俳句初心者向けの連続講座を全 8回実施	15人参加
平成28年 6月29日	平成28年四條畷市花屏 風計画推進協議会総会	平成27年度実績報告 平成28年度事業計画	
平成28年 7月15日	市のキャラクター 活用グッズの発表	観光大使谷口智則氏デザインの 四條畷市のキャラクター「なわ 丸」を活用したグッズの作製	シンボルマーク活用グッズ (便箋)の作成及びHP等 で公表
平成28年 7月20日	観光振興推進本部会議 観光振興推進会議 合同会議	産業振興ビジョンの改訂に係る 素案の説明について	
平成28年 8月15日 ） 平成29年 3月15日	575俳句事業	本市の郵便番号575にちな み、俳句の募集事業を実施	俳句応募数 1,099句 一般の部 375句 中学生以下 724句

実施年月日	事業名	内容	備考
平成28年 8月17日 （ 平成29年 3月22日	里山保全リーダー 養成講座	市内の里山の管理・保全を行う 人材育成を目的とした講座を全 8回実施	6人参加
平成28年 9月10日	えにし庵事業 お月見の夕べ	えにし庵にてお月見・音楽会を 実施 (四條畷市文化観光協議会事業)	84人参加
平成28年 10月	四條畷市郷土史 カルタめぐりツアー ～ 半日コース～	郷土史カルタ句碑をめぐるハイ キングを実施 (なわてロードガイド「ゆずり は」事業)	のべ40人参加
平成28年 10月～11月	575オリジナル 年賀はがき販売	俳句のまち四條畷のPRを目的 にオリジナル年賀はがきを販売	販売数10,000枚
平成28年 11月12日	花屏風五ヶ年計画植樹 平成28年度四條畷市 花屏風ハイキング	計画に基づく植樹 大阪山の日ハイキング 山地美化キャンペーン	約600人参加
平成29年 1月9日	えにし庵事業カルタ 大会 & おもちつき	えにし庵にて四條畷郷土史カル タを使用したカルタ大会を実施 (四條畷市文化観光協議会事業)	カルタ大会22人参加
平成29年 1月29日	観光フォーラム2017 まいど!!がつなぐ人 との絆～音楽と笑顔 に勝るクスリなし～	観光大使青木豊彦氏と河島あみ る氏によるトークとアマデウス 大西氏によるピアノ演奏とお笑 いライブ	入場者数412人
平成29年 3月11日	第5回楠正行 シンポジウム	楠正行についての講演会	講師：扇谷 昭氏 (四條畷 楠正行の会 代表) 180人参加

(4) 観光大使の活動

四條畷市の魅力を広く紹介していくため、平成24年度に本市にゆかりのある5人を「四條畷市観光大使」として任命し、本年度も各事業等で活動いただいた。

観光大使の活動実績

実施年月日	事業名	内容
平成28年5月8日 10月19日 平成29年1月18日	公民館寄席「なわて南光亭」	すぐれた芸術文化の鑑賞機会拡大と文化意識の高揚を図るため、古典落語を親しむ機会として「なわて落語会」「なわて南光亭」を観光大使桂南光氏出演で開催した。
平成28年7月2日	なわて落語会	
平成29年1月22日	第3回 四條畷市マラソン大会	観光大使 角淳一氏に、四條畷市マラソン大会10km部門参加記念品のTシャツのデザイン及び当日イベントに参加いただいた。
平成29年1月29日	観光フォーラム2017 まいど!!がつなぐ人の絆～音楽と笑顔に勝るクスリなし～	観光大使 青木豊彦氏と河島あみる氏によるトーク、アマデウス大西氏によるピアノ演奏・お笑いライブを行った。
随 時	情報発信	観光大使 青木豊彦氏、角淳一氏をはじめ、観光大使の方々により本市について各メディアでの情報発信を行った。

観光大使の紹介

青 木 豊 彦 氏 (企業家)
四條畷市在住、2009年、人工衛星「まいど1号」の打上げに成功。
桂 南 光 氏 (落語家)
四條畷市在住、落語会「南光亭」を実施。
角 淳 一 氏 (フリーアナウンサー)
四條畷市在住、関西を中心にテレビ、ラジオ等で活躍中。
谷 口 智 則 氏 (絵本作家)
四條畷市在住、『サルくんとお月さま』が代表作。
山 口 智 充 氏 (タレント、俳優)
四條畷市出身、愛称“ぐっさん”として、幅広いジャンルで活躍中。



## 8 地域産業振興事務

### (1) 産業振興ビジョンの改訂に向けた取組み

平成23年度に策定した四條畷市産業振興ビジョンについて、消費者ニーズの多様化や、社会情勢の変化に対応する新たな産業振興ビジョンの改訂に向け、産学公協働による組織として設置した四條畷市産業振興ビジョン推進協議会を開催した。

開催年月日	内 容 等	場 所
平成28年8月9日	産業振興ビジョンの改訂に係る素案の検討について その他	四條畷市役所 東別館2階 201会議室
平成28年9月14日	産業振興ビジョンの改訂に係る素案の検討について その他	四條畷市役所 東別館2階 202会議室
平成28年12月19日	意見公募手続の結果について 産業振興ビジョンの改訂に係る案の検討について その他	四條畷市役所 本館2階 ミーティングルーム

### (2) 産学公連携の推進

包括連携協定を結んでいる3つの大学と共にそれぞれ下記の取組みを行った。

大 学 名	取 り 組 み 内 容
大 阪 電 気 通 信 大 学	四條畷市花屏風5ヶ年計画に基づき行われた、平成28年度四條畷市花屏風ハイキングにて、電気通信大学の最新技術を用いたCG合成缶バッジづくりの体験ブースの出店を行った。
大 阪 商 業 大 学	観光及び商業振興の観点から、地元商店及び観光ボランティアとの協働に基づく、学生の企画立案によるイベント「なわてフェス～ご当地キャラクター参戦!!～」への支援を行った。
プ ー ル 学 院 大 学	大学の有する知的資産や専門知識を施策に取り入れることを趣旨に、同大学の准教授を委員長に招聘し、産業振興ビジョン推進協議会の場において施策の進捗管理を行った。

# 消費生活センター

## 1 消費者相談業務消費生活相談の受付処理

消費生活センターを設置し、消費生活に関する情報提供や事業者と消費者間での取引に関して生じた苦情、トラブル等に対する相談を受け付けた。また、相談員の研修参加支援等による相談体制の強化を行った。

### (1) 消費生活相談員の設置運営

人 員 2人

毎週4回（月・火・水・金の午前10時～午後4時まで）相談室において受付、処理・斡旋に努めた。

### (2) 内容別相談処理件数

(単位：件)

内 容	店 舗 購 入	訪 問 販 売	通 信 販 売	マルチ・マルチまがい	電 話 勧 誘 販 売	送 り づ け 商 法 (ネガティブオプシオン)	訪 問 購 入	そ の 他 無 店 舗 販 売	そ の 他	合 計	平 成 27 年 度	増 減
件数	90	38	102	3	18	1	2	3	72	329	345	△16

### (3) 年代別相談件数

(単位：件)

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不 明	合 計
件数	3	23	36	47	43	46	63	23	45	329

## 2 消費者啓発事務

消費者が正しい知識を学び、実践していくために、四條畷市消費生活友の会と協力して各事業を行った。

### (1) 市民対象の講座等の開催

(単位：人)

実施年月日	実施場所	名 称	内 容	参加人数
平成28年 5月19日	エコ・クリーン センター・新 ごみ処理施設 事業計画地・ かざぐるま・ 部屋中継所	消費者月間等研修	ごみ処理施設の見学会を実施し、ごみによる環境への影響等について知識・理解を深めた。	12
平成28年 5月30日	伊丹小西酒造	消費生活講座	日本酒の製造過程を見学しながら食の安心・安全・健康について学習した。	24
平成28年 7月21日	市民総合 センター	くらしの金融講座 (大阪府金融広報委 員会・消費生活友の 会共催)実施	「子ども向け金融学習会・ビデオ」	65
平成28年 11月7日	三輪山勝製麺	消費生活講座	そうめん作りの過程を見学・体験しながら食の安心・安全について考え、学習した。	26
平成28年 11月10日 17日	市民総合 センター	くらしの金融講座 (大阪府金融広報委 員会・消費生活友の 会共催)実施	相続と遺言について 講師：森島憲治	37
平成28年 12月9日	グリーン ホール田原	手作りみそ講習会	みそ作り体験	申し込み数 (1セット7kg) 30セット
平成28年 12月10日	市民総合 センター	手作りみそ講習会	みそ作り体験	申し込み数 (1セット7kg) 65セット

### (2) 啓発活動

消費生活に関する知識の提供を図るために、消費者月間の期間中や市民の集い時にくらしの豆知識及びメモ帳を配布した。

(3) 食用廃油回収

石鹼の利用促進や環境汚染の防止を図るため、食用油の廃油回収に努めた。

田原地域の廃油回収については、「なわて環境ネットワーク」と連携して取り組んだ。

(単位：リットル)

実施年月日	平成28年 6月14日	平成28年 9月13日	平成28年 12月13日	平成29年 3月14日	合 計	平成27年度	増 減
回 収 量	414	306	432	558	1,710	1,665	45

実施場所 市役所正面玄関、雁屋公民館、府営清滝住宅、田原支所

# 市 民 課

## 1 住民基本台帳事務

### (1) 人口及び世帯数

#### ① 住民基本台帳月別世帯数及び人口

各月末日現在

月 別	世 帯	男	女	人 口
平成28年 4月	23,944 <sup>世帯</sup>	27,565 <sup>人</sup>	28,587 <sup>人</sup>	56,152 <sup>人</sup>
5月	23,983	27,574	28,622	56,196
6月	23,988	27,555	28,597	56,152
7月	24,008	27,567	28,565	56,132
8月	24,012	27,553	28,547	56,100
9月	24,031	27,561	28,544	56,105
10月	24,009	27,540	28,529	56,069
11月	24,006	27,524	28,512	56,036
12月	23,997	27,493	28,528	56,021
平成29年 1月	23,997	27,479	28,526	56,005
2月	23,961	27,446	28,503	55,949
3月	24,026	27,419	28,518	55,937
平成28年 3月	23,936	27,619	28,588	56,207
増 減	90	△200	△70	△270

② 町字別世帯数・人口

平成29年3月31日現在

町 字 名	世 帯 数	人 口	町 字 名	世 帯 数	人 口
大 字 南 野	23 <sup>世帯</sup>	23 <sup>人</sup>	大 字 岡 山	120 <sup>世帯</sup>	287 <sup>人</sup>
南野一丁目	452	965	岡山一丁目	613	1,132
南野二丁目	852	1,974	岡山二丁目	918	2,033
南野三丁目	154	377	岡山三丁目	216	484
南野四丁目	582	1,176	岡山四丁目	562	1,272
南野五丁目	329	781	岡山五丁目	578	1,228
南野六丁目	257	564	岡山東一丁目	371	705
江 瀬 美 町	884	1,967	岡山東二丁目	319	700
雁 屋 北 町	592	1,266	岡山東三丁目	512	1,416
雁 屋 南 町	787	1,679	岡山東四丁目	342	896
雁 屋 西 町	162	371	岡山東五丁目	559	1,492
北 出 町	651	1,377	砂 一 丁 目	192	416
二 丁 通 町	595	1,335	砂 二 丁 目	241	635
楠 公 一 丁 目	376	698	砂 三 丁 目	179	436
楠 公 二 丁 目	315	617	砂 四 丁 目	0	0
米 崎 町	807	1,807	大 字 逢 阪	23	34
塚 脇 町	143	331	大 字 下 田 原	193	538
大 字 中 野	1,420	3,723	大 字 上 田 原	274	556
中野一丁目	192	432	田原台一丁目	257	671
中野二丁目	125	308	田原台二丁目	259	734
中野三丁目	278	708	田原台三丁目	358	996
中野新町	569	1,266	田原台四丁目	258	691
中野本町	997	2,331	田原台五丁目	280	720
美 田 町	572	1,145	田原台六丁目	7	7
大 字 薮 屋	90	239	田原台七丁目	261	680
薮 屋 本 町	435	1,003	田原台八丁目	442	1,256
薮 屋 新 町	112	225	田原台九丁目	345	1,004
大 字 清 瀧	779	1,967	さ つ き ヶ 丘	277	894
清 滝 中 町	715	1,787	緑 風 台	131	349
清 滝 新 町	694	1,233	合 計	24,026	55,937

③ 年齢別人口

平成29年3月31日現在（単位：人）

年齢	男	女	計	年齢	男	女	計	年齢	男	女	計
0	179	198	377	37	284	304	588	74	381	437	818
1	214	224	438	38	373	326	699	75	386	421	807
2	197	208	405	39	357	372	729	76	348	380	728
3	224	198	422	40	379	383	762	77	276	324	600
4	245	225	470	41	431	451	882	78	248	271	519
5	238	191	429	42	536	488	1,024	79	239	296	535
6	252	246	498	43	524	547	1,071	80	224	254	478
7	237	227	464	44	525	547	1,072	81	196	238	434
8	265	245	510	45	536	565	1,101	82	157	210	367
9	282	276	558	46	514	497	1,011	83	138	184	322
10	299	256	555	47	532	517	1,049	84	121	189	310
11	326	304	630	48	506	520	1,026	85	82	145	227
12	335	270	605	49	444	446	890	86	63	133	196
13	330	288	618	50	357	373	730	87	71	112	183
14	351	278	629	51	443	400	843	88	60	116	176
15	371	318	689	52	383	382	765	89	30	82	112
16	359	339	698	53	349	330	679	90	24	90	114
17	332	328	660	54	347	312	659	91	21	68	89
18	351	329	680	55	309	305	614	92	14	53	67
19	315	317	632	56	290	253	543	93	11	43	54
20	324	284	608	57	287	275	562	94	13	33	46
21	319	297	616	58	275	274	549	95	7	38	45
22	312	275	587	59	230	236	466	96	3	32	35
23	296	255	551	60	242	240	482	97	3	21	24
24	264	279	543	61	277	243	520	98	2	19	21
25	279	264	543	62	279	290	569	99	0	10	10
26	275	261	536	63	297	295	592	100	1	8	9
27	234	250	484	64	293	311	604	101	0	7	7
28	246	242	488	65	316	375	691	102	0	3	3
29	225	240	465	66	371	434	805	103	0	2	2
30	243	223	466	67	394	468	862	104	0	0	0
31	271	260	531	68	424	609	1,033	105	0	1	1
32	241	249	490	69	466	531	997	106	0	0	0
33	244	284	528	70	377	439	816	107	0	0	0
34	270	305	575	71	298	319	617	108	0	0	0
35	278	273	551	72	335	403	738	109	0	0	0
36	312	311	623	73	385	421	806	110	0	0	0
								合計	27,419	28,518	55,937

## (2) 住民票記載・消除数

(記載=増加、消除=減少) (単位:人)

原因 種別	届出		職 権		計	平成27年度	増 減
	A 転入・転出	B	C 出生・死亡	D そ の 他			
記 載	A 1,952		C 382		2,375	2,454	△79
消 除		B 2,116	D 499		2,646	2,702	△56
計	4,068		881		5,021	5,156	△135

## (3) 住民異動届の取扱件数 (世帯単位)

(単位:件)

種別 年度	転入	転出	転居	出生	死亡	修正	変更
平成28年度	1,352	1,590	655	378	494	919	555
平成27年度	1,374	1,586	685	410	463	1,031	690
増 減	△22	4	△30	△32	31	△112	△135

## (4) 通知に係る主な取扱件数 (世帯単位)

(単位:件)

種別 年度	他 市 町 村 か ら の 通 知				
	転入通知	住所変更通知 (戸籍附票)	住 民 票 記載事項通知	出生通知	死亡通知
平成28年度	1,675	2,144	318	24	63
平成27年度	1,434	2,199	374	22	60
増 減	241	△55	△56	2	3



## 2 戸籍事務

### (1) 本籍数及び本籍人口数

(単位：件)

種別 \ 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	増 減
本 籍 数	17,944	17,770	174
本 籍 人 口 数	45,840	45,556	284

### (2) 戸籍届件数（支所を含まない）

(単位：件)

種別 \ 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	増 減
出 生	568	548	20
婚 姻	543	553	△10
離 婚	175	207	△32
死 亡	543	550	△7
転 籍	325	302	23
そ の 他	399	482	△83
合 計	2,553	2,642	△89

### (3) 戸籍処理件数（支所を含まない）

(単位：件)

種別 \ 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	増 減
新 戸 籍 編 製	470	495	△25
戸 籍 全 部 消 除	308	292	16
合 計	778	787	△9

### 3 印鑑登録事務

印鑑の登録及び証明に関する事務等を正確かつ迅速に処理し、住民の利便性の向上を図ることを目的に印鑑登録事務を行った。

印鑑登録、廃止月別状況（支所を含まない）

（単位：件）

種別	月別	平成28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	2月	3月	合計	平成27年度計	増減
登録		94	102	115	113	117	135	105	102	99	117	128	184	1,411	1,372	39
廃止		137	118	146	129	138	113	132	136	113	135	140	177	1,614	1,234	380

### 4 住居表示事務

#### (1) 変更証明交付件数

（単位：件）

種別	第1次区域	第2次区域	第3次区域	第4次区域	第5次区域	第6次区域	第7次区域	第8次区域	第9次区域	合計	平成27年度計	増減
住居表示に関する法律第3条による変更証明	10	13	10	8	6	0	0	1	48	96	97	△1
地方自治法第260条第1項による変更証明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
条例第3条第4項変更証明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### (2) 新築等届出件数

（単位：件）

第1次区域	第2次区域	第3次区域	第4次区域	第5次区域	第6次区域	第7次区域	第8次区域	第9次区域	合計	平成27年度計	増減
26	29	14	42	44	12	0	0	5	172	174	△2

#### (3) 住居表示審議会開催

開催年月日	案件	審議事項
平成28年11月29日	大字中野（西地区）及び大字都屋地区の住居表示について	大字中野（西地区）及び大字都屋地区を住居表示実施区域と定める。 住居表示の方法を街区方式と定める。

## 5 諸証明書交付事務

住民票、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書等の諸証明の効率的な交付事務処理を行った。

証明書等の交付状況（支所を含まない）

（単位：枚）

種 別		平成28年度計	平成27年度計	増 減
戸籍関係	全部事項証明・戸籍謄本	4,609	4,721	△112
	個人事項証明・戸籍抄本	1,418	1,417	1
	除 籍 謄 本	772	789	△17
	除 籍 抄 本	14	35	△21
	原 戸 籍 謄 本	1,104	1,176	△72
	原 戸 籍 抄 本	14	26	△12
	公用（無料）戸籍謄・抄本等	3,040	2,310	730
	受 理 証 明 書	154	162	△8
	記 載 事 項 証 明 書	25	36	△11
	戸 籍 の 閲 覧	0	0	0
	そ の 他 の 証 明	484	385	99
住民票関係	住 民 票	22,146	20,946	1,200
	公用（無手数料扱い含む）住民票	1,452	1,410	42
	公的年金現況届（無料）	19	19	0
	住 民 票 の 閲 覧（件）	9	12	△3
	記 載 事 項 証 明 書	768	779	△11
	不 在 住 証 明 書	7	4	3
	戸 籍 の 附 票	854	788	66
	公用（無料）戸籍の附票	1,823	1,372	451
住 民 票 の 広 域 交 付	19	20	△1	
印鑑登録	印 鑑 登 録 証 明 書	13,229	12,970	259
	印 鑑 登 録 証 の 発 行	1,625	1,612	13

## 6 在留関連事務

### (1) 国籍別人口

平成29年3月31日現在

	オーストラリア	ブラジル	ミャンマー	カナダ	中国	フランス	インドネシア	イスラエル
人口 (人)	1	7	4	3	133	3	10	1
	朝鮮	韓国	メキシコ	モンゴル	ネパール	ペルー	フィリピン	シンガポール
人口 (人)	9	235	4	4	10	12	9	1
	タイ	トルコ	英国	米国	ベトナム	ロシア	台湾	無国籍
人口 (人)	8	1	4	7	24	2	7	1
								合計
								500

### (2) 在留関連事務取扱件数

(単位：件)

年度		平成28年度	平成27年度	増減
住居地の届出等	新規上陸後の住居地届出	26	51	△25
	住居地変更届出	70	84	△14
	在留資格変更等に伴う住居地届出	3	4	△1
特別永住者証明書の交付等	新規特別永住許可申請	0	2	△2
	住居地以外の変更申請	0	2	△2
	再交付申請	2	0	2
	有効期間更新申請	25	67	△42
	証明書返納	23	21	2
	その他	0	0	0
合計		149	231	△82

## 7 旅券発給事務

交付件数

(単位：件)

種 別	平成28年度	平成27年度	増 減
5 年	4 9 0	3 4 6	1 4 4
1 0 年	6 4 5	5 1 7	1 2 8
子 ど も	9 6	8 9	7
変 更 5 年	0	0	0
変 更 1 0 年	9	1 8	△ 9
紛 失	8	3	5
増 補	0	1	△ 1
合 計	1 , 2 4 8	9 7 4	2 7 4

## 8 番号制度関連事務

平成27年10月5日より個人番号制度が導入され、通知カードの再発行受付及び個人番号カードの交付を行った。

(単位：枚)

種別 \ 年度	平成28年度	平成27年度	増 減
通知カードの再発行受付	4 4 8	6 0	3 8 8

種別 \ 年度	平成28年度	平成27年度	合 計
個人番号カードの交付	2 , 9 5 7	1 , 5 5 6	4 , 5 1 3

※通知カードの再発行受付は有料分のみ計上

## 9 臨時運行許可事務

自動車の登録・検査等において、自動車の運行が必要となる場合の特例的運行の許可状況は次のとおりである。

月別許可件数

(単位：件)

	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合 計	平 成 27年度	増 減
件数	37	30	30	27	27	30	39	28	31	19	18	26	342	331	11

## 10 市民課運営事務

本人通知制度

住民票の写し等の不正請求及び不正取得による個人の権利の侵害の防止を図ることを目的に「四條畷市住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度実施要綱」を平成22年10月1日付で定め、当該制度の運用を図った。

また、市のイベント時に本人通知制度啓発用の「ちらし」を配布し、制度の周知に努めた。

平成29年3月末日現在において、登録者数は406人である。



# 都 市 整 備 部





# 危機管理課

## 1 防犯対策事務

### (1) 防犯灯電気料金補助金

犯罪のない安全で住みよいまちづくりのため、防犯灯の整備としてLED防犯灯57基を新設、防犯灯電気料金として4,690,608円を地区・自治会へ補助した。

#### 防犯灯地区・自治会別設置数

(単位：基)

地区・自治会名等	平成28年度末までの設置数							平成27年度末までの設置数	増減 基数
	10W	20W	40W	60W	100W	その他	計		
滝 木 間	103		60				163	160	3
畑 中	130		41	1			172	167	5
川 崎	17	1	16				34	33	1
塚 米	123		71		2		196	199	△3
楠 公	44		24		1		69	75	△6
雁 屋	176	1	58				235	242	△7
江 瀬 美	82	4	38				124	122	2
北 出	63		37				100	94	6
二 丁 通	74		29				103	102	1
薮 屋	81		32				113	115	△2
中野本町・西中野	119		64		8		191	183	8
中 野 新 町	45		13				58	45	13
東 中 野	70		47	1	5		123	123	0
清 滝	195		104	1	2		302	293	9
逢 阪	6		3				9	10	△1
岡 山	457	1	238	4	2		702	689	13
砂	79		33				112	113	△1
上 田 原	63		19	3	25		110	110	0
下 田 原	74		27				101	103	△2
府 住 清 滝	30		67		42		139	154	△15
美 田	48		28				76	75	1
緑 風 台	11		25				36	39	△3
四 條 畷 商店会		31			54		85	85	0
忍ヶ丘本通り商店会	8		43	2			53	53	0
田 原 台 一 丁 目	55		25				80	80	0
田 原 台 二 丁 目	61		20				81	81	0
田 原 台 三 丁 目	58		51	17			126	127	△1
田 原 台 四 丁 目	56		18				74	74	0
田 原 台 五 丁 目	1		60				61	61	0
田 原 台 八 丁 目	98		14				112	112	0
田 原 台 九 丁 目	93						93	93	0
くすのき坂						11	11	11	0
くすのき中央						24	24	24	0
さつきヶ丘			1	59			60	60	0
計	2,520	38	1,306	88	141	35	4,128	4,107	22

(2) 防犯灯LED化事業

明るい街づくりの構築及び環境に配慮した低炭素社会への寄与、また、東日本大震災後の消費電力の削減並びに各自治会等の維持管理費及び本市の財政負担の軽減を趣旨とし、電気料金の補助対象となっている防犯灯のうち、40W以上の電気料金区分に属する蛍光灯防犯灯をLED防犯灯へ取り替え工事を行った。

LED防犯灯取り替え数

(単位：基)

地区・自治会名		地区・自治会名		地区・自治会名	
滝木間	52	中野本町・西中野	63	美田	22
畑中	37	中野新町	12	緑風台	8
川崎	11	東中野	33	田原台一丁目	16
塚米	59	清滝	98	田原台二丁目	16
楠公	22	逢阪	2	田原台三丁目	60
雁屋	34	岡山	192	田原台四丁目	18
江瀬美	37	砂	36	田原台八丁目	13
北出	33	上田原	34	さつきヶ丘	56
二丁通	26	下田原	23	合計	1,048
葎屋	27	府住清滝	8		

(3) 防犯カメラ設置補助金交付事業

安心安全なまちづくりの実現を図るため、犯罪を抑止する目的で公共性の高い場所に防犯カメラを設置する地区に対し、その設置経費の一部の補助を行った。

防犯カメラ設置補助金交付地区一覧

(単位：台)

地区・自治会名	台数	地区・自治会名	台数	地区・自治会名	台数
滝木間	2	北出	1	田原台九丁目	1
川崎	1	葎屋	2	合計	13
楠公	2	砂	1		
江瀬美	2	美田	1		

#### (4) 防犯カメラ設置事業

安心安全なまちづくりの実現を図るため、教育委員会及び警察との調整により、小学校1校区あたり7台の防犯カメラを通学路に設置した。

## 2 防犯関係団体連絡調整事務

四條畷市防犯委員会及び大東市防犯委員会で構成する四條畷警察署管内防犯協議会を活動主体として、防犯意識の高揚、啓発に努めた。

### 地域安全対策活動状況

実施年月	項目	概要
平成28年 4月	防 犯 教 室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (2箇所)
	春の地域安全運動	・チラシ、啓発物を配布した。 ・市広報誌により地域安全運動のPRを行った。 ・イオンモール四條畷にて春の地域安全運動・市民大会を実施した。 ・田原地区スーパーの駐車場にて自動車ナンバープレートに盗難防止ネジ無料取付キャンペーンを実施した。 ・ひったくり防止カバー無料取付キャンペーンを2箇所で開催した。
5月	防 犯 教 室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (1箇所)
6月	防 犯 教 室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (4箇所)
7月	防 犯 教 室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (6箇所)
8月	防 犯 教 室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (7箇所)
9月	防 犯 教 室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (2箇所)
10月	全国地域安全運動 大阪府民大会	・犯罪のない平穏で安心して暮らせるまち、大阪の実現を目指す官民一体となった府民大会に参加した。
	全国地域安全運動	・チラシ、啓発物を配布した。 ・市広報誌により地域安全運動のPRを行った。 ・初日行事として大東市立市民会館キラリエホールで全国地域安全運動・安全安心まちづくり市民大会を実施した。 ・田原地区スーパーの駐車場にて自動車ナンバープレートに盗難防止ネジの無料取付キャンペーンを実施した。 ・ひったくり防止カバー無料取付キャンペーンを2箇所で開催した。 ・四條畷南小校区にて子ども見守り活動を実施した。
	市民の集い	・防犯コーナーにて、ひったくり防止カバー無料配布、防犯用品展示、販売等の啓発を実施した。
	防 犯 教 室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (5箇所)

実施年月	項目	概要
平成28年 11月	暴力団追放府民大会	・暴力団の存在しない、安全で明るく住みよい大阪のまちづくりを目指す官民一体となった府民大会に参加した。
	防犯教室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (7箇所)
12月	歳末警戒	・各自治会による歳末警戒を実施した。(12月26日～30日)
	防犯教室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (1箇所)
平成29年 1月	防犯教室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (1箇所)
2月	防犯教室	・警察からの防犯対策の話やビデオ等により防犯意識の高揚を図った。 (1箇所)

### 3 災害弔慰金支給等事務

災害見舞金等の給付の対象となった災害は、9件であった。

### 4 消防団運営事務

- (1) 消防団員の安全確保に対応するため、消防機械器具等の点検・整備に努めた。
- (2) 幹部団員や新入団員の資質向上を目的に、訓練礼式等の教育訓練を行った。
- (3) 緊急自動車の安全運行と交通事故の防止を図るため、安全運転講習会を実施した。
- (4) 地域住民への警火心の高揚を図るため、年末における特別警戒を実施した。

年月	事業名	対象者	人員(人)
平成28年4月	入団式	分団長以上・新入団員	23
5月	安全運転講習会	全団員	119
	基礎・幹部合同訓練	新入団員・班長以上	64
	基礎教育訓練	新入団員	12
	山林パトロール	該当団員	14
6月	北河内地区支部合同教育訓練	副団長以上・新入団員	12
	普通救命講習会	該当団員	32
	消防ポンプ性能試験	該当団員	機械器具点検に含む
7月	普通救命講習会	該当団員	19
	大阪の消防大賞	副団長以上	3
8月	支部総合訓練	該当団員	53
	訓練礼式訓練	該当団員	183

年 月	事 業 名	対 象 者	人 員 (人)
平成28年 9月	大阪府消防大会	副団長以上・該当団員	17
10月	水防訓練	副団長以上・該当団員	42
	市民の集い救護所	副団長以上・女性団員	10
	現場指揮課程	該当団員	2
	初級指導課程	該当団員	3
11月	現場指揮課程	該当団員	1
	可搬ポンプ課程	該当団員	2
	市総合防災訓練	副団長以上・該当団員	18
	山林パトロール	該当団員	18
12月	消防署合同訓練	副団長以上・該当団員	39
	年末特別警戒	全団員	218
	本部巡視	副団長以上	6
平成29年 1月	消防出初式に係る訓練	該当団員	38
	消防出初式	全団員	158
	分団指揮課程	該当団員	2
3月	市防災講演会	全団員	73
	街頭防火広報	副団長以上・女性団員	8
	大阪府消防表彰式	副団長以上	5
通 年	救命講習会指導	該当団員	3
	各種会議等	該当団員	130
	機械器具点検及び地水利調査	全分団	528
延 べ 人 員			1,855

## 5 地域防災対策推進事務

### (1) 市総合防災訓練

大地震発生で予想される家屋倒壊やライフライン等の被害により、避難を強いられた場合の住民の行動と、行政及び地域防災組織等の活動を訓練し、地域防災力の向上を図るため、平成28年11月19日、全避難所で避難訓練及び避難所運営訓練を実施した。

(2) 防災講演会

本市の防災対策の一環として、「自らの命は自らが守る」という防災の原点に立って、地域や家庭における地震・風水害に対する、防災力の向上を図ることを目的に、次のとおり防災講演会を開催した。

日 時 平成29年3月5日 午前10時～11時30分

場 所 市民総合体育館 多目的室

対 象 者 市民

講演内容 『隗より始めよ』 ～出来るだけ行政に頼らない地域力～

講師 災害伝承10年プロジェクト 語り部

仙台市宮城野区福住町町内会 会長 菅原康雄氏

(3) 啓 発

大地震災害に対する日頃の備え及び避難地・避難所の確認について、市広報誌及びホームページにより啓発を行った。

(4) 備蓄品の購入

備 品 一 覧

品 名	数 量	品 名	数 量
アルファ米 五目ごはん	1,500食	アルファ米 山菜おこわ	1,500食
アルファ米 梅粥	300食	豚 汁	3,000食
保存用ビスケット缶	200缶	粉 ミ ル ク (アレルギー対応含)	2缶
粉 ミ ル ク	10缶	毛 布	500枚
大人用おむつ	210枚	トイレットペーパー	6箱

(5) 地区防災マップ作成補助

地域における自主防災活動を促進し、市民の防災力の向上を図るため、地区が主体となり地区内の全世帯に配布するために作成する地区防災マップの作成活動を支援することを目的に、地区防災マップを作成する地区に対し、補助金を交付した。

## 地域防災マップ作成地区一覧

地区・自治会名			
楠			公
滝		木	間
中	野	新	町
上		田	原
田	原	台	一丁目

### (6) 自主防災組織

- ① 災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的として、田原台五丁目自治会において、地域住民が自主的に防災活動を行う自主防災組織を結成した。
- ② 自主防災組織の設立について自治会の要請により説明会を行った。

### (7) なわて「出前講座」

防災講座を4回行った。

## 6 防災体制事務

### (1) 土石流テレメーターの運用

(四條畷市保守点検分)

- ・監視局 四條畷市役所
- ・観測局 (竜王池局、生駒口局、飯盛山中継局)

### (2) 防災行政無線の運用 (四條畷市保守点検分)

- ・固定系 親局無線設備 1式
- 中継局無線設備 1式
- 操作卓 1式
- 遠隔制御器 1式
- 屋外子局 28式
- 戸別子局 63式

※J-ALERT (全国瞬時警報システム) の運用。



(3) デジタルMCA無線の運用。

・移動系	指令局無線設備	1式
	半固定局型無線機	12式
	車載局設備	10式
	携帯局設備	43式
		計66式

# 建 設 課

## 1 交通安全対策事務

四條畷市、大東市等で構成する四條畷警察署管内「交通事故をなくす運動」推進本部を活動主体として、四條畷警察署の協力を得て、交通安全意識の高揚、啓発に努めた。

### 交通安全対策活動状況

実施年月	項 目	概 要 ( )内は参加人数
平成28年 4月	交 通 安 全 教 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動場に設けた模擬道路を使って、交差点・横断歩道・踏切等での安全な歩行や自転車の乗り方を指導した。室内では、交通安全講話及びビデオ等により交通安全意識を高めた。</li> <li>• 保育所・幼稚園 2所 (205人)</li> <li>• 小学校 3校 (535人)</li> </ul>
	春の全国交通安全運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通安全早朝街頭キャンペーン (300人)</li> <li>• 幹線道路における啓発キャンペーン (50人)</li> <li>• 通学路街頭指導 (30人)</li> <li>• 自転車安全指導キャンペーン (100人)</li> <li>• 高齢者自転車実技講習 (18人)</li> <li>• 高齢者自動二輪・原付の実技講習 (10人)</li> <li>• 「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン (45人)</li> </ul>
5月	交 通 安 全 教 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育所・幼稚園 3所 (246人)</li> <li>• 小学校 2校 (103人)</li> </ul>
6月	交 通 安 全 教 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小学校 2校 (269人)</li> </ul>
9月	秋の全国交通安全運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通学路街頭指導キャンペーン (30人)</li> <li>• 交通安全市民フェスタ (700人)</li> <li>• 高齢者自転車実技講習 (22人)</li> <li>• 通学路街頭指導 (30人)</li> <li>• 自転車安全指導キャンペーン (50人)</li> <li>• 四條畷警察署管内交通安全大会 (80人)</li> </ul>
	安全運転者講習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内2箇所 (147人)</li> </ul>
10月	市 民 の 集 い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通安全キャンペーン (子供免許証) (100人)</li> </ul>
11月	交 通 安 全 教 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交野支援学校四條畷校 (128人)</li> <li>• 小学校 2校 (73人)</li> <li>• 保育所 1所 (144人)</li> </ul>
	駐 車 対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• めいわく駐車追放キャンペーン (45人)</li> </ul>

実施年月	項 目	概 要 ( )内は参加人数
平成29年 2月	交 通 安 全 教 室	・幼稚園 1園 (93人)
3月	交 通 安 全 教 室 安 全 運 転 者 講 習 会	・幼稚園 1園 (31人) ・市内2箇所 (208人)

## 2 コミュニティバス運行事務

東西市街地間の市民交流や公共交通空白地の解消、市内商業活動の活性化をめざして、コミュニティバスの運行を行った。また、平成28年9月からは、利用者の利便性の向上及び降車時の時間短縮を趣旨に、中学・高校生対象の学期定期券の発行を実施した。

運賃収入等を差し引いたコミュニティバス運行に伴う経費は1年間で54,280,690円であった。

内訳 運行委託費用 (122,141,520円) 運賃収入 (65,316,710円) 広告収入等 (2,544,120円)

利用者数の状況は、次表のとおりである。

(単位：人)

平成28年度	利用者数	平成27年度	利用者数	前年度比較
平成28年4月	33,610	平成27年4月	33,494	116
5月	33,815	5月	32,873	942
6月	32,299	6月	32,713	△414
7月	32,934	7月	34,099	△1,165
8月	30,228	8月	31,505	△1,277
9月	31,379	9月	36,185	△4,806
10月	32,035	10月	33,183	△1,148
11月	31,221	11月	31,216	5
12月	31,999	12月	31,817	182
平成29年1月	28,035	平成28年1月	28,601	△566
2月	26,773	2月	27,562	△789
3月	33,225	3月	32,935	290
合 計	377,553	合 計	386,183	△8,630

※利用者数は乗降調査時に行った、運賃収入から割り出した推計値です。

### 3 一般農道・水路整備事務

- ・農業用施設的良好な状態を保ち、農業基盤の向上を図るために点検等の維持管理に努めた。
- ・府主体事業により農業用水利施設であるため池の耐震性点検及び調査診断事業に係る事務を行った。

委 託 名	委 託 場 所	委 託 概 要
ため池ハザードマップ作成 業務委託 その2	岡山東五丁目 他	ハザードマップ一式 (岡山新池、烏ヶ池、大谷池)

### 4 地籍調査事務

調査完了地区の管理として地籍調査に基づく座標数値データの請求を70件收受し、70件交付した。

### 5 明示事務

公共用地の境界協議のため、四條畷市道路敷等の官民境界明示申請を下記のとおり收受した。

道 路 敷 等 の 明 示	38 件
---------------	------

### 6 各施設建築設計事務

各施設管理課の依頼に基づき下記のとおり設計・施工を行った。

#### (1) 工 事

番号	工 事 名	工 事 概 要	依 頼 課
①	旧くすの木園等施設 解体・撤去工事	建物解体・撤去工事 (屋外工作物及び屋外設備含む)	児童発達 支援センター
②	新設つどいの広場改修工事	建築改修工事 内装改修	子育て総合 支援センター
③	市立南小学校防火 シャッター設置工事	防火シャッター取付工事	教育環境 整備室
④	四條畷市立福祉 コミュニティーセンター 空調改修工事	機械設備改修工事 ガスヒートポンプエアコン更新工事	生活福祉課

番号	工 事 名	工 事 概 要	依 頼 課
⑤	なわて子ども食堂設置に係る施設整備工事	キッチン更新工事 空調機更新工事	学校教育課
⑥	砂栽培設備設置に伴うビニールハウス建設工事	ビニールハウス新設工事	企画調整課
⑦	公立認定こども園準備に伴う園庭整備工事	園庭整備工事 1. 人工芝張り 2. 横断溝 新設 3. 給湯器 新設 4. 砂場 移設 5. 防音カーテン 新設	子 ども 政 策 課
⑧	四條畷市立市民総合体育館空調改良工事	機械設備改修工事 ・空調更新工事	地域教育課
⑨	四條畷市立市民総合体育館メインアリーナ照明更新他工事	LED照明設置 ガス湯沸かし器新設	地域教育課
⑩	市立四條畷あおぞら幼稚園調理室等整備工事	調理室新設工事	子 ども 政 策 課
⑪	防犯灯（LED）取替工事 その1	防犯灯のLED化 （電力供給会社の申請書作成・管理台帳作成含む）	危機管理課
⑫	防犯灯（LED）取替工事 その2	防犯灯のLED化 （電力供給会社の申請書作成・管理台帳作成含む）	危機管理課

(2) 委 託

番号	委 託 名	委 託 概 要	依 頼 課
①	市立小学校特殊建築物定期調査業務委託	小学校定期調査	学校教育課
②	市立中学校特殊建築物定期調査業務委託	中学校定期調査	学校教育課
③	市立岡部小学校屋内運動場トイレ改修工事実施設計委託	屋内運動場トイレ改修工事実施設計委託	教育環境 整 備 室
④	四條畷消防署田原分署改修等工事設計委託	田原分署内装改修工事実施設計委託	大東四條畷 消 防 署

## 7 建設課運営事務

(1) 建設課に寄せられた窓口（電話・地区要望・メール含む）業務1,007件収受した。

(単位：件)

	河川相談	境界相談	公園相談	道路相談	緑化相談	その他	合計
平成28年4月	1	0	16	50	2	8	77
5月	8	0	21	49	14	18	110
6月	13	0	13	54	18	12	110
7月	5	0	9	68	6	16	104
8月	6	0	17	41	15	13	92
9月	7	0	14	60	7	17	105
10月	1	0	11	44	10	19	85
11月	2	0	12	32	16	15	77
12月	5	0	13	26	7	13	64
平成29年1月	3	0	11	38	7	6	65
2月	5	0	16	33	5	7	66
3月	1	0	11	23	7	10	52
合計	57	0	164	518	114	154	1,007

(2) 国より譲与を受けた里道・水路の適正な管理を行うとともに、これらの用途廃止事務や開発許可申請等に係る事前協議及び都市計画法第32条協議、関係団体からの公共施設の引継ぎなどの協議を行った。

(単位：件)

用途廃止事務	1
開発に伴う協議	24

## 8 道路維持管理事務

### (1) 道路許可申請業務

道路に構造物を設置する際に行う占有許可申請並びに歩道の切り下げ等の施行承認申請等の道路に関する申請を下記のとおり収受した。

(単位：件)

道路占有許可	339
道路工事施行承認	77
道路幅員証明等	0

### (2) 市道認定・廃止業務

市道の認定・廃止手続きを行うとともに、平面図及び調書の修正を行った。また、9路線の新規認定及び16路線の区域変更を行い、合計1,009路線、総延長およそ182.9kmの市道となった。道路敷として4件の帰属或いは寄附を受けた。

### (3) 道路保全・維持補修業務

道路の点検、保全を図るとともに、機能を確保するため維持補修工事等を施工した。また、道路の環境維持・延命化及び交通の安全を促すために、年間50回程度の道路維持管理業務委託を行った。

### (4) 工 事

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
道路維持工事 28-1	岡山東四丁目	門扉設置工 一式
道路維持工事 28-2	蔀屋本町他	道路柵修繕工 一式 舗装修繕工 一式
道路維持工事 28-3	江瀬美町他	雨水柵設置工 一式
道路維持工事 28-4	岡山東一丁目	インターロッキングブロック工 A = 22.6㎡
道路維持工事 28-5	さつきヶ丘他	階段修繕工 一式 舗装修繕工 一式

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
道路維持工事 28-6	大字清瀧他	土砂撤去、仕上工 区画線工 一式 L = 80.0m
道路維持工事 28-7	南野二丁目他	舗装工 A = 35.0㎡
道路維持工事 28-8	大字清瀧	舗装工 A = 60.0㎡
道路維持工事 28-9	大字下田原	法面工 一式 道路附属物工 一式
道路維持工事 28-10	中野本町他	床板工 L = 2.0m 側溝工 L = 3.8m
道路維持工事 28-11	砂一丁目	土のう設置工 L = 89.0m
道路維持工事 28-12	大字上田原	横断側溝工 L = 5.0m
道路維持工事 28-13	菰屋本町他	舗装工 A = 50.0㎡
道路維持工事 28-14	岡山東五丁目	舗装工 A = 2.0㎡ 石積補修工 一式
道路維持工事 28-15	大字上田原	石積補修工 一式
道路維持工事 28-16	大字上田原	コンクリートブロック設置工 L = 104.0m
道路維持工事 28-17	大字逢阪	道路復旧工 一式 法面保護工 一式
道路維持工事 28-18	田原台七丁目	ベンチ修繕工 9箇所
道路維持工事 28-19	清滝中町	柵工 一式 コンクリート工 一式
道路維持工事 28-20	大字上田原	床版設置工 一式 路肩修繕工 一式
道路維持工事 28-21	田原台八丁目	舗装工 A = 51.0㎡
道路維持工事 28-22	大字下田原	里道陥没復旧工 一式



(5) 委 託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 概 要
仙女橋等補修設計業務委託	大字上田原他	橋梁補修設計 N = 5 橋

(6) 道路損傷等の情報提供制度（なわて・安全・安心レポート）

道路施設等を良好に維持し、保全・延命化を図るためには、異変情報を素早く収集し、重大な損傷を引き起こす前に計画的に補修することが重要なことから、道路損傷等の情報を職員等から収集する情報提供制度（なわて・安全・安心レポート）を立ち上げた。20件の情報が提供され、必要な補修を行った。

9 直営補修事務（道路）

道路の維持管理を図るとともに、機能を確保するための応急的維持補修や軽微な補修を直営で行った。

（単位：箇所）

	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
道路補修	13	13	27	40	42	33	21	14	36	25	42	25	331
舗装補修	16	8	12	9	5	2	3	2	3	7	10	6	83
計	29	21	39	49	47	35	24	16	39	32	52	31	414

10 一般道路改良事務

(1) 工 事

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
市道忍ヶ丘砂線自転車道整備工事	砂一丁目	工事延長 L = 500.0m 区画線工 一式 附帯工 一式
市道南野蔀屋1号線他舗装工事	蔀屋本町他	工事延長 L = 352.8m 舗装工 A = 1486.0m <sup>2</sup> 区画線工 一式
市道砂10号線道路改良工事	砂四丁目	工事延長 L = 100.0m 舗装工 A = 326.0m <sup>2</sup> 柵 工 一式 道路附属物工 一式

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
市道岡山1丁目 11号線道路改良工事	岡山一丁目	舗装工 一式 道路附属物工 一式 附帯工 一式
市道葦屋新町5号線 舗装工事	葦屋新町	工事延長 L = 87.6m 舗装工 A = 493.0㎡ 区画線工 一式
市道葦屋本町 1号線他舗装工事	葦屋本町	工事延長 L = 123.0m 舗装工 A = 597.0㎡ (葦屋本町1号線) 舗装工 A = 53.2㎡ (葦屋本町8号線)

## 11 交通安全施設維持管理事務

市民の交通安全を確保するとともに環境の整備・充実を図るため、防護柵・カーブミラー等を設置し、交通の安全に努めた。また、機能を確保するため補修工事等を施工した。

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
交通安全施設維持工事 28-1	田原台八丁目	舗装工 A = 40.0㎡
交通安全施設維持工事 28-2	岡山東五丁目	バリカー設置工 1箇所 ステップ設置工 一式
交通安全施設維持工事 28-3	砂三丁目	LED照明設置工 3箇所
交通安全施設維持工事 28-4	葦屋本町 他	フェンス修繕工 H1200 L = 18.0m H850 L = 1.2m
交通安全施設維持工事 28-5	岡山東五丁目	フェンス修繕工 H2400 L = 10.0m
交通安全施設維持工事 28-6	中野新町	コンクリート工 一式 防護柵設置工 L = 2.0m
交通安全施設維持工事 28-7	中野本町 他	区画線工 一式
交通安全施設維持工事 28-8	大字清瀧	道路照明移設 一式 道路照明柱建替 一式

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
カーブミラー修繕工事	市内全域	道路反射鏡修繕工 支持金具交換 31基 支柱基礎打替(φ600一面鏡) 1基 支柱基礎打替(φ600二面鏡) 1基 塗装塗替(φ76.3) 151基

交通安全施設の補修・点検を下記のとおり行った。

カーブミラー補修	補修 4件 新規 3件
街路灯補修	8件
防護柵等補修	0件

## 12 交通安全施設整備事務

歩道(通学路)の整備、交差点改良等通行者の安全確保のための舗装工事及びグリーンベルトの設置工事等を行った。

### (1) 工 事

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
※市道清滝3号線グリーンベルト設置工事	清滝中町	工事延長 L=153.0m 区画線工 一式
※市道田原1号線グリーンベルト設置工事	大字上田原	工事延長 L=174.8m 舗装工 A=739.0㎡ 区画線工 一式
市道坪井南山下線他歩道舗装工事	岡山東一丁目	工事延長 L=235.0m 舗装工 一式 附帯工 一式
市道中野本町1号線路肩改良工事	中野本町	工事延長 L=35.0m、擁壁工 一式 舗装工 一式、区画線工 一式 防護柵工 一式、排水構造物工 一式
※市道田原台8丁目4号線グリーンベルト設置工事	田原台八丁目	溶融型カラー塗装工 L=32.4m
※市道岡山中野2号線グリーンベルト設置工事	大字中野	工事延長 L=84.0m 舗装工 一式 区画線工 一式

## (2) 委 託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 概 要
※ 岡 山 東 5 丁 目 4 号 線 歩 道 設 計 業 務 委 託	岡山東五丁目	委託延長 歩道設計業務 L = 90.0m 一式

※印については、四條畷市通学路交通安全プログラムに基づいて実施

## 13 放置自転車対策事務

JR四条畷駅及びJR忍ヶ丘駅周辺の自転車等放置禁止区域を中心とした放置自転車等の移送を行い、所有者の判明した自転車等については、引取通知書を送付し返還するよう努めた。

なお、警告・移送・返還・処分等の状況及び、自転車駐車場の利用数は、次表のとおりである。

(単位：台)

年 月	警 告			移 送			返 還			返還率 (%)	処 分		免除
	自転車	原付	合計	自転車	原付	合計	自転車	原付	合計		自転車	原付	
平成28年 4月	10	1	11	8	1	9	3	0	3	33.3	0	0	1
5月	13	0	13	11	0	11	1	0	1	9.1	0	0	0
6月	7	2	9	7	2	9	2	0	2	22.2	0	0	0
7月	9	0	9	9	0	9	1	0	1	11.1	0	0	0
8月	14	1	15	13	1	14	1	0	1	7.1	0	0	0
9月	13	0	13	13	1	14	2	0	2	14.3	0	0	0
10月	7	0	7	7	0	7	3	0	3	42.9	0	0	0
11月	11	1	12	7	1	8	1	1	2	25.0	0	0	0
12月	5	0	5	7	0	7	6	0	6	85.7	65	2	3
平成29年 1月	11	0	11	11	0	11	0	0	0	0.0	0	0	0
2月	4	0	4	11	0	11	1	0	1	9.1	0	0	0
3月	10	1	11	10	1	11	3	0	3	27.3	28	4	0
合 計	114	6	120	114	7	121	24	1	25	20.7	93	6	4

忍ヶ丘駅北自転車駐車場利用数

(単位：件)

	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
自転車定期 新規契約1ヶ月	57	72	73	64	78	69	65	74	60	76	56	60	804
自転車定期 新規契約3ヶ月	29	14	26	16	17	22	22	12	20	21	12	21	232
原付定期 新規契約1ヶ月	29	22	26	24	22	25	25	22	22	21	23	23	284
原付定期 新規契約3ヶ月	0	5	10	2	6	9	2	4	9	4	4	11	66
自転車一時預かり	475	378	418	428	539	457	418	376	380	419	375	492	5,155
原付一時預かり	123	130	121	122	129	119	128	120	129	139	122	114	1,496

(自転車収容台数…定期契約176台、一時利用24台 原付収容台数…定期契約45台、一時利用7台)

14 放棄車両処理事務

市が管理する道路等に放置された自動車の撤去・処分と放置されない環境づくりを行った。

(単位：台)

撤去勧告台数	自主撤去	撤去	処分
2	0	2	0

15 河川・水路維持管理事務

市内の主要な農業用排水路の災害防止や良好な維持管理のために10地区の用水組合等に清掃補助金589,000円を交付した。

(1) 工 事

工 事 名	工事場所	主 な 内 容
河川・水路維持工事 28-1	蔀屋本町	浚 渫 工 一式
河川・水路維持工事 28-2	大字清瀧	清 掃 工 L = 30.0m
河川・水路維持工事 28-3	南野六丁目	蓋版取替工 一式 水路床補修工 一式

(2) 法定外公共物許可事務

法定外公共物における工事施行、通路橋・上水道管・下水道管・ガス管等の設置による占用行為の許可申請について許可を行った。

(単位：件)

区 分	件 数
工 事 施 行 許 可	13
占 用 許 可	64

(3) 河川法許可申請経由事務

一級河川における河川法許可申請書を14件收受し、大阪府枚方土木事務所あて経由を行った。

(4) 相談等に関する対応事務

窓口、電話等により、河川・水路に関する217件の相談・要望等を受け、現地調査・確認、現地補修の作業等対応を行った。

(単位：件)

	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
件数	34	26	31	22	20	10	21	7	9	13	12	12	217

(5) 雨水浸透阻害行為許可・協議申請経由事務

特定都市河川浸水被害対策法及び大阪府都市河川流域における浸水被害の防止に関する条例に基づく雨水浸透阻害行為許可・協議申請書を9件收受し、大阪府知事あて経由を行った。

## 16 雁屋畑線整備事務

本市西部地域の南部地域において、府道四條畷停車場線と国道170号を東西に結ぶ地域幹線道路であり、本市域の交通円滑化を図るための業務を行った。

### (1) 工 事

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
都市計画道路雁屋畑線 道路築造工事	雁屋南町他	工事延長 L = 116.2m 舗装工 一式 縁石工 一式 排水構造物工 一式 区画線工 一式 道路附属物工 一式 附帯工 一式
都市計画道路雁屋畑線 植栽工事	雁屋南町他	植栽工 N = 192本

### (2) 委 託

委 託 名	委託場所	委 託 概 要
市道雁屋畑線電線共同 溝設置設備工事に関する委託	雁屋南町他	照明柱設置工 一式 電線共同溝工 一式
道路築造に伴う 境界復元業務委託	雁屋南町他	境界復元業務 一式
道路用地分筆業務委託	雁屋南町他	道路用地分筆業務 一式

## 17 公園維持管理事務

公園、緑地、緑道については、遊具の点検整備や樹木の剪定、除草、清掃を行うなど維持管理に努めた。

### (1) 清掃・除草委託

委 託 名	委託場所	委 託 概 要
公園・緑地等 除草清掃業務委託	市内公園緑地	田原台地区公園緑地、川崎池公園、蜻蛉池公園、 その他公園緑地の除草、清掃等 便所掃除 416回 園内清掃 A = 90,721㎡ 人力除草 A = 4,353㎡ 機械除草 A = 54,986㎡ おがくず交換 1回 (バイオトイレ)

## (2) 抗菌剤散布委託

委託名	委託場所	委託概要
公園砂場清掃・ 抗菌剤散布業務委託	中野本町 他	砂場清掃・抗菌剤散布 清掃 年3回清掃 殺菌剤散布 抗菌剤散布 市内39箇所 A = 630.6㎡ A = 366.8㎡ A = 263.8㎡

## (3) 公園施設・遊具等補修工事

工事名	工事場所	工事概要
公園遊具取替工事	岡山児童遊園 向二児童遊園 開発40号公園	遊具取替工事
開発1号公園 複合遊具取替工事	開発1号公園	複合遊具取替工事
北谷公園多目的トイレ修繕	北谷公園	大便器・タンク・鏡・手洗い排水修繕
さんら児童遊園遊具修繕	さんら児童遊園	遊具修繕
さんら児童遊園 排水設備修繕工事	さんら児童遊園	排水設備修繕工事
畑中童遊園街路灯電球交換	畑中児童遊園	街路灯電球交換
開発45号公園複合遊具修繕	開発45号公園	複合遊具修繕
堂尾池バイオトイレ修繕	堂尾池	バイオトイレ修繕
戎公園照明設備修繕	戎公園	公園内外灯修繕
蜻蛉池公園 トイレタンク弁修繕	蜻蛉池公園	トイレタンク弁修繕
蜻蛉池公園 排水設備修繕工事	蜻蛉池公園	排水設備修繕



(4) 公園維持管理直営

ゴミ回収

公園等ゴミ回収直営、週1回定期

その他随時

剪定、草刈、遊具修繕

18 里親支援事務

公園・緑地や街路樹の樹木・剪定や花作り活動及び公園遊具の点検等のボランティア活動に対して原材料の支給を行った。

四條畷市公園・緑地等里親会の登録件数

- ・自治会関係 16、グループ 34、個人 134人が登録活動

活動内容

- ・田原台・江瀬美町花のネットワークステーションで花づくり
- ・研修（滋賀農業公園 ブルーメの丘（滋賀県蒲生郡日野町））

19 四條畷市総合公園事務

現在供用開始している施設の適正な維持管理を行いつつ、平成29年4月の多目的広場供用開始に向け、以下の工事を行った。

(1) 工事

工事名	工事場所	工事概要
四條畷市総合公園水道設備整備工事	大字上田原	水道整備工 一式
四條畷市総合公園フェンス設置工事		フェンス設置工 一式
四條畷市総合公園通路等整備工事		コンクリート舗装 A = 150.0㎡ 砕石舗装 A = 35.0㎡
四條畷市総合公園手洗い場設置工事		手洗い場設置工 一式

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
四 條 畷 市 総 合 公 園 受 変 電 設 備 整 備 工 事	大 字 上 田 原	受変電設備整備工 一式 配 管 工 一式 配 線 工 一式 ポール灯設置工 一式 舗 装 工 A = 1,070.0㎡ 附 帯 工 一式
四 條 畷 市 総 合 公 園 多 目 的 広 場 整 備 工 事		排 水 工 一式 本部席整備工 一式 グランドコート舗装工 A = 14,200.0㎡ グラウンド施設整備工 一式 グラウンド柵工 一式 照明灯整備工 一式 散水栓設置工 4箇所 附 帯 工 一式
四 條 畷 市 総 合 公 園 駐 車 場 等 整 備 工 事		舗 装 工 A = 1,540㎡ 縁 石 工 一式 排水設備工 一式 トイレ整備工 一式

## 20 緑化推進事務

自然環境の保全及び自然環境の整備を図りつつ、市街地緑化の推進を図り市民が潤いを感じ、健康に生活する環境を作るため、以下の助成事業を行うとともに、各種団体に補助金を交付した。

### (1) 生垣等設置助成事業

住宅等に生垣を設置する場合において、条件に適合した工事費等に対して助成金を支払う事業。

助 成 件 数	0 件
---------	-----

### (2) みどりと花の会

緑化に関する相談及び緑化を推進する団体。

園芸相談会、さつき・盆栽等展示会

### (3) 緑化推進委員会

都市緑化を図る目的で市民の緑化意識の高揚に関することや緑化事業に関する助言を行う団体。

市民の集い、山地美化キャンペーン、研修（日野ダリア園（滋賀県蒲生郡日野町））

## 21 緑化維持管理事務

### (1) 緑道等樹木管理・清掃委託

委 託 名	委託場所	委 託 概 要
市道忍ヶ丘砂線他樹木管理委託	岡山一丁目 他	剪定、薬剤散布、灌水
市道中野藪屋2号線他樹木管理委託	中野本町 他	剪定、薬剤散布、灌水
市道南野9号線他樹木管理委託	南野一丁目 他	剪定、薬剤散布、灌水
市道田原歩行者専用道路1号線 他 樹 木 管 理 委 託	田原台三丁目 他	剪定、薬剤散布、灌水
市道大平小谷線他樹木管理委託	田原台八丁目 他	剪定、薬剤散布、灌水
剪定枝チップ堆肥工委託	大字逢阪	剪定枝のチップ、発酵、堆肥化
ふれあいの森・ハイキング道 除草等業務委託	大字下田原 他	除 草 2回 A = 11,000㎡ 園内清掃 A = 31,200㎡ トイレ清掃 52回 側溝清掃工 2回
街路樹植栽帯等除草清掃業務委託	岡山一丁目 他	忍ヶ丘砂線、雁屋西町1号線、田原中央 線、大平小谷線他 除草・清掃
忍ヶ丘駅西ロータリー樹木剪定作業	岡山二丁目	樹木剪定
市内樹木剪定業務委託	南野五丁目 他	樹木剪定等
戎公園樹木伐採委託	田原台四丁目	樹木伐採
大阪府自然公園施設に関する委託	大字逢阪 他	生駒縦走道 清 掃 工 L = 3.4km 4回 除 草 工 L = 0.6km 2回 環境自然歩道 清 掃 工 歩道 L = 0.5km 4回 広場 A = 150.0㎡ 10回 除 草 工 歩道 A = 150.0㎡ 2回 広場 A = 150.0㎡ 2回

(2) 緑道等樹木補植工事委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 概 要
32 号 緑 地 除 草 工 事	田原台六丁目	除草作業

22 災害対策事務

水防活動対策として、水防資材の点検・補充や台風・異常気象による警戒活動を行い、また、冬期の道路凍結・雪害対策活動を行った。

23 災害復旧事務

災害の発生した道路・水路の復旧工事を行った。

(1) 工 事 (道路)

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
市道逢阪生駒口線路肩 修繕工事	大字上田原	路肩復旧工 一式 排水構造物設置工 L = 5 m
市道逢阪生駒口線 道路側溝浚渫工事		道路側溝浚渫工 一式

(2) 工 事 (水路)

工 事 名	工事場所	工 事 概 要
市管理水路土砂撤去工事	大字下田原	土砂撤去 V = 250m <sup>3</sup> 除草工 一式
ふれあいの森水路修繕工事		排水管整備工 L = 10m ふとんかご設置工 一式
堂尾池付近法定外水路 改修工事		ブロック積工 L = 12m

# 都 市 計 画 課

## 1 都市計画審議会運営事務

都市計画を新たに決定する場合や変更する場合には、都市計画審議会の議を経ることが必要であることから行う事務で、平成28年度は以下の変更を行った。

都市計画の変更（四條畷市案件）

都市計画生産緑地地区の変更

生産緑地法により、すでに生産緑地としての行為の制限が解除されたものの廃止に伴う都市計画区域の変更を行った。

平成29年1月10日 四條畷市告示第1号 99地区 約19.53ha

## 2 建築確認経由事務

大阪府知事等が許可等を行う際に必要となる情報や状況等の報告及び協議を行う事務で、平成28年度は以下の事務を行った。

### (1) 開発事業関係

#### ① 開発許可等に係る事務

一定要件の開発行為等をする場合に必要な許可申請等の経由事務を行った。

(単位：件)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
開 発 申 請 関 係	開 発 事 業 に 伴 う 事 前 協 議	22	20	24
	都 市 計 画 法 第 32 条 協 議	7	11	17
	都 市 計 画 法 第 29 条 許 可 申 請	7	11	18
そ の	開 発 に 該 当 し な い 旨 の 証 明	2	3	3
	開 発 許 可 等 不 要 証 明	18	8	5
	宅 地 造 成 工 事 で な い 旨 の 証 明	0	0	0
他	宅 地 造 成 許 可 申 請	2	1	4
	金剛生駒紀泉国定公園内における許可申請	3	12	7
	近 郊 緑 地 保 全 区 域 内 行 為 届 出	0	2	2
	優 良 宅 地 ・ 優 良 良 質 住 宅 認 定 申 請	0	0	0

② 開発工事完了後に係る事務

開発行為等に関する工事により設置された公共施設用地の帰属事務を行った。

(単位：件)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
帰 属 関 係	都市計画法第29条申請に伴う道路帰属	7	8	7
	都市計画法第29条申請に伴う公園帰属	4	1	0
	都市計画法第29条申請に伴うその他の帰属	1	1	0
	四條畷市開発指導要綱に伴う道路帰属	0	1	0
	四條畷市開発指導要綱に伴う公園帰属	0	0	0
	四條畷市開発指導要綱に伴うその他の帰属	0	0	0

(2) 建築確認事業関係

建築物の建築等を行う場合に必要な許可申請等の経由事務を行った。

① 建築基準法第6条及び第6条の2に係る事務（法第18条を含む）

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
建 築 確 認 申 請	2 4 6	2 2 3	2 5 7

② 建築基準法第43条に係る事務

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
建築基準法第43条第1項の規定に係る許可申請	1 2	1 4	2 0

③ 大阪府福祉のまちづくり条例に係る事務

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
特 定 施 設 設 置 工 事 事 前 協 議	2	0	2

④ 道路位置指定申請に係る事務

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
道路の位置指定申請	4	1	1
道路の位置指定申請に伴う道路帰属	3	1	0

⑤ 違反建築に係る行政指導

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
違反建築等調査書	5	4	3

(3) 地区計画事業関係

地区計画に係る届出の受理

地区計画区域内での建築行為や造成行為等を行う場合に必要な届出の事務を行った。

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
田原地区地区計画	18	12	31
さつきヶ丘地区地区計画	0	0	0
砂第1地区地区計画	0	0	0
砂地区地区計画	5	3	4
計	23	15	35

### 3 耐震促進事務

(1) 交付申請等

震災に強いまちづくりをめざすことを目的とした事務で、一定の条件を満たす既存民間木造住宅及び特定既存耐震不適格建築物に対して耐震診断等に要する費用の一部を補助した。

また、建築物の耐震化を促進するため、耐震フォーラムの開催、広報誌の掲載（年2回）及び地域防災対策推進事業の一環とした「防災講演会」及び「市民の集い」の会場内に耐震診断のブースを設け普及啓発に努めた。

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
耐震診断補助金交付申請	9	15	12
耐震改修計画作成補助金交付申請	2	3	2
耐震改修工事補助金交付申請	1	3	1

## (2) 委託

### ・四條畷市耐震改修促進計画改定業務委託

平成25年度に改正施行された「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）」及び「住宅建築物耐震10ヵ年戦略・大阪」に基づき、耐震化の目標達成に必要な施策などについて検討し、改定するための業務委託を行った。

## 4 都市計画課運営事務

課の運営や都市計画上に係る各種証明や明示等を行う事務で、平成28年度は以下の事務を行った。

### (1) 都市計画関係に係る事務

都市計画決定している区域区分や地域地区、都市施設の証明等の事務を行った。

#### ① 都市計画施設の明示等

(単位：件)

都市計画施設の種類	摘要	平成26年度	平成27年度	平成28年度
都市計画道路	明示件数	0	2	0
	都市計画法第53条に定める許可	5	1	0

#### ② 都市計画用途境界明示

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
都市計画用途境界明示	5	4	2



③ 都市計画区域区分境界明示

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
都市計画区域区分境界明示	0	0	0

④ 都市計画に係る区域区分の証明

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
都市計画に係る区域区分の証明	1	1	1

⑤ 都市計画に係る地域地区の証明

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
都市計画に係る地域地区の証明	0	1	1

(2) 国土利用計画法等に係る事務

一定要件の土地を契約（売買等）する場合に必要な届出の事務を行った。

① 国土利用計画法関係事務

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
土地取引の届出に関する事務	5	※7	7

※平成27年度7月1日から大阪府より権限移譲したため、平成27年6月以前は1件（経由事務）であり、平成27年7月以降については6件の内訳となる。

② 公有地の拡大の推進に関する法律関係事務

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
公拡法の届出及び申出に関する事務	1	3	2

(3) 納税猶予の特例適用の農地等該当証明に係る事務

対象となる農地等が生産緑地地区、市街化調整区域内農地の有無についての証明を行った。

納税猶予の特例適用の農地等該当証明

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
納税猶予の特例適用の農地等該当証明	1	0	2

(4) 委 託

• 都市計画マスタープラン改訂業務委託

本市都市計画マスタープランは平成13年度（一部平成21年度改訂）に策定されてから10年以上経過しており、その間の都市計画法等諸法律の改正や社会情勢の変化、市の新たな施策等を反映させるため、平成27年度に策定した素案をもとに最新の基礎データの反映、本市都市計画審議会での意見聴取等を行い、都市計画マスタープランを改定するための業務委託を行った。

• 蔀屋地区まちづくり支援業務委託

市街化調整区域である大字蔀屋地区の一部は、第二京阪道路の供用開始に伴い、無秩序な土地利用が進むことを懸念され、また、隣接地区では大規模商業施設（イオンモール四條畷）が平成27年10月に開業し、周辺状況も大きく変化し、併せて相続等により地権者も変わっている状況のため、地権者等の今後の土地利用の活用等の意識調査を行い、その結果の解析をするための業務委託を行った。

• 砂地区地区計画パンフレットデータ作製業務委託

砂地区地区計画の都市計画変更に伴い、市民等への周知としてパンフレットデータを作製するための業務委託を行った。

# 生 活 環 境 課

## 1 墓地改葬関係事務

墓地、埋葬等に関する法律に基づく改葬許可証の交付件数は、次のとおりである。

改葬許可証交付件数

(単位：件)

	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
平成28年度	6	16	15	10	32	2	15	18	5	17	7	10	153
平成27年度	7	15	11	14	13	10	12	17	3	7	16	20	145

## 2 飼犬登録事務

狂犬病予防法に基づく飼犬登録を実施するとともに、狂犬病予防集合注射を実施した。

なお、実施にあたっては飼犬登録や狂犬病予防注射の徹底を図るため、市広報誌、ポスター、飼主への通知等により周知に努めた。

また、飼犬等の「フン問題」について、飼主のモラル向上を図るため、飼犬登録時にモラル向上のパンフレットの配布を行っており、また、市広報誌に犬の適正管理についての記事掲載や、犬のフンの始末に関する啓発看板やフン放置を警告するイエローカードを作成し、希望者には窓口で配付するなどの啓発を行った。

飼 犬 登 録 数

(単位：頭)

	登 録 頭 数	新規登録頭数	死亡届出頭数
平 成 2 8 年 度	3 , 0 4 0	1 8 4	2 0 9
平 成 2 7 年 度	3 , 0 4 6	1 9 4	1 4 9
増 減	△ 6	△ 1 0	6 0

### 3 衛生害虫駆除事務

駆除月間中ゴキブリ・ねずみ等の駆除に関する市広報誌、市ホームページ、チラシ等による啓発を行った。

#### (1) 駆除月間

- ① ゴキブリ駆除月間（大阪府内一斉）  
平成28年6月1日から6月30日まで
- ② セアカゴケグモ対策月間  
平成28年7月20日から8月31日まで
- ③ ねずみ駆除月間（大阪府内一斉）  
平成29年1月15日から2月28日まで

#### (2) 害虫相談実績

近年、苦情相談件数が多くなっているスズメバチ・アシナガバチなどについては、民間業者を紹介するとともに、状況に応じて指導や駆除を実施した。

(単位：件)

害 別	虫 の 種 類	相 談 件 数
疾 病 の 媒 介	蚊・ハエ・ゴキブリ	0 ( 0 )
吸 血 の 害	ブユ・なんきん虫・ノミ・ダニ	0 ( 0 )
刺 咬 の 害	ムカデ・蜂・蟻	18 (13)
不 快 感 を 与 え る 害	ゲジゲジ・カメムシ・ナメクジ・ユスリカ・ 蛾の幼虫・ヤスデ・蟻	27 (21)
皮 膚 炎 を 起 こ す 害	毒蛾の類（イラガの幼虫）	0 ( 3 )
食 品 の 食 害 汚 染	コナダニ・コクゾウムシ・チャタテムシ	0 ( 0 )
居 住 衣 類 家 具 の 食 害	キクイムシ・シロアリ	0 ( 0 )
ね ず み の 害 ・ そ の 他	ねずみ・ハト・カラス・コウモリ・セアカゴケ グモ・マムシ・ヨトウムシ	3 ( 3 )
合 計		48 (40)

( ) 内は平成27年度

## (3) 処 置 件 数

(単位：件)

処 置 別	処 置 件 数
口 頭 指 導	3 ( 2 )
現 地 指 導	0 ( 0 )
業 者 紹 介	1 0 ( 9 )
消 毒 駆 除 作 業 実 施	4 1 ( 2 9 )
合 計	5 4 ( 4 0 )

( ) 内は平成27年度

## 4 環境政策の企画・推進事務

## (1) 四條畷市環境保全活動協働支援助成金

広く市民の参加を得て行われ、又は広く市民への普及が期待できる環境保全活動を行う法人その他の団体の当該活動に要する経費の一部を助成することにより、環境保全に関する活動への市民参加の促進を図ることを目的として、平成19年度から実施している。平成28年4月号市広報誌で募集を行ったところ5団体7活動の応募があり、計128,732円の助成金の交付を行った。

## (2) 環境学習出前講座

環境問題に関心を持ってもらうため、学校などに環境学習の出前講座を下記のとおり実施した。

開 催 年 月 日	講 座 名 等	参 加 者
平成28年10月28日	あおぞら幼稚園 環境紙芝居「それいけ！エコットくん」 「エコットくんと時空の旅」	97 人
平成28年11月9日	忍ヶ丘保育所 環境紙芝居「それいけ！エコットくん」 「エコットくんと時空の旅」	86
平成28年11月16日	岡部保育所 環境紙芝居「それいけ！エコットくん」 「エコットくんと時空の旅」	112

### (3) 緑のカーテン

「緑のカーテン」は、建物の壁面をゴーヤやアサガオなどのつる性植物でカーテンのように覆う緑化の方法であり、窓からの日ざしを和らげるとともに、室温の上昇を抑える効果が期待され、ヒートアイランド対策としても注目されている。

本市では、なわて環境ネットワークの協力を得て、平成18年度から小学校や市役所、上下水道局などにおいて、緑のカーテン事業に取り組み、市役所と上下水道局では、副産物であるゴーヤの実を来庁者に無料配布した。また、4月から8月までの期間中、市民の方に参加していただき、緑のカーテンの普及や市民ボランティアの育成を目的とする講座を開催した。

### (4) 「なわて打ち水大作戦！」の実施

ヒートアイランド対策の一環として、夏の四條畷の温度を少しでも下げようとする試みで「なわて打ち水大作戦！」を実施し、打ち水イベントを地域の方々と一緒に行い、昔ながらの知恵である打ち水を広くアピールした。

#### 実施期間及び要領

打ち水の基本期間は、平成28年7月22日【大暑】～8月23日【処暑】の1ヶ月とし、市民に対しても市広報誌、ポスター、チラシにより、この期間での打ち水行動への参加を呼びかけた。

また、重点実施期間については、時間を合わせての市内一斉行動による打ち水の効果を期待するものであり、平成28年8月1日から8月5日までそれぞれ午後4時から公共施設を中心として特に重点的な取り組みを行うとともに、8月1日、3日、5日には、啓発キャンペーンを実施した。

(5) なわて環境フォーラムの実施

小中学生の親子を中心とする若い世代の市民に広く環境問題を知っていただくために、「なわて環境フォーラム」を開催した。

開催年月日	内 容 等	参加者	場 所
平成29年2月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 映画「それいけ！アンパンマン ロールとローラうきぐも城のひみつ」</li> <li>• 環境保全団体によるパネル展示</li> <li>• 市内小学生「リサイクルポスター」優秀作品展示</li> <li>• 食器市</li> <li>• おもしろ科学実験</li> <li>• 子ども用品交換会</li> <li>• エネルギーブース</li> <li>• プロマジシャン ミヤモさんによるECO MAGICショー</li> <li>• ごみの収集実演</li> </ul>	約 1,000人	市民総合 センター

(6) 環 境 審 議 会

環境基本計画の進捗状況の報告等を目的に下記のとおり審議会を開催した。

開催年月日	内 容 等	場 所
平成28年10月12日 (第1回環境審議会)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 役員の選出について</li> <li>(2) 四條畷市環境基本計画（原案）について</li> <li>(3) 新ごみ処理施設整備事業に係る進捗状況について</li> <li>(4) 「家庭系一般廃棄物（粗大ごみ・不燃ごみ）の分け方、出し方等」の市民意見公募結果について</li> <li>(5) その他</li> </ol>	四 條 畷 市 役 所 東別館2階 201会議室
平成28年11月30日 (第2回環境審議会)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 四條畷市環境基本計画（案）について</li> <li>(2) その他</li> </ol>	四 條 畷 市 役 所 東別館2階 201会議室
平成28年12月21日 (第3回環境審議会)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 四條畷市環境基本計画（案）について</li> <li>(2) 答申（案）について</li> <li>(3) 四條畷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正の報告（家庭系粗大ごみ・不燃ごみの一部有料化に関する報告）</li> <li>(4) その他</li> </ol>	四 條 畷 市 役 所 本館3階 委員会室
平成29年2月15日 (第4回環境審議会)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 四條畷市環境基本計画（案）の答申について</li> <li>(2) なわての環境（平成28年版）について</li> <li>(3) その他</li> </ol>	四 條 畷 市 上 下 水 道 局 2 階 大 会 議 室

(7) 環境白書の発刊

四條畷市の環境（大気、水質、土壌など）の現状データと、四條畷市環境基本計画に基づく施策の進捗状況について、平成27年度の数値と施策の実績を取りまとめた環境白書「なわての環境（平成28年版）」を発刊した。

(8) 四條畷市地球温暖化対策実行計画の推進

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条に基づき、市の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出抑制等の取組みを行うことによる地球温暖化対策の推進を図るため、平成27年度に策定した、平成28年度から平成32年度を計画期間とする「第3次四條畷市地球温暖化対策実行計画」に基づく取組みを推進した。

取組み内容としては、前年度に引き続き、昼休みの消灯、適正冷暖房などによる電気使用量の削減、公用車の燃料使用量の削減、用紙類使用量の削減などに努めた結果、平成28年度温室効果ガス総排出量は、約3,018トン-CO<sub>2</sub>となっており、基準年となる平成26年度実績約3,111トン-CO<sub>2</sub>（上水道事業関連施設等を除く）と比較して、約93トン-CO<sub>2</sub>（約3.0%）減少となった。

## 5 地域環境美化事務

良好な生活環境の保全のための施策の推進とともに、市民意識の高揚を図るため、次の事業を実施した。

(1) 環境整備

### 清掃美化活動の推進

地区・自治会による清掃活動の推進に努めた。また、清掃作業の円滑化を図るため、市民への清掃用具の貸出しや汚泥、土砂回収袋の配布を行い、清潔の保持、飛散防止のためごみの早期回収に努めた。

### 清掃活動処理件数

(単位：件)

	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
件数	5	31	26	13	3	16	12	13	19	2	2	2	144



## (2) 空き地等の管理

空き地等の実態調査を行うとともに、管理状況については定期的にパトロールし、管理不備な空き地等の所有者や管理者に対し、下記のとおり適正管理の依頼文書を送付し、指導を行った。また、空き地等の苦情については、所有者に対し訪問、電話等により指導を行った。

### 空き地適正管理文書送付実績

実施月	所有者数(人)	箇所数	面積(m <sup>2</sup> )
6月	69	107	32,426.41
9月	54	81	25,451.61
12月	13	19	4,778.74

(参考) 調査対象地総数 161箇所、44,529.92m<sup>2</sup>

## (3) 空き家の実態調査

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、市内全域を対象に空き家の実態調査を行い、空き家と認められた256件について危険度判定を実施した。また、空き家のうち所有者を特定することができた246件に対してアンケートを郵送し、所有者の意向調査を行った。その結果、127件の有効な回答を得ることができ、回収率は51%であった。

### 空き家の危険度判定の結果

判定結果	危険度	周囲への影響	件数
A	問題なし	適切に管理されている。	236
B	注意	大きな問題はないが注意が必要である。	14
C	危険	管理が行き届いておらず、特定空家候補となり得る。	6

調査期間 平成28年9月20日～12月28日

## 6 不法簡易屋外広告物等撤去事務

不法に掲出された屋外広告物等に対して、四條畷市不法屋外広告物等対策協議会において、大阪府、市及び関係機関等が相互に連携し、掲出の抑止及び除去等の対策事業を実施した。

また、市民等との協働による不法簡易屋外広告物等の撤去活動を進めるため、ボランティア団体（かたづけたい・四條畷）を設置し、自主的な活動及び協議会の撤去活動への参加が行われた。

※「かたづけたい・四條畷」とは、不法簡易屋外広告物等の撤去を行うために事前に講習を受

け、市に登録をした市民等の団体であり、平成28年度は5団体、29人の登録がある。

### 撤去活動等の実績

#### (1) 四條畷市不法屋外広告物等対策協議会

実施年月日	はり紙 (枚)	はり札 (枚)	立看板 (枚)	のぼり旗 (本)	合計	場 所	人数 (人)
平成28年 6月17日	10	3	0	0	13	中野本町・中野新町・中野三丁目・ 大字中野・岡山東一丁目・岡山東 二丁目・岡山一丁目・岡山二丁目・ 岡山三丁目・岡山四丁目・米崎町・ 塚脇町・南野四丁目・南野五丁目・ 大字清瀧	25
平成28年 10月19日	1	21	0	0	22	中野本町・中野三丁目・大字中野・ 岡山東一丁目・岡山一丁目・大字 岡山・大字清瀧	19
合 計	11	24	0	0	35		44

## 7 屋外広告物許可事務

屋外広告物の許可等の事務は、次のとおりである。

(単位：件)

	平成28年度	平成27年度	対前年度増減
許可区域における許可	9	6	3
適用除外における許可の事前調整	0	0	0
適用除外における許可	0	2	△2
完了の届出の受理	2	1	1
変更の許可	11	12	△1
許可の更新	35	26	9
変更届出の受理	0	0	0
屋外広告物届出書の受理	0	0	0
公共広告物設置届出書の受理	0	0	0
除去届出書の受理	3	1	2
許可の取消し又は改修等の命令	0	0	0
許可の取消し	0	0	0
改修等の命令	0	0	0
略式代執行	0	0	0
代 執 行	0	0	0
広告主に対する指導、勧告、内容の公表	0	0	0

## 8 エネルギー施策推進事務

大阪ガス株式会社（株式会社エネットとの間で共同参加）とエネルギー施策に関するパートナー業務（公共施設で使用する電気調達業務含む）について平成27年度に協定を締結し、平成27年11月から市役所庁舎や市立小中学校など主要な公共施設（18施設）の電力調達を関西電力株式会社から新電力会社（株式会社エネット）に切り替え、今年度も引き続き電力調達費用の削減に努めた。

1	市役所本館	7	グリーンホール田原	13	岡部小学校
2	市役所東別館	8	田原小学校	14	くすのき小学校
3	保健センター	9	四條畷小学校	15	四條畷中学校
4	市民総合体育館	10	四條畷南小学校	16	四條畷南中学校
5	市民総合センター	11	忍ヶ丘小学校	17	四條畷西中学校
6	市民活動センター	12	四條畷東小学校	18	田原中学校

また、削減費用の一部を活用して、地球温暖化防止等の環境保全と太陽光発電の普及を図ることを目的に、住宅用太陽光発電システム設置補助事業を昨年度に引き続き実施し、市民がエネルギーや環境問題について考えるきっかけづくりとするために「なわてE<sup>2</sup>（エネ・エコ）ポイント・チャレンジ」を今年度も行った。

住宅用太陽光発電システム設置補助事業	補助件数	交付額
	27件	3,798千円
なわてE <sup>2</sup> （エネ・エコ）ポイント・チャレンジ	参加者数	ポイント達成記念品申請数
	延べ 131人	38人

## 9 環境監視事務

市民の生活環境を保全するため公害の防止に努めた。

### (1) 苦情処理

#### ① 苦情発生状況

苦情受付件数は、次のとおりである。（同一発生源から複数の公害が発生していても、件数は1件とする。例えば、公害の種類に騒音・振動・大気があっても、1つの事業所からの苦情などの場合は、1件の苦情として主となる公害の区分に計上している。）

種類別苦情受付件数

(単位：件)

年度	区分	騒音	振動	大気	水質	悪臭	その他	合計	対前年度増減
平成28年度		14	1	12	5	8	10	50	7
平成27年度		17	1	4	5	7	9	43	18

② 苦情解決状況

苦情の取扱い件数50件（新規40件、繰越10件）のうち、解決したものは36件で、解決率は72.0%である。

種類別解決件数

(単位：件)

年度	区分	騒音	振動	大気	水質	悪臭	その他	合計	解決率
平成28年度		11	1	10	4	3	7	36	72.0%
平成27年度		15	1	4	3	2	6	31	72.1%

(2) 騒音、振動防止対策

① 特定（届出）施設等の届出状況

工場、事業所における事業活動や建設工事に伴って発生する騒音、振動等の規制を行うため、騒音規制法、振動規制法、大阪府生活環境の保全等に関する条例及び四條畷市生活環境の保全等に関する条例に基づく特定（届出）施設の設置等の届出を受理した。

特定（届出）施設等の届出状況

(単位：件)

種類	法・条例	騒音振動規制法	大阪府生活環境の保全等に関する条例	合計
設置		0	1	1
使用		0	0	0
数等の変更		0	0	0
氏名等変更		0	0	0
使用全廃		0	1	1
承継		0	0	0
合計		0	2	2
平成27年度		4	3	7
増減		△4	△1	△5

② 特定建設作業の届出状況

(単位：件)

騒音規制法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく届出件数		振動規制法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく届出件数		四條畷市生活環境の保全等に関する条例に基づく届出件数	
特定建設作業の種類	件数	特定建設作業の種類	件数	特定建設作業の種類	件数
くい打機・くい抜機を使用する作業 (アースオーガーと併用を除く)			1	穿孔機を使用する作業	0
ブルドーザー、トラクターショベル 又はショベル系掘削機を使用する作業			1	コンクリートポンプを使用する作業	5
さく岩機を使用する作業	1	舗装版破碎機を使用する作業	0	締め固め機及びてん圧機を使用する作業	27
コンクリートカッターを使用する作業	9	ブレーカー（手持ち式を除く）を使用する作業	15		
空気圧縮機を使用する作業	9				
バックホウを使用する作業	16				
その他ショベル系掘削機を使用する作業	45				

③ 自動車騒音常時監視測定評価事務

騒音規制法（第18条）の規定に基づき市内における自動車騒音の状況を常時監視するため、自動車騒音の測定結果と道路環境対策状況の調査結果より、評価対象区間沿道地域における環境基準の達成状況等を評価した。

		住居戸数 (戸)	昼夜とも 基準値以下	昼のみ 基準値以下	夜のみ 基準値以下	昼夜とも 基準値超過
全 体（住居等戸数）		2,200 (2,194)	2,035 (2,058)	44 (42)	34 (5)	87 (89)
道 路 種 類 の 内 訳	高速自動車国道	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	都市高速道路	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	一般国道	1,393 (1,387)	1,230 (1,251)	44 (42)	34 (5)	85 (89)
	都道府県道	807 (807)	805 (807)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	4車線以上の市町村道	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	その他の道路	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

		住居戸数 (%)	昼夜とも 基準値以下	昼のみ 基準値以下	夜のみ 基準値以下	昼夜とも 基準値超過
全 体 (割 合)		100	92.5 (93.8)	2.0 (1.9)	1.5 (0.2)	4.0 (4.1)
道 路 種 類 の 内 訳	高 速 自 動 車 国 道		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	都 市 高 速 道 路		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	一 般 国 道		88.3 (90.2)	3.2 (3.0)	2.4 (0.4)	6.1 (6.4)
	都 道 府 県 道		99.8 (100.0)	0 (0)	0 (0)	0.2 (0)
	4車線以上の市町村道		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	そ の 他 の 道 路		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

( ) 内は平成27年度値

### (3) 大気汚染防止対策

#### ① 特定（届出）施設の経由状況

大気汚染防止法、ダイオキシン法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づいて提出された施設設置等の届出書の受付（経由）の状況は次のとおりである。

#### 特定（届出）施設の経由状況

(単位：件)

法・条例 種類	大気汚染防止法	大阪府生活環境の 保全等に関する条例	ダイオキシン法	合 計
設 置	0	0	0	0
使 用	0	0	0	0
構造等の変更	0	0	0	0
数等の変更	0	0	0	0
氏名等変更	0	1	0	1
使用全廃	0	0	0	0
使用廃止	1	4	0	5
承 継	0	0	0	0
合 計	1	5	0	6
平成27年度	3	1	0	4
増 減	△ 2	4	0	2

② 光化学スモッグ対策

環境農林水産総合研究所から光化学スモッグ情報の発令を受けたときは、防災無線を使って各関係機関、市民に広報するとともに、被害発生の未然防止に努めた。

光化学スモッグ情報発令状況（東大阪地域）

（単位：件）

発令年月日	予 報	注 意 報
平成28年6月18日	予報2号	
平成28年8月5日	予報7号	注意報7号
平成28年8月12日	予報9号	
合 計	3 回	1 回

(4) 水質汚濁防止対策

① 特定（届出）施設の経由状況

工場等から公共水域に排出される水を規制するため、瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく特定施設の設置の許可申請、水質汚濁防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく特定（届出）施設の届出を受付（経由）した。

特定（届出）施設の経由状況

（単位：件）

法・条例 種類	瀬戸内海環境保全 特別措置法	水質汚濁防止法	大阪府生活環境の 保全等に関する条例	合 計
設 置	0	1	1	2
使 用	0	0	0	0
構 造 等 の 変 更	0	0	1	1
施 設 等 の 変 更	0	1	0	1
氏 名 等 変 更	0	3	0	3
廃 止	0	1	0	1
測 定 手 法 変 更	0	0	0	0
承 継	0	0	0	0
実施制限期間短縮願	0	0	1	1
合 計	0	6	3	9
平 成 27 年 度	0	12	0	12
増 減	0	△6	3	△3

② 河川環境水質検査

市域を流れる主要8河川の水質汚濁状況の把握及び監視を目的として、水質検査を実施した。

年4回（6月・8月・11月・2月）にわたる検査の結果、人の健康に関する項目（カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀）は、すべての河川で環境基準に適合していた。生活環境に関する項目（水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、溶存酸素量、大腸菌群数）は、水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、大腸菌群数については環境基準を超えている場所が見られた。

③ 専用水道等水質検査事務

専用水道、特設水道及び簡易専用水道、小規模貯水槽並びに飲用井戸の各施設数は下記のとおりとなっており、専用水道設置施設には年2回の立入及び水質検査を実施した。

	専用水道	特設水道	簡易専用水道	小規模貯水槽	飲用井戸
平成28年度	2	2	79	127	24

(5) ダイオキシン類調査

土壌及び河川等の状況把握を目的として、土壌5地点、河川水質2地点、池水質2地点及び池底質2地点のダイオキシン類の調査を実施した。結果は、下記のとおりで全て環境基準内であった。

実施年月日 平成29年2月2日

	調査地点	ダイオキシン類濃度 pg-TEQ/g	環境基準 pg-TEQ/g
土 壌	青少年コミュニティー運動広場 (岡山東三丁目)	0.032	1,000
	東小学校校庭(南野六丁目)	1.6	
	飯盛霊園新池庭園(大字上田原)	8.2	
	田原小学校校庭(田原台四丁目)	0.30	
	北谷公園グラウンド(田原台八丁目)	0.29	



河川水質・池水質 実施年月日 平成29年2月8日

池 底 質 実施年月日 平成29年2月16日

	調 査 地 点	ダイオキシン類濃度	環境基準
		水質 pg-TEQ/ℓ 底質 pg-TEQ/g	水質 pg-TEQ/ℓ 底質 pg-TEQ/g
河川水質	讃良川（讃良橋）	0.18	1
	天野川（羽衣橋）	0.96	1
池水質	寒谷池（取水口）	0.088	1
	堂尾池（取水口）	0.084	1
池底質	寒谷池（取水口）	16	150
	堂尾池（取水口）	22	150

## 10 ごみ減量・再資源化推進事務

### (1) 集 団 回 収

古紙等再資源リサイクル報奨金交付要綱に基づき、リサイクルを行う集団回収登録団体である96団体に対し、1kg当たり古紙3円・アルミ缶2円・古布2円の報奨金を交付し、ごみの減量化及び再資源化を促進した。

(単位：t)

集 団 回 収 量		上 半 期	下 半 期	合 計
内 訳	古 紙	773.2	750.5	1,523.7
	牛 乳 パ ッ ク	2.9	2.7	5.6
	ア ル ミ 缶	20.1	18.9	39.0
	古 布	56.4	52.6	109.0

### (2) 再生資源集団回収団体活動の促進

再生資源の集団回収の促進を図るため、集団回収団体に対して情報の提供を行った。また、平成29年2月26日の「なわて環境フォーラム」でリユースの促進を図るため、「食器市」を開催した。

その他、平成29年2月6日に兵庫県神戸市にある缶・びん・ペットボトルのリサイクル施

設を見学した。

(3) ごみ減量化とリサイクルの啓発

市民にごみ減量化とリサイクルについて市広報誌、市ホームページで啓発を行うとともに、市が主催する環境美化・リサイクル社会推進ポスターを市内の小学校から募集し、優秀な作品をなわて環境フォーラムで展示するなど、市民意識の高揚に努めた。

リサイクルポスターの募集 531点

(4) 生ごみ堆肥化容器（コンポスト）の購入助成制度

平成17年4月1日に定めた「生ごみ堆肥化容器の設置に関する助成金交付要綱」に基づき、申請のあった市民に助成金を交付し、生ごみの減量化と堆肥としての資源化の促進に努めた。

コンポスト：1件

EM菌ボカシ容器：2件

(5) 不用品リユース事業

不用品リユース事業を進めるため、市民から提供のあった不用になった家具などの収集を行った。収集した家具などについては、清掃、点検を行い、四條畷市再生資源集団回収促進協議会の協力を得て、平成29年3月1日から3月4日まで市民活動センターで展示を行い、最終日には希望者に抽選により提供を行った。

展示品数 131点

希望者への提供品数 72点

来場者数 約200人

## 11 ごみ収集処理事務

(1) ごみ収集と処理

一般家庭から排出されるごみ一般廃棄物の収集については、市内全域で可燃ごみ、空き缶・空きびん、ペットボトル及びプラスチック製容器包装、粗大・不燃ごみの4分別収集を行った。また、適正な分別排出の周知・徹底を促進するためのごみ収集表を作成し、平成29年3月号広報誌への折込みによる配布を行った。

収集ごみのうち、可燃ごみは四條畷市交野市清掃施設組合（エコ・クリーンセンター）にて、焼却処理を行った。粗大・不燃ごみについては、葺屋地区にある不燃ごみ等処理資源

化施設において再資源化物の分別を行った後に、民間の一般廃棄物処理業者に委託し処理を行った。資源ごみである空き缶・空きびんは、再生資源処理業者に委託し処理を行い、またペットボトル及びプラスチック製容器包装については、北河内4市リサイクルプラザに搬入後、リサイクル施設組合にて、選別・圧縮梱包処理の後に指定法人に引き渡し、再資源化を行った。

① ペットボトル及びプラスチック製容器包装の搬入、残渣、資源化量

(単位：t)

搬入量	残渣量	資源化量
560.62	13.54	547.08

② 拠点回収

(ア) 使用済み乾電池の回収

使用済み乾電池回収箱設置店において集められた使用済み乾電池を定期的に回収し、再生資源処理業者に委託し、適正処理を行った。

回収箱設置数 26箇所

(イ) 使用済み蛍光管の回収

市内の15箇所で、電気製品販売店等の協力を得て拠点回収を行った。

回収した使用済み蛍光管は再生資源処理業者に委託し適正処理を行った。

(単位：t)

拠点回収量		7.70
内訳	乾電池	4.88
	蛍光管	2.82

(ウ) 不燃小物の回収

① 不燃小物回収箱設置場所

市役所、田原支所、市民総合センター、教育文化センター、市民活動センター

② 不燃小物拠点回収実績

	月別合計重量 (kg)	回収回数 (回)	1回あたりの 平均回収重量 (kg)
平成28年 4月	1,064	95	11.20
5月	1,189	87	13.67
6月	945	88	10.74
7月	938	94	9.98
8月	745	105	7.10
9月	814	93	8.75
10月	1,093	91	12.01
11月	1,007	94	10.71
12月	1,292	88	14.68
平成29年 1月	957	85	11.26
2月	920	97	9.48
3月	1,339	100	13.39
合計	12,303	1,117	

③ ごみ処理実績

(単位：t)

区 分	重 量
可燃ごみ（家庭系）	9,545.04
可燃ごみ（事業系）	3,567.68
粗大・不燃ごみ	908.19
空き缶・空きびん	489.72
ペットボトル及び プラスチック製容器包装	547.08
拠点回収ごみ（乾電池、蛍光管）	7.70
集 団 回 収 (古紙、牛乳パック、アルミ缶、古布、雑がみ等)	1,677.23
合 計	16,742.64

## (2) ごみの再資源化実績

(単位：t)

区 分	重 量
空 き 缶 ・ 空 き び ん	4 8 9 . 7 2
ペ ッ ト ボ ト ル 及 び プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装	5 4 7 . 0 8
古 鉄 類	9 6 . 0 9
廃 木 材	6 1 . 4 0
合 計	1 , 1 9 4 . 2 9

## ① 資源ごみ収集からの再資源化

毎月2回回収している空き缶・空きびんを再生資源処理業者に委託して処理し、再資源化を行った。また、ペットボトル及びプラスチック製容器包装については、北河内4市リサイクルプラザにおいて選別・圧縮梱包した後、指定法人に引き渡し、再資源化を行った。

## ② 粗大・不燃ごみ収集からの一部資源化

各家庭より収集した粗大・不燃ごみの中から、古鉄類や廃木材を手選別し、専門業者に委託して処理し、再資源化を行った。

## ③ 家電リサイクル法などリサイクル対象品目への対応

平成13年4月から施行された特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）に対応するため、大阪府電機商業組合東北支部との協定及び市内組合非加入電器店の協力により、テレビ（ブラウン管・液晶・プラズマ）、洗濯機、衣類乾燥機、冷蔵庫及び冷凍庫、エアコンの適正な処理に努めた。

## (3) 死 獣 処 理

(単位：頭)

種 別	年 月												合計
	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	
所有者あり (飼犬、飼猫等)	4	4	5	6	5	7	7	7	7	6	3	5	66
所有者なし (野良猫等)	17	31	31	23	26	25	27	30	34	35	20	24	323
計	21	35	36	29	31	32	34	37	41	41	23	29	389

#### (4) ごみの不法投棄対策

ごみの不法投棄多発地域を中心に、パトロールを定期的を実施するとともに、警察への協力要請や立札・看板・防止柵の設置など、不法投棄の防止に努めるとともに、投棄されたごみの迅速な回収に努めた。

パトロール回数	立札・看板の設置	回 収 量	発 生 件 数	指 導 件 数
240 回 (243)	8 枚 ( 8)	78.5 m <sup>3</sup> (119.3)	128 件 (153)	0 件 ( 0)

( ) 内は平成27年度実績

#### 不法投棄で回収したテレビ等の家電リサイクル法対象廃棄物数

	台 数
家電リサイクル法対象廃棄物数	25
リ サ イ ク ル 数 ※平成27年度からの繰り越し分を含む	73

## 12 新ごみ処理施設整備事務

### (1) 環境影響評価事務

四條畷市交野市清掃施設組合が実施している大阪府環境影響評価条例に基づく事後調査について、大阪府から下記の報告書の送付を受けた。

① 平成28年4月

・平成28年1月・2月分水質・地下水調査結果報告書

② 平成28年6月

・平成28年3月・4月分水質・地下水調査結果報告書

③ 平成28年7月

・平成28年5月分水質・地下水調査結果報告書

④ 平成28年8月

・平成28年6月分水質・地下水調査結果報告書

⑤ 平成28年9月

・平成28年7月分水質・地下水調査結果報告書

- ⑥ 平成28年10月
  - ・平成28年8月分水質・地下水調査結果報告書
- ⑦ 平成28年11月
  - ・平成28年9月・10月分水質・地下水調査結果報告書
- ⑧ 平成29年1月
  - ・平成28年11月分水質・地下水調査結果報告書
- ⑨ 平成29年2月
  - ・平成28年12月分水質・地下水調査結果報告書
- ⑩ 平成29年3月
  - ・平成29年1月分水質・地下水調査結果報告書

## (2) 地元対策事務

下田原地区については、下田原区環境委員会と6回の会合を持ち、新ごみ処理施設整備に関する地域振興策の進捗状況の報告、意見交換などを四條畷市交野市清掃施設組合と連携して行った。

周辺地区については、田原地区環境保全連絡協議会に5回参加し、意見交換などを四條畷市交野市清掃施設組合と連携して行った。

また、生駒市北部地域については、新ごみ処理施設の立地に伴い必要な連絡・調整を行う新ごみ処理施設の立地に伴う環境問題等連絡に2回参加し、四條畷市交野市清掃施設組合及び交野市と連携して意見交換を行った。

## 13 し尿処理・運搬事務

市立環境センター（希釈施設）については、平成13年度から運用を開始しているが、施設の建設から15年が経過し、機械設備や電気系統設備等の故障も多くなっていることから、約10年程度の設備延命を行うための、工期を3年とする大規模改修工事を昨年度に引き続き行った。

一般家庭と事業所から排出されるし尿の収集については、収集業務の円滑化を図るため、収集委託業者の指導を徹底するとともに、くみとり世帯に年間収集予定表を配布し、収集日の周知徹底に努めた。また、収集したし尿等は市立環境センター（希釈施設）へ投入し、水で希釈

した後、下水道管に放流した。

(1) 月別し尿・浄化槽汚泥収集量

(単位：kℓ)

年 月	区 分	し 尿	浄化槽汚泥	合 計
平成28年	4月	75.1	64.2	139.3
	5月	65.3	53.3	118.6
	6月	77.9	139.8	217.7
	7月	66.2	112.5	178.7
	8月	76.6	64.2	140.8
	9月	83.1	62.1	145.2
	10月	81.5	89.6	171.1
	11月	82.9	91.5	174.4
	12月	68.8	70.5	139.3
平成29年	1月	62.7	118.4	181.1
	2月	74.6	74.6	149.2
	3月	80.3	91.1	171.4
	合 計	895.0	1,031.8	1,926.8
平成27年度		832.6	952.3	1,784.9
	増 減	62.4	79.5	141.9

(2) 生活排水処理別人口・世帯数

	世 帯 (戸)	人 口 (人)	割 合 (%)
く み と り	163	245	0.44
浄 化 槽	336	640	1.14
公 共 下 水	23,527	55,052	98.42
合 計	24,026	55,937	100.00

平成29年3月末現在



(3) 市立環境センター（修景施設）

環境意識の普及と向上を図るため、環境学習や市民への施設利用に供するとともに、里山の復元をテーマとした良好な環境づくりのための施設の維持管理に努めた。

市立環境センター（修景施設）利用状況

年 月	開放日数 (日)	利 用 人 数			日 平 均 利用人数 (人)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
平成28年 4月	2 6	4 4 6	4 9 5	9 4 1	3 6 . 2
5月	2 6	3 8 5	4 3 0	8 1 5	3 1 . 3
6月	2 6	2 4 9	2 2 3	4 7 2	1 8 . 2
7月	2 6	1 7 8	1 4 5	3 2 3	1 2 . 4
8月	2 6	1 5 0	1 3 8	2 8 8	1 1 . 1
9月	2 6	1 9 2	1 6 7	3 5 9	1 3 . 8
10月	2 6	3 1 2	3 4 7	6 5 9	2 5 . 3
11月	2 6	3 0 6	4 2 0	7 2 6	2 7 . 9
12月	2 4	2 2 5	2 5 0	4 7 5	1 9 . 8
平成29年 1月	2 4	2 1 9	2 5 7	4 7 6	1 9 . 8
2月	2 4	1 9 7	2 1 7	4 1 4	1 7 . 3
3月	2 7	2 6 3	2 6 9	5 3 2	1 9 . 7
合 計	3 0 7	3 , 1 2 2	3 , 3 5 8	6 , 4 8 0	2 1 . 1

(4) 浄化槽の設置に関する届出受理等

浄化槽の設置に関する届出の受理事務を行った。

受理した届出の種類と件数

(単位：件)

種 類	件 数
浄化槽の設置等の届出の受理	2 ( 1 )
設置後等の水質検査実施報告	0 ( 0 )
定期検査実施報告書	53 ( 57 )
廃止の届出	7 ( 7 )
使用開始報告書	0 ( 0 )
技術管理者変更報告書	0 ( 0 )
浄化槽管理者変更報告書	0 ( 0 )
報告徴収	0 ( 0 )

( )内は平成27年度の件数



健 康 福 祉 部

福 祉 事 務 所



# 子ども政策課

## 1 いじめ問題対策事務

### (1) 四條畷市いじめ問題対策連絡協議会

いじめの防止等に係る機関及び団体の連携その他いじめの防止等のための対策を推進するために必要な事項に関し、連絡及び協議するため、学識経験者、関係行政機関、関係団体など12人で構成する四條畷市いじめ問題対策連絡協議会を開催した。

四條畷市いじめ問題対策連絡協議会

	開催年月日	内 容
第1回	平成28年7月5日	・平成27年度の市内小中学校におけるいじめ問題の状況について
第2回	平成28年11月29日	・市内小中学校におけるいじめ問題の状況と課題について ・ネット上のいじめ問題に対する取組みについて

## 2 子ども政策課運営事務

### (1) 四條畷市子ども・子育て会議

平成27年度から始まった子ども・子育て支援新制度に対応し、学識経験者、保護者、保育事業者など12人で構成する市の諮問機関である子ども・子育て会議を開催した。

子ども・子育て会議 開催状況

	開催年月日	内 容
第1回	平成28年7月21日	・平成27年度の主要な施策の実績について ・平成28年度の主要な施策について ・平成28年度4月の待機児童数について ・四條畷市認定こども園について
第2回	平成28年10月18日	・認定こども園について ・つどいの広場“おかやま”の開始について ・児童発達支援センターの状況について ・ふれあい教室における利用時間の延長について
第3回	平成29年2月14日	・認定こども園の進捗について ・子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて ・平成28年度の取組み状況について

(2) 四條畷市子ども基本条例

平成27年度に制定した子ども基本条例について、小中学生向けの概要版パンフレットを作成し、7月に周知・啓発のため市内小中学生に学校を通じて配布した。

(3) 移動式赤ちゃんの駅の貸出し事業

四條畷市内で開催されるイベントに乳幼児を連れた保護者が安心して参加できるよう、移動式赤ちゃんの駅(授乳やおむつ交換を行うためのテントやおむつ交換台等の設備)を無料で貸出した。

貸出期間	使用イベント
平成29年1月20日～1月23日	四條畷市マラソン大会

(4) 市立南野西保育所からなわてすみれ園への継承について

市立南野西保育所の民営化に伴い、なわてすみれ園へ移行後の継承状況等について、なわてすみれ園、子ども政策課及びなわてすみれ園へ派遣していた市職員で、以下のとおり会議を開催し、確認を行った。

市立南野西保育所からなわてすみれ園への継承についての会議

	開催年月日	内 容
第1回	平成28年6月29日	・平成28年4月以降の保育状況について ・保護者アンケートについて ・認定こども園への移行について
第2回	平成28年12月19日	・保育の様子について ・覚書きの確認について ・子育て総合支援センター、児童発達支援センターの連携について

(5) 公立保育所事故防止等カメラ設置

公立保育所における事故防止等の体制強化を図るため、忍ヶ丘保育所4台・岡部保育所4台の設置を行った。

(6) なわて子育て応援ブックの作成

妊娠時期から子育て世帯を対象に、市内にある施設や子育てに関する事業などを一冊の冊子にまとめ、母子手帳を取りに来られる人や子育て世帯の転入時等に配布した。

### 3 保育等の実施事務

児童福祉法第24条第1項の規定に基づき、保育を必要とする乳児又は幼児に対し保育所等において保育を実施した。

#### (1) 保育所入所選考会

##### ① 新年度の入所児童選考会

第1回目 12月に開催。11月末までに申し込みのあった児童を対象とする。

第2回目 2月に開催。1月末までに申し込みのあった児童を対象とする。

第3回目 3月に開催。3月9日までに申し込みのあった児童を対象とする。

##### ② 年度途中の入所児童選考会

原則として毎月10日を入所児童選考日とした。入所児童選考日の前日までに申請書類が整っている者を当該選考の対象とした。



## (2) 保育認定子ども入所状況 (2・3号認定)

平成29年3月1日現在

(単位:人)

設置者	保育所名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
四 條 畷 市	忍ヶ丘保育所 (90人)	9	11	17	15	8	14	74
	岡部保育所 (90人)	9	12	16	20	16	22	95
	計	18	23	33	35	24	36	169
社 会 福 祉 法 人 等	畷アサヒヶ丘保育園 (180人)	12	17	26	28	22	33	138
	四條畷すみれ保育園 (90人)	10	10	16	15	16	17	84
	畷たんぽぽ保育園 (70人)	13	15	15	10	13	13	79
	*田原台ひまわりこども園 (130人)	15	18	24	25	28	29	139
	畷すずらん保育園 (150人)	17	24	22	27	25	31	146
	忍ヶ丘愛育園 (90人)	13	18	18	20	22	22	113
	忍ヶ丘いるか保育園 (90人)	9	16	20	21	18	24	108
	なわてすみれ園 (120人)	11	20	22	22	16	22	113
	「〇」(まんまる) (18人)		10	11				21
	カリヤベビーセンター (19人)	6	6	8				20
	計	106	154	182	168	160	191	961
他市への委託児童		0	2	1	1	1	2	7
合 計		124	179	216	204	185	229	1,137

( )内は認可定員数

※は幼保連携型認定こども園

## (3) 教育標準時間認定子ども入所状況（1号認定）

平成29年3月1日現在

(単位：人)

設置者	保育所名	3歳児	4歳児	5歳児	計
四條畷市	四條畷あおぞら幼稚園 (120人)		39	49	88
学校法人	星子幼稚園 (30人)		2	1	3
社会福祉法人	*田原台ひまわりこども園 (15人)	5	2	1	8
他市への委託児童		17	16	13	46
合計		22	59	64	145

( )内は認可定員数

※は幼保連携型認定こども園

## 4 民間保育所運営費補助事務

## (1) 特定教育・保育施設等運営費補助金

社会福祉法人等が設置及び実施する子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第7条第4項及び第5項に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業における保育内容の充実を図り、もって児童福祉の増進に資するため、特別保育事業を実施する社会福祉法人等に対し、その実施内容に応じ補助金を交付した。

## ※特別保育事業

特別保育事業とは、①延長保育事業、②一時預かり保育、③保育士宿舎借り上げ支援事業、④体調不良児対応型、⑤病児対応型、⑥病後児対応型、⑦子育て支援保育士事業、⑧地域子育て支援拠点事業、⑨地域子育て支援拠点事業（機能拡充分）、⑩保育特別対策事業（補助事業対象）、⑪地域活動事業1、⑫地域活動事業2、⑬特色ある保育推進費、⑭調理保健衛生対策費、⑮保護者負担軽減対策費、⑯保育費加算額、⑰給食対策費、⑱保育特別対策費、⑲障がい児保育推進費、⑳田原地区バス等送迎費をいう。

〈補助の状況〉

園 名	補助金額	事業内容
暁アサヒヶ丘保育園	21,098,757円	① ② ⑥ ⑦ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳
四條暁すみれ保育園	11,492,598円	① ② ⑦ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
暁たんぽぽ保育園	36,491,509円	① ② ③ ④ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
田原台ひまわりこども園	32,996,418円	① ② ③ ④ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
暁すずらん保育園	20,890,590円	① ② ④ ⑦ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
忍ヶ丘愛育園	19,422,291円	① ② ④ ⑦ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
忍ヶ丘いるか保育園	21,157,840円	① ② ⑤ ⑦ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
なわてすみれ園	17,589,371円	① ② ⑦ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
カリヤベビーセンター	1,171,920円	① ② ⑯
合 計	182,311,294円	

(2) 保育所等ICT化推進事業補助金

保育所等におけるICT化を推進し、保育士の業務負担の軽減を図るとともに、保育所等における事故防止等の体制強化を図るため、社会福祉法人に対し、補助金を交付した。

〈補助の状況〉

園 名	補助金額	事業内容
暁アサヒヶ丘保育園	1,000,000円	保育業務支援システム
四條暁すみれ保育園	1,000,000円	保育業務支援システム
暁たんぽぽ保育園	1,100,000円	保育業務支援システム 事故予防のためのビデオカメラ
田原台ひまわりこども園	1,100,000円	保育業務支援システム 事故予防のためのビデオカメラ
暁すずらん保育園	1,000,000円	保育業務支援システム
忍ヶ丘愛育園	1,047,160円	保育業務支援システム 事故予防のためのビデオカメラ
忍ヶ丘いるか保育園	1,000,000円	保育業務支援システム
なわてすみれ園	1,000,000円	保育業務支援システム
合 計	8,247,160円	

(3) 一時預かり事業補助金（幼稚園型）

幼児を取り巻く環境の変化に伴って多様化する家庭や社会の保育に対する要望に弾力的に対応し、もって子育てを支援するため、教育時間外に園児を預かる一時預かり事業（幼稚園型）を実施する幼稚園等に対し、補助金を交付した。

〈補助の状況〉

園名	補助金額	事業内容
田原台ひまわりこども園	913,600円	幼稚園型一時預かり
ふじがお幼稚園	188,000円	幼稚園型一時預かり
合計	1,101,600円	

## 5 保育職員関係事務

(1) 保育所非常勤職員及び臨時職員の配置

保育所の円滑な保育の実施に必要な非常勤職員及び臨時職員を配置した。

正職員・任期付職員代替	4人
障がい児加配	6人（障がい児9人）
非常勤職員	5人
3歳児加配	1人
低年齢児加配	2人
再任用週休日補充	1人
医療的ケア児加配	1人
合計	20人

(2) ステップアップ研修

保育所の役割として保育業務はもとより、子育て支援の幅広い機能が求められてきたことより、保育職員の資質や専門性の向上と保幼小の連携の強化を図るため、公立、民間保育所の保育士及び公立、民間幼稚園教諭、学校関係者等を対象に研修事業を行った。

平成28年度は、5回実施し、延べ693人の参加があった。

	研 修 名	参加者数	研 修 内 容
第1回	プロジェクト型保育とドキュメンテーションについて	184人	プロジェクト型保育の基本と、ドキュメンテーション記録の必要性、意義について学ぶ。
第2回	心と体を健やかに育てる運動遊び	112人	子どもが、意欲的に友だちとつながりながら運動遊びに取り組めるための、発達に即した遊びの内容や指導法を、実践を通して学ぶ。
第3回	発達の気になる子どもの理解とその支援について	127人	発達の気になる子どもへの理解を深め、その支援の方法について、参加者間での意見交換も含めて学ぶ。
第4回	音楽を通じてつながる仲間あそび	93人	子どもの興味・関心から始まる、発達に即した音楽遊びの進め方やバリエーションについて、実践を通して学ぶ。
第5回	これからの乳幼児教育～保育の質の維持・向上をめざして～	177人	公立保育所、幼稚園での実践報告と、講師によるこれからの乳幼児教育に必要な視点、取り組みについての講義。

## 6 認定こども園準備事務

### (1) 認定こども園に向けた取組み

四條畷市子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成29年度から市立忍ヶ丘保育所と市立四條畷あおぞら幼稚園の既存施設を活用し、一つの認定こども園として運営していくために、ハード面の施設整備及びソフト面の教育保育課程の策定等を行った。

#### プロジェクト型保育に関する視察

視 察 年 月 日	視 察 先
平成28年6月6日	神 戸 大 学 附 属 幼 稚 園
平成28年6月10日	舞 鶴 市 立 中 保 育 所
平成28年6月17日	社会福祉法人 堺常磐会 浅香こども園

#### 設備整備に係る工事

工 事 名	内 容
四條畷あおぞら幼稚園室内改修工事	給食調理室の整備 他
園 庭 整 備 工 事	人工芝及び遊具設置 他

## 保護者説明会

開催年月日	開催時間	開催場所
平成28年8月26日	9:45～	四條畷あおぞら幼稚園
平成28年8月26日	18:15～	忍ヶ丘保育所
平成28年12月21日	18:15～	忍ヶ丘保育所
平成28年12月22日	9:45～	四條畷あおぞら幼稚園

### (2) 四條畷市乳幼児教育保育アクションプランの策定

四條畷市内における乳幼児の教育保育内容を可視化し、子どもたちが心身共に健やかに成長・発達すべく更なる保育の質の向上に向けた研修や就学前の子どもたちがスムーズに小学校に接続するための保幼小の連携に向けた取組みについて、市としての指針となるよう四條畷市乳幼児教育保育アクションプランを策定した。

#### 策定経過

開催年月日	会議名
平成28年6月30日	検討委員会
平成28年7月7日	専門部会
平成28年8月29日	専門部会
平成28年10月13日	検討委員会
平成28年11月10日	専門部会
平成28年12月22日	専門部会
平成29年3月3日	検討委員会

### (3) なわてこどもまつりの開催

子どもたちや子育て中の保護者が楽しめ、子育てに関する様々な情報が集まる場の設定として、子育てに関する団体等との協働によるなわてこどもまつりを12月17日に開催した。

親子が触れ合うコンサートや各団体等からの情報発信を行う展示コーナーを開設し、多くの親子の来場があった。

## コンサート

内 容	来 場 者 数
「ロケットくれよん」による歌や親子ふれあい遊び等	458人

## 展示コーナー

内 容	展 示 数
各就学前施設、関係機関や団体等の活動内容等の情報発信	15団体

## 7 幼稚園管理運営事務

### (1) 非常勤職員及び臨時職員の配置

幼稚園の円滑な教育の実施に必要な非常勤職員及び臨時職員を配置した。

園 務 員	1 人
介 助 員	6 人
添 乗 員	2 人
預かり保育補助員	1 人
合 計	10 人

# 手当医療課

## 1 ひとり親家庭等福祉事務

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく事業で、ひとり親家庭等の福祉の増進を図ることを目的として、相談業務、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等事業を実施した。

### (1) 相談業務

母子・父子自立支援員1人を配置し、ひとり親家庭等に対し、生活全般、子育て支援、就労支援など、321件の相談業務を実施した。

相談日 月・火・木・金曜日（休日を除く）

相談内容

(単位：件)

区 分		相 談 件 数				
		離 婚 後		離 婚 前		
		父 子	母子・寡婦	父 子	母子・寡婦	
生 活 一 般	住 宅			2		
	医 療 ・ 健 康	病 気		9		
		障 が い		1		
		そ の 他		3		
	家 庭 紛 争	配 偶 者 等 の 暴 力		2		
		そ の 他		3		7
	就 労	求 職 ・ 転 職		35		1
		資 格 取 得 ・ 職 業 訓 練		33		1
		職 場 の 悩 み				
		そ の 他	1	2		
	結 婚					1
	養 育 費			2		5
	面 会 交 流					
借 金			7			
そ の 他		3	23		8	
見 童	養 育	保 育 所 入 所		3		1
		虐 待		6		
		そ の 他		19	2	
	教 育			1		
	非 行					
	就 職			1		
	そ の 他					



(単位：件)

区 分		相 談 件 数				
		離 婚 後		離 婚 前		
		父 子	母子・寡婦	父 子	母子・寡婦	
経 済 的 支 援 等	母子・父子・寡婦 福祉資金	貸 付 償 還	9	33		
	公 的 年 金					
	児 童 扶 養 手 当		6	49	2	25
	生 活 保 護			1		1
	税					
	生 活 福 祉 資 金					
	そ の 他			7		1
そ の 他	売 店 設 置					
	た ば こ 販 売					
	ひとり親世帯向公営住宅			1		
	母子・父子福祉施設の利用					
	母 子 生 活 支 援 施 設			4		
計			19	247	4	51

## (2) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金

ひとり親家庭の自立を促進するため、教育訓練講座を修了した児童扶養手当受給者等に対し自立支援教育訓練給付金（受講料の60％・上限20万円）を支給する制度で、平成28年度の実績はなかった。

## (3) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等

母子家庭の母または父子家庭の父の就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格を取得するために養成機関で修業する場合において、修業期間中（3年を上限）に高等職業訓練促進給付金を支給することにより、修業による生活負担の軽減を図り、当該資格の取得を容易にすることを目的として、平成28年度は9人に対して合計10,782,000円を支給した。

また、平成28年度から対象資格を5から18へ拡大するとともに、支給期間を2年から3年に延長するなど、要件を緩和し、資格を取得しやすい制度改正を行った。

支給額：高等職業訓練促進給付金	市町村民税非課税世帯	月額	100,000円
	市町村民税課税世帯	月額	70,500円
高等職業訓練修了支援給付金	市町村民税非課税世帯		50,000円
	市町村民税課税世帯		25,000円

## 2 ひとり親家庭医療費助成事務

ひとり親家庭に対し、医療費の自己負担分を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図ることを目的とする。

### (1) 制度の概要

- ① 受給対象 18歳に達した年度末日までの児童とその父又は母、及び親に代わって児童を養育している方（他公費の福祉医療助成受給者を除く。）
- ② 所得制限 児童扶養手当の一部支給限度額を準用
- ③ 自己負担額 1医療機関につき入院・通院1日500円以内を月2日限度（対象者1人あたりの自己負担額の合計が月2,500円を超えた場合は、市への申請により超過分を助成する。）
- ④ 助成の方法 大阪府内の医療機関受診者は、現物給付（受診者は、各医療機関で自己負担額を支払う。）を行い、他府県の医療機関を受診した方は、後日、手当医療課へ請求し、現金給付により助成する。

### (2) 医療証交付件数等（2月末現在）

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
医療証交付件数（件）	582	617	△35
受給者数（人）	1,464	1,547	△83

### (3) 助 成 額

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
現物給付	件数 （件）	15,213	16,705	△1,492
	助成額 （円）	36,994,721	39,816,286	△2,821,565
現金給付	件数 （件）	1,427	1,576	△149
	助成額 （円）	3,440,581	3,749,615	△309,034
計	件数 （件）	16,640	18,281	△1,641
	助成額 （円）	40,435,302	43,565,901	△3,130,599

### 3 子ども医療費助成事務

中学校3年生年度末までの児童の医療費に対する自己負担分を助成することにより、経済的な負担の軽減と健全な育成を図ることを目的とする。

#### (1) 制度の概要

- ① 助成対象 中学校3年生まで（他公費の福祉医療受給者を除く。）
- ② 所得制限 なし
- ③ 自己負担額 1医療機関につき入院・通院1日500円以内を月2日限度（対象者1人あたりの自己負担額の合計が月2,500円を超えた場合は、市への申請により超過分を助成する。）
- ④ 助成の方法 大阪府内の医療機関受診者は、現物給付（受診者は、各医療機関で自己負担額を支払う。）を行い、他府県の医療機関を受診した方は、後日、手当医療課へ請求し、現金給付により助成する。

#### (2) 医療証交付件数（2月末現在）

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
医療証交付件数（件）	7,488	7,758	△270

#### (3) 助成額（総括）

区 分		平成28年度	平成27年度	増 減
現物給付	件数 （件）	91,822	79,848	11,974
	助成額 （円）	160,797,322	136,843,786	23,953,536
現金給付	件数 （件）	7,210	5,236	1,974
	助成額 （円）	12,897,557	8,959,364	3,938,193
計	件数 （件）	99,032	85,084	13,948
	助成額 （円）	173,694,879	145,803,150	27,891,729

## (4) 入院医療費

区 分		平成 28 年度	平成 27 年度	増 減
現物給付	件 数 (件)	482	475	7
	助成額 (円)	21,814,891	22,237,110	△422,219
現金給付	件 数 (件)	89	84	5
	助成額 (円)	2,460,061	2,073,077	386,984
計	件 数 (件)	571	559	12
	助成額 (円)	24,274,952	24,310,187	△35,235

## (5) 入院時食事療養費

区 分		平成 28 年度	平成 27 年度	増 減
現物給付	件 数 (件)	405	398	7
	助成額 (円)	1,998,395	1,489,810	508,585
現金給付	件 数 (件)	71	77	△6
	助成額 (円)	287,040	171,340	115,700
計	件 数 (件)	476	475	1
	助成額 (円)	2,285,435	1,661,150	624,285

#### (6) 通院医療費

区 分		平成28年度	平成27年度	増 減
現物給付	件数 (件)	90,935	78,975	11,960
	助成額 (円)	136,984,036	113,116,866	23,867,170
現金給付	件数 (件)	7,050	5,075	1,975
	助成額 (円)	10,150,456	6,714,947	3,435,509
計	件数 (件)	97,985	84,050	13,935
	助成額 (円)	147,134,492	119,831,813	27,302,679

#### 4 助産の実施事務

児童福祉法に基づき、保健上必要にもかかわらず、経済的理由で入院助産を受けることができない妊産婦を指定助産施設に入院助産を措置する制度で、平成28年度の実施状況は次のとおりである。

相談件数：2件      助産の実施：1件（257,670円）

#### 5 母子保護の実施事務

児童福祉法に基づき、配偶者のいない女子または、これに準ずる事情にある女子であって、その者の監護すべき児童の福祉に欠けるところがあると認めるときに、その保護者及び児童を母子生活支援施設に入所を措置する制度で、平成28年度の実施状況は次のとおりである。

相談件数：1件      保護件数：3件（8,357,766円）

#### 6 子育て支援利用事務

家庭における養育が一時的に困難となった児童に対し、指定施設で養育または保護を行うことにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る制度で、平成28年度の利用状況は0件であった。

## 7 児童手当給付事務

児童手当法に基づき、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。

### (1) 受給対象及び支給額

児童手当法に基づき、3歳未満と小学校終了前までの第三子以降は月額15,000円、それ以外は月額10,000円を支給した。所得制限限度額を超える特例給付の場合は一律月額5,000円を支給した。

受給者数は、平成28年3月末日現在4,793人、平成29年3月末日現在4,646人である。

支給額は、977,030,000円を支給した。

### (2) 支 給 月

児童手当の支給は原則として、毎年6月・10月・2月の15日にそれぞれの前月分までを支給する。(当日が休日の場合は、その前開庁日を支給日とする)

### (3) 支 給 状 況

			手 当 月 額 (円)	延支払児童数 (人)	支 払 総 額 (円)
児 童 手 当	被 用 者	3歳未満	15,000	9,984	149,760,000
		3歳 中学校 終了前	10,000	48,697	486,970,000
			15,000	4,997	74,955,000
			計	53,694	561,925,000
	非 被 用 者		10,000	16,098	160,980,000
			15,000	5,151	77,265,000
		計	21,249	238,245,000	
特 例 給 付			5,000	5,420	27,100,000
合 計				90,347	977,030,000

過年度追給額(平成27年度分 40,000円)を含まない

## 8 児童扶養手当事務

父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、もって児童の福祉の増進を図ることを目的とする。

### (1) 受給対象

児童扶養手当は、18歳に達してから最初の3月31日までの児童（一定の障がいがある児童は20歳未満）がいる父子又は母子家庭や、父又は母が一定の障がいの状態にある家庭などで、父又は母若しくはこの者に代わって児童を養育している人を対象とする。

### (2) 手当の月額

		平成28年4月から7月まで	平成28年8月から	
本体額	全部支給	42,330円		
	一部支給	42,320円～9,990円		
2人目加算額		5,000円	全部支給	10,000円
			一部支給	9,990円～5,000円
3人目加算額 (1人につき)		3,000円	全部支給	6,000円
			一部支給	5,990円～3,000円

### (3) 支給月

児童扶養手当の支給は原則として、毎年4月・8月・12月の11日にそれぞれの前月分までを支給する。（当日が休日の場合は、その前開庁日を支給日とする）

### (4) 受給者数（平成29年3月末現在）

（単位：人）

母	父	養育者	合計
503	30	1	534

（単位：人）

支給区分		受給対象児童者数					
全部支給	一部支給	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
301	233	323	169	34	7	1	0

(5) 支給状況

(単位：円)

全部支給	一部支給	第2子加算 (5,000円加算)	第3子加算 (3,000円加算)	計
169,441,260	87,907,300	18,431,750	2,568,780	278,349,090

※戻入未収入金70,000円は支給額から差し引いた。

9 未熟児養育医療費給付事務

母子保健法に基づく事業で、身体の発達が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に必要な医療費を市が負担することで乳児の健全な育成を図ることを目的とする。

給付状況

区分	平成28年度	平成27年度	増減
医療券交付件数(件)	3	3	0
公費支弁額(円)	1,106,705	480,621	626,084
うち自己負担額(円) (福祉医療助成分含む)	107,820	43,920	63,900

※自己負担額については、世帯の所得額に応じて決定。

※返還金85,004円は公費支弁額から差し引いた。



# 子育て総合支援センター

## 1 ファミリーサポートセンター運営事務

ファミリーサポートセンター運営事務は、地域の中で育児の援助を行いたい市民と育児の援助を受けたい市民を会員として組織化し、その会員による有償ボランティアとしての相互援助活動に支援を行うことにより、保護者が育児と仕事を両立し、安心して働くことができる子育て環境を整備するとともに、地域住民への子育て支援と児童の福祉の向上を図ることを目的としている。

### (1) 事務の概要

- ① 会員の募集、登録、その他会員組織の業務に関すること。

市広報誌（5・9月号）に援助会員養成講習会について掲載した。

また、7月号にファミリーサポートセンターを紹介する特集記事を掲載した。

- ② 援助依頼申込を援助可能な会員へつなぐなど相互援助活動の調整を行った。

- ③ 会員を増やすために子育て交流会を開催した。（3回開催予定の内、1回が台風接近による警報発令につき中止。）

また、援助会員のスキルアップのためにフォローアップ研修会を開催した。

	実施回数 (回)	参加者数 (会員・家族含む) (人)	参加者数 (会員外) (人)
子育て交流会	2	11	15
フォローアップ研修	1	9	

- ④ 学校、保育所、幼稚園、認定こども園、ふれあい教室など援助の接点となる関係機関との連絡調整を行った。

- ⑤ ひとり親家庭における利用を促進し、保護者の就労等に対する支援、育児負担と経済的負担の軽減を図るため、利用料の半額を助成した。

助成件数（延べ）	助成額
8件	2,800円

(2) 会員数（平成29年3月31日現在）

会員を増やすため、平成28年6月、10月に援助会員養成講習会を開催し、7人の出席者の内、6人が会員登録された。

また、平成28年度末時点の会員数は、417人となった。

前年度に比べ5人増加した。

会員の内訳 ① 援助会員：127人（10人増） ② 依頼会員：252人（2人増）

③ 両方会員：38人（7人減）

(3) ファミリーサポートセンターの活動実績

依頼内容	回数	援助対象児童年齢	人
ふれあい教室のお迎え→援助会員宅預かり	57	0歳児	140
ふれあい教室のお迎え→自宅へ送り	70	1歳児	171
ふれあい教室の迎え→習い事への送り	25	2歳児	0
兄弟姉妹の学校行事の時の援助	29	3歳児	2
習い事→援助会員宅預かり	16	4歳児	135
習い事→自宅へ送り	62	5歳児	69
小学生のお迎え→保育施設へ送り	0	6歳児	111
小学生のお迎え→自宅へ送り	0	7歳児	0
小学生のお迎え→習い事への送り	26	8歳児	70
小学生の登校前の預かり及び送り	42	9歳児	80
保育所・幼稚園・認定こども園への送り	313	10歳児	8
保育所・学校等休み時の援助	0	11歳児	0
保育所・幼稚園・認定こども園のお迎え→援助会員宅預かり	1	計	786
保育所・幼稚園・認定こども園のお迎え→自宅へ送り	80		
保育所・幼稚園・認定こども園のお迎え→習い事への送り	36		
保育施設→保育施設への送迎	0		
保育所・幼稚園・認定こども園の登園前の預かり及び送り	2		
保護者等のリフレッシュの場合の援助	21		
保護者等の求職活動中・通学中の援助	1		
保護者等の通院・急用の場合の援助	4		
訪問援助（依頼会員宅での援助活動）	1		
その他の援助（お試し、保護者同伴の利用など）	0		
計	786		

## 2 児童虐待防止ネットワーク事務

要保護児童若しくは要支援児童、特定妊婦等（以下「要保護児童等」という。）の早期発見及び適切な保護、要保護児童等やその保護者への支援、要保護児童対策のための関係機関、関係団体、関係者との連携や必要な情報交換などを円滑に行うために、四條畷市要保護児童対策ネットワーク会議を設置している。そこでは、児童虐待問題の啓発、市民向けの研修（講演会）、早期発見及び支援内容の協議などを行った。

また、児童虐待の未然予防を目的に、子育て子育て支援プログラムとして、ファンフレンズ、トリプルP、親子の絆づくりプログラム"赤ちゃんがきた!"の3つのプログラムを実施した。

### (1) 四條畷市要保護児童対策ネットワーク会議

#### ① ネットワーク会議の開催

代表者会議：1回      実務者会議：18回

個別ケース検討会議：161回

#### ② 市民向け研修

実施年月日	開催場所	内 容	講 師	参加者数
平成28年 11月28日	市民総合センター 展 示 ホール	認定子育てハッピーアドバイザー あゆみさんの 「子どものほめ方、叱り方」	認定NPO法人箕面こどもの森学園 副代表理事 守安 あゆみ 氏	25人
平成29年 3月30日	すてっぷ★なわて 3Fつどいの広場	岩城のおっちゃんのおもちゃ遊びと子育てのコツ	キッズいわき ぼふ 代表 岩城 敏之 氏	37組

### (2) 子育て支援プログラム

児童虐待の未然予防及び親支援、子ども支援を目的に下記の3つのプログラムを実施した。

#### ① ファンフレンズ

内容：ゲームや歌、グループ活動などの子ども達が楽しめる活動を通して、自己コントロール法と社会的スキル、自己肯定感、情緒的レジリエンス（自己回復力）などを身につけ、子どもの不安や抑うつなどを防ぐ。プログラムは認定ファシリテーターのみが実施できる。

対象：（保育所、幼稚園）4歳児、5歳児

（子育て総合支援センター）小学1年生から3年生

プログラム開催日

実施施設名	対象児童	実施期間 (回数)	参加人数
岡 部 保 育 所	5 歳児	平成28年 5 月27日～7 月15日 (計 8 回) 平成29年 1 月12日～2 月23日 (計 7 回)	43人
なわてすみれ園	5 歳児	平成28年 4 月21日～6 月 7 日 (計 7 回)	22人
	4 歳児	平成28年12月13日～平成29年 2 月14日 (計 8 回)	16人
忍ヶ丘保育所	5 歳児	平成28年 6 月 7 日～7 月27日 (計 8 回)	15人
	4 歳児	平成28年12月 6 日～平成29年 1 月31日 (計 8 回)	8 人
暁すずらん保育園	5 歳児	平成28年10月25日～11月22日 (計 8 回)	31人
	4 歳児	平成29年 1 月13日～2 月10日 (計 8 回)	24人
四條暁あおぞら 幼 稚 園	5 歳児	平成28年 9 月 9 日～10月28日 (計 8 回)	19人
	5 歳児	平成28年11月18日～平成29年 1 月20日 (計 8 回)	19人
子 育 て 総 合 支 援 セ ン タ ー	小学1年生 ～3年生	平成28年 7 月21日～8 月25日 (計 5 回)	16人
合 計			213人

ファシリテーターフォローアップ講習会 (実施機関ごとに開催)

実施年月日	テーマ
平成29年 3月3日、3月7日、3月10日、3月14日、3月22日	・対象児童の心理的理解について ・プログラムの進行について

② 親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”(親支援プログラム)

対象：おおむね生後2か月～5か月の赤ちゃんとその母親(初めて子育てをする人に限る)

内容：テキスト・DVDを使って、子育ての見通しが持てるような知識や技術を学習し、参加者同士が学び合う。プログラムの実施は認定ファシリテーターのみが実施できる。

プログラム開催日

実施期間 (回数)	開催場所	参加人数
平成28年4月5日～4月26日 (計4回)	市民総合センター 3階 和室	7組
平成28年6月14日～7月5日 (計4回)	市民総合センター 3階 和室	6組
平成28年8月23日～9月13日 (計4回)	市民総合センター 3階 和室	11組
平成28年11月1日～11月22日 (計4回)	市民総合センター 3階 和室	4組
平成29年1月18日～2月8日 (計4回)	市民総合センター 3階 和室	3組
合 計		31組

③ 前向き子育てプログラム“グループトリプルP”(親支援プログラム)

対象：2歳～12歳までの子どもを持つ保護者

内容：テキスト・DVDを使い、グループディスカッションなどを通して、子どもと良好な関係を作り、子どもの問題に対しては早期に対処する17の技術を学ぶ。プログラムは認定ファシリテーターのみが実施できる。

プログラム開催日

実施期間 (回数)	開催場所	参加人数
平成28年5月19日～6月30日 (計7回、内2回は電話セッション)	子育て総合支援センター	4人
平成28年9月29日～11月10日 (計7回、内2回は電話セッション)	子育て総合支援センター	3人
合 計		7人

### 3 養育支援訪問事務

養育者の育児負担軽減や児童虐待未然予防を図るため、妊娠期を含む、子育てに不安や悩みのある家庭、適切な支援がないと虐待につながるおそれのある家庭に、子育て支援員を派遣して家庭訪問などによる育児相談及び支援等を行った。

6家庭に対して延べ42回派遣した。

#### 4 ドイツのおもちゃ贈呈事務

出生された児童や就学直前の児童に質の高いドイツのおもちゃを贈呈するとともに、保護者に子育て支援情報を提供することにより、子どもの情操を育み、育児負担の軽減などを図った。

0歳児 378件（手当医療課、田原支所、子育て総合支援センターにて贈呈）

5歳児 469件（就学時健診の際に各小学校で贈呈）

#### 5 子育て総合支援センター運営事務

子育て中の保護者の負担を軽減し、安心して子育て・子育てができる環境の整備をすることによって、児童の福祉向上を図ることを目的として、子育て総合支援センター及びその他の場所で、児童家庭相談、乳幼児健診フォロー事業、地域子育て支援拠点事業（センター型・ひろば型）、子育てぽけっと事業、サークル・子育てサロンへの支援、関係機関との連携などを行った。

##### (1) 職員体制

施設長1人、子育て支援担当課長1人、保育士11人、社会福祉士2人、心理職1人、その他の職員7人

##### (2) 児童家庭相談

0歳から18歳未満の子どもに関わる様々な相談を受けた。また、児童虐待通告受理機関として、市民や関係機関からの虐待相談にも対応した。電話相談、来所や訪問による面接相談等を行い、必要に応じて継続的支援を行った。

相談件数は606件であり、その内、児童虐待相談件数は390件であった。

相談種類別受付件数（実数）

（単位：件）

養護相談		保 健 相 談	障がい相談						非行相談		育成相談				そ の 他 の 相 談	計	(再掲)	
児 童 虐 待 相 談	そ の 他 の 相 談		肢 体 不 自 由 相 談	聴 覚 障 が い 相 談	言 語 発 達 障 が い 相 談	重 症 心 身 障 が い 相 談	知 的 障 が い 相 談	発 達 障 が い 相 談	ぐ 犯 行 為 相 談	触 法 行 為 相 談	性 格 行 動 相 談	不 登 校 相 談	適 性 相 談	育 児 ・ し っ つ け 相 談			い じ め 相 談	児 童 買 春 等 被 害 相 談
390	26	2	0	0	5	0	1	12	1	1	6	9	0	131	22	606	2	0

児童虐待相談種類別受付件数（実数）

（単位：件）

身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	合計
45	155	190	0	390

(3) 地域子育て支援拠点事業【つどいの広場事業】

つどいの広場「なわて」、つどいの広場「きたで」、及び平成28年10月開設のつどいの広場「おかやま」の3つの拠点で、在宅で子育てをしている親子対象に、いつでも来所して交流のできる居場所を提供するとともに、遊びの紹介や育児情報の提供等を行った。1日2回、体操やふれあい遊びを楽しんだり、子育てほけっと事業の紹介などを行った。

さらに、つどいの広場「なわて」では親同士の交流や育児方法・親子の遊び方の提案などを目的とした年齢別の親子教室を開催し、また、子育て講座や子育て応援講演会などを実施するとともに利用者支援事業を併設実施した。

なお、子ども政策課の特定教育・保育施設等運営費補助事務の地域子育て支援拠点事業として、田原台ひまわりこども園及び暇たんぼ保育園でもつどいの広場を実施している。

① つどいの広場事業

	つどいの広場「なわて」	つどいの広場「きたで」	つどいの広場「おかやま」
場 所	雁屋北町6-21 すてっぶ★なわて 3階	北出町3-1 市民活動センター内	岡山一丁目4番12号 ナカタビルIV番館 1F
利用時間	平日 10:00~16:00	平日 10:00~16:00	平日 10:00~16:00
相談体制	専任職員2人	専任職員2人	専任職員2人
利用者数	保護者：4,548人 子ども：5,201人	保護者：908人 子ども：1,225人	保護者：1,225人 子ども：1,300人
登録者数	親子 431組	親子 104組	親子 200組

	つどいの広場「プチひまわり2nd」 (子ども政策課補助事業)	つどいの広場「たんぽぽ」 (子ども政策課補助事業)
実施施設名	田原台ひまわりこども園	暇たんぽぽ保育園
場 所	田原台7-1-7 田原台ひまわりこども園内	大字清滝445-9 暇たんぽぽ保育園内
利用時間	月曜日から土曜日 9:00~14:00	月曜日から土曜日 10:00~16:00
相談体制	専任職員3人	専任職員2人
利用者数	親子 745人	親子 2,382人
登録者数	親子 20組	親子 401組

② 親子教室事業

す く す く (6か月~1歳)		
実 施 期 間	回 数 (回)	参加延人数 (親子)(組)
平成28年6月15日 ~ 7月13日	5	56
平成28年10月7日 ~ 11月4日	5	65
平成29年1月18日 ~ 2月15日	5	51
計	15	172

の び の び (1歳~2歳)		
実 施 期 間	回 数 (回)	参加延人数 (親子)(組)
平成28年5月11日 ~ 6月8日	5	58
平成28年9月2日 ~ 9月30日	5	59
平成28年10月12日 ~ 11月9日	5	67
平成28年11月18日 ~ 12月16日	5	67
平成29年2月22日 ~ 3月22日	5	63
計	25	314



ぴょんぴょん (2歳～3歳)		
実施期間	回数 (回)	参加延人数 (親子)(組)
平成28年5月13日～6月10日	5	70
平成28年9月7日～10月5日	5	64
平成29年1月13日～2月10日	5	49
計	15	183

わくわく (3歳～就園前)		
実施期間	回数 (回)	参加延人数 (親子)(組)
平成28年6月17日～7月15日	5	26
平成28年11月16日～12月14日	5	55
平成29年2月17日～3月17日	5	32
計	15	113

講座・講演会	実施年月日	内 容	講 師	参加者数
子育て応援講演会 (再掲)	平成28年 11月28日	認定子育てハッピーアドバイザー あゆみさんの 「子どものほめ方、叱り方」	認定NPO法人 箕面こどもの森学園 副代表理事 守安 あゆみ 氏	25人
子育て応援講演会 (再掲)	平成29年 3月30日	岩城のおっちゃんのおもちゃ 遊びと子育てのコツ	キッズいわき ばふ 代表 岩城 敏之 氏	37組
子育て講座	平成28年 7月4日	子どもと親の癒しの時間	なないろねっと (四條畷市子どもと 子育てを支える会)	午前14組28人
	平成28年 12月12日	親子でふれあって 楽しく過ごそうクリスマス ～サンタも一緒だよ～		午後14組28人
				午前15組30人
				午後14組28人

#### ④ 利用者支援事業

子どもとその保護者、または妊娠している方などが教育、保育施設や地域の子育て支援事業などを円滑に利用できるよう、情報の収集と提供を行い、必要に応じ相談・助言を行った。また、相談にかかる関係機関との連絡調整なども実施するなどの支援を行った。

(再掲) 育児・しつけ相談 131件

(5) 子育てほけっと事業

市内在住で、小学6年生までの子どものいる家庭や子育てに関わる人・団体を対象に、おもちゃ・絵本・育児書などの貸し出しサービス「子育てほけっと」事業を実施した。

また、グリーンホール田原において、月2回の出張貸出し（個人貸出、おもちゃのみ）を実施した。

忍ヶ丘保育所と岡部保育所において、「子育てほけっと」事業（個人貸出、おもちゃのみ）を実施した。

• 子育て総合支援センター

個人 玩具：3,264件 書籍：3,000件 登録者数：920人

団体 玩具：1,797件 書籍：168件 登録団体数：73団体

活動室の貸出：のべ16団体

• グリーンホール田原

個人 玩具：195件 登録者数：64人

• 忍ヶ丘保育所

個人 玩具：386件 登録者数：76人

• 岡部保育所

個人 玩具：1,092件 登録者数：75人

(6) 子育てサークル・子育てサロンへの支援

市内で活動する子育てサークルと子育てサロンの連絡会を2回実施し、各団体間の情報交換や交流を行った。また、子育てサークル紹介一覧表を発行し、各子育てサークルの広報を行った。

希望する子育てサークル・子育てサロンに対して、出前保育を4回、出前講座を1回行った。

また、子育てサークル・子育てサロン連絡会主催イベント“おいでよ！子育てサークル”の支援を行った。

実施年月日	開催場所	内容	参加人数
平成28年11月2日	野外活動センター	・もちつき、ピザ作り ・子育てサークルと子育てサロンの紹介 ・参加者同士の交流	大人 63人 子ども 51人

(8) 関連機関との連携

① 子育て関係機関連絡会

市内の就学前の子どもにかかわる機関（市立保育所・私立保育園・市立幼稚園・私立幼稚園・私立認定こども園・市立児童発達支援センター・障がい福祉課・市立保健センター・子ども政策課・大阪府四條畷保健所・主任児童委員・学校教育課・地域教育課・府立交野支援学校四條畷校・府立寝屋川支援学校・四條畷市障がい者基幹相談支援センターさつき）が、相互に有機的連携を図り、支援の必要な児童やその保護者に対して総合的なサービスを提供するために、子育て総合支援センターが事務局となり、毎月1回定例会を行い、必要に応じて研修や子育て支援共同事業を行った。

研 修 会

実施年月日	開催場所	テーマ	講師	参加者数
平成28年 5月17日	市民総合センター 展示ホール	発達が気になる子どもと その支援のポイントについて	大阪府立 寝屋川支援学校 支援教育コーディネーター 首席 角尾 将司 氏	45人
平成28年 10月18日	市民総合センター 展示ホール	はぐくみホームについて	大阪府中央子ども家庭 センター育成支援課 課長代理 渡邊 弘子 氏	40人
平成29年 2月21日	市民総合センター 展示ホール	家庭環境の気になる子どもと 保護者への支援 ～気づきのポイントと 具体的な対応について～	特定非営利活動法人 児童虐待防止協会 高崎 幸子 氏	30人

② 大阪府家庭児童相談室連絡協議会

大阪府家庭児童相談室連絡協議会に加盟し、研修や交流会に参加した。

# 児童発達支援センター

## 1 児童発達支援事務

障がい児等が身近な地域で支援を受けられるようにするため、義務教育就学前の児童で、保護者送迎により通園が可能な肢体不自由や発達遅滞などの障がいのある児童を対象に、発達の状況、障がいの内容及び年齢などを考慮し、療育を行った。

個々の心身の発達状況に応じて、週1回をめぐりに、作業療法士または理学療法士によるリハビリテーションを行った。

子どもの現状を知り、育ちの見通しや必要な手立てを保護者、職員と共に考えていくため、園児1人につき年間2回程度心理相談員による発達相談を実施した。

嘱託医による診察、相談（言語指導（年間12回）、小児神経（年間6回）、整形外科（年間6回））を実施した。

保護者等への情報提供や進路の参考とするため、保護者勉強会、施設見学などを行い、適切かつ効果的な指導訓練等に結びつけた。

また、今年度から定員数を20人から30人に拡大し、対象年齢については「1歳6か月から」を「1歳から」に引き下げるとともに、給食を開始し、更なる療育の充実に努めた。

### (1) 施設の利用時間

利用時間：月曜日～金曜日の午前9時20分から午後2時まで

休園日 土曜日・日曜日・祝日

春休み 3月29日～4月7日

夏休み 8月10日～8月20日

冬休み 12月28日～1月6日

### (2) 職員体制

施設長、児童発達支援管理責任者1人、保育士11人、看護師、心理相談員（非常勤）、作業療法士、理学療法士及び嘱託医を配置している。

(3) 園児数（平成29年3月末日現在）

契約児童数 28人（うち、肢体不自由児等：1人 知的障がい児等：27人）

0歳児：0人      1歳児：6人      2歳児：13人

3歳児：7人      4歳児：2人      5歳児：0人

(4) 保育の内容

（行事）生活の変化と楽しい体験から豊かな心を育てる。

入園進級式、マイクロバス遠足（山田池公園、京都市動物園、キッズプラザ大阪）、誕生会、家庭訪問、保護者保育参加、夏祭り、プール遊び、らんらんフェスタ、餅つき、クリスマス会、保護者懇談会、お楽しみ会、卒園式を行った。

（交流）同じ地域で育つ子どもたちと、同じ場所を共有することで育ちあう。

- 年間を通して、隣接するなわてすみれ園の園児と一緒に、行事や遊びに参加して交流を深めた。（1か月2回を目標に保育交流を行った。）
- 児童発達支援センターの園庭をつどいの広場と共有することで、保育中や降園後に、つどいの広場を園児が利用し地域との交流を深めた。

（内容）生活や遊びを中心に子ども達の生きる力を育てる。

- 個々の発達課題に応じた遊びや生活を提供し課題解決をめざして丁寧な日課を積み重ねた。
- 保護者支援を行った。（母子分離通園、保育参加、保護者懇談、勉強会）

(5) 保護者勉強会

実施年月日	対象者	内 容	主 催	参加人員
平成28年 6月21日	保護者 子ども	「歯みがき指導勉強会」 大阪府歯科衛生士会 田口 和美 氏 山中 はるみ 氏	児童発達支援 センター	保護者・ 子ども 13人
平成28年 11月25日	保護者 子ども	「親子で楽しむ感覚統合」 作業療法士 伊藤 左弥子 氏	児童発達支援 センター	保護者・ 子ども 16人
平成29年 2月10日	保護者 子ども	「おもちゃで遊ぼう勉強会」 キッズいわき 前田 英彦 氏	児童発達支援 センター	保護者・ 子ども 17人

## (6) 施設見学

実施年月日	施設名	内 容	参加者
平成28年 6月1日	四條畷あおぞら幼稚園	公立幼稚園・公立保育所の取り組み見学	保護者 10人 職員 1人
	忍ヶ丘保育所	公立保育所の取り組み見学	保護者 10人 職員 1人
平成28年 6月2日	畷アサヒヶ丘保育園	私立保育所の取り組み見学	保護者 6人 職員 1人
	忍ヶ丘幼稚園	私立幼稚園の取り組み見学	保護者 5人 職員 1人
平成28年 6月3日	なわてすみれ園	私立保育園の取り組み見学	保護者 6人 職員 1人
平成28年 6月6日	畷すずらん保育園	私立保育園の取り組み見学	保護者 4人 職員 1人
	畷たんぽぽ保育園	私立保育園の取り組み見学	保護者 7人 職員 1人
平成28年 6月13日	岡部保育所	公立保育園の取り組み見学	保護者 3人 職員 1人
平成28年 6月15日	忍ヶ丘いるか保育園	私立保育園の取り組み見学	保護者 2人 職員 1人
平成28年 6月16日	忍ヶ丘愛育園	私立保育園の取り組み見学	保護者 1人 職員 1人
平成28年 6月20日	田原台ひまわりこども園	私立こども園の取り組み見学	保護者 2人 職員 2人

## (7) 健康管理

	実施年月日	受検児童数	実施の方法及び内容等
身体測定	毎月1回	28人	身長と体重の測定を毎月1回実施した。
歯科衛生指導	平成28年6月21日	13人	歯科衛生士による歯磨き指導と園児向け教材による啓発を実施した。
歯科検診	平成29年2月15日 3月8日	26人	歯科医師による検診を実施した。

## 2 保育所等訪問支援・巡回相談事務

### (1) 保育所等訪問支援

児童発達支援管理責任者が、保護者の要望に応じて、子どもが集団生活を過ごす上での課題解決を目指した支援計画を作成し、この計画に基づき、心理相談員等の支援員が、子どもが在籍する保育所・幼稚園・学校等を訪問し、担当の先生等に対して相談・アドバイスを行い、保護者への支援を行った。

支援人数 14人 / 支援回数 59回

### (2) 巡回相談・巡回指導

発達の気になる子どもに対して、適切な対応を提供し、必要なサービスにつなげること、各施設の発達障がいに対する知識の普及と対応方法の啓発を図ることを目的に、心理相談員が市内の保育所・園、公立幼稚園等を定期的に巡回し、保育士等に対して相談・助言を行った。

巡回箇所数 17箇所 / 実施回数 35回 / 相談件数 67件

## 3 障がい児相談支援事務

### (1) 総合相談

保健師が、保護者や関係機関から発達の気になる子どもに関しての心配ごとなどについて話を伺い、相談、情報提供などの支援を行った。また、発達相談などの個別相談や医療機関受診、福祉サービスの利用など、必要な支援を提案したり、関係機関と連携を図るなどの支援を行った。

相談件数 227件

### (2) 発達相談

心理相談員が、発達検査や保護者相談などを通じて、発達の気になる子どもに対して、本人の特性を把握するとともに、本人が安心して生活することができるよう相談・助言などの支援を行った。

相談実人数 177人 / 相談延べ人数 273人

(3) 障がい児相談支援

相談支援専門員が、子どもが児童福祉法に基づく福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援など）を利用するにあたって、「障がい児支援利用計画」を作成するとともに、本人がスムーズにサービスを利用でき、希望する生活を送ることができるよう、本人・保護者・関係機関などと連携し、支援を行った。

支援件数 64件

(4) 普及・啓発事業

発達障がいに関する市民の理解を深めるため、パンフレットを作成・配布した。

また、研修会を開催し、啓発に努めた。

区分	発達障がい啓発研修テーマ	参加人数(人)
1回目	感覚統合とは？生活・保育に生かすには？	20
2回目	発達の子になる子どもとその支援について	28
3回目	当事者の視点から～発達の凸凹を通訊してみると～（事業者向け）	16
4回目	思春期のこどもの特性について	22
5回目	当事者の視点から～発達の凸凹を通訊してみると～（保護者向け）	47
6回目	強度行動障がいとは？	24
7回目	ことばがはっきりしない子への支援について	30

(5) 親子教室（乳幼児健診フォロー）事業

保健センターでの各乳幼児健診や保健所での療育相談で、経過観察を要すると判断された乳幼児やその保護者を対象に、健診フォロー事業を、子育て総合支援センター、保健センターとの共同で実施した。

きらきら（1歳6か月児健診フォロー）			おひさま（3歳6か月児健診フォロー）		
実施期間	回数(回)	参加延人数(親子)(組)	実施期間	回数(回)	参加延人数(親子)(組)
平成28年 5月10日～7月12日	10	92	平成28年 9月23日～11月25日	10	90
平成28年 9月27日～11月29日	10	43	平成29年 1月13日～3月17日	9	78
平成29年 1月17日～3月21日	10	76			
計	30	211	計	19	168



#### 4 リハビリテーション事務

児童発達支援センター、保育所、幼稚園、小・中学校に通所（園）している障がい児に対し、理学療法士、作業療法士が通所（園）場所等に出向き、リハビリテーションを行った。

また、障がい児及び成人を対象に、リハビリ相談を実施した。

##### (1) 児童発達支援センター

(単位：人)

実人数	延べ人数
19	856

##### (2) 外来（保育所（園）、幼稚園、小中学校）

(単位：人)

実人数	延べ人数
62	809

##### (3) 訪問（保育所（園）、幼稚園、小・中学生、成人）

(単位：人)

実人数	延べ人数
35	711

##### (4) 相談（保育所（園）、幼稚園、小・中学生、成人）

(単位：人)

実人数	延べ人数
30	38

#### 5 旧くすの木園等施設管理事務

旧くすの木園等施設の閉鎖に伴い、解体・撤去工事を実施した。

## 市 立 保 育 所

保育所は、養護と教育を一体的に行うことを特性とし、環境を通して子どもの保育を総合的に実施する役割を担うとともに、保護者に対する支援（入所する児童の保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援）を行う。

### 1 保育所運営事務

(1) 市立保育所の職員体制（平成29年3月末現在）

（単位：人）

		忍ヶ丘保育所	岡部保育所
保	育 所 長	1	1
看	護 師	1	1 (再任用正規職員)
保 育 士	正 規 職 員	12 (内育休2・再任用正規職員1)	12 (内育休2)
	任 期 付 (育休代替)	2	2
	任 期 付 (短 時 間)	5	4
	臨 時 職 員	4	10
	非 常 勤 職 員	3	3
調 理 員	正 規 職 員	2	1
	再 任 用 正 規 職 員	1	1
	任 期 付 (短 時 間)	2	2

## (2) 保 育

在籍する乳幼児が、自己を十分に発揮し、安定した生活や充実した活動ができるように努めた。また、乳幼児が集団生活を通して、いろいろな方々との関わりのなかで、思いやり、優しさ、社会においてのルールの大切さなどを培うよう援助した。

社会の変化や核家族化が進むなか、育児に悩む保護者に対して、相談や支援を行った。

### ① 公開保育・研究討議

忍ヶ丘保育所では、北野幸子氏監修のもと、現在子どもが興味・関心のあるテーマ（7月：水、10月：いろいろな秋を感じる）をもとに、子どもたちが遊びや生活を通して学ぶ力の基礎を培えるよう、プロジェクト型保育を学んだ。さらに、それを通して子ども達が「どのように育っているのか」「何を学んでいるのか」を可視化・発信するドキュメンテーションを学び、公開保育を実施した。また、その取り組みの様子・課題・改善点などをまとめ、実践報告を行った。

岡部保育所では、溝邊和成氏監修のもと、保育所・小学校の保育・教育のねらいや活動について相互理解を深めていく中で、小学校との円滑な接続と学びの連続性を図るために連携し、保育所・小学校との交流を実施した。また、その取り組み様子・今後の課題などや改善点などをまとめ、実践報告を行った。

	実施年月日	内 容	講 師
公開保育・研究討議 (忍ヶ丘保育所)	平成28年 7月26日	午前中3～5歳児でのプロジェクト型保育・ドキュメンテーション記録を公開、午後研究討議実施	北野 幸子 氏
公開保育・研究討議 (忍ヶ丘保育所)	平成28年 10月24日	午前中3～5歳児でのプロジェクト型保育・ドキュメンテーション記録を公開、午後研究討議実施	北野 幸子 氏
公開保育・研究討議 (岡部保育所)	平成28年 10月25日	午前中、5歳児小学校1年生との交流公開、午後研究討議実施	溝邊 和成 氏
実 践 報 告 (忍ヶ丘保育所・ 岡部保育所)	平成29年 1月26日	忍ヶ丘保育所では公開保育でプロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等実践したことを発表 岡部保育所では小学生との交流公開の様子を発表	北野 幸子 氏

### ② 行 事

子どもの生活を豊かにするために、日々の保育に加え、どろんこ遊び、夏の夕べ、運動会、クリスマス会等、四季折々の行事に取り組んだ。

③ 異年齢交流保育

家庭や地域で異年齢の子どもと関わるのが難しくなり、人間関係が変容していくなか、保育所ならではの年齢構成を生かし、交流することで、互いに影響しあい豊かな経験ができるよう配慮した。

④ ファンフレンズプログラム

ゲームや歌、グループ活動などの子ども達が楽しめる活動を通して、自己コントロール法と社会的スキル、自己肯定感、情緒的レジリエンス（自己回復力）などを身に付け、子どもの不安や抑うつなどを防ぐプログラムを認定ファシリテーターにより実施した。

⑤ 障がい児保育

1人ひとりの違いを認め合い、共に育ち合えるよう配慮しながら、障がい児保育を実施した。

⑥ 体験入所事業

保育所の日常を入所前に保護者に伝えるため、体験入所の機会を設けているが、平成28年度は利用がなかった。

⑦ 緊急児保育

保護者の緊急事由による要保育児を、岡部保育所2人、受け入れた。

(3) 職員研修

職員の資質向上を図るため、研修を行った。また、認定こども園移行に向けて、公立私立の認定こども園の参観視察を行った。

研修名	実施年月日	内容	講師
ちやいんどネット 大阪研修	平成28年 5月18日 ～7月24日	乳幼児にとっての遊び活動の意味と、その質を高めるための保育の視点や環境設定を学び、実践力を養う 他	滝川 光治氏 他
保育所 保健研修会	平成28年 5月31日 8月25日	すぐに生かせる歯科指導のポイントについて 小児感染症と予防接種について	大阪保育所 保健連絡協議会役員 他
神戸大学 附属幼稚園	平成28年 6月6日	環境設定、プロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等	副園長 田中 孝尚氏 他
人権保育教育 連続講座	平成28年 6月8日 ～11月8日	子どもたちを自然に出会わさそう 他	森山 康浩氏 他

研 修 名	実施年月日	内 容	講 師
舞鶴市立 中保育所	平成28年 6月10日	環境設定、プロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等	主任保育士 他
社会福祉法人 堺常磐会 浅香こども園	平成28年 6月17日	環境設定、プロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等	主任保育士 他
園内研修 (忍ヶ丘保育所)	平成28年 7月8日	遊びは学び、かしこいおもちゃの与え方 ～乳児のおもちゃ、幼児のおもちゃ～	キッズいわき ばふ 岩城 敏之氏
職員研修	平成28年 9月9日	心を育む表現共育 ～パステルアートで子どもたちの心を育む	高雄 良子氏
園内研修 (岡部保育所)	平成28年 9月11日	障がいのある子どもの個別の支援方法について	伊丹 昌一氏
大阪保育子育て 人権研究集会	平成28年 11月6日	仲間関係を育てるための保育課程・活動・あり方について考えよう 他	ト田真一郎氏 他
全国人権保育 研究集会	平成29年 2月25日 ～2月26日	あそびがつなぐこどもの明日 他	宍戸 信子氏 他

## 2 開かれた保育所事務

保育所機能を活用し、保育所に通所していない子育て家庭の親子に子育て支援を行うため、次の取組みを行った。

- ① 各保育所が、それぞれ創意工夫した取組みを行い、開かれた保育所として地域の親子を諸行事に招くなかで、育児相談を行った。
- ② 遊びを通して園児や職員との交流を深めたり、親同士の触れ合いの中で、子育てについて話しあえる場を提供した。
- ③ 春のどろんこ開放、秋の室内開放を実施し、多数の参加者から、子育てについての相談を受けた。

## (1) 地域開放事業

事業内容	回数	実施年月日	参加人数(人)
園庭開放 (各園で日程調整)	—	毎週月～金	294
身体計測 (各園で日程調整)	—	随時	103
交通安全指導	2	平成28年4月27日、5月16日	12
ミニ運動会	1	平成28年5月13日	2
どろんこ開放	4	平成28年5月25日、6月1日	56
夏の夕べ	2	平成28年7月2日	222
プール開放 (各園で日程調整)	—	平成28年7月19日～8月25日	109
お年寄りとの交流	2	平成28年9月7日、9月16日	65
運動会	2	平成28年10月8日	99
焼芋大会	2	平成28年10月15日、10月19日	87
室内開放	4	平成28年10月19日、10月26日	89
もちつき大会	1	平成28年12月7日	17
クリスマス会	2	平成28年12月22日	43
節分	2	平成29年2月3日	48
ひなまつり	2	平成29年3月3日	29

## (2) 子育て支援事業

## ① 育児講座

実施年月日	内容	場所	参加人数
平成28年12月17日	クリスマスコンサート ロケットくれよん	市民総合センターホール	458人

② おやこ教室事業

在宅で子育てをしている親子対象に、体操やふれあい遊びを楽しんだり、子育てほけつと事業の紹介などをした。また、園庭遊びや室内開放も取り入れ、保育所に在園している同年齢の子どもとの交流を図った。

こ あ ら ( 生後6か月～1歳 )		
実 施 期 間	回 数 (回)	参加延人数 (人)
平成28年 5 月17日 ～ 6 月14日	5	82
平成28年 5 月19日 ～ 6 月16日	5	94
平成29年 1 月12日 ～ 2 月 9 日	5	46
平成29年 1 月17日 ～ 2 月14日	5	52
計	20	274

う さ ぎ ( 1 歳 ～ 2 歳 )		
実 施 期 間	回 数 (回)	参加延人数 (人)
平成28年 4 月 5 日 ～ 5 月10日	5	82
平成28年 4 月 7 日 ～ 5 月12日	5	38
平成28年10月 6 日 ～ 11月10日	5	74
平成28年10月11日 ～ 11月 8 日	5	88
計	20	282

ば ん だ ( 2 歳 以 上 )		
実 施 期 間	回 数 (回)	参加延人数 (人)
平成28年 8 月25日 ～ 9 月29日	5	60
平成28年 9 月 6 日 ～ 10月 4 日	5	74
計	10	134

③ 子育てぽけっと事業

市内在住で、就学前までの子どものいる家庭を対象に、おもちゃの貸出しサービス「子育てぽけっと」事業を実施した。

		登録者数(人)	貸出数(個)
忍ヶ丘保育所	毎週木曜日	76	756
岡部保育所	毎週火曜日	75	1,092
	計	151	1,848

(3) 子育て関係機関との連携

	回数	内容	連携機関
保育所見学	随時	関係機関と連携し、希望する保護者に随時施設見学を実施した。	子育て関係機関
育児相談	随時	保護者からの相談を受けたり、内容に応じては関係機関を紹介した。	子育て関係機関
幼保交流	子ども交流 35回	隣接する忍ヶ丘保育所と四條畷あおぞら幼稚園が来年度のこども園を意識して、日常の日課の中での交流やプロジェクト型保育のテーマの共有を図りながら交流を深めた。	市立幼稚園



# 市立幼稚園

## 1 幼稚園運営事務

### (1) 職員構成

園長	1人	園長代理	1人
担任教諭	4人	養護助教諭	1人
園務員	1人	介助員	6人
送迎車運転手	1人	送迎車添乗員	1人
預かり保育補助員	1人	預かり保育時添乗員	1人

### (2) クラス数と入園児童数

4歳児	2クラス	定員64人	在園児数39人
5歳児	2クラス	定員66人	在園児数51人

### (3) 教育・保育

「自分らしさを発揮し、豊かな心とたくましく生きる力をもった子ども」の育成を目標とし、遊びを通して学ぶ力の基礎を培えるよう、適切な環境設定を心がけ、プロジェクト型保育を取り入れて、教育・保育を行った。また、幼児一人ひとりを理解し、個人に応じた対応に努め、子どもと共に遊びや気づきを振り返ったり、保護者に子どもの育ちを発信したりできるよう、ドキュメンテーション記録に取り組み、公開保育を春、秋の2回実施した。また、取り組みの様子、課題や改善点などをまとめ、実践報告を行った。

	実施年月日	内 容	講 師
公開保育・研究討議	平成28年6月16日	午前中4・5歳児全クラスでの保育を公開、午後研究討議実施	北野幸子氏
公開保育・研究討議	平成28年11月22日	午前中4・5歳児全クラスでの保育を公開、午後研究討議実施	北野幸子氏
実践報告	平成29年1月26日	公開保育でプロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等実践したことを発表	北野幸子氏

## ① 行 事

日本古来の伝統行事に親しむとともに、経験を重ねることで、日々の生活を豊かにすることをねらいとし、様々な行事を行った。

〔カレークッキング、七夕のつどい、運動会、作品展、園外保育、もちつき、冬のつどい、発表会（太鼓と劇・歌と合奏）、節分あそび、ひなまつりなど〕

## ② 支 援 教 育

一人ひとりの違いを認め合い、共に育ちあえるよう配慮し、保護者との連携を図りながら、個別の支援教育を行った。

## ③ 忍ヶ丘保育所との交流

平成29年度から開園する認定こども園への移行がスムーズにできるよう、例年より回数を増やし、ほぼ毎週1回の交流を行った。

## (4) 職 員 研 修

職員の資質向上を図るため、研修を行った。また、認定こども園移行に向けて、公立私立の認定こども園の参観視察を行った。

研修名・視察園名	実施年月日	内 容	講 師
神戸大学附属幼稚園	平成28年6月6日	環境設定、プロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等	副園長 田中孝尚氏 他
舞鶴市立中保育所	平成28年6月10日	環境設定、プロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等	主任保育士 他
社会福祉法人 堺常磐会 浅香こども園	平成28年6月17日	環境設定、プロジェクト型保育、ドキュメンテーション記録等	主任保育士 他
職 員 研 修	平成28年7月19日	心を育てるものづくり からだところをつなぐ遊び	栗本美百合氏
運動会ダンス講習会	平成28年7月25日	運動会で使えるダンス5曲を実技講習	関西ダンス協会
子どものやる気を ひきだすセミナー	平成28年8月3日	パーラックを使った創作エイサー 「ダイナミック琉球」	吉田拓也氏
就学前人権教育 研 究 協 議 会	平成28年10月17日	「子どもと子どもがつながる 集団づくり」	沖本和子氏
国公立幼稚園・ こども園研究発表会	平成29年2月1日	一人一人がみんなたいせつ	くすのき しげのり氏
全国人権保育研究集会	平成29年2月25日 ～2月26日	「あそびがつなぐこどもの明日」 「ともに育ち合う仲間づくり」	宍戸信子氏 他

(5) 送迎車（あおぞら号）運行状況

送り迎え共 一日3コース

1コース 田原巡回コース（さつきヶ丘～東小校門前）

2コース えせび1コース（サンディ付近～えせびアカカベとなり）

3コース えせび2コース（巖小西詰～ほっともっと付近）

預かり保育後の送り 2コース

1コース 田原コース（田原アカカベ前～東小校門前）

2コース えせびコース（えせびアカカベとなり～ほっともっと付近）

利用人数 29人

## 2 子育て支援

(1) 預かり保育

① 保育の対象

四條巖あおぞら幼稚園に通園する園児のうち、保護者が希望する園児

② 実施日・実施時間、保育料

月・火・木・金曜日 14時00分～16時30分（2.5時間） 1回200円

水曜日 12時00分～16時30分（4.5時間） 1回300円

月別保育人数

	実施回数 (回)	2.5時間 (人)	4.5時間 (人)	合計人数 (人)
平成28年4月	3	27	0	27
5月	18	192	21	213
6月	19	225	27	252
7月	11	140	19	159
8月	0	—	—	—
9月	18	226	10	236
10月	15	204	25	229
11月	17	203	22	225
12月	12	173	14	187
平成29年1月	13	178	0	178
2月	17	213	14	227
3月	13	129	8	137

(2) 就労支援型預かり保育

① 保育の対象

- 午後4時30分から午後6時までの時間帯において仕事をしている就労世帯の園児
- 同居親族の病気や精神もしくは身体の障がいのため、常に介護をしている世帯の園児
- 震災、風水害、火災その他の災害の復旧にあたっている世帯の園児
- その他教育委員会がその幼児について当該時間帯の預かり保育を受けることが必要と認める世帯の園児

② 実施日・実施時間、保育料

月・火・木・金曜日	14時00分～18時00分（4時間）	1回300円
水曜日	12時00分～18時00分（6時間）	1回400円
三季休業 月～金曜日	9時00分～18時00分（9時間）	1回700円

（夏休み、冬休み、春休み）

月別保育人数

	実施回数 (回)	4時間 (人)	6時間 (人)	9時間 (人)	合計人数 (人)
平成28年4月	19	18	69	8	95
5月	19	120	18	—	138
6月	21	135	34	—	169
7月	20	90	31	58	179
8月	22	0	32	126	158
9月	20	140	29	—	169
10月	18	118	33	—	151
11月	20	120	31	—	151
12月	19	93	30	17	140
平成29年1月	19	115	14	15	144
2月	20	141	23	—	164
3月	20	58	1	53	112

(3) 未就園児保育事業

未就園児2歳以上を対象として、保護者が子育ての喜びを共感したり、悩みや経験を話し合ったり、また相談したりできる環境や遊びの場を提供するため未就園児保育を実施した。

実施日 5月25日・26日 6月21日・22日 7月1日・4日 9月1日・2日  
10月25日・26日 12月15日・16日 1月16日・17日 2月16日  
参加人数 延べ179家庭

(4) ファンフレンズプログラム

ゲームや歌、グループ活動などの子ども達を楽しめる活動を通して、自己コントロール法と社会的スキル、自己肯定感、情緒的レジリエンス（自己回復力）などを身に付け、子どもの不安や抑うつなどを防ぐプログラムを認定ファシリテーターにより実施した。

① 対 象

4歳児2クラスとその保護者

② 実 施 日

(こすもす組)	(ひまわり組)	時 間	備 考
平成28年9月9日	平成28年11月18日	12:45~13:30	保護者説明会
9月16日	11月25日	12:45~13:30	
9月23日	12月2日	12:45~13:30	
9月29日	12月9日	12:45~13:30	
10月5日	12月16日	12:45~13:30	保護者中間説明会
10月14日	12月20日	12:45~13:30	
10月21日	平成29年1月13日	12:45~13:30	
10月28日	1月20日	12:45~13:30	

# 生活福祉課

## 1 民生委員関係事務

民生委員・児童委員は、住民に身近な相談・支援者として、生活保護をはじめとした生活困窮者、高齢者、障がい者、児童、ひとり親家庭等の多様な福祉問題に対応するとともに、地域福祉の推進者として市の福祉行政施策への協力活動を行った。また、四條畷市地域防災計画に基づき、避難行動要支援者の支援に努めた。

なお、平成28年度は、一斉改選に伴い平成28年12月1日付けで、民生委員・児童委員70人と主任児童委員7人が委嘱された。

### 民生委員・児童委員の状況

(単位：人)

	平成27年度末現在 民生委員・ 児童委員数	新任推薦者数	再任者数	解 嘱 者 数			平成28年度末現在 民生委員・ 児童委員数
				死 亡	その他	計	
男	21	7	17	0	4	4	24
女	52 (7)	12 (3)	34 (4)	0 (0)	18 (3)	18 (3)	46 (7)
計	73 (7)	19 (3)	51 (4)	0 (0)	22 (3)	22 (3)	70 (7)

( ) 内は主任児童委員

## 2 福祉基金管理事務

平成3年度から5年度までの地方交付税において、高齢化社会に対応し、地域福祉の向上を図るため、地域福祉基金費が基準財政需要額に措置された。平成3年12月に「四條畷市福祉基金条例」を公布、施行し、以後、積立てを行い、運用は平成4年度から開始した。

平成28年度末における基金残高は、312,526,806円となっている。

平成28年度は、5月、9月の2回にわたり助成事業の募集を行い、前期で14件の申請があり、後期で1件の申請があった。福祉基金事業運営委員会における審査に基づき、合計15件の助成事業の決定を行い、総額2,571,850円の助成を行った。

## 助 成 の 状 況

区 分	助 成 件 数	助成対象事業総事業費	助 成 額
ボランテニア活動	4 <small>件</small>	1,167,621 <small>円</small>	744,242 <small>円</small>
地域福祉活動	5	2,463,292	855,647
心身障がい者福祉活動	5	1,101,375	935,961
健康、生きがいづくり活動	1	45,736	36,000
合 計	15	4,778,024	2,571,850

### 3 福祉コミュニティーセンター運営事務

地域福祉の推進を図るため、センターの管理運営を指定管理者である国際ライフパートナー株式会社に委託し、高齢者、障がい者、児童等の社会参加を促進するとともに、地域福祉の活動拠点づくりに努めた。

#### (1) 施設利用団体数

施設利用延べ団体数（平成28年4月～平成29年3月）

区 分	団 体 数
行政機関・法人関係による	132
ボランティア・市民団体による	865
センター事業による	148
合 計	1,145

(2) 自主事業

実施事業	実施年月日又は期間	参加者数等
茶の湯	平成28年4月7日・8日（2日間）	178人
陶芸サークル作品展	平成28年4月7日・8日（2日間）	191人（鑑賞者）
高齢者対象陶芸教室陶芸作品展	平成28年7月28日・29日（2日間）	72人（鑑賞者）
工作サマースクール	平成28年8月4日・5日（2日間）	21人
小物づくり教室	平成28年6月11日、10月8日 平成29年2月18日	28人
ガラスエッチング教室	平成28年9月17日	11人
おもちゃクリスマス	平成28年12月10日	72人
新春坊主めぐり大会	平成29年1月14日	19人
陶芸教室研修会	平成29年3月8日	32人
高齢者対象陶芸教室	毎月第2・4水曜日	311人
おはなし広場	奇数月、第1土曜日	160人
地域交流ひろば	毎月第1・3水曜日	770人
コミセン・カラコロ体操	毎月第2・3金曜日	615人
書道教室	毎月第1土曜日	129人
コミセンだより	毎月1日発行	121号～132号発行

4 コミュニティソーシャルワーカー配置事務

地域における高齢者、障がい者、ひとり親家庭などの要援護者等に対する見守り、発見、相談から適切なサービスへの「つなぎ」が機能する体制づくりを推進するため、(福)四條畷市社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカーの配置を委託し、いきいきネット相談支援センターを設置している。

- ① いきいきネット相談支援センター（中地区）…市役所生活福祉課地域福祉担当内
- ② いきいきネット相談支援センター（東地区）…グリーンホール田原内
- ③ いきいきネット相談支援センター（西地区）…市立市民活動センター社会福祉協議会内



個別相談件数

(単位：件)

相談内容別	合計		中地区		東地区		西地区	
	延べ件数	件数	延べ件数	件数	延べ件数	件数	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	30	19	13	4	7	5	10	10
生活に関する身近な相談	45	30	33	21	7	4	5	5
健康・医療に関する相談	31	10	30	9	0	0	1	1
生活費に関する相談	16	11	11	8	3	1	2	2
就労に関する相談	8	4	2	2	6	2	0	0
財産管理・権利擁護に関する相談	4	1	0	0	4	1	0	0
消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0
多重債務に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0
D V ・虐待に関する相談	12	6	12	6	0	0	0	0
地域福祉・ボランティアに関する相談	28	27	4	3	11	11	13	13
住宅に関する相談	3	1	3	1	0	0	0	0
子育て・子どもの教育に関する相談	11	7	8	4	0	0	3	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	188	116	116	58	38	24	34	34

5 自殺対策強化事務

自殺の予防を図るため、下記のとおり啓発活動を行った。

(1) 自殺予防週間（9月）

- ① 市役所庁舎への懸垂幕掲示による啓発
- ② 市役所本館電光掲示板での啓発
- ③ イオンモール四條畷において街頭啓発キャンペーンを実施

(2) 自殺対策強化月間（3月）

- ① 市役所庁舎への懸垂幕掲示による啓発
- ② 市役所本館電光掲示板での啓発
- ③ JR四条畷駅及び忍ヶ丘駅において街頭啓発キャンペーンを実施
- ④ 学校保健会向け研修「遺族支援の現場から見えること」 40人参加
- ⑤ 市内各小中学校に「命の大切さ」等に関する図書を配置

(3) そ の 他

- ① 四條畷市相談機関ネットワーク会開催（市内の自殺者数等の現状と今年度の取組みについての情報共有）（5月）
- ② 四條畷市職員向け研修「自死について」 148人参加（1月）

6 社会福祉法人設立認可・指導監査等事務

社会福祉法に基づき、所管する社会福祉法人の認可及び指導監査等を実施した。平成29年度からの社会福祉法人制度改革に対応するため、全所管法人から定款変更申請があった。

(1) 所管法人 …… 10法人（平成29年3月31日現在）

(2) 社会福祉法人設立・定款変更認可等

	件 数
設 立 認 可	0 件
定 款 変 更 認 可	1 4 件
・事業変更（追加・廃止）	6 件
・役員、評議員数変更	0 件
・基本財産の減少	0 件
・そ の 他	8 件
定 款 変 更 届 の 受 理	0 件
理 事 長 変 更 届 の 受 理	0 件
基 本 財 産 処 分 承 認	0 件
基 本 財 産 担 保 提 供 承 認	0 件
合 併 認 可	0 件
解 散 認 可	0 件
そ の 他	0 件
合 計	1 4 件

(3) 指導監査の実施

一般監査 …… 5法人

特別監査 …… 0法人

## 7 生活困窮者自立支援制度

生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対して自立・就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供することにより、自立の促進を図る事業として、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給及び就労準備支援事業を実施した。

### (1) 自立相談支援事業の実施

「なわて生活サポート相談窓口」を開設。

相談事業を(福)四條畷市社会福祉協議会に委託し、生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供を行うとともに、様々な支援を一体的かつ計画的に行った。

また、月に一度、田原支所においても相談窓口を開設し、地域への周知とサービス向上を図った。

(単位：件)

新規相談受付件数												
平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
12	22	18	13	22	21	8	16	13	13	18	21	197

### (2) 住居確保給付金の支給

離職等により経済的に困窮し、住宅を喪失又は喪失するおそれがあり、収入等が一定水準以下の人に対して、有期で家賃相当額を支給した。

相談件数 19件

申請件数 6件

決定件数 5件

### (3) 就労準備支援事業の実施（新規）

就業希望があるものの雇用による就業が著しく困難な生活困窮者又は生活保護受給者に対し、一般就労に向けた準備としての必要な知識及び能力の形成からの支援を計画的かつ一貫して実施し、その自立を促進する事業を(福)四條畷市社会福祉協議会に委託し、10月から開始した。

新規支援者数 2件（内1件 生活保護受給者）

## 8 避難行動要支援者支援事務

平成27年4月に作成した四條畷市避難行動要支援者支援プラン（全体計画）に基づき、避難支援等関係者に提供していた避難行動要支援者名簿を更新（526人→537人）した。

また、制度の周知、個別計画の策定に向けて、地域での取り組みを支援していくため、市内全域を6ブロックに分割し、ブロックごとに避難支援等関係者（自主防災組織、民生委員、地区福祉委員、CSW）を対象に研修会を実施した。

11月の四條畷市総合防災訓練の際には、メイン会場となった田原地区を中心に、避難支援等関係者が避難行動要支援者の安否確認を実施した。

## 9 生活福祉課運営事務

### (1) 社会福祉協議会補助事務

（福）四條畷市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的として、ボランティアの育成をはじめ、小地域ネットワーク活動事業、日常生活自立支援事業などの住民参加型在宅福祉活動、地区福祉委員会の活動支援、各種相談業務、献血運動・共同募金運動などを実施されており、これらの事業の充実と福祉の向上を図るため、同協議会に対し、17,000,000円の補助金を交付した。

また、地域福祉活動のネットワークの充実を図るため、民生委員児童委員協議会並びに日本赤十字社大阪府支部四條畷市地区及び四條畷市赤十字奉仕団の事務局を委託した。

## 10 臨時福祉給付金給付事務

消費税率の引き上げに際し、低所得者への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金の給付を実施した。

### • 平成28年度臨時福祉給付金

#### (1) 支給対象者

市町村民税（均等割）が非課税で、かつ、市町村民税（均等割）が課税されている者の扶養親族等でない者。ただし、生活保護受給者等を除く。

#### (2) 支給額

1人あたり3,000円。

平成28年度においては、9,030人に対して、27,090,000円を支給した。

また、平成28年度においては、臨時福祉給付金の他に「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者（65歳以上）・障害者基礎年金・遺族基礎年金受給者に給付措置として、年金生活者等支援臨時福祉給付金の給付を実施した。

### • 高齢者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金）

#### (1) 支給対象者

市町村民税（均等割）が非課税で、かつ、市町村民税（均等割）が課税されている者の扶養親族等でない者で65歳以上の者。ただし、生活保護受給者等を除く。

#### (2) 支給額

1人あたり30,000円。

5,218人に対して、156,540,000円を支給した。

### • 障害・遺族年金受給者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金）

#### (1) 支給対象者

市町村民税（均等割）が非課税で、かつ、市町村民税（均等割）が課税されている者の扶養親族等でない者で障害基礎年金、若しくは、遺族基礎年金の受給者。

ただし、生活保護受給者等を除く。

#### (2) 支給額

1人あたり30,000円。

294人に対して、8,820,000円を支給した。

## 11 生活保護事務

生活保護法の基本原理に基づき、生活に困窮するすべての市民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とし、適正な事務を行った。

### (1) 生活保護の状況

年度	保護申請処理状況			保護廃止	被保護世帯数 (停止含む) (3月末現在)	被保護人員 (停止含む) (3月末現在) A	管内人口 (3月末現在) B	保護率 A/B×1000
	申請受理	保護開始	保護却下					
平成28年度	130	109	11	84	672	879	55,937	15.71
平成27年度	99	84	4	91	643	858	56,207	15.27
増 減	31	25	7	△7	29	21	△270	0.44

### (2) 保護の種類別被保護人員

区 分	生活扶助	住宅扶助	介 護 扶 助			教育扶助
	人 員	人 員	施 設	居 宅	合 計	人 員
平成28年度 延べ人数	9,240	9,234	161	1,520	1,681	580
平成27年度 延べ人数	9,151	9,127	149	1,447	1,596	576
増 減	89	107	12	73	85	4

区 分	医 療 扶 助			出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費
	入 院	入 院 外	合 計	人 員	人 員	人 員	人 員
平成28年度 延べ人数	505	9,097	9,602	0	177	15	57
平成27年度 延べ人数	580	8,962	9,542	0	231	16	41
増 減	△75	135	60	0	△54	△1	16

※延べ人数は、各月末の計による。

## (3) 世帯類型別被保護世帯の推移

(単位：世帯)

		高齢者世帯	母子世帯	傷病・障がい者世帯	その他の世帯	小計	合計
平成28年度 3月末	単身者世帯	344		132	43	519	671
	2人以上の世帯	48	39	39	26	152	
平成27年度 3月末	単身者世帯	321		131	35	487	642
	2人以上の世帯	50	38	42	25	155	
増減	単身者世帯	23		1	8	32	29
	2人以上の世帯	△2	1	△3	1	△3	

※停止世帯は含みません。

## 【高齢者世帯】

65歳以上の者のみで構成されている世帯又はこれらの者に18歳未満の者が加わった世帯

## 【母子世帯】

現に配偶者がいない（死別・離別・生死不明及び未婚等による）18歳から65歳未満の女子と18歳未満のその子（養子含む）のみで構成されている世帯

## 【障がい世帯】

世帯主が障害者加算を受けている世帯とし、精神障がい及び知的障がいは、前者と同程度の障がいを有し障害者加算を受けている世帯

## 【傷病世帯】

世帯主が入院しているか、在宅患者加算を受けている世帯、又は世帯主が傷病のため働けない者である世帯

## 【その他世帯】

上記のいずれにも該当しない世帯

## (4) 労働力類型別被保護世帯数の推移

(単位：世帯)

		世帯主が				世帯員のみ働いている世帯	働いている者のいない世帯	合計
		常用勤労者	日雇勤労者	内職就労者	その他の就労者			
平成28年度 3月末	世帯数	77	2	2	6	21	563	671
平成27年度 3月末	世帯数	74	5	2	7	21	533	642
増減	世帯数	3	△3	0	△1	0	30	29

※停止世帯は含みません。

## (5) 病類別医療扶助人数の推移

		入院				入院外				医療費扶助計	被保護人員	医療扶助率	入院患者率
		精神	その他	小計	入院計	精神	その他	小計	入院外計				
平成28年度 3月末	単	人 10	人 10	人 20	人 38	人 0	人 6	人 6	人 777	人 815	人 879	%	%
	併	2	16	18		0	771	771					
平成27年度 3月末	単	11	11	22	49	1	9	10	730	779	858	90.8	5.7
	併	5	22	27		1	719	720					
増減	単	△1	△1	△2	△11	△1	△3	△4	47	36	21	1.9	△1.4
	併	△3	△6	△9		△1	52	51					



## (6) 生活保護費扶助費別支出額

区 分		支 出 額	構 成 比 率		
保 護 費	生 活 扶 助 費	477,072,715 円	32.24%		
	住 宅 扶 助 費	235,126,610	15.89		
	教 育 扶 助 費	6,496,554	0.44		
	介 護 扶 助 費	23,663,731	1.60		
	医 療 扶 助 費	721,552,778	48.76		
	生 業 扶 助 費	3,027,381	0.21		
	葬 祭 扶 助 費	2,629,490	0.18		
	出 産 扶 助 費	0	0.00		
	計	1,469,569,259	99.32		
保 護 施 設 事 務 費		10,028,671	0.67		
就 労 自 立 給 付 金		151,187	0.01		
合 計		1,479,749,117	100.00		
平 成 27 年 度		1,503,506,640			
増 減		△23,757,523			
平 成 28 年 度 の 財 源 内 訳					
国庫支出金	府支出金	地方債	その他の特定財源	一般財源	計
1,158,495,000 円	51,080,000 円	0 円	8,134,600 円	262,039,517 円	1,479,749,117 円

## (7) 生活保護面接相談

各種生活相談及び生活保護申請相談に対し、より適正な助言及び指導を行うとともに、生活保護適用後の自立支援を円滑に行うため、生活保護面接相談員を配置した。

面接相談延件数	320件
(内訳) 生活保護	288件
生活福祉資金	24件
その他	8件

## (8) 生活保護受給者就労支援事業

関係機関をはじめ個別に求人情報の収集を行い、稼働能力のある被保護者に対し就労に関する相談に応じるため、就労支援員を配置し、専門的な助言及び指導を行った。

支援者数	72人		
述べ支援件数	488件	うち就労開始件数	80件

## 高 齢 福 祉 課

### ＜高齢者人口の状況＞

平成29年3月31日現在

区 分		男	女	計	総人口に対する割合
総 人 口		27,419 <sup>人</sup>	28,518 <sup>人</sup>	55,937 <sup>人</sup>	— %
65歳以上の高齢者人口		6,485	8,219	14,704	26.29
内 訳	65～69歳	1,971	2,417	4,388	7.85
	70～74歳	1,776	2,019	3,795	6.78
	75～79歳	1,497	1,692	3,189	5.70
	80歳以上	1,241	2,091	3,332	5.96

### 1 老人医療費助成事務

高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図るため、障がい等の状況が一定以上で、かつ所得基準を超えない65歳以上の人を対象として医療費の一部を助成した。

(単位：件、円)

区 分		平成28年度	平成27年度	増 減
現物給付	件 数	22,896	22,186	710
	助成額	66,938,759	69,106,818	△2,168,059
現金給付	件 数	2,429	1,971	458
	助成額	9,019,445	8,844,114	175,331
合 計	件 数	25,325	24,157	1,168
	助成額	75,958,204	77,950,932	△1,992,728

(単位：人)

区 分	年間平均（平成28年3月診療～平成29年2月診療）		
	平成28年度	平成27年度	増 減
国 保	259	258	1
社 保	61	61	0
後期高齢者	477	455	22
合 計	797	774	23

## 2 老人福祉センター管理運営事務

高齢者福祉の推進を図るため、センターの管理運営を株式会社ビケンテクノに委託（指定管理：平成26年度～平成30年度）し、各種同好会事業をはじめ健康フラダンス、各種講座の他、演芸大会等を開催し高齢者の社会参加の促進に努めた。

### (1) 利用状況

#### ① 利用者等の状況

(単位：日、人)

	平成28年度	平成27年度	増減
開館日数	304	305	△1
利用数(男)	15,657	15,965	△308
利用数(女)	13,945	13,881	64
合計	29,602	29,846	△244
日平均	97	98	△1

#### ② 利用内容等の状況

(単位：人)

	平成28年度	平成27年度	増減
利用証の発行	54	60	△6
血圧測定	2,849	3,200	△351
健康器具	2,575	3,016	△441
同好会	6,870	7,760	△890
老人クラブ	568	677	△109
他一般団体	2,008	1,565	443

※同好会（囲碁、将棋、フラダンス、コーラス、カラオケ、バンパー等）

### (2) 主な自主事業

#### ① 演芸大会の開催

春季素人演芸大会 平成28年4月22日 参加者数 204人（うち出演者 98人）

秋季素人演芸大会 平成28年10月28日 参加者数 206人（うち出演者 112人）

#### ② 交流会（大東市とのカラオケ交流会の開催）

平成28年6月24日 大東市 …… 北条老人憩いの家で開催  
参加者数 55人（本市 24人参加）

平成28年11月25日 四條畷市 …… 楠風荘で開催  
参加者数 59人（本市 31人参加）

③ 栄養講座 平成28年4月6日 参加者数 16人

④ 折紙教室 平成28年5月11日 参加者数 11人

⑤ 慰問歌謡ショー 平成28年5月15日 参加者数 134人

⑥ 交通安全教室 平成28年6月1日 参加者数 21人

⑦ 利用者感謝デー	平成28年 7月18日	参加者数 193人
⑧ AED講習	平成28年 9月 7日	参加者数 15人
⑨ 敬老慰問ショー	平成28年 9月17日	参加者数 120人
⑩ 防犯教室	平成28年10月26日	参加者数 59人
⑪ 避難訓練・防火訓練	平成28年12月13日	参加者数 20人
⑫ スマホ講習	平成29年 2月21日	参加者数 24人
⑬ 映画会（毎月第1土曜日の午前）		計 155人
⑭ 大広間解放の日（毎月第1土曜日の午後）		計 145人
⑮ カラオケの日（毎月第3水曜日）		計 181人
⑯ 健康フラダンス（36回）		参加者数 823人
⑰ 医療講座（3回）		参加者数 90人
⑱ 正しい薬の飲み方（2回）		参加者数 63人
⑲ 手話教室（2回）		参加者数 57人
⑳ 音楽療法（2回）		参加者数 45人

### 3 高齢者福祉事務

#### (1) 敬老会 平成28年 9月13日開催

市民総合センター市民ホールにおいて、高齢者の長寿をお祝いし、敬老意識を高めるために市内の老人福祉施設からも高齢者を招待して敬老会を開催した。（参加者約300人）

式典では4人の方に登壇してもらい、長寿ならではの貴重なお話をいただいた。また、100歳表彰者10人（登壇者含む）をそれぞれ訪問したうえで、祝状や記念品等をお渡しした。

#### (2) 相談・支援事業

保健師及び社会福祉士が、地域包括支援センター等の関係機関と連携を図りながら高齢者虐待等の相談、支援を行った。

ケースカンファレンス（高齢者虐待を含む） 31件

#### 4 老人入所措置事務

老人福祉法第11条に基づく、入所措置状況

(単位：人)

	被 措 置 者 数			
	平成27年度末現在 入 所 者 数	平 成 2 8 年 度 新 規 入 所 者 数	平 成 2 8 年 度 退 所 者 数	平成28年度末現在 入 所 者 数
養護老人ホーム 四 條 畷 荘 他	8	3	1	10

#### 5 くすのき広域連合負担金事務

(1) 平成28年度要介護認定等申請状況（四條畷支所分）

(単位：件)

新規申請	更新申請	区分変更申請	その他	合計
778	1,708	188	0	2,674

(2) 平成28年度要介護認定認定状況（四條畷支所分）（平成29年3月31日現在）

(単位：人)

	二 次 判 定 ( 最 終 結 果 )							合 計
	要 支 援		要 介 護					
	1	2	1	2	3	4	5	
認定人数	626	356	522	335	263	309	252	2,663

(3) 地域支援事業（四條畷支所分）

サービス事業名	事業の内容	平成28年度実績
配食サービス事業 (自立支援事業)	65歳以上の虚弱な高齢者のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯で、食事の支度が困難な方に安否確認も兼ねた食事の提供を行う。	利用者の各月末 合計 延べ 78人 (1,006食)
徘徊高齢者探知システム 機器貸与事業 (家族介護支援事業)	要介護（要支援）認定を受けている徘徊行動がみられる高齢者を介護している家族に対し、事故防止や介護される家族の負担軽減を図るため探知機器を貸与する。	利用者 8人
紙おむつ給付事業 (家族介護支援事業)	要介護3・4・5の認定を受けた高齢者を在宅で介護している家族に、4,120円を限度として毎月給付する。 (高齢者及び家族の世帯全員が市民税非課税の世帯)	年度末利用者 14人
家族介護慰労金支給事業 (家族介護支援事業)	要介護4・5と認定され、1年間介護保険サービスを利用していない（1週間程度のショートステイを除く）高齢者を在宅で介護している家族に、年間10万円を支給する。（高齢者及び家族の世帯全員が市民税非課税の世帯）	支給実績 0人

(4) 地域包括ケアシステム構築に係る会議

重度な要介護状態になってもできるだけ長く住み慣れた地域で暮らし続けるために、「医療」「介護」「住まい」「予防」「生活支援」が包括的に提供される体制構築に向け、地域包括支援センターや高齢者支援に関わる機関が連携を図り、課題の共有やネットワーク構築推進を支援するため、下記の会議を開催した。

会議において、医療、介護関係者を始め、多様なサービス提供主体が連携することで、多角的な視点で検討を図り、課題の解決を行うため、各種プロジェクトを立ち上げた。

① 地域包括支援センター連絡会	2回
② 虐待対応評価会議	2回
③ 四條畷市域地域ケア会議	2回
④ 事業者連絡会	1回
⑤ 介護支援専門員連絡会	6回
⑥ 養護老人ホーム入所判定会議	4回
⑦ 大東・四條畷医療・介護連携推進運営委員会	6回
⑧ 大東・四條畷医療と地域ケア連絡会	2回
⑨ くすのき広域連合四條畷市域生活支援サービス協議体会議	4回

(5) 教室等の開催状況

介護予防普及啓発教室	開催回数	19回
家族介護教室	開催回数	28回
認知症見守り教室	開催回数	13回

(6) 認知症サポーターの養成

認知症について理解を深め、認知症の当事者や家族の視点に立った支援が地域の中で推進されることをめざし、認知症サポーター養成講座を開催した。市域のキャラバンメイトの有志でなわてオレンジプロジェクトチームを立ち上げ、意見交換や講座内容の検討を行い、協力して講座を展開した。

認知症サポーター養成講座 開催回数 13回  
受講者数 371人

※上記のうち中学生向けに4回講座を開催し、昨年と同じく142人のジュニアサポーターを養成した。

## 6 団体運営事務

公益社団法人シルバー人材センター事業への助成

おおむね60歳以上の人が、軽易な就業等を通じて自らの生きがいの充実と社会参加の増大を図ることにより、高齢者の福祉の増進を図るため、(公社)シルバー人材センターに対し、市補助金として14,100,000円を交付した。

会 員 数

平成29年3月31日

男	女	計
305 人	175 人	480 人

就業状況 (平成28年度実績)

受注件数	就業延べ人数	契約金額
2,084 件	55,871 人	244,324,584 円

## 7 老人在宅支援事務

(1) 在宅の要援護高齢者に対して介護保険制度では認められない、或いは対応できない各種保健福祉サービスを提供し、高齢者の自立と生活の質を確保し総合的な保健福祉の向上に取り組んだ。

- 生活困窮者へ電話機貸与 3 台
- 緊急通報装置の貸与 3 2 台
- シーツ、包布等の貸与 2 人 (延べ102回)
- 地域見守り活動 (老人クラブ会員による、地域の独居高齢者の自宅を訪問) 4 6 人 (延べ 66回)
- 福祉農園 5 1 区画

(2) 575ブレスレット配付事業

高齢者の安心確保に資するため、郵便番号575に掛け、「俳句のまち四條畷」と印字したブレスレットを希望される65歳以上の人に配付した。有事の際の身元情報の一つとしても活用できるよう、名簿作成とともに警察や消防を始めとした関係機関に事業周知を図った。

• ブレスレット配付者	131人
• 配付者累計人数	199人

## 8 地域支え合い体制づくり事務

### (1) 地域支え合い体制づくり事業補助金の交付

各地区の福祉活動主体が実施する独居高齢者をはじめとした高齢者のつながりづくりのための事業を育成・支援することを目的として、用途を消耗品及び備品のほか、講師謝礼、光熱水費及び施設使用料（活動相当分）とする事業補助金を地区や各ふれあいサロン（20地区・団体）に対し交付した。

### (2) 緊急連絡カード追加配付

平成23年度から民生委員の協力を得て、65歳以上のひとり暮らしまたは70歳以上の者のみで構成される世帯に対して緊急連絡先などを記載し、冷蔵庫で保管してもらう緊急連絡カードと保存容器を配付しているが、今年度も民生委員・児童委員定例会や民生委員新任説明会において日頃の見守り活動に繋げてもらう旨の説明をあらためて行い、必要に応じて配付を行った。（平成23年度からの配付累計3,669個）

### (3) 高齢者ふれあいサロン

高齢者が地域の人たちと気軽にふれあうことにより、健康で生きがいを持った生活を支援するため、地域のボランティア（地域福祉推進協力員を含む）が、各公民館的施設等において地域の人々と気軽に交流できるサロンを運営した。

#### • 20箇所

（戎・北谷・さつきヶ丘各地区で実施する男性向けロビーについては1箇所として計上）

延べ利用者	5,659人	
延べボランティア	2,559人	合計 8,218人

### (4) 街かどデイハウス

高齢者がいつまでも自立した生活を続けられるように、街かどデイハウス「さんら」運営委員会において、介護予防や生きがいづくりにつながる通所事業を運営した。

• 利用者	38人（延べ1,882人）
• 開催日	月・水・木・金（延べ201日）



(5) ふれあい元気クラブ・えんじょい

社会福祉協議会が主体となった運営委員会により、市民活動センター1階の福祉スペースを高齢者の活動拠点として、書道教室や歌体操などをはじめとしたプログラムを実施する「ふれあい元気クラブ・えんじょい」通所事業を運営した。

- ・利用者 延べ3,667人
- ・開催日 月～金曜（延べ197日）

## 9 高齢者の見守りネットワーク事業

急速な高齢化の進展で、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯が増える中、地域コミュニティの希薄化により、誰にも看取られずに亡くなるといった孤独死が社会問題となっている。このような背景を踏まえ、日ごろから市域を巡回し、高齢者宅に訪問されている民間事業者と市が連携することで、地域における見守りの推進を図り、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを実現することを目的とする協定を締結した。

（協力事業者）

- ・朝日新聞サービスアンカー四條畷
- ・朝日新聞サービスアンカー生駒北
- ・読売センター忍ヶ丘
- ・読売センター四條畷
- ・読売センター生駒北
- ・毎日新聞忍ヶ丘販売所
- ・毎日新聞野崎・四條畷販売所
- ・毎日新聞北生駒販売所
- ・産経新聞四條畷専売所 株式会社AKITA
- ・サンケイ新聞生奈販売株式会社
- ・四條畷市内郵便局

## 障 がい 福 祉 課

### 1 重度障がい者医療費助成事務

身体障がい者（児）及び知的障がい者（児）に対して医療費のうち各保険診療における自己負担の一部を助成することにより、その健康の保持及び生活の安定に寄与し、もって身体障がい者（児）及び知的障がい者（児）の福祉の増進を図ることを目的に助成を行った。

対象者は次のとおり。

- 身体障がい者手帳1級又は2級に該当する人
- 知的障がいの程度が重度であると判定された人
- 身体障がい者手帳を所持し、かつ、知的障がいの程度が中度であると判定された人

平成28年度は、医療証を408件交付し、下表のとおり医療費の助成を行った。

助成額等の状況

区 分		平成28年度	平成27年度	増 減
現物給付	件数 (件)	10,027	10,058	△31
	助成額 (円)	59,963,175	60,200,861	△237,686
現金給付	件数 (件)	603	561	42
	助成額 (円)	3,726,893	2,998,152	728,741
計	件数 (件)	10,630	10,619	11
	助成額 (円)	63,690,068	63,199,013	491,055

## 2 身体障がい者等在宅措置事務

在宅身体障がい者（児）・在宅知的障がい者（児）のニーズにあったサービスを提供することにより、その生活の安定に寄与し、もって在宅身体障がい者（児）及び在宅知的障がい者（児）の福祉の増進を図るため、次の事業を実施した。

### (1) 身体障がい者手帳無料診断の実施

身体障がい者手帳交付の申請のために要した診断料等を市民税非課税世帯について無料とした。

助 成 件 数        51件

### (2) 重度障がい者等住宅改造費の助成

身体障がい者手帳の1級または2級（下肢・体幹機能障がいは3級を含む。）、重度知的障がい者（児）がいる世帯で、心身の状況により住宅改造が必要である人が行う便所、浴室、玄関、廊下、階段、台所、居室等の改造工事に対し、100万円を限度として、その改造に要する経費を助成した。

平成28年度の助成件数は、3件で、助成額は、1,600,000円であった。

### (3) 重度障がい者訪問看護利用料の助成

訪問看護の利用の促進を図るため、重度障がい者（児）で、居宅において療養が必要な人に対して訪問看護利用料として支払った健康保険自己負担額から、1割負担相当額を差し引いた金額を助成した。

平成29年1月に、対象者を追加し、自己負担額を1訪問看護ステーションにつき1日最大500円、月2日限度とし、月額2,500円上限に制度拡充を行った。

対象者は次のとおり

- 身体障がい者手帳1級又は2級に該当する人
- 知的障がいの程度が重度であると判定された人
- 身体障がい者手帳を所持し、かつ、知的障がいの程度が中度であると判定された人
- 上記のいずれかの要件に該当する後期高齢者（拡充）

平成28年度は、23人に対し、総額で2,573,890円の助成金を支給した。

(4) 在宅重度障がい者配食サービスの実施

食事づくりが困難な重度障がい者等に対し、栄養のバランスのとれた食事の定期的な提供を通じて、健康の維持、疾病の予防、「食」の自立等を図るとともに、安否確認を実施することを目的に、配食サービスを実施した。

平成28年度は、2人に対しサービスを実施した。

(5) 小児慢性特定疾患日常生活用具給付事業

小児慢性特定疾患児に対し、日常生活をより円滑に営むことができるよう、吸引器等の日常生活用具を給付した。

平成28年度は、1人に対し給付した。

### 3 特別障がい者手当等支給事務

身体又は精神に著しく重度で永続する障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護を要する在宅の人を対象に、重度の障がいにより特に必要とされる負担の軽減を図ることを目的に各種手当を支給した。

平成28年度末の受給者数、手当の月額はおりのとおりである。

特別障がい者手当 59人（月額26,830円）

障がい児福祉手当 35人（月額14,600円）

経過福祉手当 0人（月額14,600円）

（支給停止者を除く）

### 4 障がい福祉課運営事務

障がい者（児）が、生きがいのある生活を送るための支援事業を実施した。

平成28年度は、京阪ブロック障がい者レクリエーション大会、福祉農園の提供、身体障がい者福祉電話の設置事業、相談支援事業及びふれあい街頭キャンペーンなどを行った。

(1) 京阪ブロック障がい者レクリエーション大会

第49回京阪ブロック障がい者レクリエーション大会が、平成28年10月16日に、いきいきランド交野スタードーム市民体育館において開催され、366人（本市からは17人）が参加し、その支援を行った。

(2) 福 祉 農 園

障がい者が農作物を栽培する喜びや自然とのふれあい、地域での交流等明るく、生きがいのある生活を過ごせるよう、農園50区画（1人1区画）を提供した。

(3) 身体障がい者福祉電話の設置事業

聴覚・言語障がい者又は外出困難な重度身体障がい者に福祉電話を貸与し、日常生活での情報の伝達及び緊急時の相互連絡等の円滑化を図った。

設置台数 福祉電話：5台 うちファックス：4台

(4) 相談支援事業

① 障がい福祉課職員による相談支援

障がい福祉課の窓口にて、必要な情報の提供、助言及び障がい福祉サービスの利用支援等を目的に、障がい当事者、家族、関係機関などを対象として相談支援事業を実施した。

利用者：2,343人（障がい者：1,922人、障がい児：421人）

支援件数：4,419件

内訳 電話相談：260件 訪問：108件 来所相談：3,956件  
関係機関：8件 同行：62件 電子メール：1件  
個別支援会議：0件 その他：24件

支 援 内 容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
福祉サービスの利用に関する支援	2,006	家計・経済に関する支援	1,110
障がいや病状の理解に関する支援	16	生活技術に関する支援	185
健康・医療に関する支援	1,354	就労に関する支援	17
不安の解消・情緒安定に関する支援	8	社会参加・余暇活動に関する支援	25
保育・教育に関する支援	29	権利擁護に関する支援	4
家族関係・人間関係に関する支援	23	そ の 他	73

② 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員・精神障がい者相談員による相談支援

障がい者福祉に関する豊富な経験を有する障がい者、またはその保護者等である7人を相談員として委嘱し、毎月第4金曜日を相談日として、相談を実施した。

(5) 有料道路の割引

障がい者が有料道路を利用する際の割引に対する証明事務を行った。

有料道路割引手帳押印数 397件

(6) ふれあい街頭キャンペーン

障がい者週間（12月3日から9日）の趣旨を広く周知するため、平成28年12月6日にイオンモール四條畷において障がい福祉事業所で製作した製品の販売と、障がい者理解促進のリーフレット、折り紙を配布し、共に生きる社会をめざして街頭キャンペーンを実施した。

参加者 65人

(7) 障がい者差別解消支援協議会の開催

障がい者差別を解消するため、障がいを理由とする差別に関する相談や障がいを理由とする差別を解消するための取組みを円滑に行うため、障がい者や関係機関で構成される障がい者差別解消支援地域協議会を設置し、障がい者差別に関する研修を行った。

(8) 身体障がい者手帳の交付

身体障害者福祉法（18歳未満の障がい児については児童福祉法）に基づき、障がい程度に応じた各種サービス・制度等を受けやすくするために身体障がい者手帳の交付を行った。平成28年度の新規交付者は、114人で、身体障がい者（児）の数は、前年度と比較して30人増加した。

身体障がい者（児）数（平成29年3月31日現在）

（単位：人）

区 分		総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級
視 覚 障 が い	18歳未満	1	0	0	0	0	1	0
	18歳以上	138	43	36	10	11	25	13
	計	139	43	36	10	11	26	13
聴覚・平衡機能障がい	18歳未満	10	0	3	2	1	0	4
	18歳以上	205	19	41	24	44	0	77
	計	215	19	44	26	45	0	81
音声・言語・そしゃく機能障がい	18歳未満	2	0	1	0	1		
	18歳以上	38	2	2	21	13		
	計	40	2	3	21	14		
肢 体 不 自 由	18歳未満	28	14	9	2	1	1	1
	18歳以上	1,276	207	252	254	359	140	64
	計	1,304	221	261	256	360	141	65
内 部 障 が い	18歳未満	11	6	0	4	1		
	18歳以上	572	352	10	66	144		
	計	583	358	10	70	145		
計	18歳未満	52	20	13	8	4	2	5
	18歳以上	2,229	623	341	375	571	165	154
	計	2,281	643	354	383	575	167	159

(9) 療育手帳の交付

厚生労働省事務次官通知に基づき、知的障がい児（者）に対して一貫した相談や支援を受けやすくするため療育手帳の交付を行った。平成28年度の新規交付者は19人で、知的障がい者（児）の数は、前年度と比較して23人増加した。

知的障がい者（児）数（平成29年3月31日現在）

（単位：人）

区 分	総 数	A (重 度)	B 1 (中 度)	B 2 (軽 度)
18 歳 未 満	1 6 9	5 8	2 5	8 6
18 歳 以 上	3 7 7	1 7 1	9 5	1 1 1
計	5 4 6	2 2 9	1 2 0	1 9 7

(10) 精神障がい者保健福祉手帳の交付

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき精神障がい者の自立と社会参加の促進を図るため手帳の交付を行った。平成28年度の新規交付者は33人で、精神障がい者（児）の数は、前年度と比較して28人増加した。

精神障がい者保健福祉手帳所持者数（平成29年3月31日現在）

（単位：人）

区 分	総 数	1 級	2 級	3 級
18 歳 未 満	4 3	1	2 1	2 1
18 歳 以 上	3 4 3	2 7	2 2 3	9 3
計	3 8 6	2 8	2 4 4	1 1 4

## 5 自立支援給付事務

### (1) 自立支援給付

障害者総合支援法に基づき、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、難病等の方々に対し、自立を支援することを目的として、障がい福祉サービスを提供した。

平成28年度のサービス提供実績は次のとおり。

#### ① 訪問系サービス

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用時間数	利用者数	利用時間数	利用者数	利用時間数	利用者数	利用時間数	利用者数	利用時間数	利用者数	利用時間数
人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間
1,219	42,911	374	6,010	686	8,414	70	1,619	50	825	2,399	59,779

※居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・重度障がい者等包括支援

#### ② 日中活動サービス

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日
1,037	16,618	1,722	33,041	680	10,392	0	0	0	0	3,439	60,051

※生活介護・自立訓練・宿泊型自立訓練・就労移行支援・就労継続支援



③ 短期入所

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人 178	日 1,220	人 461	日 2,220	人 26	日 183	人 31	日 66	人 0	日 0	人 696	日 3,689

④ 療養介護

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人 24	日 730	人 0	日 0	人 0	日 0	人 0	日 0	人 0	日 0	人 24	日 730

⑤ 居住系サービス

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人 77	日 2,015	人 319	日 8,896	人 150	日 4,165	人 0	日 0	人 0	日 0	人 546	日 15,076

※共同生活援助

⑥ 施設入所支援

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人 181	日 5,413	人 219	日 6,318	人 0	日 0	人 0	日 0	人 0	日 0	人 400	日 11,731

⑦ 計画相談支援

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人 143	日	人 293	日	人 132	日	人 8	日	人 9	日	人 585	日

⑧ 地域移行支援

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人 12	日 62	人 5	日 12	人 0	日 0	人	日	人 0	日 0	人 17	日 74

⑨ その他の費用

身 体		知 的		精 神		児 童		難 病 等		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日
										996	

※計画相談支援給付費・特定障がい者特別給付費・高額障がい者福祉サービス

(2) 補 装 具 給 付

身体障がい者（児）の職業その他日常生活の能率向上を図ることを目的として、身体障がい者及び身体障がい児の身体機能を補完または代替する用具の交付・修理を行った。

平成28年度は153件（交付：64件・修理89件）、前年度と比較して32件増加した。

6 自立支援医療事務

(1) 精 神 通 院 医 療

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する統合失調症、精神作用物質による急性中毒、その他の精神疾患（てんかんを含む）を有する者で、通院による精神医療を継続的に要する病状にある者に対して、通院のための医療費の自己負担を軽減するための精神通院医療の申請の受理を行った。

平成28年度の決定数は930件で、前年度と比較して38件増加した。

(2) 更 生 医 療

18歳以上の身体障がい者に対して、日常生活能力や職業能力を回復、改善するために、障がいの程度を軽くしたり、取り除いたり、障がいの進行を防ぐことを目的に更生医療を給付した。

平成28年度の決定数は98件で、前年度より21件増加した。

給付件数は1,150件（入院49件、入院外1,101件）、総額で50,239,467円を給付した。

(3) 育 成 医 療

18歳未満の児童に対して、治療を行うことにより、身体上の障がいが軽くなり、日常生活が容易にできることを目的に育成医療を給付した。

平成28年度の決定数は15件で、前年度と比較して4件減少した。

給付件数は61件（入院15件、入院外46件）、総額で969,765円を給付した。

## 7 地域生活支援事務

障がい者及び障がい児が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた事業を実施し、もって障がい者等の福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的として、地域生活支援事業を実施した。

平成28年度は、啓発・研修事業、相談支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、日中一時支援事業、コミュニケーション支援事業、通学支援事業、宿泊体験室利用生活訓練事業等を実施した。

### (1) 啓発・研修事業

障がい者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去し、共生社会の実現を図るため、障がい者等の理解を深めるため研修・啓発を実施した。

「今の成年後見制度ってどんなの？」 参加者 19人

「障害者差別解消法」 参加者 30人

### (2) 相談支援事業

相談支援の中核的な役割を担う障がい者基幹相談支援センター1箇所と障がい者相談支援センター3箇所に相談支援事業を委託し、障がいの権利や各種のニーズに対応できる総合的な相談体制や専門的な相談支援の実施、地域の相談支援事業所等との連携強化を図った。

#### ① 障がい者基幹相談支援センター

委託先：障がい者基幹相談支援センター さつき

利用者：110人（障がい者：102人、障がい児：8人）

支援件数：723件

内訳 電話相談：245件 訪問：85件 来所相談：74件

関係機関：228件 同行：45件 電子メール：25件

個別支援会議：21件 その他：0件

支 援 内 容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
福祉サービスの利用に関する支援	193	家計・経済に関する支援	66
障がいや病状の理解に関する支援	46	生活技術に関する支援	88
健康・医療に関する支援	158	就労に関する支援	40
不安の解消・情緒安定に関する支援	210	社会参加・余暇活動に関する支援	28
保育・教育に関する支援	6	権利擁護に関する支援	0
家族関係・人間関係に関する支援	76	そ の 他	34

② 障がい者相談支援センター（身体）

委 託 先：障がい者相談支援センター あとからゆっくり

利 用 者：60人（障がい者：56人、障がい児：4人）

支援件数：1,310件

内 訳    電 話 相 談：536件    訪 問：384件    来 所 相 談：17件  
          関 係 機 関：196件    同 行： 60件    電 子 メール：32件  
          個 別 支 援 会 議： 79件    そ の 他： 6件

支 援 内 容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
福祉サービスの利用に関する支援	1,123	家計・経済に関する支援	68
障がいや病状の理解に関する支援	231	生活技術に関する支援	89
健康・医療に関する支援	323	就労に関する支援	68
不安の解消・情緒安定に関する支援	305	社会参加・余暇活動に関する支援	91
保育・教育に関する支援	1	権利擁護に関する支援	6
家族関係・人間関係に関する支援	151	そ の 他	3

③ 障がい者相談支援センター（知的）

委託先：障害者相談支援センター しのぶが丘

利用者：74人（障がい者：71人、障がい児：3人）

支援件数：1,267件

内訳 電話相談：352件 訪問：97件 来所相談：67件  
 関係機関：698件 同行：38件 電子メール：2件  
 個別支援会議：11件 その他：2件

支援内容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
福祉サービスの利用に関する支援	794	家計・経済に関する支援	282
障がいや病状の理解に関する支援	35	生活技術に関する支援	131
健康・医療に関する支援	177	就労に関する支援	295
不安の解消・情緒安定に関する支援	177	社会参加・余暇活動に関する支援	135
保育・教育に関する支援	33	権利擁護に関する支援	136
家族関係・人間関係に関する支援	194	そ の 他	50

④ 障がい者相談支援センター（精神）

委託先：障がい者相談支援センター和幸

利用者：113人（障がい者：113人、障がい児：0人）

支援件数：2,102件

内訳 電話相談：455件 訪問：175件 来所相談：102件  
 関係機関：1,311件 同行：30件 電子メール：0件  
 個別支援会議：23件 その他：6件

支援内容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
福祉サービスの利用に関する支援	1,283	家計・経済に関する支援	210
障がいや病状の理解に関する支援	0	生活技術に関する支援	4
健康・医療に関する支援	687	就労に関する支援	22
不安の解消・情緒安定に関する支援	83	社会参加・余暇活動に関する支援	0
保育・教育に関する支援	0	権利擁護に関する支援	29
家族関係・人間関係に関する支援	79	そ の 他	35

(3) 日常生活用具給付等事業

障がい者及び障がい児の日常生活がより円滑に行われることを目的として、日常生活用具を給付した。

給付実績は次のとおり。

排泄管理支援用具：1,277件	介護・訓練支援用具：11件
自立生活支援用具：12件	在宅療養等支援用具：11件
情報・意思疎通支援用具：10件	住宅改修費：4件

(4) 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者及び障がい児に対し、外出のための支援を行うことにより、障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的として、移動支援を行った。

平成28年度の支援実績は、47箇所・182人分・26,936時間であった。

身体：22箇所・36人分・5,109.5時間

知的：34箇所・97人分・15,311時間

精神：10箇所・16人分・2,335.5時間

障がい児：9箇所・33人分・4,180時間

(5) 日中一時支援事業

障がい者及び障がい児を一時的に預かることにより、障がい者等に日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練等を行うことを目的として、障がい者手帳所持者（児）で支援を必要とする者を対象に14箇所・68人分、5,145回の日中一時支援を行った。

(6) コミュニケーション支援事業

聴覚に障がいがあるために意志疎通を図ることに支障がある者（以下「聴覚障がい者」という。）を対象に、コミュニケーション支援事業として、聴覚障がい者等とその他の人の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を行った。

① 手話講習会の開催

聴覚障がい者が地域でより安心して生活をするために地域における理解者を増やすことを目的に、手話奉仕員養成講座を延べ40回開講した。

② 要約筆記講習会の開催

聴覚障がい者（中途失聴・難聴者）が地域でより安心して生活をするために地域における理解者を増やすことを目的に、要約筆記講習会を全10回開講した。

③ 手話通訳者及び要約筆記通訳者の派遣

聴覚障がい者のコミュニケーション保障を図るために通訳者の派遣を行った。

<手話> 312回、登録手話通訳者 21人

<要約筆記> 20回、登録要約筆記通訳者 12人

④ 手話通訳者及び要約筆記通訳者ステップアップ研修

聴覚障がい者のコミュニケーション保障の担い手である通訳者のステップアップを目的に、手話通訳者研修を11回、要約筆記通訳者研修を4回開催した。

⑤ 地域交流会の開催

聴覚障がい者と地域の健聴者が交流することにより、地域協力体制の構築を目的とする雁屋地域交流会を21回開催した。

(7) その他の地域生活支援事業

① 重度障がい者リフト付福祉タクシー助成事業

重度の歩行機能障がいのため車いす等補助用具を使用しなければ外出が困難な重度の障がい者の移動を支援し、地域における生活の自立を図ることを目的として、重度障がい者リフト付福祉タクシー利用券を交付した。

平成28年度は727件分を実施し、昨年度と比較し73件減少となった。

② 授産製品の販売への支援

障がい者の工賃向上や障がい者への理解促進を目的として、就労継続支援事業所等が授産製品等の販売を行う場所の確保への支援を行った。

販売場所 ラッキー四条畷店・なんこうシャル

販売回数 31回

③ 料理教室の開催

調理実習を通じて障がい者の社会参加と食生活の向上を図ることを目的として、栄養士や作業療法士の協力を得て季節のメニューを取り入れた料理教室を行った。

日時 平成29年2月4日 参加者 24人

場所 市民総合センター調理室

④ 野外活動の実施

障がい者の外出の機会の確保や交流を目的として、障がい者野外訓練を行った。

日 時 平成29年3月8日

参加者 50人

場 所 森永乳業 神戸工場（チーズ作り）・須磨海浜公園

⑤ おいでえやあ！ちゃんぷるーフェスタの開催

障がい者が地域社会生活や行事等に参加し、また障がい者施設等の活動や行事に、地域の人々が気軽に参加できるよう、交流・ふれあい事業の一環として「おいでえやあ！ちゃんぷるーフェスタ」を開催した。

第26回 おいでえやあ！ちゃんぷるーフェスタ

日 時 平成28年7月10日

場 所 市民総合センター

参加者 570人

⑥ 通学支援事業

ひとりでの通学が困難で、保護者等がやむを得ない理由により学校への送迎ができない児童に対し、通学のための支援を行うことにより、障がい児の通学の安全、就学の機会を確保するとともに保護者の負担を軽減させることを目的として、平成28年度から対象者を拡充し通学支援を行った。

平成28年度の支援実績は6人であった。

⑦ 宿泊体験室利用生活訓練事業

長期入院・入所する障がい者や在宅で暮らす障がい者が地域において自立した日常生活を送ることができるよう宿泊体験居室を提供し、生活訓練を行うことで障がい者等の自立した生活への移行を支援することを目的として、宿泊体験室利用生活訓練事業を行った。

平成28年度の支援実績は1人であった。



## 8 障がい給付認定調査及び審査会運営事務

### (1) 介護給付費等審査会委員

構成員は、学識経験者、医師及び障がい福祉について専門的見地に秀でている者の5人で、毎月第3木曜日に審査会を開催し、介護給付費等支給申請に基づき、145件の審査を行った。

更新申請：95件 変更申請：4件 新規申請：46件

### (2) 障がい支援区分認定調査員

障がい福祉課のケースワーカー5人が、認定調査員として支援区分認定調査を行った。

### (3) 平成28年度障がい支援区分認定状況

(単位：件)

		二 次 判 定						計	
		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5		区分6
一 次 判 定	非 該 当	0	0	0	0	0	0	0	0
	区 分 1	0	2	0	0	0	0	0	2
	区 分 2	0	0	29	16	0	0	0	45
	区 分 3	0	0	0	22	6	0	0	28
	区 分 4	0	0	0	0	25	1	0	26
	区 分 5	0	0	0	0	0	9	1	10
	区 分 6	0	0	0	2	0	0	32	34
計		0	2	29	40	31	10	33	145

### (4) 一次判定と二次判定の比較

(単位：件、%)

		件 数	構 成 比
一 次 判 定 ど お り		119	82.07
変 更	高 く な っ た	24	16.55
	低 く な っ た	2	1.38
	小 計	26	17.93
合 計		145	100.00

## 9 障がい者虐待防止対策事務

虐待により障がい者の権利や尊厳が脅かされることを防ぐことを目的に、障がい福祉課内に障がい者虐待防止センターを設置し、障がい者虐待に関する通報や相談を24時間365日体制で受けられるよう体制を整備し、関係機関との連携により障がい者虐待防止事務を行うとともに、啓発のための研修を開催した。

「四條畷市障がい者虐待防止研修会」

開催日時 平成29年2月7日

参加者 24人

## 10 障がい児支援事務

障がい児が身近な地域で支援を受けられるようにすることを目的に、児童発達支援等を提供した。また、発達障がい児への児童発達支援を充実させるため、自閉症療育センターLinkを12人の児童が利用できるよう支援した。

平成28年度から、総合支援法に基づく補装具の支給及び大阪府難聴児補聴器交付事業実施要綱の対象とならない軽度の難聴児に対して、補聴器の購入等費用の一部を助成する軽度難聴児補聴器交付事業を実施し2人に対して補聴器を交付した。

平成28年度のサービス提供実績は次のとおり。

児童発達支援等サービス（児童福祉法）

福祉型児童発達支援		医療型児童発達支援		放課後等デイサービス		保育所等訪問支援		合 計	
利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
人	日	人	日	人	日	人	日	人	日
577	4,831	0	0	2,267	17,525	73	85	2,917	22,441

障がい児計画相談 199人

## 11 四條畷市障がい者自立支援協議会事務

市内障がい者（児）などの福祉サービスや地域での課題などを検討し、解決に向けて実働するため、四條畷市障がい者自立支援協議会を運営した。

構成機関：障がい者支援の分野において専門の知識又は経験を有する者、障がい者、  
障がい者団体の代表者、医療、保健、教育、福祉、雇用等の関係機関の代表者、  
障がい者相談支援事業者、障がい者支援施設の代表者等

平成28年度の協議会開催状況は次のとおりである。

全 体 会 議：2回  
実務者運営会議：2回  
協議会運営会議：6回  
専 門 部 会：61回

### 【活動の成果】

- 長期の入院・入所者の退院・退所に向けての練習の場所、また在宅で暮らす障がい者の自立に向けた訓練をする場所としての地域に密着した宿泊体験室の利用に関して、体験室内で身体・家事支援を利用、また移動の支援を利用できるよう制度改正を行った。
- 四條畷市ガイドヘルパー養成研修（全身性障がい者課程コース）を実施し、7人に修了証明書を交付した。
- 障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するため、地域生活支援拠点等の整備について検討を行った。
- 子育て関係機関が相互に有機的連携を図りながら、統合的なサービスを提供できるよう、四條畷市子育て関係機関連絡会に、放課後等デイサービス連絡会を組入れる等、構成機関の検討を行った。
- 障がい者差別解消支援協議会について要綱設置し、同会議を開催した。委員に対し、研修を行い今後の方針検討を行った。

## 12 そ の 他

### 特別児童扶養手当支給事務

受給者数		181人（支給停止者は除く）	
児 童 数	障がい程度1級	67人	
	障がい程度2級	139人	
手当月額	障がい程度1級	1人	51,500円
	障がい程度2級	1人	34,300円



## 保 険 年 金 課

### 〈国民健康保険特別会計〉

#### 事 業 の 概 要

平成28年度の決算状況は、歳入総額7,892,635千円、歳出総額7,634,789千円で、歳入歳出差引額は257,846千円の黒字、単年度収支は250,814千円の黒字となった。

保険料については、応能割の所得割率を医療分8.06%・後期高齢者支援金分3.18%・介護分2.88%、応益割の均等割額を医療分24,731円・後期高齢者支援金分9,603円・介護分15,757円、平等割額を医療分18,154円・後期高齢者支援金分7,049円とした。

現年度分保険料1世帯当たり調定額は、147,773円で0.12%の減、1人当たり調定額は、86,908円で2.12%の増となった。

現年度分収納率は、91.73%で0.15ポイントの増、滞納繰越分収納率は、26.93%で3.89ポイントの増となった。

国民健康保険加入世帯数は、8,633世帯で3.1%の減、被保険者数は、14,679人で5.2%の減となった。また、年度末現在での適用状況は、世帯数34.7%で1.8ポイントの減、被保険者数25.0%で1.7ポイントの減となった。

保険給付の状況においては、費用額全体は5,497,538千円で3.1%の減、診療費1人当たり費用額は294,334円で3.4%の増となった。また、高額療養費の支給状況は、595,169千円で5.6%の増となった。

保健事業については、生活習慣病の予防を目的とする40歳以上75歳未満を対象とした「特定健康診査・特定保健指導」を実施するとともに、受診率向上の取組みとして電話による受診勧奨を行った。また、人間ドック・脳ドック助成事業の実施及び保健センターとの連携による健康教室を引き続き実施した。

また、平成28年度は、次の制度改正を行った。

- 1 賦課限度額の引き上げ（医療分：52万円→54万円・後期高齢者支援金分：17万円→19万円）

# 1 保険年金課運営事務

## (1) 経理状況

### ① 歳入

款	項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
国民健康保険料	国民健康保険料	千円 1,328,418	千円 1,344,322	千円 1,309,529	千円 1,303,757	千円 1,273,748
一部負担金	一部負担金	0	0	0	0	0
使用料及び手数料	使用料及び手数料	613	630	627	592	573
国庫支出金		1,536,638	1,655,548	1,747,683	1,689,931	1,709,690
	国庫負担金	1,131,727	1,205,104	1,232,713	1,173,085	1,195,578
	国庫補助金	404,911	450,444	514,970	516,846	514,112
療養給付費等 交付金	療養給付費等 交付金	342,118	235,951	112,185	126,807	106,852
前期高齢者交付金	前期高齢者交付金	1,768,766	1,745,321	1,881,818	1,990,198	2,023,094
府支出金		340,946	358,820	369,419	414,391	429,562
	府負担金	40,029	37,001	38,448	42,105	50,577
	府補助金	300,917	321,819	330,971	372,286	378,985
共同事業交付金	共同事業交付金	620,176	674,070	724,458	1,649,484	1,654,617
財産収入	財産運用収入	201	118	163	185	125
繰入金		536,117	529,099	567,127	687,270	675,777
	他会計繰入金	536,035	528,898	567,009	687,107	675,592
	基金繰入金	82	201	118	163	185
繰越金	繰越金	66,426	117,634	2,488	6,119	7,032
諸収入		6,675	16,054	18,187	20,580	11,565
	延滞金加算金 及び過料	2,766	3,716	5,860	7,531	7,472
	市預金利子	1	2	2	1	1
	雑入	3,908	12,336	12,325	13,048	4,092
歳入合計		6,547,094	6,677,567	6,733,684	7,889,314	7,892,635

② 歳 出

款	項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総務費		千円 115,322	千円 102,483	千円 99,907	千円 94,371	千円 97,371
	総務管理費	108,481	98,626	95,954	90,367	93,605
	徴収費	6,355	3,494	3,656	3,459	3,256
	運営協議会費	204	203	211	224	172
	趣旨普及費	282	160	86	321	338
保険給付費		4,416,297	4,552,411	4,629,676	4,779,853	4,675,239
	療養諸費	3,908,035	4,029,101	4,077,897	4,174,014	4,044,875
	高額療養費	465,992	482,950	509,533	563,647	595,454
	移送費	0	9	0	15	0
	出産育児諸費	31,574	28,906	30,989	31,212	22,978
	葬祭諸費	3,320	3,920	3,720	3,000	3,920
	精神・結核 医療給付費	7,376	7,525	7,537	7,965	8,012
後期高齢者支援金等	後期高齢者支援金等	830,057	887,470	882,663	864,340	806,942
前期高齢者納付金等	前期高齢者納付金等	890	935	699	597	582
老人保健拠出金	老人保健拠出金	37	29	27	27	21
介護納付費	介護納付費	320,433	351,359	347,444	307,736	284,558
共同事業拠出金	共同事業拠出金	650,212	644,646	678,199	1,719,602	1,718,143
保健事業費	保健事業費	30,207	30,709	33,682	36,846	39,076
基金積立金	基金積立金	201	118	163	185	125
公債費	一般公債費	185	56	396	200	304
諸支出金	償還金及び 償還付加算金	65,619	104,863	54,709	78,525	12,428
予備費	予備費	0	0	0	0	0
歳出合計		6,429,460	6,675,079	6,727,565	7,882,282	7,634,789
歳入歳出差引額		117,634	2,488	6,119	7,032	257,846



## 2 保険料収納事務

### (1) 保 険 料

#### ① 現年度分保険料（1世帯・1人当たり調定額）

区 分	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比
1世帯当たり	146,010 円	147,951 円	101.33 %	147,773 円	99.88 %
1人当たり	83,004	85,103	102.53	86,908	102.12

#### ② 収 納 率

区 分	平 成 2 7 年 度			平 成 2 8 年 度					
	一 般 被 保 険 者	退 職 被 保 険 者 等	計	一 般 被 保 険 者	前 年 度 比 較	退 職 被 保 険 者 等	前 年 度 比 較	計	前 年 度 比 較
現年度分	91.42 %	96.45 %	91.58 %	91.61 %	0.19	97.46 %	1.01	91.73 %	0.15
滞納繰越分	22.86	32.69	23.04	26.85	3.99	32.35	△0.34	26.93	3.89

※事業年報による

#### ③ 軽減・減免の状況

区 分		平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比	
軽 減	一 般 ・ 混 合 世 帯	件数	5,272 件	5,234 件	99.3 %	5,140 件	98.2 %
		金額	252,511 千円	250,885 千円	99.4	257,006 千円	102.4
	退 職 世 帯	件数	111 件	64 件	57.7	30 件	46.9
		金額	6,319 千円	4,671 千円	73.9	2,060 千円	44.1
計	件数	5,383 件	5,298 件	98.4	5,170 件	97.6	
	金額	258,830 千円	255,556 千円	98.7	259,066 千円	101.4	
減 免	一 般 ・ 混 合 世 帯	件数	645 件	649 件	100.6	617 件	95.1
		金額	47,636 千円	50,487 千円	106.0	51,105 千円	101.2
	退 職 世 帯	件数	19 件	8 件	42.1	7 件	87.5
		金額	2,296 千円	911 千円	39.7	1,284 千円	140.9
計	件数	664 件	657 件	98.9	624 件	95.0	
	金額	49,932 千円	51,398 千円	102.9	52,389 千円	101.9	

## (2) 前納報奨金の状況

区 分	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比
件 数	2,154 <sup>件</sup>	2,054 <sup>件</sup>	95.36 <sup>%</sup>	1,986 <sup>件</sup>	96.69 <sup>%</sup>
報 奨 金 額	2,979 <sup>千円</sup>	2,837 <sup>千円</sup>	95.23 <sup>%</sup>	2,635 <sup>千円</sup>	92.88 <sup>%</sup>
報 奨 率	1.00 <sup>%</sup>	1.00 <sup>%</sup>	—	1.00 <sup>%</sup>	—

## (3) 口座振替の状況

区 分	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比	
登 録 件 数	3,247 <sup>件</sup>	3,297 <sup>件</sup>	101.54 <sup>%</sup>	3,211 <sup>件</sup>	97.39 <sup>%</sup>	
収 納 金 額	532,578 <sup>千円</sup>	546,626 <sup>千円</sup>	102.64 <sup>%</sup>	510,000 <sup>千円</sup>	93.30 <sup>%</sup>	
口座振替率	件数ベース	36.31 <sup>%</sup>	37.70 <sup>%</sup>	1.39	38.47 <sup>%</sup>	0.77
	収納額ベース (現年度分)	44.21 <sup>%</sup>	45.38 <sup>%</sup>	1.17	43.53 <sup>%</sup>	△1.85

## (4) コンビニ納付の状況

区 分	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比
件 数 (期別)	24,603 <sup>件</sup>	24,607 <sup>件</sup>	100.02 <sup>%</sup>	23,906 <sup>件</sup>	97.15 <sup>%</sup>
納 付 金 額	291,541 <sup>千円</sup>	302,989 <sup>千円</sup>	103.93 <sup>%</sup>	309,098 <sup>千円</sup>	102.02 <sup>%</sup>
コンビニ納付率	24.15 <sup>%</sup>	25.10 <sup>%</sup>	0.95	24.27 <sup>%</sup>	△0.83

## (5) 被保険者資格証明書の発行状況

区 分	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比
年 度 末 現 在 発 行 件 数	175 <sup>件</sup>	166 <sup>件</sup>	94.86 <sup>%</sup>	139 <sup>件</sup>	83.73 <sup>%</sup>

### 3 賦課・資格管理事務

#### (1) 被保険者数等の状況

##### ① 世帯数及び被保険者数

区 分		平成27年度 末 現 在	平成28年度 中 増 減	平成28年度 末 現 在	年 間 平 均			
					平成27年度	平成28年度	対前年度	
世 帯 数	一 般 世 帯	世帯 8,575	世帯 △316	世帯 8,259	世帯 8,673	世帯 8,506	% 98.1	
	混 合 世 帯	33	△14	19	55	25	45.5	
	退 職 世 帯	138	△69	69	182	102	56.0	
	合 計	8,746	△399	8,347	8,910	8,633	96.9	
被 保 険 者 数	一 般 被 保 険 者	人 14,774	人 △894	人 13,880	人 15,130	人 14,489	95.8	
	退 職 被 保 険 者 等	本 人	179	△89	90	250	133	53.2
		被 扶 養 者	78	△42	36	110	57	51.8
		計	257	△131	126	360	190	52.8
	合 計	15,031	△1,025	14,006	15,490	14,679	94.8	
	介 護 第 2 号 (再 掲)	4,658	△391	4,267	4,869	4,546	93.4	

※事業年報による

※年間平均は、3月～2月までの事業月報「本月末現在」の平均

##### ② 被保険者数増減内訳

(単位：人)

平成28年度中増	転 入	社保離脱	生保廃止	出 生	後期離脱	そ の 他	計
	476	1,539	42	57	0	91	2,205
平成28年度中減	転 出	社保加入	生保開始	死 亡	後期加入	そ の 他	計
	540	1,728	82	103	675	102	3,230

③ 適用状況（年度末現在）

区 分		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
世帯数	総世帯数 A	23,749 <sup>世帯</sup>	23,936 <sup>世帯</sup>	24,026 <sup>世帯</sup>
	国保加入世帯数 B	8,943	8,746	8,347
	対前年度比	98.0%	97.8%	95.4%
	適用率 $B/A \times 100$	37.7	36.5	34.7
被保険者数	総人口 C	56,455 <sup>人</sup>	56,207 <sup>人</sup>	55,937 <sup>人</sup>
	被保険者数 D	15,677	15,031	14,006
	対前年度比	97.2%	95.9%	93.2%
	適用率 $D/C \times 100$	27.8	26.7	25.0

(2) 賦課限度額の状況

区 分		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
医療分	限度額	510 <sup>千円</sup>	520 <sup>千円</sup>	540 <sup>千円</sup>
	限度額世帯数	174 <sup>世帯</sup>	175 <sup>世帯</sup>	166 <sup>世帯</sup>
	限度額世帯割合	1.9%	2.0%	2.0%
後期分	限度額	160 <sup>千円</sup>	170 <sup>千円</sup>	190 <sup>千円</sup>
	限度額世帯数	365 <sup>世帯</sup>	292 <sup>世帯</sup>	198 <sup>世帯</sup>
	限度額世帯割合	4.1%	3.3%	2.4%
介護分	限度額	140 <sup>千円</sup>	160 <sup>千円</sup>	160 <sup>千円</sup>
	限度額世帯数	188 <sup>世帯</sup>	122 <sup>世帯</sup>	105 <sup>世帯</sup>

#### 4 給付事務

##### (1) 給付の状況

##### ① 保険給付費の内訳

区分		一般被保険者						退職	
		件数	日数 (食事:回数)	費用額	保険者負担額	一部負担額	うち薬剤分	件数	日数 (食事:回数)
療養の給付	入院	3,446 <sup>件</sup>	50,169 <sup>日</sup>	1,976,214 <sup>千円</sup>	1,461,514 <sup>千円</sup>	483,912 <sup>千円</sup>	0 <sup>千円</sup>	47 <sup>件</sup>	619 <sup>日</sup>
	入院外	121,420	197,863	1,886,042	1,387,659	411,240	0	1,731	2,798
	歯科	26,249	50,944	381,929	279,202	83,691	0	419	746
	小計	151,115	298,976	4,244,185	3,128,375	978,843	0	2,197	4,163
	調剤	71,013	87,907	910,447	669,205	169,714	0	1,058	1,308
	食事療養(現物)	3,265	130,488 <sup>回</sup>	87,175	54,532	31,948	0	44	1,602 <sup>回</sup>
	訪問看護	590	4,274	47,286	34,767	5,405	0	0	0
	計	222,718	303,250	5,289,093	3,886,879	1,185,910	0	3,255	4,163
療養費	11,501	—	115,099	84,197	27,154	—	188	—	
小計	234,219	303,250	5,404,192	3,971,076	1,213,064	0	3,443	4,163	
高額療養費	10,176	—	—	578,411	—	—	166	—	
高額介護合算療養費	16	—	—	285	—	—	0	—	
出産育児一時金	54	—	—	22,967	—	—	—	—	
葬祭費	98	—	—	3,920	—	—	—	—	
精神・結核医療給付費	6,285	—	—	8,012	—	—	—	—	
合計	250,848	303,250	5,404,192	4,584,671	1,213,064	0	3,609	4,163	
平成27年度	259,551	321,332	5,530,508	4,656,122	1,214,654	0	6,168	7,176	
増減	△8,703	△18,082	△126,316	△71,451	△1,590	0	△2,559	△3,013	

※審査支払手数料8,656千円及び出産育児一時金支払手数料11千円は含まず。

※「療養の給付【計】」「小計」「合計」各欄の「件数」は食事療養を除外、「日数」については食事療養、調剤を除外した数値である。

##### ② 診療費の内訳

区分	一般被保険者				退職被	
	受診率 (100人当たり 受診件数)	1件当たり日数	1日当たり費用額	1人当たり費用額	受診率 (100人当たり 受診件数)	1件当たり日数
入院	23.78 <sup>件</sup>	14.56 <sup>日</sup>	39,391 <sup>円</sup>	136,394 <sup>円</sup>	24.74 <sup>件</sup>	13.17 <sup>日</sup>
入院外	838.02	1.63	9,532	130,171	911.05	1.62
歯科	181.17	1.94	7,497	26,360	220.53	1.78
計	1,042.96	1.98	14,196	292,925	1,156.32	1.89

被 保 険 者 等				全 体					
費 用 額	保険者負担額	一部負担金	うち薬剤分	件 数	日 数 (食事:回数)	費 用 額	保険者負担額	一部負担金	うち薬剤分
34,752 <sup>千円</sup>	24,327 <sup>千円</sup>	10,071 <sup>千円</sup>	0 <sup>千円</sup>	3,493 <sup>件</sup>	50,788 <sup>日</sup>	2,010,966 <sup>千円</sup>	1,485,841 <sup>千円</sup>	493,983 <sup>千円</sup>	0 <sup>千円</sup>
36,471	25,530	10,386	0	123,151	200,661	1,922,513	1,413,189	421,626	0
5,125	3,587	1,535	0	26,668	51,690	387,054	282,789	85,226	0
76,348	53,444	21,992	0	153,312	303,139	4,320,533	3,181,819	1,000,835	0
14,086	9,860	3,868	0	72,071	89,215	924,533	679,065	173,582	0
1,087	561	526	0	3,309	132,090 <sup>回</sup>	88,262	55,093	32,474	0
0	0	0	0	590	4,274	47,286	34,767	5,405	0
91,521	63,865	26,386	0	225,973	307,413	5,380,614	3,950,744	1,212,296	0
1,825	1,278	548	—	11,689	—	116,924	85,475	27,702	—
93,346	65,143	26,934	0	237,662	307,413	5,497,538	4,036,219	1,239,998	0
—	16,758	—	—	10,342	—	—	595,169	—	—
—	0	—	—	16	—	—	285	—	—
—	—	—	—	54	—	—	22,967	—	—
—	—	—	—	98	—	—	3,920	—	—
—	—	—	—	6,285	—	—	8,012	—	—
93,346	81,901	26,934	0	254,457	307,413	5,497,538	4,666,572	1,239,998	0
142,265	114,610	40,263	0	265,719	328,508	5,672,773	4,770,732	1,254,917	0
△48,919	△32,709	△13,329	0	△11,262	△21,095	△175,235	△104,160	△14,919	0

保 険 者 等		全 体			
1日当たり費用額	1人当たり費用額	受診率 (100人当たり 受診件数)	1件当たり日数	1日当たり費用額	1人当たり費用額
56,142 <sup>円</sup>	182,905 <sup>円</sup>	23.80 <sup>件</sup>	14.54 <sup>日</sup>	39,595 <sup>円</sup>	136,996 <sup>円</sup>
13,035	191,953	838.96	1.63	9,581	130,970
6,870	26,974	181.67	1.94	7,488	26,368
18,340	401,832	1,044.43	1.98	14,253	294,334

③ 診療費費用額等の推移

区 分	年 度	受 診 率 (100人当たり 受 診 件 数)	対前年度比	1件当たり 日 数	対前年度比	1日当たり 費 用 額	対前年度比	1人当たり 費 用 額	対前年度比
一 般 被 保 険 者	平 成 26年度	1,013.34 <sup>件</sup>	16.73 <sup>件</sup>	2.05 <sup>日</sup>	98.1 <sup>%</sup>	12,948 <sup>円</sup>	104.1 <sup>%</sup>	269,064 <sup>円</sup>	103.9 <sup>%</sup>
	平 成 27年度	1,038.57	25.23	2.02	98.5	13,527	104.5	283,933	105.5
	平 成 28年度	1,042.96	4.39	1.98	98.0	14,196	104.9	292,925	103.2
退 職 被 保 険 者 等	平 成 26年度	1,091.06	31.62	1.84	95.8	12,115	93.5	243,210	92.3
	平 成 27年度	1,095.28	4.22	1.82	98.9	15,694	129.5	312,172	128.4
	平 成 28年度	1,156.32	61.04	1.89	103.8	18,340	116.9	401,832	128.7
計	平 成 26年度	1,015.99	16.80	2.04	98.1	12,921	103.7	268,181	103.5
	平 成 27年度	1,039.89	23.90	2.02	99.0	13,574	105.1	284,590	106.1
	平 成 28年度	1,044.43	4.54	1.98	98.0	14,253	105.0	294,334	103.4

(大阪府内市町村平均)

計	平 成 26年度	1,046.00	17.26	2.10	99.1	12,517	101.7	274,676	102.5
	平 成 27年度	1,065.00	19.00	2.05	97.6	13,050	104.3	284,874	103.7
	平 成 28年度	—	—	—	—	—	—	—	—

※大阪府国民健康保険事業状況による（28年度は未刊行）

(大阪府内市町村平均との比較)

計	平 成 26年度	△30.01	△0.46	△0.06	△1.0	404	2.0	△6,495	1.0
	平 成 27年度	△25.11	4.90	△0.03	1.4	524	0.8	△284	2.4
	平 成 28年度	—	—	—	—	—	—	—	—

④ 高額療養費支給状況

区 分		件 数	対前年度比	支 給 額	対前年度比	1件当たり支給額
一 般 被 保 険 者	平成26年度	8,991 <sup>件</sup>	106.6 <sup>%</sup>	494,338 <sup>千円</sup>	107.5 <sup>%</sup>	54,981 <sup>円</sup>
	平成27年度	9,748	108.4	548,256	110.9	56,243
	平成28年度	10,176	104.4	578,411	105.5	56,841
退 職 被 保 険 者 等	平成26年度	158	90.8	15,038	65.4	95,177
	平成27年度	194	122.8	15,098	100.4	77,825
	平成28年度	166	85.6	16,758	111.0	100,952
計	平成26年度	9,149	106.3	509,376	105.5	55,676
	平成27年度	9,942	108.7	563,354	110.6	56,664
	平成28年度	10,342	104.0	595,169	105.6	57,549

(2) 出産育児一時金・葬祭費の支給状況

○出産育児一時金：40万4千円（産科医療補償制度加入機関で出産の場合：42万円）

○葬 祭 費：4万円

区 分	出 産 育 児 一 時 金		葬 祭 費	
	件 数	支 給 金 額	件 数	支 給 金 額
平成28年度	54 <sup>件</sup>	22,967 <sup>千円</sup>	98 <sup>件</sup>	3,920 <sup>千円</sup>
平成27年度	74	31,197	75	3,000
増 減	△20	△8,230	23	920

(3) 第三者行為損害賠償金納付金・給付返納金の状況

区 分	第三者行為損害賠償金納付金			給 付 返 納 金		
	件 数	レセプト枚数	納付金額	件 数	レセプト枚数	返納金額
一般被保険者	10 <sup>件</sup>	194 <sup>枚</sup>	1,850 <sup>千円</sup>	196 <sup>件</sup>	349 <sup>枚</sup>	2,021 <sup>千円</sup>
退職被保険者等	1	54	120	1	1	21
計	11	248	1,970	197	350	2,042
平成27年度	16	130	9,858	102	783	3,001
増 減	△5	118	△7,888	95	△433	△959

(4) レセプト点検財政効果額の状況

① 資 格 点 検

区 分	平 均 被保険者数	点検レセプト（総数）		過誤調整レセプト		一人当たり 財政効果額
		枚 数	保 険 者 負 担 額	枚 数	保 険 者 負担減額分	
一般被保険者	14,489 <sup>人</sup>	226,085 <sup>枚</sup>	4,513,790 <sup>千円</sup>	1,002 <sup>枚</sup>	14,126 <sup>千円</sup>	975 <sup>円</sup>
退職被保険者等	190	3,518	92,519	40	301	1,584
計	14,679	229,603	4,606,309	1,042	14,427	983
平成27年度	15,490	237,163	4,636,211	1,122	16,219	1,047
増 減	△811	△7,560	△29,902	△80	△1,792	△64



② 内 容 点 検

区 分	再審査請求分		医療機関からの返戻依頼分		計 (保険者負担 減額分)	一人当たり 財政効果額
	枚 数	保 険 者 負担減額分	枚 数	保 険 者 負担減額分		
一般被保険者	枚 1,001	千円 3,084	枚 221	千円 2,562	千円 5,646	円 390
退職被保険者等	22	23	1	6	29	153
計	1,023	3,107	222	2,568	5,675	387
平成27年度	892	2,311	321	7,988	10,299	665
増 減	131	796	△99	△5,420	△4,624	△278

(5) 限度額適用・標準負担額減額認定証等の発行状況（年度末現在）

① 限度額適用・標準負担額減額認定証

区 分	限度額適用・標準負担額減額認定証					合 計
	(70歳未満)		(70歳以上)			
	住民税非課税世帯		低所得者Ⅱ		低所得者Ⅰ	
	長期該当分	長期非該当分	長期該当分	長期非該当分		
一般被保険者	37人	432人	12人	202人	91人	774人
退職被保険者等	0	8	0	0	0	8
計	37	440	12	202	91	782
平成27年度末	46	464	7	207	94	818
増 減	△9	△24	5	△5	△3	△36

② 限度額適用認定証

区 分	限度額適用認定証（70歳未満）		合 計
	一般所得者	上位所得者	
一般被保険者	432人	12人	444人
退職被保険者等	9	0	9
計	441	12	453
平成27年度末	415	16	431
増 減	26	△4	22

(6) 特定疾病療養受療証の発行状況（年度末現在）

区 分	一 般 所 得 者	上 位 所 得 者	合 計
一般被保険者	56 <sup>人</sup>	0 <sup>人</sup>	56 <sup>人</sup>
退職被保険者等	1	0	1
計	57	0	57
平成27年度末	64	0	64
増 減	△7	0	△7

## 5 健康保持増進事務

### (1) 特定健康診査・特定保健指導実施状況

生活習慣病の予防を目的に、40歳以上75歳未満を対象とした「特定健康診査・特定保健指導」を「四條畷市第2期特定健康診査等実施計画」に基づき実施した。

#### ① 特定健康診査

区 分	対象者数	受診者数	受診率	健 診 結 果		
				異常なし	要 指 導	要 医 療
平成28年度	10,608 <sup>人</sup>	2,862 <sup>人</sup>	27.0 <sup>%</sup>	1,848 <sup>人</sup>	198 <sup>人</sup>	816 <sup>人</sup>
平成27年度	11,147	2,989	26.8	1,853	352	784
増 減	△539	△127	0.2	△5	△154	32

※平成29年5月末までに国保連合会から報告のあった健診結果による。

#### ② 特定保健指導

区 分	対象者数	実施者数	実 施 率	階 層	
				動機付け支援	積極的支援
平成28年度	198 <sup>人</sup>	21 <sup>人</sup>	10.6 <sup>%</sup>	18 <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>
平成27年度	352	39	11.1	36	3
増 減	△154	△18	△0.5	△18	0

※平成29年5月末までに国保連合会から報告のあった健診結果による。

(2) 医療費通知実施状況

区 分	1 回 目	2 回 目	3 回 目	4 回 目	5 回 目	6 回 目
通 知 書 作 成 月	平成28年 4 月	平成28年 6 月	平成28年 8 月	平成28年10月	平成28年12月	平成29年 2 月
対 象 診 療 月	平成28年 1 月 平成28年 2 月	平成28年 3 月 平成28年 4 月	平成28年 5 月 平成28年 6 月	平成28年 7 月 平成28年 8 月	平成28年 9 月 平成28年10月	平成28年11月 平成28年12月
通知世帯数	6,996 <sup>世帯</sup>	7,182 <sup>世帯</sup>	7,037 <sup>世帯</sup>	6,904 <sup>世帯</sup>	6,812 <sup>世帯</sup>	6,810 <sup>世帯</sup>
平成27年度	7,784	7,378	7,187	7,211	7,198	7,066
増 減	△788	△196	△150	△307	△386	△256

(3) 若年基本健康診査事業実施状況

国民健康保険被保険者の15歳以上40歳未満の方を対象に、大東・四條畷医師会の医療機関で基本健康診査を9月から11月にかけて実施した。

区 分	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率	健 診 結 果		
				異 常 な し	要 指 導	要 医 療
平成28年度	1,583 <sup>人</sup>	162 <sup>人</sup>	10.2 <sup>%</sup>	81 <sup>人</sup>	62 <sup>人</sup>	19 <sup>人</sup>
平成27年度	1,686	152	9.0	83	46	23
増 減	△103	10	1.2	△2	16	△4

(4) 人間ドック・脳ドック助成事業

国民健康保険被保険者の疾病予防・早期発見・早期治療により、健康の維持増進を目的に人間ドック及び脳ドック受診に対して助成を行った。

区 分	人 間 ド ッ ク	脳 ド ッ ク
平 成 2 8 年 度	2 2 4 <sup>人</sup>	3 4 <sup>人</sup>
平 成 2 7 年 度	2 0 6	6 8
増 減	1 8	△ 3 4

〈一般会計〉

1 国民年金事務

(1) 加入状況

区 分	第1号強制	第1号任意	第 3 号	合 計	付加年金
平成28年度末	7,528 <sup>人</sup>	87 <sup>人</sup>	4,383 <sup>人</sup>	11,998 <sup>人</sup>	228 <sup>人</sup>
平成27年度末	7,795	85	4,545	12,425	238
増 減	△267	2	△162	△427	△10

(2) 異動状況

区 分	資格取得	資格喪失	転 入	転 出	資格取消	合 計
平成28年度末	2,704 <sup>件</sup>	3,052 <sup>件</sup>	447 <sup>件</sup>	526 <sup>件</sup>	0 <sup>件</sup>	6,729 <sup>件</sup>
平成27年度末	2,654	2,891	467	568	0	6,580
増 減	50	161	△20	△42	0	149

(3) 裁定請求書等受付状況

区 分	老齢基礎年金	障害基礎年金	遺族基礎年金	寡婦年金	未支給年金	死亡届	死 亡 届 一 時 金	合 計
平成28年度	13 <sup>件</sup>	28 <sup>件</sup>	2 <sup>件</sup>	0 <sup>件</sup>	31 <sup>件</sup>	3 <sup>件</sup>	2 <sup>件</sup>	79 <sup>件</sup>
平成27年度	14	31	1	0	16	7	4	73
増 減	△1	△3	1	0	15	△4	△2	6

## (4) 保険料納付免除件数

区 分	法定免除	申請免除 (全額免除)	申請免除 (1/4免除)	申請免除 (半額免除)	申請免除 (3/4免除)	申請免除 (納付猶予)	学生納付 特 例	合 計
平成28年度	540	1,323	40	69	132	282	925	3,311
平成27年度	495	1,373	32	74	141	197	838	3,150
増 減	45	△50	8	△5	△9	85	87	161

〈後期高齢者医療特別会計〉

1 後期高齢者医療事務

大阪府における後期高齢者医療事務については、『大阪府後期高齢者医療広域連合』が運営し、保険料の決定や医療の給付などを行った。

また、本市においては保険料徴収と窓口業務等を行った。

(1) 経理状況

① 歳入

款	項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
後期高齢者医療保険料	後期高齢者医療保険料	千円 408,103	千円 428,357	千円 448,562	千円 463,326	千円 503,965
使用料及び手数料	手数料	43	45	47	43	51
繰入金	一般会計繰入金	99,383	102,864	114,095	124,591	134,773
諸収入	延滞金加算金及び過料	56	81	51	65	174
繰越金	繰越金	9,558	11,987	14,069	9,254	3,665
歳入合計		517,143	543,334	576,824	597,279	642,628

② 歳出

款	項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総務費		千円 18,627	千円 16,799	千円 17,380	千円 17,448	千円 19,394
	総務管理費	16,446	14,378	15,054	14,801	16,800
	徴収費	2,181	2,421	2,326	2,647	2,594
後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	485,926	512,040	549,776	575,395	614,974
諸支出金	償還金及び還付加算金	603	426	414	771	413
歳出合計		505,156	529,265	567,570	593,614	634,781

歳入歳出差引額	11,987	14,069	9,254	3,665	7,847
---------	--------	--------	-------	-------	-------

## (2) 保 険 料

## ① 現年分保険料

区 分		平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比
特別 徴収分	調 定 額	242,571,405 円	238,214,191 円	98.20 %	253,878,970 円	106.58 %
	収 納 額	242,571,405 円	238,214,191 円	98.20 %	253,878,970 円	106.58 %
	1人当たり調定額	60,719 円	58,964 円	97.11 %	54,881 円	93.08 %
	収 納 率	100.00 %	100.00 %	—	100.00 %	—
普通 徴収分	調 定 額	206,491,579 円	227,563,058 円	110.20 %	250,035,141 円	109.88 %
	収 納 額	203,695,147 円	222,784,638 円	109.37 %	246,928,656 円	110.84 %
	1人当たり調定額	164,535 円	143,392 円	87.15 %	172,796 円	120.51 %
	収 納 率	98.65 %	97.90 %	—	98.76 %	—
合 計	調 定 額	449,062,984 円	465,777,249 円	103.72 %	503,914,111 円	108.19 %
	収 納 額	446,266,552 円	460,998,829 円	103.30 %	500,807,626 円	108.64 %
	1人当たり調定額	85,536 円	82,775 円	96.77 %	82,976 円	100.24 %
	収 納 率	99.38 %	98.97 %	—	99.38 %	—

## ② 軽減・減免の状況

区 分		平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比
軽	特 別 徴収分	件数 2,605 件	2,935 件	112.67 %	3,234 件	110.19 %
		金額 103,787 千円	114,971 千円	110.78	122,671 千円	106.70
普通	徴収分	件数 797 件	876 件	109.91	866 件	98.86
		金額 31,086 千円	34,172 千円	109.93	32,441 千円	94.93
減	計	件数 3,402 件	3,811 件	112.02	4,100 件	107.58
		金額 134,873 千円	149,143 千円	110.58	155,112 千円	104.00
減	特 別 徴収分	件数 2 件	5 件	—	4 件	—
		金額 65,215 円	795,959 円	—	169,726 円	—
普通	徴収分	件数 4 件	5 件	—	7 件	—
		金額 205,300 円	229,429 円	—	1,109,627 円	—
免	計	件数 6 件	10 件	—	11 件	—
		金額 270,515 円	1,025,388 円	—	1,279,353 円	—

## (3) 被保険者資格証明書の発行状況

区 分	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成28年度	対前年度比
年度末現在発行件数	0 <sup>件</sup>	0 <sup>件</sup>	- %	0 <sup>件</sup>	- %

## (4) 被保険者数等の状況

## ① 被 保 険 者 数

区 分	平成27年度 末 現 在	平成28年度 中 増 減	平成28年度 末 現 在	年 間 平 均		
				平成27年度	平成28年度	対前年度
特別徴収分	4,212 <sup>人</sup>	409	4,621 <sup>人</sup>	4,040 <sup>人</sup>	4,626 <sup>人</sup>	114.5 %
普通徴収分	1,654	15	1,669	1,587	1,447	91.2
合 計	5,866	424	6,290	5,627	6,073	107.9

※ 年間平均は、4月末現在～3月末現在までの平均。

## ② 適用状況（年度末現在）

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総 人 口 A	56,455 <sup>人</sup>	56,207 <sup>人</sup>	55,937 <sup>人</sup>
被 保 険 者 数 B	5,416	5,866	6,290
対 前 年 度 比	105.6 %	108.3 %	107.2 %
適 用 率 B/A×100	9.6	10.4	11.2

## (5) 療養費申請状況

区 分	件 数 A	申 請 額 B	1件当たり申請額 B/A
平成28年度	189 <sup>件</sup>	5,238 <sup>千円</sup>	27,714 <sup>円</sup>
平成27年度	194	5,743	29,603
増 減	△5	△505	△1,889



## (6) 葬祭費申請状況

区 分	件 数 A	申 請 額 B	1件当たり申請額 B/A
平成28年度	300 <sup>件</sup>	15,000 <sup>千円</sup>	50,000 <sup>円</sup>
平成27年度	272	13,600	50,000
増 減	28	1,400	0

## (7) 限度額適用・標準負担額減額認定証の発行状況

区 分	低 所 得 者 II		低所得者 I	合 計
	長期該当分	長期非該当分		
平成28年度末	36 <sup>人</sup>	599 <sup>人</sup>	550 <sup>人</sup>	1,185 <sup>人</sup>
平成27年度末	43	558	461	1,062
増 減	△7	41	89	123

## (8) 特定疾病療養受療証の発行状況

区 分	一 般 所 得 者	上 位 所 得 者	合 計
平成28年度末	14 <sup>人</sup>	0 <sup>人</sup>	14 <sup>人</sup>
平成27年度末	11	0	11
増 減	3	0	3

## (9) 人間ドック費用助成申請状況

区 分	件 数 A	申 請 額 B	1件当たり申請額 B/A
平成28年度	45 <sup>件</sup>	1,120 <sup>千円</sup>	24,889 <sup>円</sup>
平成27年度	48	1,248	26,000
増 減	△3	△128	△1,111

# 保 健 セ ン タ ー

## <予 防 接 種>

### 1 予 防 接 種 事 務

予防接種法に基づき、ヒブ、小児用肺炎球菌、3種混合、不活化ポリオ、4種混合（不活化ポリオ+3種混合）、BCG、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、高齢者のインフルエンザ及び高齢者の肺炎球菌（受診券を紫色のハガキに変更した）を医療機関で受ける個別接種の方法で実施した。

また、平成28年10月から予防接種法施行令の一部改正により、B型肝炎予防接種を実施した。なお、個別接種については、北河内5市予防接種相互乗り入れを実施した。

また、風しんの拡大防止及び先天性風しん症候群の発生を防止するため、風しん抗体価が低い人であり、かつ、妊娠を希望する女性、妊娠を希望する女性の配偶者及び妊娠している女性の配偶者を対象に、麻しん風しん混合ワクチン接種を実施した。

予防接種の実施にあたっては、保健事業年間予定表、広報、妊娠届出時及び乳幼児健診時のパンフレット、小・中学校の保護者あての説明文、個別通知、医療機関にポスター掲示等により周知に努めた。

(1) ヒブワクチン … 対象年齢：2か月～5歳に至るまで

(単位：人)

区 分	1回目	2回目	3回目	追 加	合 計
平成28年度	380	391	395	416	1,582
平成27年度	444	418	410	387	1,659
増 減	△64	△27	△15	29	△77

(2) 小児用肺炎球菌ワクチン … 対象年齢：2か月～5歳に至るまで

(単位：人)

区 分	1回目	2回目	3回目	追 加	合 計
平成28年度	383	390	396	417	1,586
平成27年度	441	423	413	375	1,652
増 減	△58	△33	△17	42	△66

(3) B型肝炎 … 対象年齢：1歳に至るまで

(単位：人)

区 分	1回目	2回目	3回目	合 計
平成28年度	279	239	71	589

(4) 不活化ポリオ … 対象年齢：第1期 3か月～7歳6か月に至るまで

(※不活化ポリオ及び3種混合未接種者は、4種混合で接種)

(単位：人)

区 分	1 期				合 計
	1回目	2回目	3回目	追 加	
平成28年度	1	9	15	23	48
平成27年度	3	7	16	44	70
増 減	△2	2	△1	△21	△22

(5) 3種混合 … 対象年齢：第1期 3か月～7歳6か月に至るまで

(※3種混合及び不活化ポリオ未接種者は、4種混合で接種)

第2期 11歳～13歳未満

3種混合ワクチンによる接種は、平成28年7月15日に国内での在庫ワクチンの有効期限が終了したため、これ以降は4種混合での対応に変更。

(単位：人)

区 分	1 期				2 期	合 計
	1回目	2回目	3回目	追 加		
平成28年度	0	0	0	0	288	288
平成27年度	0	0	0	0	258	258
増 減	0	0	0	0	30	30

(6) 4種混合 … 対象年齢：第1期 3か月～7歳6か月に至るまで

(単位：人)

区 分	1 期				合 計
	1回目	2回目	3回目	追 加	
平成28年度	392	411	411	437	1,651
平成27年度	428	416	432	439	1,715
増 減	△36	△5	△21	△2	△64

(7) BCG接種 … 対象年齢：1歳に至るまで

(単位：人)

区 分	接 種 者 数
平成28年度	398
平成27年度	408
増 減	△10

(8) 麻しん・風しん … 対象年齢：1期 1歳～2歳に至るまで

2期 5歳以上7歳未満で小学校就学始期の1年前から就学前日の人

(単位：人)

区 分	1 期			2 期		
	麻しん・ 風しん混合	麻 し ん 単 抗 原	風 し ん 単 抗 原	麻しん・ 風しん混合	麻 し ん 単 抗 原	風 し ん 単 抗 原
平成28年度	407	0	0	442	0	0
平成27年度	376	0	0	442	0	0
増 減	31	0	0	0	0	0

(9) 水 痘 … 対象年齢：1歳～3歳に至るまで

(単位：人)

区 分	1回目	2回目	合 計
平成28年度	424	363	787
平成27年度	427	422	849
増 減	△3	△59	△62

(10) 日本脳炎 … 対象年齢：第1期 初回及び追加 6か月～7歳6か月に至るまで

第2期 9歳～13歳未満

※平成7年6月1日から平成19年4月1日生まれの者は特例措置として20歳に達する前

日までに不足回数分を接種

(単位：人)

区 分	1 期			2 期	合 計
	1回目	2回目	追 加		
平成28年度	519	493	474	372	1,858
平成27年度	525	486	497	173	1,681
増 減	△6	7	△23	199	177

(11) 子宮頸がん予防ワクチン … 対象年齢：小学校6年生相当から高校1年生相当者

※平成25年6月から積極的な勧奨を見合わせ中

(単位：人)

区 分	1回目	2回目	3回目	合 計
平成28年度	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0
増 減	0	0	0	0

(12) インフルエンザ … 対象年齢：65歳以上

60歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルス  
による機能障がいをもつ身体障がい者手帳1級所持者

	対 象 者 数 (人)	接 種 者 数 (人)	接 種 率 (%)
60 ～ 64 歳	16	10	62.5
65 歳 以 上	14,474	5,946	41.1
計	14,490	5,956	41.1
平 成 27 年 度	14,053	5,626	40.0
増 減	437	330	1.1

(13) 高齢者肺炎球菌 … 対象年齢：年度末日に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、  
100歳である者

60歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルス  
による機能障がいをもつ身体障がい者手帳1級所持者

	対 象 者 数 (人)	接 種 者 数 (人)	接 種 率 (%)
60 ～ 64 歳	16	0	0.0
65・70・75・80・ 85・90・95・100歳	3,286	1,461	44.5
計	3,302	1,461	44.2
平 成 27 年 度	3,065	1,217	39.7
増 減	237	244	4.5

#### (14) 風しん対策事業

麻疹風しん混合 … 対象者：風しん抗体価の低い人で、かつ次に該当する人

妊娠を希望する女性

妊娠を希望する女性の夫

妊娠している女性の夫

(単位：人)

区 分	妊娠を希望する女性	妊娠を希望する女性の夫	妊娠している女性の夫	合 計
平成28年度	33	0	2	35
平成27年度	44	4	4	52
増 減	△11	△4	△2	△17

## 2 健康被害者に対する補償事務

予防接種法に基づき、予防接種による健康被害者の救済措置として障害年金及び医療費、医療手当の給付を種痘後脳炎後遺症者2人（種痘接種：昭和48年1人、49年1人）に対し行った。

### <健康増進事業>

#### 1 健康教育・相談事務

##### (1) 健康手帳の交付

健康教育、健康相談、健康診査時等に40歳以上の市民804人に交付した。

##### (2) 健 康 教 育

保健センター、グリーンホール田原等において生活習慣病や感染症予防に関する教室及び健康づくり体操、栄養指導講習会等を開催した。実施にあたっては健康づくり事業庁内連絡会（および実務者会議）や健康づくりに取り組む自主グループやボランティア団体等との連携や協力のもとに実施した。また、メタボリックシンドローム予防の健康教室を大阪電気通信大学・イオンモール四條畷と連携して実施し、特定健診を受診された人に案内した。

子どもの頃からの歯と口腔内の健康づくり及び健康意識の向上を目的に、平成28年9月に歯の健康展を開催し、約250人の参加者に検診、歯科相談、ブラッシング指導などを実施した。

### 健康教育実施状況

区 分	開催回数 (回)	参加延人数 (人)	従 事 者 延 人 数 (人)					合 計
			医 師	保健師	栄養士	看護師	その他	
平成28年度	61	2,304	1	130	23	27	78	259
平成27年度	72	2,548	1	126	54	22	123	326
増 減	△11	△244	0	4	△31	5	△45	△67

### (3) 健 康 相 談

保健センターや老人福祉センター、公民館等において生活習慣病予防等について個別の健康相談を実施した。

また、特定健診の結果、その該当者や予備群の人を対象に生活習慣改善のため特定保健指導を実施した。

### 健康相談実施状況

区 分	開催回数 (回)	参加延人数 (人)	従 事 者 延 人 数 (人)					合 計
			医 師	保健師	栄養士	看護師	その他	
平成28年度	45	1,314	0	73	12	15	5	105
平成27年度	43	1,457	0	73	19	13	12	117
増 減	2	△143	0	0	△7	2	△7	△12

## 2 訪問指導事務

家庭での状況を把握し、日常生活における保健指導等が必要な乳幼児から高齢者のあらゆる年齢層の人を対象に、保健師等の訪問指導を実施した。訪問指導にあたっては、医療機関や関係機関との連携を図り、必要な医療、福祉サービスの導入や相談を行う等適切な指導に努めた。また、乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）を実施し、民生委員・児童委員の協力により、生後4か月までの乳児家庭全戸を対象に訪問をした。

(実：実人数 延：延人数)

区 分	訪問 実施 回数 (回)	世 帯 数 (世帯)	精 神 保 健 福 祉										心 身 障 がい			
			実	延	再 掲								18歳未満		18歳以上	
					老人精神		社会復帰		アルコール		そ の 他		実	延	実	延
					実	延	実	延	実	延	実	延				
平成28年度	641	560	4	8	2	4	0	0	0	0	2	4	0	0	2	6
平成27年度	783	633	2	11	0	0	0	0	0	0	2	11	7	55	5	23
増 減	△142	△73	2	△3	2	4	0	0	0	0	0	△7	△7	△55	△3	△17

区 分	生 活 習 慣 病				難 病		その他の疾病		妊 婦		産 婦		新 生 児	
	39歳以下		40歳以上		実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
	実	延	実	延										
平成28年度	0	2	5	5	0	0	0	0	18	27	286	365	23	24
平成27年度	0	0	9	22	7	58	4	21	14	20	255	358	115	146
増 減	0	2	△4	△17	△7	△58	△4	△21	4	7	31	7	△92	△122

区 分	乳 児 (新生児除く)		幼 児		学童以上		家族計画		そ の 他		再 掲				合 計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	被虐待児		未熟児		実	延
											実	延	実	延		
平成28年度	270	355	149	253	5	5	16	16	5	5	20	109	17	30	783	1,071
平成27年度	284	301	111	181	1	3	10	10	8	8	26	86	22	30	832	1,217
増 減	△14	54	38	72	4	2	6	6	△3	△3	△6	23	△5	0	△49	△146



### 3 健康診査事務

#### (1) 成人健康診査

健診の機会がない15歳以上40歳未満の市民、生活保護受給者を対象に、保健センター及びグリーンホール田原において特定健康診査と同様の健診内容による成人健康診査を実施した。

(国民健康保険の特定健診も同時実施。)

(単位：人)

	受診者数	検査結果			
		異常なし	要指導	要医療	
15～19歳	2	0	0	2	
20～29歳	15	1	5	9	
30～39歳	37	8	12	17	
40～49歳	6	0	2	4	
50～59歳	8	0	0	8	
60～69歳	10	0	1	9	
70歳以上	13	0	0	13	
合計	91	9	20	62	
内訳	男性	30	1	7	22
	女性	61	8	13	40
平成27年度	92	13	24	55	
増減	△1	△4	△4	7	

#### (2) 肝炎ウイルス検診受診者状況（節目年齢）

(単位：人)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検査結果		
				C型・陽性	B型・陽性	
40歳	266	26	9.8	0	0	
内訳	男性	106	9	8.5	0	0
	女性	160	17	10.6	0	0
平成27年度	310	24	7.7	0	0	
増減	△44	2	2.1	0	0	

#### 4 がん検診事務

胃がん・肺がん検診を保健センター、グリーンホール田原で実施した。また、集団検診に加えて、子宮がん・大腸がん・乳がん検診及び平成28年7月からは肺がん検診について、大東・四條畷医師会の医療機関での個別検診を実施した。

受診しやすい環境づくりのため、複数のがん検診を同時に受診できるセット検診や日曜日検診を実施するとともに、乳がん検診実施医療機関の拡大や胃がん・肺がん・大腸がん検診の実施施設で乳がん及び子宮がん検診の受診も可能とした。

併せて、前立腺がん検診を集団検診、個別検診及び施設検診で実施することにより、大腸がん検診等、他の検診との同時実施を可能とした。

また、女性特有のがん（乳がん・子宮がん）の受診促進及びがんの早期発見と正しい知識の普及啓発を図るため、一定の年齢の人に検診手帳とクーポン券を送付し、検診費用を無料とするがん検診推進事業を実施した。

協会けんぽが実施する特定健康診査（集団）と同時に大腸がん検診を実施した。

各種がん検診の実施状況は次のとおりである。（各種検診の対象者数は国が示す「がん検診の事業評価のあり方」の計算式で算出した。）

##### (1) 胃がん検診受診者状況（40歳以上 バリウム服用後レントゲン検査）

（単位：人）

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	異常なし	要精検者数	検査結果					
						異常なし	がんで あった者	がんの 疑い	がん以外 の疾患	未把握	
40～49歳	2,609	139	5.3	132	7	0	0	0	7	0	
50～59歳	1,648	86	5.2	80	6	0	0	0	3	3	
60～69歳	4,212	183	4.3	165	18	1	0	1	13	3	
70歳以上	8,093	169	2.1	152	17	0	3	0	13	1	
合計	16,562	577	3.5	529	48	1	3	1	36	7	
内訳	男性	6,212	211	3.4	191	20	1	1	1	14	3
	女性	10,350	366	3.5	338	28	0	2	0	22	4
平成27年度	15,116	641	4.2	576	65	0	0	1	62	2	
増減	1,446	△64	△0.7	△47	△17	1	3	0	△26	5	

## (2) 肺がん検診受診者状況

(40歳以上 胸部レントゲン検査、大量喫煙者等ハイリスク者には喀痰検査)

(単位：人)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	異常なし	要精検者数	検査結果					
						異常なし	がんで あった者	がんの 疑い	がん以外 の疾患	未把握	
40～49歳	2,609	237	9.1	233	4	3	0	0	1	0	
50～59歳	1,648	162	9.8	160	2	0	0	0	1	1	
60～69歳	4,212	570	13.5	555	15	5	1	0	6	3	
70歳以上	8,093	939	11.6	898	41	8	5	1	16	11	
合計	16,562	1,908	11.5	1,846	62	16	6	1	24	15	
内 訳	男性	6,212	724	11.7	692	32	7	5	1	15	4
	女性	10,350	1,184	11.4	1,154	30	9	1	0	9	11
平成27年度	15,116	774	5.1	731	43	14	1	1	24	3	
増減	1,446	1,134	6.4	1,115	19	2	5	0	0	12	

## (3) 大腸がん検診受診者状況 (40歳以上 便潜血反応免疫法)

(単位：人)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	異常なし	要精検者数	検査結果					
						異常なし	がんで あった者	がんの 疑い	がん以外 の疾患	未把握	
40～49歳	2,609	282	10.8	263	19	7	2	0	5	5	
50～59歳	1,648	196	11.9	187	9	4	0	0	1	4	
60～69歳	4,212	588	14.0	555	33	5	1	0	13	14	
70歳以上	8,093	974	12.0	888	86	7	4	1	42	32	
合計	16,562	2,040	12.3	1,893	147	23	7	1	61	55	
内 訳	男性	6,212	795	12.8	723	72	3	4	1	35	29
	女性	10,350	1,245	12.0	1,170	75	20	3	0	26	26
平成27年度	15,116	2,296	15.2	2,069	227	24	6	2	113	82	
増減	1,446	△256	△2.9	△176	△80	△1	1	△1	△52	△27	

## (4) 子宮がん検診受診者状況 (20歳以上 内診 頸部細胞診)

(単位：人)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	異常なし	要精検者数	検 査 結 果				
						異常なし	がんで あった者	がんの 疑い	がん以外 の疾患	未把握
20～29歳	505	235	46.5	225	10	4	0	0	3	3
30～39歳	638	312	48.9	302	10	2	0	0	7	1
40～49歳	879	411	46.8	400	11	3	0	0	3	5
50～59歳	573	175	30.5	166	9	2	0	0	6	1
60～69歳	1,357	174	12.8	174	0	0	0	0	0	0
70歳以上	2,366	152	6.4	152	0	0	0	0	0	0
合 計	6,318	1,459	23.1	1,419	40	11	0	0	19	10
平成27年度	5,937	1,620	27.3	1,581	39	2	0	0	35	2
増 減	381	△161	△4.2	△162	1	9	0	0	△16	8

## (5) 乳がん検診受診者状況

## ① 40歳以上：視触診+マンモグラフィ検査

(単位：人)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	異常なし	要精検者数	検 査 結 果				
						異常なし	がんで あった者	がんの 疑い	がん以外 の疾患	未把握
40～49歳	879	347	39.5	317	30	12	0	0	10	8
50～59歳	573	163	28.4	156	7	2	1	0	4	0
60～69歳	1,357	170	12.5	160	10	5	1	0	4	0
70歳以上	2,366	126	5.3	120	6	3	0	0	3	0
合 計	5,175	806	15.6	753	53	22	2	0	21	8
平成27年度	5,040	892	17.7	821	71	29	1	6	28	7
増 減	135	△86	△2.1	△68	△18	△7	1	△6	△7	1

② 30歳代 : 視触診+超音波検査

(単位:人)

	受診者数	異常なし	要精検者数	検査結果				
				異常なし	がんであった者	がんの疑い	がんに以外の疾患	未把握
30～39歳	88	84	4	1	0	1	2	0
平成27年度	85	79	6	2	0	0	2	2
増減	3	5	△2	△1	0	1	0	△2

(6) 前立腺がん検診 (55歳以上 PSA検査)

(単位:人)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	異常なし	要精検者数	検査結果					
						異常なし	がんであった者	がんの疑い	がんに以外の疾患	経過観察	未把握
55～64歳	658	91	13.8	87	4	1	2	0	0	0	1
65～74歳	2,423	408	16.8	375	33	5	4	0	5	11	8
75歳以上	1,995	207	10.4	187	20	4	3	0	1	5	7
合計	5,076	706	13.9	649	57	10	9	0	6	16	16
平成27年度	4,953	679	13.7	626	53	6	4	0	6	21	16
増減	123	27	0.2	23	4	4	5	0	0	△5	0

5 成人歯科健康診査事務

歯周疾患、う歯の早期発見や適切な口腔衛生への啓発を行い、歯の喪失を予防するため、平成28年6月～11月の期間に大東歯科医師会の医療機関において実施した。

(単位:人)

	対象者			受診者			受診率 (%)			健診結果		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	異常なし	要指導	要医療
20歳	319	278	597	25	23	48	7.8	8.3	8.0	8	15	25
30歳	256	228	484	22	38	60	8.6	16.7	12.4	4	13	43
40歳	379	389	768	23	53	76	6.1	13.6	9.9	8	18	50
50歳	362	375	737	30	56	86	8.3	14.9	11.7	13	18	55
60歳	255	242	497	20	33	53	7.8	13.6	10.7	7	13	33
70歳	383	439	822	49	70	119	12.8	15.9	14.5	16	27	76
計	1,954	1,951	3,905	169	273	442	8.6	14.0	11.3	56	104	282
平成27年度	2,063	1,960	4,023	148	304	452	7.2	15.5	11.2	52	107	293
増減	△109	△9	△118	21	△31	△10	1.4	△1.5	0.1	4	△3	△11

## 6 骨粗しょう症検診事務

20歳以上の市民を対象に骨粗しょう症予防のため、骨密度測定検査及び運動・食生活の指導を行った。

(単位：人)

		受診者数	検査結果		
			異常なし	要指導	要医療
20～29歳		0	0	0	0
30～39歳		6	4	1	1
40～49歳		35	21	13	1
50～59歳		34	18	13	3
60～69歳		86	14	42	30
70歳以上		102	21	44	37
合計		263	78	113	72
内訳	男性	51	16	22	13
	女性	212	62	91	59
平成27年度		440	126	222	92
増減		△177	△48	△109	△20

### <母子保健事業>

妊婦及び乳幼児の健康保持増進のため、医療機関に委託し妊婦健康診査・乳児一般健康診査・乳児後期健康診査を実施した。

保健センターにおいては、4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児を対象に、健康診査、保健指導、栄養指導、心理相談を実施した。また、これらの健診の結果、経過観察を必要とする乳幼児を対象に経過観察健診を実施した。また、1歳6か月児健診時にカリオスタット（むし歯のなりやすさ検査）を実施するとともに、2歳児を対象に歯科疾患予防教室を実施した。

## 1 母子健診委託事務

### (1) 妊婦健康診査

(単位：人)

区 分	受 診 者 数	異 常 な し	異常及び異常の疑い	HBs抗原検査陽性者
平成28年度	601 (延べ 4,670)	4,014	656	2
平成27年度	620 (延べ 4,971)	4,160	811	1
増 減	△19 (延べ △301)	△146	△155	1

### (2) 乳児一般健康診査

(単位：人)

区 分	受 診 者 数	異 常 な し	異常及び異常の疑い
平成28年度	302	280	22
平成27年度	339	316	23
増 減	△37	△36	△1

### (3) 乳児後期健康診査

(単位：人)

区 分	受 診 者 数	異 常 な し	異常及び異常の疑い
平成28年度	361	318	43
平成27年度	326	303	23
増 減	35	15	20

## 2 乳幼児健診事務

### (1) 4か月児健康診査

#### ① 受診者状況

(単位：人)

区 分	対象者数	実施回数	受診者数	受 診 結 果			受 診 率 (%)
				異常なし	経過観察	要治療	
平成28年度	405	12	398	322	63	13	98.3
平成27年度	414	12	394	292	65	37	95.2
増 減	△9	0	4	30	△2	△24	3.1

② 従事者延人数

(単位：人)

医 師	保 健 師	看 護 師	栄 養 士	そ の 他
24	85	24	12	30

(2) 1歳6か月児健康診査

① 一般健康診査状況

(単位：人)

区 分	対象者数	実施回数	受診者数	受 診 結 果			受 診 率 (%)
				異常なし	経過観察	要治療	
平成28年度	424	12	409	292	99	18	96.5
平成27年度	412	12	393	298	79	16	95.4
増 減	12	0	16	△6	20	2	1.1

② 歯科健康診査状況

(単位：人)

区 分	受診者数	虫歯総本数	う 蝕 罹 患 型					軟 組 織 異常あり	咬 合 異常あり
			異常なし	A	B	C	不詳		
平成28年度	409	0	409	0	0	0	0	88	49
平成27年度	393	15	386	6	1	0	0	84	50
増 減	16	△15	23	△6	△1	0	0	4	△1

③ 従事者延人数

(単位：人)

医 師	歯 科 医 師	保 健 師	看 護 師	心 理 相 談 員	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	そ の 他
24	24	88	33	21	36	12	24

(3) 3歳6か月児健康診査

① 一般健康診査状況

(単位：人)

区 分	対象者数	実施回数	受診者数	受 診 結 果			受 診 率 (%)
				異常なし	経過観察	要治療	
平成28年度	460	8	424	330	71	23	92.2
平成27年度	439	8	401	323	62	16	91.3
増 減	21	0	23	7	9	7	0.9



② 歯科健康診査状況

(単位：人)

区 分	受診者数	虫歯総本数	う 蝕 罹 患 型					軟 組 織 異常あり	咬 合 異常あり
			異常なし	A	B	C	不詳		
平成28年度	424	267	339	57	20	8	0	26	75
平成27年度	402	277	311	65	24	2	0	27	62
増 減	22	△10	28	△8	△4	6	0	△1	13

③ 従事者延人数

(単位：人)

医 師	歯科医師	保 健 師	看 護 師	心理相談員	歯科衛生士	栄 養 士	そ の 他
16	24	64	36	15	36	12	24

(4) 経過観察健診

① 受 診 状 況

(単位：人)

区 分	実施回数	受診者数	受 診 結 果		
			異常なし	経過観察	要 治 療
平成28年度	12	88	39	38	11
平成27年度	12	88	42	28	18
増 減	0	0	△3	10	△7

② 従事者延人数

(単位：人)

医 師	保 健 師	看 護 師
12	33	12

(5) 歯科疾患予防教室

① 参 加 状 況

区 分	回 数	来 所 人 数
平成28年度	6回	174人
平成27年度	6	161
増 減	0	13

② 従事者延人数

(単位：人)

歯科医師	歯科衛生士	保健師	栄養士
12	24	24	6

3 育児教室・相談事務

母子の健康の保持増進と育児支援のため、相談室を設け、助産師・保健師による妊娠届出の受付時のアンケート調査、聞き取り、母子・父子健康手帳の発行、妊婦やその配偶者を対象にしたママ&パパ教室、2か月前後の乳児と保護者を対象にしたまめびよ教室、7か月～10か月の乳児と保護者を対象にしたびよびよキッズ教室、2歳の幼児と保護者を対象にしたにっこにこ教室を実施した。

生後3か月～6か月の乳児と保護者を対象にタッチケア教室、母乳について相談を希望する人を対象に母乳相談を実施した。また、保健センターやグリーンホール田原において育児相談や保健指導を実施するとともに、地域での子育てサロン等に出向いての相談を実施した。

(1) 母子健康手帳の交付

母子の健康保持増進のため、妊娠届出時に田原支所、保健センターにおいて母子健康手帳を391件交付した。また、希望者に父子健康手帳を交付した。

(2) ママ&パパ教室

2回1コースで隔月に開催し、第2回目を男性も参加しやすい土曜日に実施した。

区 分	コース数	延 回 数	実 人 数		延 人 数	
			女 性	男 性	女 性	男 性
平成28年度	6	12 <sup>回</sup>	60 <sup>人</sup>	39 <sup>人</sup>	60 <sup>人</sup>	39 <sup>人</sup>
平成27年度	6	12	70	37	70	37
増 減	0	0	△10	2	△10	2

(3) まめびよ（乳児前期）教室

区 分	開 催 回 数	参 加 人 数
平 成 28 年 度	6 回	150 人
平 成 27 年 度	6	104
増 減	0	46

(4) びよびよキッズ（乳児後期）教室

区 分	開 催 回 数	参 加 人 数
平 成 28 年 度	4 回	98 人
平 成 27 年 度	4	52
増 減	0	46

(5) タッチケア教室

区 分	開 催 回 数	参 加 人 数
平 成 28 年 度	6 回	91 人
平 成 27 年 度	6	86
増 減	0	5

(6) 母 乳 相 談

区 分	開 催 回 数	参 加 人 数
平 成 28 年 度	6 回	47 人
平 成 27 年 度	6	14
増 減	0	33

(7) にっこにこ教室（2歳児教室）

区 分	開 催 回 数	参加者数	幼 児	保 護 者
平 成 28 年 度	4 回	66 人	33 人	33 人
平 成 27 年 度	4	42	23	19
増 減	0	24	10	14

## (8) 保健センター乳幼児相談

(単位：人)

区 分	相 談 者 数	乳 児	幼 児	妊 産 婦
平成 28 年 度	8 7 9	4 8 7	3 3 2	6 0
平成 27 年 度	8 3 3	4 4 6	3 1 7	7 0
増 減	4 6	4 1	1 5	△ 1 0

## (9) 田原地域乳幼児相談

(単位：人)

区 分	相 談 者 数	乳 児	幼 児
平成 28 年 度	1	1	0
平成 27 年 度	4	2	2
増 減	△ 3	△ 1	△ 2

## (10) 子育てサロン等での相談

(単位：人)

区 分	相 談 者 数	乳 児	幼 児
平成 28 年 度	5 3	1 4	3 9
平成 27 年 度	6 6	2 3	4 3
増 減	△ 1 3	△ 9	△ 4

## 4 食と健康教室事務

地域で食生活改善に自主的に取り組む食生活改善推進員を育成するため、健康講座等の支援を行った。

回 数	受 講 者 数
1 回	2 8 人

## 5 母子栄養教室・相談事務

母子の健康と乳幼児期からの適切な食習慣の形成のため、乳児の保護者を対象にした離乳食講習会、3歳～5歳の幼児を対象にしたキッズ講座、小学生を対象にした親子クッキング教室をそれぞれの保護者も含めて実施するとともに、乳幼児健診や健康相談日に個別の栄養相談を実施した。

### (1) 離乳食講習会

区 分	回 数	受講者数	妊 婦	受 講 者 の 乳 児 の 月 齢				
				4か月未満	4～6か月 未 満	6～8か月 未 満	8～10か月 未 満	10か月以上
平成28年度	12 <sup>回</sup>	122 <sup>人</sup>	2 <sup>人</sup>	16 <sup>人</sup>	81 <sup>人</sup>	14 <sup>人</sup>	6 <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>
平成27年度	12	124	2	16	87	15	4	0
増 減	0	△2	0	0	△6	△1	2	3

### (2) キ ッ ズ 講 座

区 分	回 数	受 講 者 数	幼 児	保 護 者
平成28年度	3 <sup>回</sup>	49 <sup>人</sup>	31 <sup>人</sup>	18 <sup>人</sup>
平成27年度	3	62	37	25
増 減	0	△13	△6	△7

### (3) 親子クッキング

区 分	回 数	受 講 者 数	幼児・小学生	保 護 者
平成28年度	2 <sup>回</sup>	50 <sup>人</sup>	30 <sup>人</sup>	20 <sup>人</sup>
平成27年度	2	51	30	21
増 減	0	△1	0	△1

### (4) 個別栄養相談

(単位：人)

区 分	相 談 者 数	乳 幼 児	妊 産 婦
平成28年度	127	118	9
平成27年度	130	121	9
増 減	△3	△3	0

(5) 保育所での食育事業

区 分	回 数	乳 幼 児
平 成 2 8 年 度	0 回	0 人
平 成 2 7 年 度	6	9 6
増 減	△ 6	△ 9 6

(6) 発 達 相 談

乳幼児健診事後等の発達相談を45件行った。

**6 すこやか子育て支援事務**

子どもの頃からの健康の維持増進及び子育て支援の観点から結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境づくりをめざし、主に妊娠期から子育て支援に関連する事業参加を促すため、妊婦及びその配偶者、0歳から小学校3年生までの親子を対象に育児・健康に関する教室やイベントの参加、健診受診及び親子で健康に関する目標に取り組んでいただき、指定する一定のポイントに達成できれば、子育て・健康に関連する記念品を進呈する「なわて すこやか子育てチャレンジ」を実施した。

(単位：組)

年 度	推 定 参 加 数	ポイント達成・記念品申請数
平 成 2 8 年 度	6 2 0	1 9 2
平 成 2 7 年 度	5 4 0	1 5 1
増 減	8 0	4 1

## <休日診療>

### 1 休日診療事務

#### (1) 休日診療所

日曜日、休日及び年末年始における小児（16歳未満）の急病、急患に対応するため、休日診療所において診療を行い医療の空白時間の解消に努めた。

#### ① 月別・住所別患者数

月 別	日 数 (日)	患 者 数 (人)	四 條 畷 市 (人)	市 外 (人)
平成28年 4月	5	33	20	13
5月	8	71	55	16
6月	4	23	19	4
7月	6	53	46	7
8月	5	27	19	8
9月	6	43	34	9
10月	6	56	46	10
11月	6	59	46	13
12月	7	72	65	7
平成29年 1月	8	113	94	19
2月	5	92	83	9
3月	5	35	31	4
合 計	71	677	558	119
平成27年度	71	720	606	114
増 減	0	△43	△48	5

#### ② 年齢別患者数

(単位：人)

年 齢	患 者 数		
	男 性	女 性	計
0 歳	37	41	78
1 ~ 5 歳	184	142	326
6 ~ 12 歳	117	106	223
13 ~ 15 歳	21	29	50
合 計	359	318	677
平 成 27 年 度	380	340	720
増 減	△21	△22	△43

(2) 歯科休日急患診療

四條畷、大東両市において、歯科の急患に対応するため大東歯科医師会の協力を得て、日曜日、休日、年末年始及び8月13日～16日に、輪番制で診療所を開設した。なお、年末の12月29日、30日、31日の3日間は2診療所を開設し実施した。

月別・住所別患者数

月 別	日 数 (日)	診療所数	患 者 数 (人)	四條畷市 (人)	大 東 市 (人)	そ の 他 (人)
平成28年 4月	5	5	7	2	5	0
5月	8	8	25	3	22	0
6月	4	4	6	2	4	0
7月	6	6	13	3	10	0
8月	8	8	43	10	33	0
9月	6	6	11	2	9	0
10月	6	6	9	4	5	0
11月	6	6	12	3	9	0
12月	8	11	44	10	34	0
平成29年 1月	8	8	62	14	48	0
2月	5	5	9	3	6	0
3月	5	5	14	5	9	0
合 計	75	78	255	61	194	0
構 成 比 率				23.9%	76.1%	0.0%
平成27年度	75	78	301	63	223	15
増 減	0	0	△46	△2	△29	△15



## 2 北河内協議会事務

### (1) 北河内夜間救急センター

夜間における急病、急患に対応するため北河内7市が共同で本センターを運営し、診療にあたった。

#### 月別・住所別患者数

(単位：人)

月 別	四條畷市	守口市	枚方市	寝屋川市	大東市	門真市	交野市	その他	合 計
平成28年 4月	10	14	326	145	14	13	65	16	603
5月	18	10	380	145	16	19	69	37	694
6月	18	10	356	128	9	6	60	14	601
7月	19	10	489	139	20	11	69	27	784
8月	12	14	315	99	10	13	41	44	548
9月	14	6	335	97	11	16	57	8	544
10月	21	9	393	141	15	14	53	14	660
11月	12	8	416	141	14	14	78	22	705
12月	26	14	467	206	30	20	84	47	894
平成29年 1月	23	19	442	127	14	13	55	39	732
2月	22	5	386	115	18	12	58	17	633
3月	16	5	293	92	22	9	47	11	495
合 計	211	124	4,598	1,575	193	160	736	296	7,893
構 成 比 率	2.7	1.6	58.2	20.0	2.4	2.0	9.3	3.8	100.0
平成27年度	228	126	4,257	1,534	173	175	799	308	7,600
増 減	△17	△2	341	41	20	△15	△63	△12	293

### (2) 北河内二次救急医療協議会

北河内地域の二次救急医療体制を確保するため、北河内7市において病院群輪番制病院運営事業、小児救急医療支援事業を実施した。

## <新型インフルエンザ>

### 1 新型インフルエンザ予防事務

今後、新たなインフルエンザの発生に備え、情報収集を行い、ホームページ、チラシの配布などにより市民への啓発に努めるとともに、アルコール等感染予防のための資材の備蓄を行った。

## <食育>

### 1 食育推進事務

#### (1) クッキング講座

子ども一人ひとりが実際に体験することにより、五感を育て、食品への感謝の気持ちや興味を持てるようになることを目的に食育クッキングを実施した。また、栄養バランスや年齢に応じた食事量を理解し日常に応用いただくことを目的に、お弁当クッキングを実施した。

講座名	対象者	回数	受講者数
食育クッキング	就学前幼児（年中・年長）、小学生とその保護者	2回	47人
お弁当クッキング	就学前幼児から小学生の保護者	2回	22人

#### (2) 市民の集い

子どもの頃からの食育のため、啓発コーナーを設け、お弁当箱法・食育クイズ・ジグソーパズルなどのイベントを実施した。他に、高血圧予防等の説明及びリーフレットなどを配布し、約200人に食育の啓発を行った。

#### (3) 食育啓発のためのリーフレット配布

食育啓発リーフレット「ぱくぱく通信 No.12」を公立保育所、幼稚園、小・中学校等に配布した。また、成人・高齢者向けの通信を作成し、各事業及び関係機関を通じて配布し、啓発に努めた。

また、地方創生加速化交付金を活用し、地場産野菜を使用したレシピ集を作成し、各世代の教室や検診時に配布した。

(4) 食育媒体の貸し出し

食育媒体貸出件数18件（うち「なわてレンジャー着ぐるみ」貸し出し7件）

(5) 朝食メニューコンテスト

学童期から望ましい食習慣を身に付けることは健康づくりの基本であることから、自らメニューを考えることにより食への関心を高めるとともに、保護者にも朝食の大切さを伝えるために市内の小学5・6年生を対象に実施し、372人の応募があった。

# 田 原 支 所



# 田 原 支 所

## 1 総合窓口事務

### (1) 住民基本台帳事務

#### ① 人口及び世帯数の推移

平成29年3月31日現在

区 分	大字上田原		大字下田原		田 原 台		さつきヶ丘		緑 風 台		計	
	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口
平成24年度	253	553	193	578	2,392	6,860	274	909	137	393	3,249	9,293
平成25年度	255	553	188	565	2,399	6,842	275	895	136	385	3,253	9,240
平成26年度	264	555	191	557	2,424	6,839	278	906	136	381	3,293	9,238
平成27年度	275	564	190	543	2,464	6,841	278	901	133	364	3,340	9,213
平成28年度	274	556	193	538	2,467	6,759	277	894	131	349	3,342	9,096

#### ② 町別世帯数及び人口

平成29年3月31日現在

町 字 名	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
大 字 上 田 原	2 7 4	5 5 6
大 字 下 田 原	1 9 3	5 3 8
計	4 6 7	1 , 0 9 4
田 原 台 一 丁 目	2 5 7	6 7 1
田 原 台 二 丁 目	2 5 9	7 3 4
田 原 台 三 丁 目	3 5 8	9 9 6
田 原 台 四 丁 目	2 5 8	6 9 1
田 原 台 五 丁 目	2 8 0	7 2 0
田 原 台 六 丁 目	7	7
田 原 台 七 丁 目	2 6 1	6 8 0
田 原 台 八 丁 目	4 4 2	1 , 2 5 6
田 原 台 九 丁 目	3 4 5	1 , 0 0 4
計	2 , 4 6 7	6 , 7 5 9
さ つ き ヶ 丘	2 7 7	8 9 4
緑 風 台	1 3 1	3 4 9
合 計	3 , 3 4 2	9 , 0 9 6

③ 年齢別人口（外国人登録世帯数及び人口を含む）

（大字上田原、大字下田原、田原台、さつきヶ丘、緑風台）

平成29年3月31日現在（単位：人）

年 齢	男	女	計	年 齢	男	女	計	年 齢	男	女	計	年 齢	男	女	計
0歳	19	26	45	25歳	36	45	81	50歳	64	63	127	75歳	50	50	100
1歳	35	31	66	26歳	28	48	76	51歳	77	73	150	76歳	39	42	81
2歳	23	32	55	27歳	24	32	56	52歳	67	74	141	77歳	36	40	76
3歳	30	29	59	28歳	36	32	68	53歳	62	75	137	78歳	28	29	57
4歳	51	40	91	29歳	20	30	50	54歳	58	63	121	79歳	22	26	48
0～4歳	158	158	316	25～29歳	144	187	331	50～54歳	328	348	676	75～79歳	175	187	362
5歳	42	35	77	30歳	31	25	56	55歳	54	71	125	80歳	25	27	52
6歳	47	48	95	31歳	36	32	68	56歳	54	46	100	81歳	20	19	39
7歳	51	44	95	32歳	23	30	53	57歳	58	63	121	82歳	14	31	45
8歳	53	52	105	33歳	37	30	67	58歳	57	61	118	83歳	22	22	44
9歳	50	54	104	34歳	34	35	69	59歳	47	40	87	84歳	13	24	37
5～9歳	243	233	476	30～34歳	161	152	313	55～59歳	270	281	551	80～84歳	94	123	217
10歳	59	57	116	35歳	32	43	75	60歳	47	51	98	85歳	7	18	25
11歳	79	77	156	36歳	36	46	82	61歳	53	45	98	86歳	11	25	36
12歳	72	61	133	37歳	41	44	85	62歳	51	58	109	87歳	11	15	26
13歳	63	67	130	38歳	52	63	115	63歳	50	42	92	88歳	6	11	17
14歳	87	60	147	39歳	54	65	119	64歳	46	43	89	89歳	9	12	21
10～14歳	360	322	682	35～39歳	215	261	476	60～64歳	247	239	486	85～89歳	44	81	125
15歳	74	67	141	40歳	46	66	112	65歳	60	64	124	90歳	4	14	18
16歳	74	64	138	41歳	84	93	177	66歳	68	71	139	91歳	3	10	13
17歳	84	67	151	42歳	87	92	179	67歳	70	60	130	92歳	2	4	6
18歳	75	53	128	43歳	82	82	164	68歳	69	86	155	93歳	2	9	11
19歳	69	55	124	44歳	90	109	199	69歳	72	78	150	94歳	3	6	9
15～19歳	376	306	682	40～44歳	389	442	831	65～69歳	339	359	698	90～94歳	14	43	57
20歳	61	56	117	45歳	81	86	167	70歳	42	51	93	95歳	1	8	9
21歳	62	69	131	46歳	85	68	153	71歳	38	45	83	96歳	0	3	3
22歳	46	57	103	47歳	101	93	194	72歳	45	46	91	97歳	1	3	4
23歳	42	36	78	48歳	86	86	172	73歳	48	48	96	98歳	1	3	4
24歳	38	41	79	49歳	68	76	144	74歳	53	41	94	99歳	0	0	0
20～24歳	249	259	508	45～49歳	421	409	830	70～74歳	226	231	457	95～99歳	3	17	20
												100歳以上	0	2	2

3,342世帯 男：4,456人 女：4,640人 計：9,096人

④ 住民異動届取扱件数

（単位：件）

区 分	転 入	転 出	転 居	出 生	死 亡	そ の 他	合 計
平成28年度	73	144	23	16	20	32	308
平成27年度	82	126	20	34	23	36	321
増 減	△9	18	3	△18	△3	△4	△13

(2) 戸籍事務

① 戸籍届出件数

(単位：件)

区 分	出 生	婚 姻	離 婚	死 亡	転 籍	そ の 他	合 計
平成 28 年 度	18	7	7	22	14	4	72
平成 27 年 度	35	5	3	25	8	11	87
増 減	△ 17	2	4	△ 3	6	△ 7	△ 15

② 戸籍処理件数

(単位：件)

区 分	新 戸 籍 編 製	戸 籍 全 部 削 除
平成 28 年 度	17	6
平成 27 年 度	11	3
増 減	6	3

(3) 印鑑事務

印鑑登録事務（所管区域分）

(単位：件)

区 分	登 録	廃 止	計
平成 28 年 度	256	281	537
平成 27 年 度	269	163	432
増 減	△ 13	118	105



## (4) 証 明 事 務

## 証明書等発行状況

(単位：枚)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
戸籍関係	全部事項証明（戸籍謄本）	330	320	10
	個人事項証明（戸籍抄本）	128	153	△25
	除 籍 謄 本	25	26	△1
	除 籍 抄 本	0	1	△1
	原 戸 籍 謄 本	31	61	△30
	原 戸 籍 抄 本	0	1	△1
	公用（無料）戸籍謄・抄本等	2	2	0
	受 理 証 明	8	2	6
	記 載 事 項 証 明 書	1	3	△2
	そ の 他 の 証 明	31	20	11
住民票関係	住 民 票	2,572	2,692	△120
	公用（無手数料扱い含む）住民票	0	0	0
	公的年金現況届（無料）	0	0	0
	住 民 票 の 閲 覧	0	0	0
	記 載 事 項 証 明 書	126	100	26
	不 在 住 証 明	0	0	0
	戸 籍 の 附 票	24	22	2
	公用（無料）戸籍附票	1	2	△1
	住 民 票 の 広 域 交 付	0	1	△1
印鑑登録関係	印 鑑 登 録 証 明 書	2,844	3,056	△212
	印 鑑 登 録 証 の 発 行	181	199	△18
税務関係	住 民 税 決 定 証 明 書	1,096	994	102
	固 定 資 産 税 証 明 書	36	70	△34
	納 税 証 明 書	25	32	△7
	車 検 用 納 税 証 明 書	76	62	14
そ の 他	通 知 カ ー ド の 再 発 行 受 付	14	—	14
合 計	7,551	7,819	△268	

(5) 市民課の関係

- ・住居表示変更証明書の交付
- ・新築届の申請受付
- ・本人通知制度事前登録者の申請受付
- ・特別永住許可の申請受付及び特別永住者証明書の交付等

(6) 税務課の関係

- ・無収入の方の市民税申告受付
- ・納付書の発行
- ・市税の収納

(7) 生活環境課の関係

- ・し尿の収集申込の受付
- ・臨時ゴミ、転出入に伴うゴミの収集申込の受付
- ・手数料の収納
- ・コンポスト助成の受付
- ・地域清掃の受付、清掃用具の貸出

(8) 危機管理課の関係

- ・防犯灯の申請の受付

(9) 保険年金課の関係

- ・住民異動届出・離職等に伴う国民健康保険の被保険者資格の得喪等の受付
- ・国民健康保険資格証明書の発行、保険証等再交付申請の受付
- ・人間ドック（国保・後期高齢）・脳ドック（国保）受診にかかる費用の助成申請の受付
- ・療養費・葬祭費支給申請の受付（国保・後期高齢）
- ・限度額適用認定申請の受付（国保・後期高齢）
- ・保険料の納付書発行と収納（国保・後期高齢）
- ・住民異動届出等に伴う後期高齢者医療資格取得（変更・喪失）届書の受付
- ・その他の後期高齢者医療に関する申請の受付
- ・転入・離職等に伴う国民年金被保険者関係届書の受付
- ・国民年金保険料免除申請・若年者納付猶予申請及び学生納付特例申請の受付

(10) 福祉事務所の関係

- ・老人医療証交付申請及び助成申請の受付
- ・障がい者医療費助成申請の受付
- ・保育所入所申込書等の受付
- ・保育料、公立幼稚園保育料及び通園送迎利用料の収納
- ・子ども医療証交付申請及び助成申請の受付
- ・児童手当申請等の受付
- ・児童手当現況届の受付
- ・ひとり親家庭医療費助成申請の受付
- ・介護保険申請の受付

(11) 教育委員会の関係

- ・就学援助費支給申請の受付
- ・住民異動届に伴う市立小中学校への転入出通知書の交付
- ・子ども会の行事予定表等預り、成人式記念品の交付
- ・各種行事の受付
- ・各種催しのチケット販売
- ・小中学校体育館使用料の収納
- ・田原テニスコートの使用許可申請受付、許可書の交付及び使用料の収納
- ・ふれあい教室利用申込書の受付
- ・ふれあい教室利用料の収納

(12) 地域協働課の関係

- ・紀北町宿泊施設利用補助申請の受付

(13) 保健センターの関係

- ・母子手帳の交付
- ・大腸ガン検診及び肺がん検診に伴う検体の預かり
- ・健康手帳の交付
- ・母子保健連絡票の受付
- ・妊婦健康診査受診費補助金交付申請の受付

(14) 産業観光課の関係

- ・いこいこマップの販売
- ・切手シートの販売
- ・郷土史カルタの販売

(15) 建設課の関係

- ・コミュニティバス割引証の発行
- ・京阪バスカードの販売
- ・コミュニティバス専用学期定期券の販売

(16) そ の 他

- ・コピー、印刷の受付

## 2 地域交流事務

地域交流の促進及び生活文化の振興を目的とした本施設の利用については、平成28年度の利用回数が3,145回で、前年度に比べ32回の増となった。

利用サークルについては、引き続き育成に努め、平成28年度末現在で61サークルが定期に本施設を利用し活動した。夏休み期間中には「夏休み子ども教室」（参加人数262人）をサークル団体の協力のもとに開催した。

また、平成29年3月11・12日に開催された、まつりin田原実行委員会主催の「第23回まつりin田原」や平成28年11月12～19日に行われた田原地区教育推進協議会主催の「田原ギャラリー」に対して支援等を行った。

この他、平成28年9月11日に行われたチャリティーイベント「第6回 田原音楽祭」に対し支援を行い、その中で集められた募金は「平成28年熊本地震災害義援金」として日本赤十字社を通じ被災地へ送られた。

### 3 グリーンホール田原管理運営事務

#### (1) 室別使用実績

年月		室 なるなる ホール	会議室 1	会議室 2	会議室 3	視聴覚室	和 室	実習室	料理室	計	開館 日数	使用 日数
平成 28年度	回	612	342	473	301	564	510	219	124	3,145	日 346	日 344
	人	15,207	2,924	4,324	4,860	7,168	4,030	2,614	1,849	42,976		
平成 27年度	回	569	387	494	287	540	501	202	133	3,113	日 346	日 344
	人	17,355	3,032	4,346	4,546	7,288	3,965	2,427	1,897	44,856		
増 減	回	43	△45	△21	14	24	9	17	△9	32	日 0	日 0
	人	△2,148	△108	△22	314	△120	65	187	△48	△1,880		

### 4 田原活性化事務

田原地域活性化を目的に平成29年2月1日に職員体制の見直しを行った。

また、田原活性化検討委員会を2回開催し、検討結果に基づき、「窓口サービスに関するアンケート調査」を実施した。

(実施期間 平成29年3月15日～平成29年4月14日)

# 會 計 課



# 会 計 課

## 1 金銭出納事務

地方自治法等の規定に基づき、本市の出納事務を行い、併せて平成29年度から会計管理者に移行される下水道事業の出納事務について事前準備を行った。

また、資金に余裕がある時は、金融機関等に対し、定期預金等を行うとともに、資金が不足する場合には、基金等から繰替運用を行った。

なお、平成28年度も引き続き水道事業の資金と併せて利率の見積もりを行うことで、預金金利のアップに努めた。

### (1) 定期預金等

預入会計	預入先等	預入金額 (円)	預入期間	預金利息 (%)	預金利子 (円)
退職手当基金	地方銀行	700,000,000	平成28年4月27日～平成29年3月24日	0.010	63,479
公共施設整備基金等	信用金庫	900,000,000	平成28年4月27日～平成29年3月24日	0.090	734,544
財政調整基金等	都市銀行	820,700,000	平成28年5月2日～平成28年6月15日	0.010	9,892
歳計現金	都市銀行	500,000,000	平成28年6月22日～平成28年8月12日	0.010	6,986
歳計現金	都市銀行	500,000,000	平成28年6月22日～平成28年12月9日	0.010	23,287
財政調整基金	都市銀行	800,000,000	平成28年6月22日～平成29年1月6日	0.010	43,397
財政調整基金	都市銀行	800,000,000	平成28年6月22日～平成29年2月3日	0.010	49,534
公共施設整備基金等	都市銀行	693,600,000	平成28年6月22日～平成29年3月14日	0.010	50,356



## (2) 一時借入金

借入先	借入会計	借入金額 (円)	借入期間	借入利率 (%)	借入利子 (円)
財政調整基金	一般会計	600,000,000	平成28年4月1日～平成28年4月5日	0.29	23,835
	国保特会	200,000,000	平成28年4月1日～平成28年4月5日	0.29	7,945
財政調整基金	一般会計	600,000,000	平成28年4月14日～平成28年6月1日	0.30	241,643
	国保特会	200,000,000	平成28年4月14日～平成28年6月1日	0.30	80,548
財政調整基金	一般会計	300,000,000	平成28年5月12日～平成28年6月1日	0.27	46,603
	国保特会	200,000,000	平成28年5月12日～平成28年6月1日	0.27	31,068
歳計外現金	一般会計	19,000,000	平成28年11月30日～平成28年11月30日	—	—
財政調整基金	一般会計	100,000,000	平成29年2月9日～平成29年3月31日	0.28	39,123
	国保特会	200,000,000	平成29年2月9日～平成29年3月31日	0.28	78,246
財政調整基金	一般会計	500,000,000	平成29年2月14日～平成29年3月31日	0.28	176,438
	国保特会	300,000,000	平成29年2月14日～平成29年3月31日	0.28	105,863
財政調整基金	一般会計	300,000,000	平成29年3月14日～平成29年3月28日	0.27	33,287
財政調整基金	一般会計	200,000,000	平成29年3月17日～平成29年3月28日	0.27	17,753
公共施設整備基金	一般会計	150,000,000	平成29年3月17日～平成29年3月28日	0.27	13,315
財政調整基金	一般会計	800,000,000	平成29年3月31日～平成29年4月6日	0.26	34,191
合計	一般会計	3,569,000,000			626,188
	国保特会	1,100,000,000			303,670

# 農業委員会事務局



# 農業委員会事務局

## 1 農地法関係事務

農地法及び関係法令に基づく申請等の受付事務を行い、農業委員会定例総会に提案する議案の調整を行った。

### (1) 農地の利用関係の調整等の事務

		農地法第3条	農地法第18条	農地法第4条		農地法第5条	
		委員会許可	委員会通知	知事許可	委員会届出	知事許可	委員会届出
件数	(件)	8	1	1	15	1	18
面積	(㎡)	9,022	1,786	915	5,307	211	10,513
合計	件数	8	1	16		19	
	面積	9,022	1,786	6,222		10,724	

		農地法第25条	農地改良届	農業用施設設置届	相続税納税猶予 適格者証明願
件数	(件)	0	0	0	1
面積	(㎡)	0	0	0	798

		相続税納税猶予 農業経営継続証明願	相続税納税猶予特例適用 農地利用状況確認書提出	生産緑地の主たる 従事者証明願	買受適格証明願
件数	(件)	12	1	5	0
面積	(㎡)	17,715.5	2,908	3,558	0

### (2) 農業者年金事務

農業者の若返りや高齢農業者の経営移譲後の生活安定を図るなどの目的で創設された農業者年金制度について、農業協同組合との連携のもとに制度の周知を図り、年金の適正受給のための管理事務を行った。

① 農業者年金受給状況

(平成29年3月31日現在)

経営移讓年金 裁定決定受給者数	農業者老齡年金裁定決定受給者数			年金受給者総数
	経営移讓年金併給	老齡年金のみ受給	計	
3人	3人	6人	9人	12人

② 農業者年金関係諸届処理状況

(平成29年3月31日現在)

諸 届	件 数
経営移讓年金受給権者現況届	6
農業者老齡年金受給権者現況届	6

2 農業委員会運営事務

農地の適正管理を推進し、無断転用の防止や耕作者の権利の確保に努めるため、農業委員会定例総会を開催し、農地法の規定による諸申請等の審査や審議を行った。

(1) 農業委員会総会開催状況

開催年月日	案 件
平成28年4月11日	1 農地法第3条の規定による許可申請の件 2 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の承認決定の件 3 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件
平成28年5月12日	1 農地法第3条の規定による許可申請の件 2 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出処理報告の件 3 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出処理報告の件 4 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件 5 生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明書交付報告の件 6 農地の転用事実に関する照会書に対する回答処理報告の件

開催年月日	案 件
平成28年6月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>2 農地法第5条の規定による農地転用許可申請の件</li> <li>3 生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明書交付報告の件</li> <li>4 特定農地貸付け承認申請の件</li> <li>5 農地の転用事実に関する照会書に対する回答処理報告の件</li> <li>6 四條畷市認定農業者認定審査会審査委員の選出決定の件</li> </ol>
平成28年7月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地法第3条の規定による許可申請の件</li> <li>2 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>3 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>4 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件</li> <li>5 生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明書交付報告の件</li> <li>6 特定農地貸付け承認申請の件</li> </ol>
平成28年8月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地法第3条の規定による許可申請の件</li> <li>2 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>3 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件</li> </ol>
平成28年9月9日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地法第3条の3第1項の規定による農地取得届出処理報告の件</li> <li>2 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件</li> </ol>
平成28年10月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地法第18条第6項の規定による合意解約通知の件</li> <li>2 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>3 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>4 相続税の納税猶予に係る特例農地等の利用状況確認書提出報告の件</li> <li>5 相続税納税猶予に関する適格者証明願の件</li> </ol>
平成28年11月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の承認決定の件</li> <li>2 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>3 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件</li> </ol>
平成28年12月2日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地法第3条の3第1項の規定による農地取得届出処理報告の件</li> <li>2 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出処理報告の件（一時転用）</li> </ol>

開催年月日	案 件
平成29年1月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 四條畷市農業委員会会長選出の件</li> <li>2 農地法第3条の規定による許可申請の件</li> <li>3 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出処理報告の件（一時転用）</li> <li>4 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>5 生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明書交付報告の件</li> <li>6 農地の転用事実に関する照会書に対する回答処理報告の件</li> </ol>
平成29年2月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地法第3条の規定による許可申請の件</li> <li>2 農地法第4条の規定による農地転用許可申請の件</li> <li>3 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出処理報告の件</li> <li>4 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件</li> <li>5 特定農地貸付け承認申請の件</li> <li>6 農地の転用事実に関する照会書に対する回答処理報告の件</li> </ol>
平成29年3月6日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書交付報告の件</li> </ol>

# 行政委員会事務局

監査委員事務局  
選挙管理委員会事務局  
公平委員会  
固定資産評価審査委員会





# 監査委員事務局

## 1 監査委員運営事務

監査技術の研鑽及び向上を図り、監査委員制度の円滑な実施により、適正かつ効率的な行政運営の実現に寄与することを目的に大阪府・近畿地区・河内北の各都市監査委員会の構成都市として、定期総会及び事務研修会等に参加した。

開催年月日	会議内容	開催場所	出席委員数 (人)
平成28年4月22日	大阪府都市監査委員会、定期総会 及び研修会	羽曳野市	2
平成28年4月26日	河内北都市監査委員会定期総会 及び事務研究会	交野市	2
平成28年5月27日	近畿地区都市監査委員会総会 及び研修会	神戸市	2
平成28年11月17日	北陸・東海・近畿三地区 共催都市監査事務研修会	和歌山市	2

## 2 定期監査・決算審査等補助事務

### (1) 監査等実施状況

財務等に関する事務の執行や経営に係る事業の管理に関し、予算の執行、収入・支出、契約、現金保管、財務管理及び工事の執行が適正かつ効率的に行われているかを監査するため、定期監査及び決算審査等を実施し、その結果を報告した。

実施年月日	監査等の内容	報告年月日
平成28年6月14日 ～7月4日	決算審査（水道事業会計・下水道事業会計）	平成28年8月24日
平成28年6月30日 ～8月5日	決算審査（一般会計・各特別会計・財産に関する調書・ 基金の運用状況・健全化判断比率・資金不足比率）	平成28年8月24日
平成28年9月1日 ～29年1月31日	定期監査（政策企画部・総務部）	平成29年2月10日

## (2) 例月現金出納検査実施状況

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づき、一般会計・各特別会計における歳計現金、歳入歳出外現金、一時借入金及び基金並びに水道事業会計及び下水道事業会計に係る計数及び現金等の保管等の状況の確認を行うとともに、事務の執行が合理的かつ効率的及び適正に行われているか検査した。

検査対象月	実施年月日	報告年月日
平成28年3月分	平成28年4月28日	平成28年4月28日
平成28年4月分	平成28年5月30日	平成28年5月31日
平成28年5月分	平成28年6月28日	平成28年6月30日
平成28年6月分	平成28年7月26日	平成28年7月27日
平成28年7月分	平成28年8月29日	平成28年8月29日
平成28年8月分	平成28年9月29日	平成28年9月29日
平成28年9月分	平成28年10月28日	平成28年10月31日
平成28年10月分	平成28年11月28日	平成28年11月28日
平成28年11月分	平成28年12月27日	平成28年12月28日
平成28年12月分	平成29年1月27日	平成29年1月27日
平成29年1月分	平成29年2月28日	平成29年2月28日
平成29年2月分	平成29年3月28日	平成29年3月28日

## 3 住民監査請求監査補助事務

件名	請求受付日	結果	結果の決定日
四條畷市まちづくり長期計画に関する請求	平成28年5月6日	棄却	平成28年6月28日
里道、水路及び堤塘敷上に不法に設置された倉庫に関する請求	平成29年3月16日	審議中	審議中

## 選挙管理委員会事務局

### 1 選挙管理委員会運営事務

#### (1) 委員会開催状況

開催年月日	議案等番号	案 件
平成28年4月4日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	有効署名の総数について
	議案第3号	選挙人名簿の抄本の調製について
平成28年5月18日 (定例会)	報告第1号	四條畷市条例制定請求者署名簿の受理について
	議案第1号	四條畷市条例制定請求者署名簿の縦覧の期間及び場所について
	議案第2号	署名者の総数及び有効署名等の総数について
	議案第3号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第4号	選挙人名簿登録者を記載した書面の縦覧の場所について
	議案第5号	在外選挙人名簿登録者を記載した書面の縦覧の場所について
平成28年5月26日 (臨時会)	報告第1号	四條畷市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
	議案第1号	四條畷市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する規程の一部を改正する規程の制定について
	議案第2号	選挙関係事務執行規程の一部を改正する規程の制定について
	議案第3号	有効署名の総数について
平成28年6月2日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	選挙人名簿の登録について

開催年月日	議案等番号	案 件
平成28年6月2日 (定例会)	議案第3号	選挙人名簿の登録者総数の50分の1、3分の1及び6分の1の数について
	議案第4号	在外選挙人名簿の登録について
	議案第5号	第24回参議院議員通常選挙について
	議案第6号	平成29年1月19日任期満了に伴う四條畷市長選挙について
平成28年6月21日 (臨時会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	選挙人名簿の登録について
	議案第3号	選挙人名簿の登録者総数の50分の1、3分の1及び6分の1の数について
	議案第4号	選挙人名簿からの抹消について
	議案第5号	平成28年7月10日執行の参議院議員通常選挙について
平成28年6月22日 (臨時会)	議案第1号	平成28年7月10日執行の第24回参議院議員通常選挙における投票所内、期日前投票所内及び不在者投票所記載場所内の候補者氏名等の掲示の掲載順序を定めるくじの執行について
平成28年7月10日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
平成28年9月2日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	選挙人名簿の登録について
	議案第3号	選挙人名簿の登録者総数の50分の1、3分の1及び6分の1の数について
	議案第4号	在外選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第5号	在外選挙人名簿の登録について
	議案第6号	平成28年度裁判員候補者の予定者について
	議案第7号	平成28年度検察審査員候補者の予定者について

開催年月日	議案等番号	案 件
平成28年10月3日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	平成29年1月15日執行の四條畷市長選挙について
平成28年11月8日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	選挙人名簿登録者を記載した書面の縦覧の場所について
	議案第3号	在外選挙人名簿登録者を記載した書面の縦覧の場所について
平成28年12月2日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	選挙人名簿の登録について
	議案第3号	選挙人名簿の登録者総数の50分の1、3分の1及び6分の1の数について
	議案第4号	在外選挙人名簿の登録の抹消について
平成29年1月7日 (臨時会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	選挙人名簿の登録について
	議案第3号	選挙人名簿の登録者総数の50分の1、3分の1及び6分の1の数について
	議案第4号	在外選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第5号	平成29年1月15日執行の四條畷市長選挙について
	議案第6号	選挙人名簿からの抹消について
平成29年1月8日 (臨時会)	議案第1号	平成29年1月15日執行の四條畷市長選挙における選挙公報の掲載文の掲載順序を定めるくじの執行について
	議案第2号	平成29年1月15日執行の四條畷市長選挙における投票所内、期日前投票所内及び不在者投票所記載場所内の候補者氏名等の掲示の掲載順序を定めるくじの執行について
平成29年1月15日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について

開催年月日	議案等番号	案 件
平成29年2月3日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	在外選挙人名簿の登録について
	議案第3号	選挙人名簿登録者を記載した書面の縦覧の場所について
	議案第4号	在外選挙人名簿登録者を記載した書面の縦覧の場所について
平成29年3月2日 (定例会)	議案第1号	選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第2号	選挙人名簿の登録について
	議案第3号	選挙人名簿の登録者総数の50分の1、3分の1及び6分の1の数について
	議案第4号	在外選挙人名簿の登録の抹消について
	議案第5号	平成29年1月15日執行の四條畷市長選挙における選挙運動に関する収入及び支出の報告書の要旨について

(2) 総会等参加状況

(単位：人)

開催年月日	会 議 内 容	開催場所	参加委員数
平成28年4月14日	大阪府東部ブロック選挙管理委員会協議会総会	交野市	1
平成28年4月22日	大阪府都市選挙管理委員会連合会定期総会	東大阪市	1
平成28年5月13日	近畿都市選挙管理委員会連合会総会	桜井市	1
平成28年6月3日	市区町村選挙管理委員会委員長・書記長会議	大阪市	1
平成28年11月8日	大阪府東部ブロック選挙管理委員会協議会委員・局長合同研修会	枚方市	4
平成29年1月19日	大阪府都市選挙管理委員会連合会委員研修会	大阪市	3
平成29年3月9日	白ばらセミナー	枚方市	4

## 2 選挙啓発事務

常時啓発事業として、明るい選挙推進協議会の協力を得て「啓発ポスターコンクール」を実施した。

また、有権者の政治意識の高揚や選挙参加への意識の高揚を図るため、「市民の集い」や「成人式」の会場において啓発物品等を配布し、啓発を行った。

明るい選挙推進協議会の独自の活動としては、委員による「市議会の傍聴」を実施した。

平成28年7月10日執行の参議院議員通常選挙及び平成29年1月15日執行の四條畷市長選挙に係る臨時啓発事業としては、明るい選挙推進協議会の協力を得て、懸垂幕やのぼりの掲出、広報車による啓発等を実施し、選挙期日の周知、棄権防止の啓発に努めた。

選挙権年齢引下げに伴う啓発活動として、選挙物品の貸出し及び大阪府立交野支援学校四條畷校高等部と連携した模擬投票を実施した。

## 3 選挙執行事務

(1) 平成28年7月10日執行の参議院議員通常選挙の結果

ア 選挙当日の有権者、投票者数及び投票率

上段：大阪府選出  
下段：比例代表

	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)
男	22,235	11,349	51.04
	22,235	11,344	51.02
女	23,664	11,774	49.75
	23,664	11,771	49.74
計	45,899	23,123	50.38
	45,899	23,115	50.36

イ 開票（有効投票・無効投票等）

有効投票 (票)	無効投票 (票)	投票総数 (票)	持ち帰り (票)	無効投票率 (%)	不受理 (票)
22,687	436	23,123	0	1.89	0
22,632	483	23,115	0	2.09	0



(2) 平成29年1月15日執行の四條畷市長選挙の結果

ア 選挙当日の有権者、投票者数及び投票率

	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)
男	22,039	8,974	40.72
女	23,454	10,215	43.55
計	45,493	19,189	42.18

イ 開票（有効投票・無効投票等）

有効投票 (票)	無効投票 (票)	投票総数 (票)	持ち帰り (票)	無効投票率 (%)	不受理 (票)
19,066	123	19,189	0	0.64	0

4 選挙人名簿関係事務

(1) 選挙人名簿登録者数（平成29年3月2日現在）

(単位：人)

男	女	計
22,311	23,714	46,025

## (2) 投票区別登録者数 (平成29年3月2日現在)

(単位：人)

投票区	性別	男	女	計
第1投票区		1,372	1,501	2,873
第2投票区		571	610	1,181
第3投票区		592	617	1,209
第4投票区		2,733	2,888	5,621
第5投票区		2,538	2,606	5,144
第6投票区		1,787	1,914	3,701
第7投票区		1,344	1,500	2,844
第8投票区		1,402	1,545	2,947
第9投票区		892	979	1,871
第10投票区		1,293	1,323	2,616
第11投票区		552	635	1,187
第12投票区		1,133	1,157	2,290
第13投票区		2,176	2,230	4,406
第14投票区		1,079	1,142	2,221
第15投票区		1,164	1,288	2,452
第16投票区		1,683	1,779	3,462
計		22,311	23,714	46,025

## (3) 選挙人の異動状況 (平成28年3月2日～平成29年3月1日)

(単位：人)

新規登録者数	抹消者数		
	転出	死亡	計
3,383	1,650	488	2,138

## (4) 在外選挙人名簿登録者数 (平成29年3月2日現在)

(単位：人)

男	女	計
14	5	19

(5) 在外選挙人名簿登録者数の異動状況（平成28年3月2日～平成29年3月1日）

（単位：人）

新規登録者数	抹消者数		
	国内において新しく住民票が作成されてから4ヶ月を経過するもの	死亡又は国籍喪失者等	計
3	6	0	6

## 5 住民直接請求関係事務

条例制定請求者署名簿署名証明申請を受理し、署名簿を審査のうえ、署名の証明を行った。

条例制定請求に係る条例名

四條畷市公共建築物の長寿命化の検討を義務付ける条例

平成28年4月27日	請求代表者から提出された条例制定請求者署名簿署名証明申請及び署名簿を受理 申請された署名簿数 161冊 申請された署名者総数 2,088人
平成28年4月28日 ～5月17日	署名簿に署名し、印を押した者が選挙人名簿に登録された者であることを審査
平成28年5月18日	署名の効力を決定し、証明結果を告示 署名簿に署名し、印を押した者の数 2,090人 有効署名の総数 1,833人 平成28年3月2日定時登録における50分の1の数 896人
平成28年5月19日 ～5月25日	条例制定請求署名簿の縦覧（異議申出期間）
平成28年5月26日	有効署名の総数を告示
平成28年5月27日	請求代表者に署名簿を返付

# 公 平 委 員 会

## 公平委員会運営事務

公平委員会は、職員の利益を保護し、公正な人事行政を期するため設置している。不利益処分に対する審査請求や勤務条件に関する措置要求に基づき、公正・中立な立場で審理し、必要な救済措置を講ずる。

平成28年度は、公平委員相互の連絡を緊密にし、制度の円滑な運営を図るため、総会及び研修会に参加した。

### (1) 委員会開催状況

開催年月日	議案等番号	案 件	出席委員数 (人)
平成29年1月30日	議案第1号	管理職員等の範囲を定める規則の一部を改正する規則の制定について	3
平成29年3月29日	議案第1号	管理職員等の範囲を定める規則の一部を改正する規則の制定について	3

### (2) 総会・研修会等参加状況

開催年月日	会 議 内 容	開催場所	参加委員数 (人)
平成28年5月17日	大阪府公平委員会連合会通常総会	八 尾 市	3
平成28年8月2日	全国公平委員会連合会近畿支部総会及び事務研究会	和 歌 山 市	2
平成28年10月28日	全国公平委員会連合会通常総会	東 京 都	1
平成28年11月7日	大阪府公平委員会連合会北部ブロック研修会	守 口 市	2

## 固定資産評価審査委員会

### 固定資産評価審査委員会運営事務

#### (1) 審査申出状況

区 分	審 査 申 出		決 定 状 況 (筆数等)				取り下げ (筆数等)
	件 数	筆数等	容 認	棄 却	却 下	合 計	
土 地	—	—	—	—	—	—	—
家 屋	—	—	—	—	—	—	—

#### (2) 委員会開催状況

開 催 年 月 日	案 件	出席委員数 (人)
平成28年10月6日	四條畷市固定資産評価審査委員会委員長の選挙について	3
	四條畷市固定資産評価審査委員会委員長職務代理者の指定について	

#### (3) 研修会参加状況

開 催 年 月 日	会 議 内 容	開 催 場 所	参加委員数 (人)
平成28年8月31日	固定資産評価審査委員会運営研修会	京 都 市	3

# 教 育 委 員 会



# 教育環境整備室

## 1 学校適正配置計画関係事務

平成27年3月に策定した四條畷市教育環境整備計画に基づき、校区再編に関する準備や、事業の発注に向けた準備・整備を行った。

### (1) 統合準備委員会の開催

校区再編による児童生徒の不安を軽減する円滑な転籍の方策を検討するため、昨年度に引き続き、統合準備委員会を開催した。大きな方向性等を検討する親会議（学校管理職）と検討すべき項目ごとの各部会（教務部会、学習・進路部会、生指部会（生徒指導方針、クラブ活動、生徒会活動）、支援部会（支援教育、人権教育、道徳教育）、保健部会、事務部会）に分かれ、各校の状況や予想される課題をもとに、詳細な検討を行った。

会議名 (開催年月日)	内 容	参 加 者
第1回親会議 (平成28年9月14日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南中の閉校に向けて</li> <li>・南中の現在のクラブ活動について</li> <li>・転籍後のクラブ保障について</li> <li>・部会の開催について</li> <li>・制服について</li> <li>・すこやかネットについて</li> <li>・転籍時に校区選択できる生徒の意向の掌握について</li> <li>・各校PTAどうしの校区再編に向けた準備について 等</li> </ul>	学校管理職
第2回親会議 (平成28年11月4日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校統合に向けた現小学5年生の交流を目的とした小 小連携の取組みについて</li> <li>・来年度の小学6年生保護者に対する中学校からの説明に ついて</li> <li>・南中1年生の保護者からの生徒間交流の要望について</li> <li>・畷中・南中との教師間交流、生徒間の行事交流の検討に ついて</li> <li>・統合による生徒会会長について</li> <li>・統合によるPTA役員人選について 等</li> </ul>	学校管理職
第3回親会議 (平成28年12月2日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畷中・南中で実施の合同学年会について</li> <li>・3学期の生徒交流の検討について</li> <li>・南中1年生保護者の畷中見学について</li> <li>・畷中・南中で実施したすこやかネットの交流について</li> <li>・南中のPTA会長、母親代表委員、学校管理職との情報 共有について</li> <li>・小学校保護者からの制服・クラブの問い合わせについて</li> <li>・統合時のセレモニーについて 等</li> </ul>	学校管理職



(2) 学校再編整備を見据えた通学路の安全対策

学校再編整備に伴う通学路の選定において、通学路交通安全プログラムに基づき、横断歩道の整備、グリーンベルトの施工、路面標示の整備等対策工事、防犯灯の増設、既存防犯灯のLED化の状況を把握した。また、子どもが被害となる事故や犯罪が多発している現状を踏まえ、犯罪防止に効果のある防犯カメラを小学校区ごとに複数設置したことについて、情報共有を行った。

(3) KyouKanヘッドラインニュースの発刊

市や教育委員会の教育環境整備に対する考え方や整備状況等を市民に広く周知するために、「KyouKanヘッドラインニュース」第11号を発刊し、ホームページへの掲載や学校への掲示、教育環境整備室、手当医療課、公共施設の窓口や駅のラックに置くとともに、市内公立学校園の保護者、教職員に配付を行い、広く情報発信に努めた。

また、広報誌10月号に、中学校区再編に向けた四條畷中学校、四條畷西中学校の整備内容、通学路の安全対策、小中学校の学校再編、通学区域の再編について、市民に広く周知を行った。

また、学校再編整備を進める中で、これまで市民からいただいた質問について、教育委員会が回答した内容を取りまとめ、「教育環境整備についてのQ&Aコーナー」として市のホームページに掲載した。

(4) なわて出前講座の開催

なわて出前講座の申し込みを受け、教育環境整備計画の内容、進捗状況についての説明会を開催した。意見交換や質疑応答を行い、市民の理解向上に努めた。

開催年月日	時 間	対 象	場 所	参加人数
平成29年2月21日	19:00～	四條畷南中学校PTA	四條畷南中学校 視聴覚室	43人

(5) 市長・教育長との意見交換会の開催

平成29年1月25日、3月1日の市長と教育委員による総合教育会議の場で、公共施設全体の再編整備などを盛り込んだ、まちづくり長期計画の見直しに伴い、教育環境整備計画の一部を修正することが共有化された。この結果を受けて、双方向性の対話を重視しながら進め

ていくために、下記のとおり、意見交換会を開催し、意見交換や質疑応答を行い、理解向上に努めた。

開催年月日	時 間	対 象	場 所	参加人数
平成29年3月16日	15:30～	四條畷南中学校1年生	四條畷南中学校 403教室	75人
平成29年3月16日	19:00～	四條畷南中学校1年生・ 四條畷南小学校6年生・ 四條畷東小学校6年生の 保護者	四條畷南中学校 視聴覚室	34人

## 2 校舎増築改修等事務（小学校）

### (1) 防火シャッター設置工事

防火区画の不備を是正するために、四條畷南小学校の校舎棟1階2箇所に防火シャッターの設置工事を行った。

### (2) トイレ改修工事に伴う実施設計委託

岡部小学校屋内運動場のトイレ改修工事に伴う実施設計を委託した。

## 3 教育環境整備事務（中学校）

### (1) 四條畷中学校・四條畷西中学校整備事業事業者選定委員会の開催

昨年度より事業者の選定を行うにあたり、庁内にて選定委員会を設置し、今年度も下記のとおり開催した。なお、事業者の選定にあたり、第3回、第4回の選定委員会に専門的な見地から3人の学識委員に参加いただき、指導をいただいた。

・四條畷中学校・四條畷西中学校整備事業（設計・施工一括発注方式）

会 議	開催年月日	内 容
第2回	平成28年5月26日	参加表明書の提出状況について
第3回	平成28年7月25日	プレゼンテーション当日の進め方 プレゼンテーション時の採点 プレゼンテーション時の質疑事項
第4回	平成28年8月8日	事業者プレゼンテーション 学識委員講評及び意見交換 本採点の実施 事業者の選定

(2) 四條畷中学校・四條畷西中学校整備事業（設計・施工一括発注方式）の公募

平成28年3月25日に募集要項等を公表し、四條畷中学校・四條畷西中学校整備事業の公募を行った。

・四條畷中学校・四條畷西中学校整備事業（設計・施工一括発注方式）

平成28年5月25日	資格審査書類の受付締切
平成28年6月1日	参加資格審査の確認結果通知
平成28年7月15日	提案書の受付締切
平成28年8月8日	プレゼンテーション、事業者選定
平成28年8月9日	優先交渉権者の決定
平成28年9月2日	契約の議決・締結

(3) 四條畷中学校・四條畷西中学校整備事業

平成30年度からの中学校区再編に向けて、平成28年9月2日に議会での議決を受けた後、事業者との契約の締結を行い、平成28年12月より四條畷中学校、四條畷西中学校の整備に着手した。（工事期間は平成28年12月～平成30年12月まで）

# 教 育 総 務 課

## 1 教育委員会事務

### (1) 教育委員会開催状況

開催年月日	案 件 名	議 決 等
平成28年4月20日 (定例会)	四條畷市教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正について	可 決
	四條畷市教育委員会事務局決裁規程の一部改正について	報 告
平成28年5月18日 (定例会)	四條畷市立学校結核対策検討委員会委員の委嘱について	可 決
	四條畷市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	報 告
	教育振興ビジョンの改訂について	報 告
	四條畷市私立幼稚園就園奨励費補助金条例の一部を改正する条例案について	報 告
平成28年6月29日 (定例会)	四條畷市私立幼稚園就園奨励費補助金条例施行規則の一部改正について	可 決
	平成29年度使用四條畷市立小学校教科用図書の採択について	可 決
	平成29年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択について	可 決
	四條畷市社会教育委員の委嘱について	可 決
平成28年7月20日 (定例会)	市立田原小学校図書館 視察	そ の 他
平成28年8月18日 (臨時会)	四條畷市教育委員会教育長の辞職について	同 意
平成28年8月31日 (定例会)	四條畷市教育長の職務代理者に関する規則の制定について	可 決
	畷の子どもつながりプラン（四條畷市子どもの貧困対策事業）基本プランの策定について	可 決
	四條畷市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市立認定こども園条例案について	報 告

開催年月日	案 件 名	議 決 等
平成28年9月8日 (臨時会)	四條畷市教育委員会教育長等の任命に係る議会同意について	報 告
平成28年9月28日 (定例会)	四條畷市立幼稚園規則を廃止する規則について	可 決
	四條畷市立認定こども園条例について	報 告
	平成27年度 四條畷市教育委員会 点検・評価 について	報 告
平成28年10月26日 (定例会)	四條畷市立認定こども園条例施行規則について	報 告
	四條畷市立教育文化センターの指定管理者の指定について	報 告
	四條畷市体育・文化奨励賞について	報 告
平成28年11月30日 (定例会)	四條畷市文化財保護審議会委員の委嘱について	可 決
	公の施設の管理運営に関する評価結果（平成27年度分）について	報 告
	四條畷市立なわてふれあい教室条例の一部改正について	報 告
平成28年12月21日 (定例会)	第2次四條畷市文化芸術振興計画の策定について	可 決
	四條畷市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
平成29年1月25日 (定例会)	四條畷市立なわてふれあい教室条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	第2次四條畷市立公民館振興計画について	可 決
	四條畷市教育委員会における公の施設に係る指定管理候補者の指定について	報 告
	第2次四條畷市識字基本計画（原案）意見公募手続きの実施について	報 告
平成29年2月22日 (定例会)	四條畷市教育委員会公印規程の一部を改正する規程について	報 告
	平成29年度 教育委員会の新規・拡充事業について	報 告
	請願書の提出について	報 告

開催年月日	案 件 名	議 決 等
平成29年2月22日 (定例会)	なわて出前講座について(四條畷南中学校区)	報 告
平成29年3月29日 (定例会)	四條畷市教育委員会事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	第2次四條畷市識字基本計画の策定について	可 決
	請願書について	不 採 択
	平成29年度四條畷市一般会計 教育費の予算額について	報 告

## (2) 教育委員の主な活動

- ・平成28年5月26日 平成28年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会に参加
- ・平成28年7月20日 田原小学校図書館を視察
- ・平成28年9月24日 岡部小運動会に参加
- ・平成28年10月1日 田原小学校、四條畷小学校、四條畷南小学校、四條畷東小学校、忍ヶ丘小学校、くすのき小学校運動会に参加
- ・平成28年10月7日 四條畷南中学校体育大会に参加
- ・平成28年10月14日 四條畷中学校、四條畷西中学校、田原中学校体育大会に参加
- ・平成28年10月25日 平成28年度近畿市町村教育委員会研修大会に参加
- ・平成28年11月8日 平成28年度大阪府市町村教育委員会研修会に参加
- ・平成28年11月10日 平成28年度四條畷市教育委員会委員管外研修(岐阜県白川町)
- ～11月11日
- ・平成28年11月21日 四條畷中学校、忍ヶ丘小学校の授業参観に参加
- ・平成28年11月25日 四條畷東小学校、四條畷西中学校の授業参観に参加  
学校給食センターを視察及び給食を試食
- ・平成29年1月9日 成人式に出席
- ・平成29年1月24日 平成28年度北河内地区教育委員会委員研修会に参加
- ・平成29年2月4日 教育フォーラムに参加
- ・平成29年3月14日 平成28年度 卒業式・保育修了式に出席
- ～3月16日

(3) 教育委員会点検評価

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第26条）」が改正され、各教育委員会は、毎年その教育行政事務の管理執行状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとなった。そこで、四條畷市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、教育に関し学識経験者である外部評価者によって本市の教育振興ビジョンに基づいた項目別に点検・評価を実施した。

外部評価者 大阪教育大学 特任教授 島 善信 先生  
 京都女子大学 教授 岩槻 知也 先生  
 第1回点検評価会議 平成28年7月21日実施 午前10時～午後1時  
 第2回点検評価会議 平成28年8月18日実施 午後1時～午後3時

点検・評価項目

主要施策	施策目標	主要事業
学力の向上	畷の授業スタンダードの確立 (第2期学力向上 3ヶ年計画の実施)	学力向上プロジェクトチーム会議の開催 (畷の授業スタンダードの確立、家庭学習・生活習慣、フォローアップ対策、小中連携・一貫教育) 特色ある教育実践事業 フォローアップ対策の充実
	教職員研修の充実	初任者、2年目、5年目、10年目経験者研修の実施
	ICT環境の整備	ICT環境整備
豊かな心の育成	人権教育の推進	各種人権教育施策 四條畷市いじめ問題対策委員会、四條畷市いじめ防止基本方針の策定
	道徳教育の推進	生命のプログラム事業
郷土愛の醸成	郷土学習の推進	郷土教育副読本「わたしたちの四條畷」 (3・4年生版)作成事業
	文化財の保護	文化財保護審議会の開催・文化財愛護推進委員会会議の開催・飯盛城跡国指定史跡推進事業・雁屋畑線文化財発掘調査の実施・清滝川文化財報告書作成事業
	文化財の活用	歴史民俗資料館特別展と関連事業の実施・おおさかふみんネットの実施・出前講座の実施・小学校の校外学習の実施

主要施策	施策目標	主要事業
子ども・若者の健全育成	子ども・若者ひきこもり対策	ひきこもり相談窓口の設置 ひきこもり等地域支援ネットワーク会議の開催
	放課後児童健全育成	ふれあい教室及び放課後子ども教室の共通プログラムの実施 岡部及び田原ふれあい教室の定員拡大
	青少年育成支援	成人式の開催 青少年の育成に関わる団体活動の支援
安心安全の確保	教育環境の整備	教育環境の整備
	通学路の安全対策	四條畷市通学路交通安全プログラム
		学校受付業務（小学校校門）
		バスによる通学（田原地区小学1年）
高度な衛生管理とエネルギー最適化の追求	世界基準ISO22000を取得した衛生管理の充実 ガスコージェネ・太陽光パネルを設置した省エネルギー化と災害に強い施設の整備	
読書活動の拡充	市立図書館の読書活動の推進	市立図書館の取組み
	第2次四條畷市子ども読書活動推進計画に基づく取組み	第2次四條畷市子ども読書活動推進計画に基づく取組み
	学校図書館の読書活動の推進	西中学校区の学校図書館の取組み
	学校と市立図書館の連携・協力	田原小学校図書館の活性化の取組み
体力の向上	体力の向上の推進	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施
	市民の体力づくり、健康の増進を推進	市民体育祭・畷歩こう会・畷歩こう大会・四條畷市マラソン大会の実施
支援教育の深化	スムーズな就学、進学、個に応じた支援の充実	就学相談及び巡回指導の実施
		支援学級設置、通級指導教室設置、学校支援員及び介助員の配置
		系統性のある支援研究事業
	ユニバーサルデザインによる授業づくり・集団づくり	発達障がい早期支援研究事業
就学前教育の充実	認定こども園の計画的な整備	平成29年度から公立の保育所と幼稚園が認定こども園に移行するにあたり、調査研究、保護者説明会を実施
	保・幼・小の学びの接続を推進	6月、2月に保幼小連絡会を実施するとともに、各園・小学校で子どもの交流事業等を実施



主要施策	施策目標	主要事業	
食育の推進	食育の推進	ぱくぱく通信・食育授業及び食に関する指導等	
	学校給食の充実	地産地消の推進	
生涯学習の推進	地域コミュニティの形成	社会教育施設の運営事務、四條畷市総合公園の整備と活用	
	スポーツの振興	体育文化奨励賞・スポーツ教室（カヌー・バレーボール・サッカー）・市民総合体育大会・北河内地区総合体育大会・北河内地区駅伝競走大会	
	文化の振興	四條畷市史考古編の刊行 市民文化祭の開催 市文化協会事業との連携・支援 文化人の発掘	
	地域人材との協働	生涯学習ボランティア登録制度の実施 IT講習会の開催	
	市民主体の教育文化活動の場、機会を創造	公民館フェスティバル	
	地域の魅力と活力を生み出す	オープンサークル	
	識字施策の推進	識字施策の推進	識字関連事業
			にほんご教室
子ども子育て支援に向けた環境整備	すべての親と子の育ちと学びを応援する環境の整備	子育て総合支援センターと児童発達支援センターの複合施設である「ステップ★なわて」の建設	
	子どもの権利擁護の推進	四條畷市子ども基本条例、四條畷市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定	
	母と子どもの健康の確保と増進	子ども医療費助成制度を中学校3年生まで拡充	
	子どもが安心・安全にくらせるまちづくり	つどいの広場事業、なわてふれあい教室等の実施	
ひとづくりは、まちづくりプロジェクト	教育環境整備計画の推進	教育環境整備計画の推進	
	社会教育施設の整備	社会教育施設整備計画（素案）作成	
	教育センターの充実	教育センター機能充実（適応指導教室の充実、野外体験活動の実施）	
	子どもの貧困対策	畷の子どもつながりプランの全校実施	
その他	教育委員会の点検・評価	教育委員会点検・評価報告書の作成	

## 2 教育委員会運営事務

### 教育長の主な活動

- ・平成28年4月5日 平成28年度市町村教育委員会委員長・教育長会議に参加
- ・平成28年4月6日 平成28年度 入学式・入園式に出席
- ～4月8日
- ・平成28年4月8日 大阪府教育庁及び大阪府立大学を訪問
- ・平成28年4月12日 大阪府立大学を訪問
- ・平成28年4月15日 平成28年度大阪府都市教育長協議会総会・4月定例会に参加
- ・平成28年4月18日 平成28年度北河内地区教育長協議会に参加
- ・平成28年4月21日 平成28年度近畿都市教育長協議会定期総会に参加
- ～4月22日
- ・平成28年5月8日 市民体育祭に参加
- ・平成28年5月11日 北河内地区指導主事研修会に出席
- ・平成28年5月19日 第68回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会に参加
- ～5月20日
- ・平成28年5月26日 平成28年度大阪府都市教育委員会連絡評議会定期総会に参加
- ・平成28年6月29日 大阪府教育庁と調整会議
- ・平成28年7月4日 平成28年度第2回北河内地区教育長協議会に参加
- ・平成28年7月11日 平成28年度北河内地区教育長協議会管外研修会に参加
- ～7月12日
- ・平成28年7月22日 平成28年度大阪府都市教育長協議会夏季研修会・定例会に参加
- ・平成28年8月26日 平成28年度大阪府教育長協議会夏季研修会に参加
- ・平成28年9月8日 大阪府教育庁を訪問
- ・平成28年10月6日 大阪府都市教育長協議会10月定例会に参加
- ・平成28年10月8日 四條畷あおぞら幼稚園運動会、畷幼稚園運動会に参加
- ・平成28年10月14日 田原中学校体育大会に参加
- ・平成28年10月22日 四條畷学園創立90周年記念式典に参加
- ・平成28年10月25日 平成28年度近畿市町村教育委員会研修大会に出席
- ・平成28年10月27日 平成28年度近畿都市教育長協議会研究協議会に参加
- ～10月28日

- ・平成28年11月 8日 平成28年度大阪府都市教育委員会連絡協議会に参加
  - ・平成28年11月10日 平成28年度四條畷市教育委員会委員管外研修（岐阜県白川町）  
～11月11日
  - ・平成28年11月14日 平成28年度大阪府都市教育長協議会秋季研修会に参加
  - ・平成28年11月19日 四條畷市総合防災訓練に参加
  - ・平成28年12月14日 大阪府教育庁と協議
  - ・平成29年 1月 6日 大阪府都市教育長協議会 1月定例会に参加
  - ・平成29年 1月 9日 成人式に出席
  - ・平成29年 1月30日 平成28年度第3回北河内地区教育長協議会に参加
  - ・平成29年 2月 4日 教育フォーラムに参加
  - ・平成29年 2月 9日 平成28年度第4回北河内地区教育長協議会に参加
  - ・平成29年 2月20日 平成28年度市町村教育委員会教育長・学校教育指導主管部課長会議  
に参加
  - ・平成29年 3月14日 平成28年度 卒業式・保育修了式に出席  
～ 3月16日
- その他 市及び社会教育団体等主催のイベントに出席

### 3 小学校管理事務

#### (1) 安全の対策

- ① 学校施設として児童の安心・安全の確保のため、岡部小学校において、消火器及び屋内消火栓ホースの取り替え、消火器表示板及び誘導灯バッテリーの交換を行った。また、忍ヶ丘小学校において、消火栓ポンプ、自動火災報知機設備、消火管、感知器断線箇所、給水管及び高架水槽のそれぞれ修繕工事と壁面改修工事を行った。
- ② プールの衛生環境を保つため、くすのき小学校において、プール用循環ポンプ修繕工事、田原小学校において、プールサイド改修工事、四條畷小学校において、プールろ過ポンプ修繕工事を行った。
- ③ 設備機器の老朽化への対応のため、田原小学校において、高圧受電設備改修工事を行った。

## (2) 施設等の整備

- ① 良好な教育環境を維持するため、四條畷東小学校において、樹木伐採工事を行った。
- ② 快適な授業環境を提供し、児童の健康を守るため、四條畷東小学校、岡部小学校、四條畷小学校及びくすのき小学校において、空調機器の修繕を行った。
- ③ 田原小学校及び四條畷小学校において、電話機一式をアナログ回線からひかり回線に切り替えを行った。
- ④ 授業で使用する資料作成や成績処理等、様々なデータを管理することにより授業内容を充実させることや、校務時間の短縮に伴い、児童と向き合う時間が増え教育指導に充てることのできることから、四條畷南小学校において、校務用端末機器を追加し、教員1人にほぼ1台の配置とした。

### 小学校施設の使用状況

(単位：件)

学 校 名	運 動 場	屋 内 運 動 場	教 室
田 原 小 学 校	2 8 4	7 5 9	2 0
四 條 畷 小 学 校	3 3 6	4 7 4	2 8
四 條 畷 南 小 学 校	2 3 4	5 3 8	1 3 0
忍ヶ丘小学校	2 2 0	4 0 0	1 9
四 條 畷 東 小 学 校	1 9 8	3 4 4	1 4
岡 部 小 学 校	2 6 0	5 3 2	4 2
くすのき小学校	2 2 0	4 1 7	1 8
合 計	1 , 7 5 2	3 , 4 6 4	2 7 1

## 4 小学校予算配当事務

### (1) 設備の整備

- ① 子どもたちが学校における観察、実験等の教育活動を通して、自然及び科学技術に対する関心や探究心を高めることや、科学的な知識、技能及び態度を習得することにより、科学的な考え方を養うことのできることから、1校あたり65万円の予算で、理科教育設備の整備を行った。
- ② 学校図書館を充実させることにより、各学校が学校図書館を積極的に活用し、児童の読書活動の推進を図ることができることや、子どもたちに将来の夢や希望を与え、学ぶ意欲

を持たせる教育を推進するため、ふるさと納税を活用し、学校図書を充実させた。

- ③ 教師の授業力を向上させるために、ICT機器を効果的に活用した授業を行えるようにすることを目的として、タブレット機器等の整備だけでなく、周辺環境の整備も必要であることから、忍ヶ丘小学校において、普通教室でタブレットがストレスなく稼働できるようにアクセスポイントを強化した。

## 5 中学校管理事務

### (1) 安全の対策

- ① 学校施設として生徒の安心・安全の確保のため、田原中学校と四條畷中学校において、消火器及び屋内消火栓ホースの取り替えを行った。
- ② プールの衛生環境を保つため、田原中学校において、プールろ過装置修繕を行った。
- ③ 設備機器の老朽化への対応のため、田原中学校において、高圧受電設備修繕工事を行った。
- ④ 四條畷南中学校において、バスケットゴールの修繕、排水管修繕工事を行った。

### (2) 施設等の整備

- ① 田原中学校において、電話機一式をアナログ回線からひかり回線に切り替えを行った。
- ② 授業で使用する資料作成や成績処理等、様々なデータを管理することにより授業内容を充実させることや、校務時間の短縮に伴い、生徒と向き合う時間が増え教育指導に充てることのできることから、四條畷中学校において、校務用端末機器を追加し、教員1人にほぼ1台の配置とした。

### 中学校施設の使用状況

(単位：件)

学 校 名	運 動 場	屋 内 運 動 場	教 室
四 條 畷 中 学 校	6	3 0 7	0
四 條 畷 南 中 学 校	3	3 1 9	3 4
四 條 畷 西 中 学 校	7	3 1 6	3
田 原 中 学 校	3 9	2 9 5	0
合 計	5 5	1 , 2 3 7	3 7

## 6 中学校予算配当事務

### (1) 設備の整備

- ① 子どもたちが学校における観察、実験等の教育活動を通して、自然及び科学技術に対する関心や探究心を高めることや、科学的な知識、技能及び態度を習得することにより、科学的な考え方を養うことができることから、1校あたり65万円の予算で、理科教育設備の整備を行った。
- ② 学校図書館を充実させることにより、各学校が学校図書館を積極的に活用し、生徒の読書活動の推進を図ることができることや、子どもたちに将来の夢や希望を与え、学ぶ意欲を持たせる教育を推進するため、ふるさと納税を活用し、学校図書を充実させた。

## 7 施設営繕事務

(単位：件)

	修繕 (建物・設備・水道・ 排水・備品等の 修繕)	整備 (移設・設置・改良・ 撤去・草刈り・ 剪定等)	製作 (備品・看板等の 製作)	その他 (セアカゴケグモ の駆除、蜂の巣 除去等)	合計
小学校	251	153	30	1	435
中学校	273	90	13	5	381
その他 教育施設等	24	26	8	19	77
計	548	269	51	25	893

## 学 校 教 育 課

### 1 支援教育関係事務

全ての小・中学校に、支援学級が設置されている。支援学級に在籍している児童・生徒の個に応じた指導を充実し、よりよい支援教育体制の確立のため、支援学級に在籍する児童生徒の障がいの状況に応じて介助員を配置した。

また、水泳学習において肢体不自由児童・生徒が、安心して楽しく学習することを実現するため、状況に応じて水泳介助員を配置した。

#### 介助員配置数

小 学 校	中 学 校	合 計
18 人	3 人	21 人

#### 肢体不自由児水泳介助員

配置人数計 6 人	小学校実施時数 (実績)	76 時間	合 計 95 時間
	中学校実施時数 (実績)	19 時間	

## 2 健康診断関係事務

各検診機関と連携のもとに次のとおり検診を実施した。検診の結果については、保護者等に通知した。

検診内容	対象	人数(人)
結核検診問診	小全児童・中全生徒	4,956
ツベルクリン反応	問診で要精検になった児童・生徒	0
X線直接撮影	小1・2の一部、中1・2の一部、教職員	334
検尿(1次)	小全児童、中全生徒、幼全員、教職員	4,926
検尿(2次)	一次検査を受診できなかった者、 一次検査で再検査が必要と診断された者	260
心臓検診	小1年、中1年	989
心臓検診精検	小中全学年の一部	434
胃間接撮影	教職員(40歳以上)	12
教職員健康診断	教職員	241
乳ガン検診	教職員	64

※平成28年度よりぎょう虫検査なし

## 3 学校事故処理事務

平成28年度、日本スポーツ振興センターに申請し給付を受けた給付件数は489件、前年度と比較して70件の減となり、災害給付金の支給額は2,231,843円で、前年度と比較して980,702円の減となった。

## 4 人事に関する事務

教職員の年齢構成をみると、中堅層が少なく、二極化が生じており、経験を積み重ねた者から、若年層への学校文化の継承が課題である。また、確かな学力の定着、不登校問題の改善、学校の安全確保等、様々な教育への課題を解決するため、活力ある学校づくりを推進することが重要となっている。そのため、喫緊の課題である学力向上対策の取組としての授業改善に向けて、主体的に取り組める有能な人材を確保・育成し、適材適所を図り、課題の解決に努めた。



## (1) 平成28年度末29年度当初小・中学校の職員異動状況

(単位：人)

			校 長	教 頭	首 席	指導教諭	教 諭	講 師	その他 (府籍 指導主事)	合 計	備 考	
小 ・ 中 学 校	異 動	退 職 者 (再任用含)	小	5	3			14	22		44	
			中	1	2	1		15	12		31	
	府 内	転 入	小					1			1	
			中					1			1	
	中 内	転 出	小					3			3	
			中					1			1	
	学 校	新 規 採 用 (再任用含)	小	5	3			11	20		39	
			中	1	2			14	14		31	
	校	昇 任	小	1	1	1					3	
			中		1						1	
	教 委	着 任			1						1	
		退 任								1	1	

## (2) 小・中学校教職員等の状況

(単位：人)

区 分	校 長		教 頭		教 諭		講 師		府籍指導主事		技 能 員		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成28年度	10	1	8	3	100	136	18	23	0	0	0	0	136	163
	11		11		236		41		0		0		299	
平成27年度	10	1	7	4	109	152	15	24	0	0	0	0	141	181
	11		11		261		39		0		0		322	
増 減	0	0	1	△1	△9	△16	3	△1	0	0	0	0	△5	△18
	0		0		△25		2		0		0		△23	

※学校基本調査による5月1日現在の数値。講師は定数内、技能員はフルタイムの人数。

## 5 指導・研修関係事務

(1) 教職員に対し、その資質向上のため下記の研修を実施した。

下記の研修の他に、大阪府教育センターや他市町村主催の研修、公開授業、研究発表大会等の案内を学校へ周知し、教職員の自己研鑽の機会を提供し、参加に関する連絡・調整を行った。

### ① 初任者研修（定数内講師含む）

研修日時	研修内容	講師
平成28年6月24日 14:00～17:00	授業づくり 小学校授業見学 豊かな心を育成する道徳の 授業づくり	岡部小学校 教諭 玉置 和理 氏
平成28年7月21日 13:00～17:00	総合的な 学習の時間 四條畷市にある教材を使っ ての授業づくり	四條畷市教育委員会学芸員
平成28年8月5日 8:30～17:00	総合的な 学習の時間 むろ池園地自然体験研修	森の工作館 館長 久保 勝範 氏
平成28年8月8日 9:30～12:15	人権研修 人権教育に関する現地研修	NPO法人ほうじょう 事務局長 中井 和真 氏
平成28年8月24日 9:00～12:00	支援教育 基礎研修 学校における合理的配慮と 基礎的環境整備	寝屋川支援学校 支援コーディネーター 首席 角尾 将司 氏
平成29年1月5日 14:00～17:00	児童生徒 理解研修 児童・生徒の見方、関わり 方、話しかけ方	四條畷市 チーフスクールカウンセラー 四條畷中学校 スクールカウンセラー 二見 真美 氏
平成29年1月20日 13:25～17:00	授業づくり 5年目の教員の研究授業見学 と実践交流	四條畷市教育委員会指導主事

### ② 2年目教員研修

研修日時	研修内容	講師
平成28年6月14日 14:40～17:00	市人研 学習講座① 「在日外国人教育を 進めるために」	大阪府教育センター 教育企画部人権教育研究室 指導主事 中野 泰宏 氏
平成28年7月21日 ～8月25日 のうちの2日間	社会体験研修 地域社会との連携	四條畷市立歴史民俗資料館 忍ヶ丘ふれあい教室
平成28年11月18日 15:30～17:00	市人研 学習講座② 「子どもが活躍するクラス・ 授業づくりと進め方」	株式会社 ひとまち ちゃん せいこ 氏

③ 5年目教員研修

研修日時	研修内容	講師
平成28年5月20日 15:30~17:00	教科研修 子ども主体の授業づくり研修	大阪府教育センター指導主事 四條畷市教育委員会指導主事
平成28年6月14日 15:00~17:00	課題研修 人権教育に関する研修	大阪府教育センター指導主事 四條畷市教育委員会指導主事
平成28年8月8日 9:30~12:15	課題研修 人権教育に関する現地研修	NPO法人ほうじょう 事務局長 中井 和真 氏
平成28年12月27日 9:30~12:00	授業研修 模擬授業の実施	四條畷市教育委員会指導主事
平成29年1月20日 13:25~17:00	授業研修 模範研究授業の実施 (代表者授業)	四條畷市教育委員会指導主事

④ 10年経験者研修

研修日時	研修内容	講師
平成28年7月21日 13:00~17:00	総合的な 学習の時間 四條畷市にある教材を使っ ての授業づくり	四條畷市教育委員会学芸員
平成28年8月5日 8:30~17:00	総合的な 学習の時間 むろ池園地自然体験研修	森の工作館 館長 久保 勝範 氏
平成28年8月24日 9:00~12:00	支援教育 基礎研修 学校における合理的配慮と 基礎的環境整備	寝屋川支援学校 支援コーディネーター 首席 角尾 将司 氏
平成29年1月5日 14:00~17:00	児童生徒 理解研修 児童・生徒の見方、関わり方、 話しかけ方	四條畷市 チーフスクールカウンセラー 四條畷中学校 スクールカウンセラー 二見 真美 氏

⑤ 管理職候補者研修（リーダー研修）

研修日時	研修内容	講師
平成28年7月6日 18:00~19:00	指導主事講話 ・教育振興ビジョンに基づく市の取組みについて ・法規・法令の遵守について	四條畷市教育委員会指導主事
平成28年7月13日 18:00~19:00	事例検討 ・論文の記述について ・教育課題について	四條畷市教育委員会指導主事
平成28年8月8日 14:00~15:30	指導主事講話 事例検討 ・次期学習指導要領改訂に向けて ・学校の業務改善について	四條畷市教育委員会指導主事
平成28年8月23日 10:00~11:30	事例検討 ・法規、サービス、教育課題について ・論文作成研修	四條畷市教育委員会指導主事

⑥ 支援教育研修

研修年月日	研修内容
平成28年4月11日	支援教育研修① 支援学級教育課程研修会
平成28年4月11日	支援教育基礎研修Ⅰ 学校における合理的配慮・基礎的環境整備の課題 ～「わかる」授業づくり・ 「安心できる」集団づくりをめざして～
平成28年5月31日	支援教育研修② 学校における合理的配慮と基礎的環境整備について
平成28年6月21日	支援教育研修③ 支援教育の視点を取り入れた授業づくり研修会
平成28年7月26日	支援教育研修④ 困り感を理解し適切な支援をつないでいくためにできること
平成28年7月28日	支援教育実践交流会 支援教育に役立つツールの実践交流会
平成28年8月24日	支援教育基礎研修Ⅱ 学校における合理的配慮と基礎的環境整備について
平成28年8月26日	支援教育基礎研修Ⅲ 介助員研修 ～自分も相手も大切にする コミュニケーションの仕方～
平成29年3月28日	学校支援員・介助員研修 障がい特性・映像を見ながらの支援のポイントと 連携について

(2) 情報教育研修について

小・中学校の情報教育を推進するため、教職員を対象に情報機器を活用した授業力向上に資する公開授業を実施した。

情報教育研修

- ・平成29年2月21日 iPad等のICT機器を活用した授業づくりの実践授業の公開  
(忍ヶ丘小学校)

(3) 管理職研修会

一般教職員を指導・監督し、学校運営の中心となる校長・教頭への伝達を重視した。

児童・生徒の生活指導上の諸問題、いじめ・不登校の問題、体罰・ハラスメント等に関して、校長会・教頭会等での指導・助言を行い、学校における研修をさらに充実するように指導した。その際、幼・小・中学校間の連携、家庭・学校間の連携等をさらに密にするように助言した。

## 6 外国人英語指導助手に関する事務

中学校にALT各1人(計4人)を配置し、中学校区を単位として小学校外国語活動、中学校外国語科教育の充実を図った。小学校においては、児童が外国語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲や態度を育成した。また、中学校においては、小学校における英語、外国語活動の内容をふまえた上で、生徒が、身近な事柄について外国語を使ったコミュニケーションを図る力を育成した。

【新規招致1人(フィリピン共和国より)】 田原中学校

【再任用3人】 四條畷中学校・四條畷南中学校・四條畷西中学校

## 7 就学指導事務

次年度に市立小学校に就学する新1年生を対象に、健康診断及び就学相談を目的とした、就学時健康診断を実施した。

(単位：人)

健診会場	実施年月日	就学時健康診断参加者数	健診会場	実施年月日	就学時健康診断参加者数
田原小学校	平成28年11月24日	88	四條畷東小学校	平成28年10月25日	38
四條畷小学校	平成28年11月22日	98	岡部小学校	平成28年11月17日	73
四條畷南小学校	平成28年11月1日	37	くすのき小学校	平成28年11月25日	76
忍ヶ丘小学校	平成28年11月10日	63			

## 8 通学安全対策事務

### ① 田原小学校1年生のバス下校

田原小学校区の1年生児童の内、田原台八・九丁目、緑風台、さつきヶ丘に在住の児童を対象に、体力面・安全面を考慮し、希望者は下校時にコミュニティバス・奈良交通バスを利用した。

(単位：回)

月別累計児童利用回数	平成28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	2月	3月
コミュニティバス	78	92	113	69	12	106	118	111	102	90	111	101
奈良交通バス	218	275	299	172	42	275	275	306	241	207	271	265

### ② 四條畷市通学路交通安全プログラム

教育委員会、建設課、危機管理課と関係機関である大阪府枚方土木事務所、国土交通省近畿地区整備局大阪国道事務所北大阪維持出張所、大阪府警察本部四條畷警察署とが連携して実施した通学路安全推進会議において、平成27年度に策定した「四條畷市通学路安全プログラム」であげられている抜本対策箇所について、グリーンベルト設置、交差点改良、舗装修繕、歩道築造等の必要な対策を実行した。

## 9 教科用図書に関する事務

小・中学校で使用する教師用の教科用図書と指導書を配布した。

## 10 「小・中学生の主張」コンクール事務

自分の思いや願いを相手に伝えることにより、コミュニケーション能力を培い「生きる力」を育むことをねらいとして、平成28年10月29日に小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、中学生の部の代表者それぞれ5人が議場にて、主張の発表を行った。

## 11 人権教育の推進に関する事務

### (1) 人権教育施策策定

策 定 内 容	実 施 年 月
平成28年度 教育振興ビジョン	平成28年4月

### (2) 関係諸機関連携

人権教育関係機関研究会・研修会等の連携

組 織 ・ 研 究 会 名	実 施 年 月 日	
全国人権同和教育研究協議会（大阪府大阪市）	平成28年11月26日・27日	
部落解放研究全国集会（奈良県奈良市）	平成28年10月18・19・20日	
全国人権保育（幼）研究集会（滋賀県米原市）	平成29年2月25日・26日	
大阪府人権教育研究協議会	人権・部落問題一日研修会	平成29年1月14日
	夏季研修大会	平成28年8月23日・24日
	研究集会	平成28年10月28日・29日
大阪府外国人教育研究集会	平成28年6月18日	
北河内地区人権教育研究協議会	ひらがな研修会	平成28年4月12日
	学 習 会	平成28年11月11日
	研 究 集 会	平成29年1月25日
大阪府人権教育主管課長会	年間9回	
大阪府教育委員会 人権教育課題別担当指導主事連絡会	年間6回	

各研修会の参加の推奨や資料の共有化を図り、また、各学校園との情報交換を通して、学校園での人権教育の推進に努めた。

(3) 四條畷市人権教育研究協議会の活動支援

全教職員に同和教育をはじめとする人権教育の充実にむけた研究・研修会への指導・助言を行った。

研 究	講 師	開催回数
役員会・推進委員会・研究部会		16回
夏季現地研修 「ダッシュツアー」	NPO法人ダッシュ	1回
学習講座 ①講演会 「在日外国人教育を進めるために」  ②講演会 「子どもが活躍するクラス・ 授業づくりと進め方」	①中野 泰宏 氏 (大阪府教育センター)  ②ちよん せいこ 氏 (株式会社ひとまち)	各1回

(4) 「小・中学生人権作文集」(第23集)の作成 平成29年3月発行

小・中学校から寄せられた作文を作文集としてまとめ、全学校・園に配布した。

応募・掲載児童生徒数	
小 学 生	53人
中 学 生	27人
挿 絵 協 力	幼稚園児

## 12 人権教育の指導助言に関する事務

(1) 研修図書の活用

人権教育啓発情報誌「ヒューマン・ライツ」を研修図書として活用した。

(2) 実践報告について

年度末に各学校より実践報告書を提出させ、次年度のヒアリングのための資料として活用した。



### 13 課題別の人権教育に関する事務

#### (1) 在日外国人児童生徒の学校生活への支援（自立支援事業）

日本語の習得が十分でない外国籍の児童生徒が市立小・中学校に就学した時に、母国語の話せる通訳者を在籍する学校に派遣することで、母国語を大切にしながら日本語の基礎を習得し、互いの文化や習慣を理解して学校生活に慣れ、自立することを支援した。

また、懇談における保護者と学校の支援を行った。

派遣内容	インドネシア(インドネシア語)		タイ (タイ語)		合 計	
	人 数 (人)	回 数 (回)	人 数 (人)	回 数 (回)	人 数 (人)	回 数 (回)
小学生	3	9 2	2	4 3	5	1 3 5
中学生	0	0	0	0	0	0
通訳者	1	9 2	1	4 3	2	1 3 5

### 14 人権教育の研修に関する事務

各学校における人権教育の充実のために、研修を行った。

#### (1) 大阪府教育委員会教育センターにおける研修への教員の参加

研 修 内 容	延べ人数 (実施回数)
就 学 前 人 権 教 育 研 修	1 人 (1 回)
小・中学校校長人権教育研修	2 2 人 (2 回)
小・中学校教頭人権教育研修	1 1 人 (1 回)

#### (2) 小・中学校の人権教育の校内研修及び児童・生徒・保護者の学習会・講演会

課 題 別	内 容	校 数
人 権	P T A 人 権 啓 発 研 修 会 ・ 教 育 講 演 会 等	5 校
	児 童 、 生 徒 理 解	1 1 校
障 が い 者 問 題	車 イ ス 体 験 学 習 ・ 車 イ ス ダ ン ス	5 校
	支 援 学 級 児 の 障 が い 理 解 ・ 授 業 研 究 等	1 1 校

課 題 別	内 容	校 数
在日外国人・国際理解	国際理解教育	8 校
男 女 平 等	セクシュアル・ハラスメント研修	11 校
平 和 教 育	社会見学・修学旅行・現地学習	11 校
	平和学習	11 校
部 落 問 題	部落問題学習	6 校

(3) 大阪府内各市の人権教育関係研究発表校の案内を各学校園に送付し、研修を奨励した。

## 15 特色ある教育実践事務

- ① 学力向上対策コーディネーターを配置し、本市の学力分析・学校支援・学力向上担当者を開催し市域全体の取組みを推進した。
- ② 小学校4・5・6年生、中学校1・2・3年生対象に、全国標準学力検査を実施し、課題を分析し学習指導に役立てた。
- ③ 「第2期四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画」に基づき、各校が学力向上に取り組んだ。小中学校の取組みに合わせて予算を配当し、各校の取組みに合わせた活用をした。
  - ・問題データベースを活用して、基礎基本の定着を図った。
  - ・実物投影機やノートパソコン、タブレットなどを使用してICT教育を充実させた。
  - ・発表ボードを活用し、自分の意見を発表する力を育成した。
- ④ 学習支援補助員と教育部職員が連携して、5月から月に2回の土曜フォローアップ教室を開催した。土曜日の学習習慣の定着・自学自習力の向上に努めた。また、楽しみながら学習できる教材を使用したり、体験的な学習を取り入れたりしながら、基礎基本の定着を図るとともに、子どもが興味・関心をもてるような学びの場を提供することができた。市民活動センターからくすのき小学校に会場を変更し、土曜日子ども教室に通う児童が参加しやすくなり、参加者数の増加が図れた。また、全会場で実験・考察的な学習「はてな科」、郷土愛を育む「なわて科」を開催した。

会 場	平成28年 5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	平成29年 1月	2月	3月
グリーンホール田原	131	119	115	98	88	40	59	55	32	48
市 役 所	173	129	121	93	86	94	70	70	96	83
教育文化センター	83	65	58	53	34	33	34	23	19	23
くすのき小学校	101	104	91	90	63	70	61	44	44	48
合 計	488	417	385	334	271	237	224	192	191	202

## 16 小中学校学力向上支援事務

小・中学校に学習指導員、学生ボランティアを配置することにより、授業中や放課後の学習支援を行い、児童・生徒の学習意欲の向上、きめ細かな学習支援を行い、学力向上に取り組んだ。

「四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画」の2期目を迎え、本施策に基づいた児童・生徒の個に応じた学習支援体制の更なる充実を図ることができた。

学 習 指 導 員        12人 2,646時間（小学校 7校 中学校 3校）

学生ボランティア    26人 1,800時間（小・中学校 11校）

## 17 小・中一貫教育研究事務

各中学校区において生徒指導や授業改善に係る合同研修会を行い、学校における課題や今後の方向性を共通理解し、日々の教育実践に活かすことができた。また、公開授業を実施し小中の教職員間で相互参観したり、6年生の児童が文化祭や体育祭を見学したりして、校種間の授業形態や行事の交流をすることで、教育内容の段差解消や9年間を見通した教育の推進を図ることができた。

## 18 命を意識し生きる力を育むプロジェクト実践事務

市民やさまざまな機関等との協働により、四條畷南小学校の児童を対象に、講師によるお話や体験学習等を通じた心に響くような「生命（いのち）の授業」を行うことで、児童の自己肯定感の醸成、自他の命を大切にす心の育成、虐待やいじめを乗り越える力の育成を図った。

## 19 学力向上研究事務

授業改善に向けて先進市の視察を行った。他府県の先進市における教育現場視察では、子ども主体の授業づくりについて学び、校長会や校内研修会、学力向上対策プロジェクトチーム会議や教育委員会ニュースを通じて、市域全体に広めることができた。また、教育フォーラム part 1 において、四條畷市立小・中学校教育研究会と共催とし、「アクティブ・ラーニング」実践報告をいただき、本市の授業改善の取組みの成果と課題について研究発表を行った。教育フォーラム part 2 では、地域連携推進本部、地域ボランティア、学校からそれぞれ、学校を核とした地域連携のあり方について報告いただき、大学教授を招聘し、家庭教育の充実・改善、学校と保護者・地域との関わりについて学んだ。

## 20 豊かな人間性をはぐくむ取組み推進事務

小学4年生～6年生及び中学1年生～3年生を対象にhyper-QU（学級集団状況調査）を実施し、アンケート結果をもとに望ましい学級集団の形成に取り組んだ。

## 21 教育センター運営事務

教育研究・人材育成の拠点として教員研修及び教育相談や学校支援に係る機能の充実を図るため、既存の教育支援センターを再構築し、教育センターを立ち上げた。平成27年度に引き続き、大阪府地域福祉・子育て支援交付金や不登校児童生徒への支援モデル事業を活用し、教育相談の専門的な人的配置（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、元教育関係職員等）、学校連携の構築、教育相談体制の充実を図ることができた。

適応指導教室入室者数

(単位：人)

	小 学 生	中 学 生
平 成 26 年	0	6
平 成 27 年	2	6
平 成 28 年	5	2

## 教育相談室における相談件数

	いじめ	不登校	進路問題	親子関係	生活全般	その他	合計
平成26年	3	53	1	2	5	9	73
平成27年	5	76	11	0	3	55	150
平成28年	2	142	12	12	12	44	224

## 22 英語教育推進事務

グローバル化に対応した国際共通語としての英語によるコミュニケーション力の基盤を築くため、全小学校の1年生から6年生までの全学年で、英語の「音」と「綴り」の関係を学ぶフォニックスを中心とした学習教材として大阪府が開発したオリジナルDVD教材「DREAM」を活用し、英語学習を行った。

## 23 道徳教育推進事業事務

大阪府が文部科学省から事業の委託を受けて実施する道徳推進事業において、四條畷南中学校が指定され事業を実施した。講師を招いての研修会の開催、研究大会への参加、市道徳推進連絡協議会の開催等を実施し、今後の道徳の授業づくりや評価活動の在り方について研究した。

### (1) 研究授業講師

開催年月日	研修内容	研修講師
平成28年8月25日	模擬授業 道徳の授業づくりについての講義	門真市立脇田小学校 教頭 杉江ゆかり氏
平成28年11月16日	校内研究授業 研究授業の参観・講評・講義	畿央大学 教授 島 恒生氏
平成29年1月19日	模範授業 授業づくり・評価の在り方について講義	立命館大学 非常勤講師 元龍谷大学 教授 牧崎 幸夫氏
平成29年2月21日	模擬授業 授業づくり・評価の在り方について講義	

(1) 関係諸機関連携

組 織 ・ 研 究 会 名	実 施 年 月 日
全日本中学校道徳教育研究会（石川県能美市）	平成28年10月27日・28日
全国小学校道徳教育研究会（愛媛県松山市）	平成28年11月10日・11日
近畿中学校道徳教育研究会（京都府亀岡市）	平成28年11月15日

各研修会の参加の推奨や資料の共有化を図り、また、市の道徳教育推進教師連絡会等を通して各学校と情報交換を行い、各学校での道徳教育の推進に努めた。

## 24 小学校安全対策事務

小学校正門における受付業務を学校安全協議会によって運営し、児童の安全確保及び学校の安全管理に努めた。

- ① 受付員ボランティア登録者数 63人
- ② 受付業務実施日数（市立小学校7校平均）

（単位：日）

	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月
日 数	15	18	22	13	4	19	19	19	16	16	20	17

## 25 小学校安全指導事務

下校時の子どもの安全確保に向けた「子どもの安全見守り隊」の取組み等により、地域における見守り活動のより一層の活性化を図るため、スクールガード・リーダーを配置し、学校・地域及び警察等の関係機関の連携強化に努めた。

## 26 就学援助助成事務（小・中学校）

(1) 就学援助制度

経済的理由によって、就学が困難であると認定した児童生徒の保護者に学用品費、通学用品費、給食費、修学旅行費、校外活動費、新入学学用品費、医療費及び林間学習費（要保護者は、医療費及び修学旅行費のみ。）の援助を行った。

① 認定対象児童・生徒数（就学援助）

（単位：人）

区 分 年 度	小 学 校		中 学 校		合 計	
	要 保 護	準 要 保 護	要 保 護	準 要 保 護	要 保 護	準 要 保 護
平成28年度	29	628	13	374	42	1,002
平成27年度	30	683	11	411	41	1,094
増 減	△1	△55	2	△37	1	△92

② 平成28年度の財源内訳（就学援助）

（単位：円）

国 庫 支 出 金	そ の 他	一 般 財 源	合 計
139,000	0	77,229,094	77,368,094

③ 項目別の内訳（就学援助）

（単位：人・円）

区 分 項 目	小 学 校		中 学 校		合 計	
	児 童 数	金 額	生 徒 数	金 額	児 童 生 徒 数	金 額
学用品費及び 通学用品費	634	8,054,115	374	8,656,695	1,008	16,710,810
校 外 活 動 費	613	813,962	202	275,242	815	1,089,204
給 食 費	632	27,585,940	370	18,223,850	1,002	45,809,790
修 学 旅 行 費	131	2,758,223	120	5,142,732	251	7,900,955
医 療 費	51	261,020	27	77,780	78	338,800
新 学 入 学 費 用 品 費	68	1,391,960	119	2,802,450	187	4,194,410
林 間 学 習 費	114	384,725	153	939,400	267	1,324,125
合 計	2,243	41,249,945	1,365	36,118,149	3,608	77,368,094
平 成 2 7 年 度	2,484	45,440,356	1,455	39,063,299	3,939	84,503,655
増 減	△241	△4,190,411	△90	△2,945,150	△331	△7,135,561

(2) 支援教育就学奨励制度

支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し就学を奨励するため、学用品費、通学用品費、給食費、修学旅行費、校外活動費、新入学学用品費及び林間学習費の援助を行った。

① 認定対象児童・生徒数（特別支援教育）

(単位：人)

区 分 年 度	小 学 校		中 学 校		合 計	
	要 保 護	準要保護	要 保 護	準要保護	要 保 護	準要保護
平成28年度	0	80	0	26	0	106
平成27年度	0	74	0	23	0	97
増 減	0	6	0	3	0	9

② 平成28年度の財源内訳（特別支援教育）

(単位：円)

国 庫 支 出 金	その他の特定財源	一 般 財 源	計
1,671,000	0	1,677,004	3,348,004

③ 項目別の内訳（特別支援教育）

(単位：人・円)

区 分 項 目	小 学 校		中 学 校		合 計	
	児童数	金 額	生徒数	金 額	児童生徒数	金 額
新入学学用品費 及び通学用品費	15	152,727	9	105,975	24	258,702
学用品費及び 通学用品費	51	208,997	12	72,278	63	281,275
校 外 活 動 費	80	51,417	13	9,586	93	61,003
林 間 学 習 費	15	25,514	15	45,750	30	71,264
修 学 旅 行 費	9	94,399	8	173,597	17	267,996
給 食 費	79	1,781,864	25	625,900	104	2,407,764
合 計	249	2,314,918	82	1,033,086	331	3,348,004
平成27年度	223	2,077,726	67	885,351	290	2,963,077
増 減	26	237,192	15	147,735	41	384,927



## 27 私立幼稚園助成事務

私立幼稚園の教育振興のため、市内私立幼稚園に対し、私立幼稚園教育振興補助金として900,000円の補助を行った。また、支援教育の充実を図るため、市内私立幼稚園に対し、私立幼稚園支援教育推進事業補助金として368,000円の補助を行った。

## 28 就園奨励費補助金に関する事務

私立幼稚園の設置者が在園する園児の保護者に対して保育料等を減免した場合、幼稚園就園奨励費補助金を交付した。

### ① 総括表

(単位：人・円)

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	減免額
I. 第1子	2	84	98	124	308	25,311,900
II. 第2子	1	70	75	68	214	41,546,700
III. 第3子	1	16	12	4	33	8,974,000
合計	4	170	185	196	555	75,832,600
平成27年度	8	164	199	215	586	76,850,400
増減	△4	6	△14	△19	△31	△1,017,800

### ② 第1子

(単位：人・円)

所得階層区分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	減免単価限度額	減免額
(1) 生活保護世帯	0	0	0	0	0	308,000	0
(2a) 市町村民税非課税世帯 (ひとり親世帯除く)	0	5	9	5	19	282,000	4,996,000
(2b) 市町村民税非課税世帯 (ひとり親世帯)	0	0	2	3	5	308,000	1,234,000
(3a) 市町村民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯除く)	0	2	1	1	4	282,000	1,072,000
(3b) 市町村民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯)	0	0	0	0	0	308,000	0
(4a) 所得税課税額 77,100円以下 (ひとり親世帯除く)	0	17	7	7	31	125,200	3,617,300
(4b) 所得税課税額 77,100円以下 (ひとり親世帯)	0	0	1	1	2	227,000	454,000
(5) 所得税課税額 211,200円以下	2	60	54	71	187	78,200	13,341,900
(6) 上記区分以外の世帯			24	36	60	10,000	596,700
計	2	84	98	124	308		25,311,900

③ 第 2 子

(単位：人・円)

所得階層区分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	減免単価限度額	減 免 額
(1) 生活保護世帯	0	0	0	0	0	308,000	0
(2a) 市町村民税非課税世帯 (ひとり親世帯除く)	0	9	3	3	15	300,000	3,797,000
(2b) 市町村民税非課税世帯 (ひとり親世帯)	0	0	2	2	4	308,000	1,092,000
(3a) 市町村民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯除く)	0	1	0	2	3	300,000	794,000
(3b) 市町村民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯)	0	0	0	0	0	308,000	0
(4a) 所得税課税額 77,100円以下 (ひとり親世帯除く)	0	2	5	8	15	221,000	3,129,300
(4b) 所得税課税額 77,100円以下 (ひとり親世帯)	0	1	0	1	2	308,000	614,000
(5) 所得税課税額 211,200円以下	0	45	50	37	132	195,000	25,236,000
(6) 上記区分以外の世帯	1	12	15	15	43	164,000	6,884,400
計	1	70	75	68	214		41,546,700

④ 第 3 子

(単位：人・円)

所得階層区分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	減免単価限度額	減 免 額
(1) 生活保護世帯	0	0	0	0	0	308,000	0
(2a) 市町村民税非課税世帯 (ひとり親世帯除く)	0	3	3	1	7	308,000	1,916,000
(2b) 市町村民税非課税世帯 (ひとり親世帯)	0	0	0	0	0	308,000	0
(3a) 市町村民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯除く)	0	0	0	0	0	308,000	0
(3b) 市町村民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯)	0	0	0	0	0	308,000	0
(4a) 所得税課税額 77,100円以下 (ひとり親世帯除く)	0	3	6	1	10	308,000	2,770,000
(4b) 所得税課税額 77,100円以下 (ひとり親世帯)	0	0	0	1	1	308,000	240,000
(5) 所得税課税額 211,200円以下	0	7	2	1	10	308,000	2,756,000
(6) 上記区分以外の世帯	1	3	1	0	5	308,000	1,292,000
計	1	16	12	4	33		8,974,000

## (3) 平成28年度 幼稚園就園奨励費補助金財源内訳

(単位：円)

国庫支出金	府支出金	地方債	その他の 特定財源	一般財源計	計
22,080,000	0	0	0	53,752,600	75,832,600

## 29 各校児童・生徒転出入状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日 (単位：人)

校種		平成28年5月1日在籍			転入者			転出者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
小 学 校	田原小	352 (355)	329 (341)	681 (696)	3 (14)	8 (7)	11 (21)	3 (4)	7 (4)	10 (8)
	暁小	284 (309)	267 (268)	551 (577)	6 (3)	7 (3)	13 (6)	6 (4)	6 (8)	12 (12)
	南小	93 (101)	92 (97)	185 (198)	5 (1)	2 (0)	7 (1)	1 (2)	3 (3)	4 (5)
	忍小	260 (253)	201 (218)	461 (471)	4 (3)	2 (8)	6 (11)	2 (3)	5 (1)	7 (4)
	東小	125 (133)	119 (134)	244 (267)	1 (5)	5 (3)	6 (8)	2 (6)	5 (4)	7 (10)
	岡部小	317 (341)	267 (276)	584 (617)	3 (4)	5 (7)	8 (11)	5 (2)	8 (3)	13 (5)
	くすのき小	246 (259)	241 (250)	487 (509)	6 (3)	3 (3)	9 (6)	3 (5)	4 (4)	7 (9)
	計	1,677 (1,751)	1,516 (1,584)	3,193 (3,335)	28 (33)	32 (31)	60 (64)	22 (26)	38 (27)	60 (53)
中 学 校	暁中	314 (314)	273 (298)	587 (612)	0 (3)	3 (4)	3 (7)	3 (1)	3 (1)	6 (2)
	南中	164 (209)	129 (168)	293 (377)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (3)	4 (3)	5 (6)
	西中	276 (255)	237 (222)	513 (477)	4 (0)	2 (4)	6 (4)	2 (2)	5 (2)	7 (4)
	田原中	204 (211)	172 (176)	376 (387)	1 (3)	1 (2)	2 (5)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
	計	958 (989)	811 (864)	1,769 (1,853)	5 (6)	7 (11)	12 (17)	6 (6)	14 (6)	20 (12)
合 計	2,684 (2,789)	2,366 (2,487)	5,050 (5,276)	33 (39)	39 (42)	72 (81)	28 (32)	52 (33)	80 (65)	
( )内は、平成27年5月1日現在の人数				( )内は、平成27年度的人数						

# 学校給食センター

## 1 給食センター管理運営事務

### (1) 給食内容の充実

食数は、5,579食、年間延べ191回実施した。安心・安全でおいしい給食を実施するにあたり、学校給食センター職員全員が日々それぞれの業務での連携を図りながら向上に努めた。学校給食理事会・学校給食センター運営委員会・専門委員会を開催、また、調理業務・衛生管理・給食内容・食育等の検証や意見交換、報告等を行った。さらには、毎月献立委員会を実施し、日々の残菜調査結果を元に給食内容の質の向上を図ると共に、子どもたちが喜び、心身の健全な発達に繋がる献立を実施した。地方創生加速化交付金を活用した取組みでは、地場産の野菜や肉を取り入れたなわてオリジナル食品を15品開発し給食で提供した。併せて、学校の要望にもある、小学校1年生の給食初日には飲むヨーグルトを出したり、配膳しやすい献立を実施し、中学校3年生には、卒業前に思い出の残る献立として生徒達が要望した献立を実施した。

食品の放射性物質に関する取組みでは、これまでどおり学校給食で使用する全ての野菜・肉類・魚類・加工品・調味料に対し、検査結果の提出を求めた。それに加えて、大阪府教育庁保健体育課が実施する放射性物質検査にその中から毎月2検体提出し、その結果を献立表やホームページに掲載し、さらに食材選定には慎重に取り組んだ。

アレルギー対策では、学校給食予定献立表（アレルギー別表）を毎月学校に配布するとともに、進学や入学時の引継ぎに注意喚起を行った。また、学校からの情報を学校教育課と共有し、安心感の向上に努めた。

### (2) 学校給食における食育推進について

地産地消の観点から、地場産野菜等の使用率を25%に置き、給食によく使う野菜の栽培依頼やオリジナル食品の開発に取り組むとともに、四條畷西地域の地場米を一学期間の米飯日29回=18,204kg使用した。また、田原産「エコ米」年間7回=3,208kg「たまねぎ」年間20回=3,463kg「味噌」年間14回=468kg「ねぎ」年間42回=1,111kg「チンゲン菜」年間7回=707kg「小松菜」年間26回=1,394kgを使用することで、地場産率を昨年度の21%から30%まで引き上げることができた。さらには、このことを献立表で紹介することで、児童・生徒

及び保護者に対し、地産地消についての意識の向上に努めた。

四條畷小学校では年間を通し、給食委員会の活動を支援・指導し、田原小学校では、2年生はグリーンファームにて収穫体験を実施し、収穫した野菜を次の日の給食で提供するとともに、児童の収穫した野菜がイオンモール四條畷の産地コーナー（グリーンファーム）で販売された。また、3年生には、食育授業として野菜や給食作りの大変さを紹介するとともに、学校全体で給食あと片付けコンテストを実施してくれたことで、残菜を減らすことができた。

第6回の学校給食食育まつりでは、開発した食品の誕生のエピソード等の紹介や学校給食会の契約業者が開発した地場産野菜入り食品を含めた品評会を実施し、高評価の食品は後の給食で提供した。給食試食会では小学校7校・支援学校1校の290人の保護者と意見交換した。

地方創生加速化交付金を活用し、設置した高床式砂栽培設備では、朝収穫した野菜が昼の給食で出せることから、より安全・安心・新鮮でおいしい給食提供が実現した。また、この農法は農薬を使用せず砂の入替や耕す必要がないため軽作業で、障がい者等の雇用創生や、子どもたちの収穫体験等の学習の場としても活用できる。

### (3) 衛生管理と研修

平成25年11月に取得した世界基準である食品安全マネジメントシステムISO22000の衛生管理体制のもと調理運営を行った。受託会社には、2人の栄養士を総括責任者・衛生管理者として配置し、日々の調理業務の衛生管理の徹底を図っている。また、ISO22000の検査機関による調理場の器具・機械等と加熱前後の食品の細菌検査、全ての衛生・安全チェックを実施し、調理場内の衛生管理を徹底すると共に、調理員への衛生研修や試験（年2回）を実施することで意識の向上と持続を図った。

### (4) 施設整備計画と省エネルギー化

厨房機器や施設の経年劣化対策として、施設整備3カ年計画が終了し、安定した調理業務が可能となり、災害時にもライフラインの水・ガス・電気が常に整い、食の提供ができる施設となった。また、ガス・コージェネレーション設備設置の効果と、ガス・電力自由化に伴うガス得プランを活用したことにより、光熱水費の削減額が昨年の年間6,960,074円から今年度は年間12,636,711円（平成29年度歳入）となった。

## (5) 学校給食の実施状況

(人員数は各年5月1日現在)

年 度	小・中 学 校				学 校 数 (校)	給 食 費		給 食 回 数 (回)	職 員		調 理 施 設 (セ ン タ ー 数) (箇所)	給 食 配 送 車 両 数 (台)
	児 童 数 (人)	生 徒 数 (人)	教 職 員 数 (人) (介 助 員 等 を 含 む)	合 計 (人)		1人1ヶ月当たり			事 務 職 員 (人)	栄 養 士 (人)		
						単 価(円)						
						小 学 校	中 学 校					
24	3,764	1,808 支援 236	457 支援 95	6,360	12	3,900	4,300	190	2	3	1	4
25	3,590	1,866 支援 240	458 支援 110	6,264	12	3,900	4,300	189	2	3	1	4
26	3,459	1,867 支援 250	470 支援 124	6,170	12	4,200	4,600	192	2	3	1	4
27	3,335	1,853 支援 111	446 支援 64	5,809	12	4,200	4,600	189	2	3	1	4
28	3,193	1,769 支援 125	417 支援 75	5,579	12	4,200	4,600	191	2	3	1	4

## 地 域 教 育 課

急速かつ大規模な社会変動に対処し、人々の高度化・多様化する要求に応えるため各社会教育施設・関係団体と連携を図り施策の推進に努めた。

### 1 なわてふれあい教室運営事務

市内公立小学校（7校）の余裕教室等を活用し、放課後児童対策として1年生から6年生までの児童を対象に安全確保及び生活支援などを行うとともに、各教室指導員を中心に学年の枠を越えた集団活動を通して児童の健全育成を図った。

また、四條畷ふれあい教室保護者会連絡会等からの要望及びふれあい教室利用の保護者を対象とした「ふれあい教室利用に関する意識調査結果」を踏まえ、18時30分から19時までの時間外利用について「ふれあい教室延長利用見直し等検討会」で議論を重ね、平成29年4月から実施することとして四條畷市立なわてふれあい教室条例及び同規則の改正を行った。

入室者数（平成29年3月1日現在）

（単位：人）

ふれあい教室名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
東ふれあい教室	10 (0)	7 (2)	6 (1)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	30 (3)
くすのきふれあい教室	22 (0)	32 (1)	11 (0)	9 (1)	0 (0)	2 (1)	76 (3)
岡部ふれあい教室	37 (0)	38 (1)	9 (2)	10 (1)	3 (0)	0 (0)	97 (4)
四條畷ふれあい教室	30 (0)	28 (2)	18 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	78 (4)
南ふれあい教室	14 (1)	12 (1)	8 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	37 (3)
忍ヶ丘ふれあい教室	21 (0)	7 (0)	16 (0)	6 (1)	2 (0)	0 (0)	52 (1)
田原ふれあい教室	46 (0)	28 (0)	16 (0)	5 (1)	6 (0)	0 (0)	101 (1)
合 計	180 (1)	152 (7)	84 (4)	39 (5)	13 (1)	3 (1)	471 (19)

※（ ）内はうち障がい児数

## 2 市史編さん事務

四條畷の歴史を調査・研究し活字資料として残すこと、市史を有効活用してもらうことにより郷土愛を育成することなどを目的としている。

平成28年度は、市史編さん委員会において民俗編の内容等について検討を行い、各執筆者の調査研究執筆項目について確定した。また各執筆者からの四半期ごとの報告書を取りまとめ、進捗状況の管理を行った。

『四條畷市史』（第一巻～第五巻）、『こども歴史 わたしたちの四條畷』、『歴史とみどりのまち ふるさと四條畷』を販売した。

## 3 体育文化奨励賞事務

体育及び文化活動の振興・発展を促進するため、特に功績が顕著な団体及び個人に対し、第26回表彰式を平成28年12月4日に実施、1団体、個人17人を表彰した。

体 育	1 団体、個人13人
文 化	個人 4 人

## 4 文化活動活性化事務

四條畷市文化芸術振興計画の期間満了に伴い、「四條畷市文化芸術振興計画進捗状況等意見聴取会」を3回開催し計画改正に向けた意見を聴取した。また、市民意見公募を実施・計画の見直しを行い「第2次四條畷市文化芸術振興計画」を策定した。

各種の文化芸術活動を行っている市民に対し、発表する場を提供することにより、広く文化芸術活動への参加意欲を高めるとともに地域文化意識の普及と振興に努めた。

### (1) 市民文化祭の開催

地域文化の向上や創作活動の普及、促進を図るため、市民の文化芸術活動を発表する場として市民文化祭を開催した。ゲストとして<sup>カシュ カシュ</sup>cache cacheさんによる楽器演奏が行われた。

開催期日	平成28年11月5日～平成28年11月6日
場 所	市民総合センター
出演団体数	35団体
展 示 数	246点
模擬・バザー	11団体
参加者数	延べ 2,000人



## 5 IT活用・普及事務

### IT基礎講習会の開催

市民が市のホームページを閲覧し、意見を寄せたりするのに必要な手段であるインターネット、電子メール交換の技能を習得できるようITボランティアサークル「e-なわて」のメンバーが講師になって講習会を開催した。

	パソコン基礎講習会	年賀状作成講習会
回数 (回)	8	2
参加者 (人)	22	13

## 6 識字推進事務

識字・日本語教室の代表者参画のもと、教育委員会が策定した「四條畷市識字施策推進指針」において、同指針を計画的に運用し識字を推進していくため、平成22年3月に策定した「四條畷市識字基本計画」をもとに、非識字者に対する取組みを行った。

また、同計画の期間満了に伴う見直しを行い、平成29年3月に「第2次四條畷市識字基本計画」として改定を行った。

### (1) 四條畷市識字推進連絡会

「四條畷市識字推進連絡会」は市内で活動する識字・日本語教室と行政とで設立され、相互の情報交換やさまざまな問題、課題点の共有化とその解決に向けた識字活動に取り組んでいる。平成28年度は年2回の連絡会を開催し、主に「第2次四條畷市識字基本計画」の策定に向けた意見交換を行った。

#### <識字・日本語学級>

- ① 「みんなきてや学級」：知的、身体的に障がい等を有する人等を対象に活動

教室開催回数：年17回

- ② 「四條畷市にほんご教室」：地域で暮らす外国人等を対象に活動

教室開催回数：年97回

### (2) 第17回「北河内識字・日本語交流会」の開催

北河内7市の識字・日本語教室の学習者、支援者及び識字担当者が集まり、交流等を行った。全体会では各教室の紹介、分科会では日本の伝統文化や伝承遊び体験等で交流を深める

とともに情報交換を行った。

開催年月日：平成29年2月5日

場 所：枚方市立メセナひらかた会館

参加教室数：19教室

参加人数：275人（内、四條畷市の参加者 25人）

### (3) 庁内識字連絡会の開催

「四條畷市識字基本計画」の計画的運用を行うため、各課より職員の参加を求め平成22年より庁内識字連絡会を設置している。

庁内識字連絡会を開催し、識字基本計画の取組み及び識字問題の課題の共有を図るとともに、「公用文書等のふりがな表記の基準」の取組みについて全庁的な進捗状況の確認及び同基準の周知に努めた。また、「四條畷市識字基本計画」の改定に向けた議論を行った。

開催回数：2回／年

### (4) 識字基本計画進捗状況等意見聴取会の開催

「四條畷市識字基本計画」に係る年次計画進捗状況等の確認及び「第2次四條畷市識字基本計画」の改定に向け意見聴取した。平成28年度は3回意見聴取会を行った。

## 7 社会教育関係団体事務

社会教育関係団体の自主活動を支援するため、自立事業に対する補助金の支出及び発展に資する情報の提供を行った。

## 8 教育文化センター運営事務

平成26年4月1日から平成29年3月31日までの4年間を委託期間とする指定管理者として、阪奈エンタープライズ株式会社に平成28年度管理運営業務の委託を行った。本年度の利用状況は次のとおりである。

室別・時間帯別使用件数

(単位：件)

室名・時間帯別	月	平成28年										平成29年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開館日数(日)		29	30	29	30	30	29	30	29	27	26	27	30	346	
ホール	9:00~12:00	16	18	17	19	16	19	19	18	19	19	16	19	215	
	13:00~17:00	15	19	18	22	17	20	24	24	16	17	16	18	226	
	18:00~21:30	15	16	20	17	19	20	22	21	19	18	24	23	234	
	計	46	53	55	58	52	59	65	63	54	54	56	60	675	
会議室1	9:00~12:00	5	10	9	10	8	7	13	10	12	8	8	11	111	
	13:00~17:00	10	17	16	21	19	18	21	18	17	14	14	17	202	
	18:00~21:30	10	9	8	11	11	14	19	14	11	6	8	12	133	
	計	25	36	33	42	38	39	53	42	40	28	30	40	446	
会議室2	9:00~12:00	6	7	13	10	4	12	9	10	7	4	10	8	100	
	13:00~17:00	11	13	17	14	12	18	16	17	11	11	14	16	170	
	18:00~21:30	1	2	6	2	1	1	6	3	4	2	5	2	35	
	計	18	22	36	26	17	31	31	30	22	17	29	26	305	
和室	9:00~12:00	15	10	13	14	9	16	13	13	13	9	14	12	151	
	13:00~17:00	12	14	15	16	12	17	15	16	16	12	15	14	174	
	18:00~21:30	8	7	10	8	8	8	7	7	6	7	7	7	90	
	計	35	31	38	38	29	41	35	36	35	28	36	33	415	
平成28年度合計	9:00~12:00	42	45	52	53	37	54	54	51	51	40	48	50	577	
	13:00~17:00	48	63	66	73	60	73	76	75	60	54	59	65	772	
	18:00~21:30	34	34	44	38	39	43	54	45	40	33	44	44	492	
	計	124	142	162	164	136	170	184	171	151	127	151	159	1,841	
平成27年度合計	9:00~12:00	36	44	43	49	37	64	53	39	41	41	42	45	534	
	13:00~17:00	49	52	58	63	54	68	63	59	58	49	65	57	695	
	18:00~21:30	33	34	37	36	25	38	37	31	30	30	35	35	401	
	計	118	130	138	148	116	170	153	129	129	120	142	137	1,630	
対前年度比較	9:00~12:00	6	1	9	4	0	△10	1	12	10	△1	6	5	43	
	13:00~17:00	△1	11	8	10	6	5	13	16	2	5	△6	8	77	
	18:00~21:30	1	0	7	2	14	5	17	14	10	3	9	9	91	
	計	6	12	24	16	20	0	31	42	22	7	9	22	211	

9 市民活動センター運営事務

旧北出小学校を市民活動センターとし、市民の自主的な生涯学習活動及びコミュニティー活動の場として、管理及び運営を行った。

市民活動センター内の給水管及び市民活動センター体育館の照明灯球の修繕を1回行った。

本年度の利用状況は次のとおりである。

室別使用件数

(単位：件)

	平成28年										平成29年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
体育館	73	78	74	50	69	73	82	71	73	60	64	77	844	
多目的室(1)	45	46	56	61	52	45	58	59	56	53	61	68	660	
多目的室(2)	47	49	49	52	50	46	65	56	53	53	55	65	640	
合計	165	173	179	163	171	164	205	186	182	166	180	210	2,144	

## 10 地域教育課運営事務

(1) 指導者の相互の研究を重ね、専門的指導員を配置した。

社会教育指導員の配置 1人

社会教育委員会議の開催 2回

社会教育委員の研修

近畿地区社会教育研究大会 2人

北ブロック（豊能・三島・北河内地区）社会教育委員連絡協議会研修会 2人

社会教育委員勉強会 7回

	開催年月日	内 容
第1回	平成28年7月12日	1. 子ども・若者の健全育成～青少年の健全育成～について ・放課後児童の居場所づくり事業
第2回	平成28年8月19日	1. 生涯学習の支援～自ら学ぶ環境づくり～ ・公民館夏休みキッズランド見学
第3回	平成28年10月21日	1. 識字施策の取組み～識字・日本語教室の現場から～ ・四條畷市にほんご教室の見学
第4回	平成28年12月9日	1. 郷土愛の醸成～文化財の保護と活用～ ・「四條畷市史」第五巻（考古編）刊行記念 第31回特別展「ヒスイのきらめき -北河内からみた交流と縄文のまつり-」見学
第5回	平成29年1月16日	1. 学力の向上 ・中学校の授業見学 2. 食育の推進 ・給食試食・給食センター見学
第6回	平成29年2月11日	1. 読書活動の拡充 ・ビブリオバトル参加
第7回	平成29年3月28日	1. 四條畷市総合公園の視察

(2) 指定管理者の評価及び選定

指定管理者が制度の目的に沿って適切に管理運営がなされているかを判断するため、平成28年10月19日と10月20日の2日間に四條畷市教育委員会指定管理者選定・評価委員会を開催し、市立市民総合体育館及び体育施設、市立野外活動センター、市立歴史民俗資料館、市立教育文化センター、四條畷市市民総合センター及び市立公民館の各指定管理者の平成27年度の評価を実施した。

## 11 地域教育課主催講座開催事務

### (1) 第21回いきいき親子運動会の開催

1歳から4歳の子どもとその保護者が、身体の動かし方、遊び方や手作りおもちゃの温かさを学びながら、他の親子との交流を図った。

開催年月日：平成29年2月24日

場 所：市民総合体育館 メインアリーナ

対 象：1歳から4歳までの子どもとその保護者

参 加 者：82組

### (2) 親学習講座の開催

市域全体で「親学習」を促進し、誰もが安心して育児ができる地域づくりを推進するため、大阪府及び四條畷市PTA協議会と共催し、「親まなび研修会」を開催した。

講師オリジナルの教材を用い、親学習リーダーの進行により子育て中の保護者が子育ての悩みや不安を話し合い、親としてのあり方を学ぶ場とした。

開催年月日：平成29年2月20日

場 所：市立公民館 会議室4

対 象：各小・中学校母親代表委員

参 加 者：14人

## 12 成人式に関する事務

平成29年1月9日の成人の日に611人の新成人を迎え、大人になったことを自覚し、21世紀を担う青年を祝い励ますため、アトラクション（ものまね）や抽選会及び恩師からのビデオレターを盛り込んだ成人式を開催した。なお、成人式については、新成人によって組織された実行委員会が企画及び立案を行った。

## 13 青少年団体事務

### 青少年指導員活動

地域における青少年の健全育成と非行防止を推進するため、各地区から推薦され市長から委嘱された青少年指導員60人が諸活動を展開した。

青少年指導員協議会 総 会 年 1回

理事会 年 12回

主な活動は次のとおりである。

- ① 地域の啓発活動や環境整備に努め、校区指導員会を中心に諸団体との連携を強化し、街頭指導等の青少年健全育成活動を行った。
- ② 市内の小・中学生26人の参加を得て平成28年8月20日から21日にかけて四條畷市立野外活動センターで「畷ふれあいワイワイキャンプ」を実施した。
- ③ 市主催の成人式や市民の集い、第3回四條畷市マラソン大会に参加協力した。
- ④ 青少年指導員の養成を図るため、大阪府及び北河内地区で開催された指導員研修会に参加した。

#### 14 野外活動センター運営事務

野外活動センターにおける平成27年度管理運営業務について、平成23年4月1日から平成28年3月31日までを委託期間とする指定管理者として、特定非営利活動法人ナックに委託を行った。野外遊具の修繕及び常設テントの新規購入を行った。

また、市民の野外活動促進や青少年の健全育成のため、次のとおり事業を実施した。

##### (1) 施設利用状況

事業	人数 件数	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
日帰り キャンプ	人数 (人)	1,192	1,986	901	1,715	1,577	505	1,207	1,417	657	185	189	619	12,150
	件数 (件)	71	141	44	56	55	39	65	37	17	8	14	36	583
宿泊 キャンプ	人数 (人)	-	-	-	324	680	68	123	-	-	-	-	-	1,195
	件数 (件)	-	-	-	14	20	3	10	-	-	-	-	-	47
天体観測	人数 (人)	38	29	0	5	71	28	71	14	26	8	25	39	354
	件数 (件)	13	7	0	1	20	9	5	5	2	2	1	4	69
平成28年度 合計	人数 (人)	1,230	2,015	901	2,044	2,328	601	1,401	1,431	683	193	214	658	13,699
	件数 (件)	84	148	44	71	95	51	80	42	19	10	15	40	699

事業	人数 件数	平成 28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成 29年 1月	2月	3月	合計
平成27年度 合計	人数 (人)	614	2,362	770	1,099	1,090	1,063	955	369	212	162	199	582	9,477
	件数 (件)	44	83	39	51	68	124	63	22	20	13	13	34	574
対前年度 比較	人数 (人)	616	△347	131	945	1,238	△462	446	1,062	471	31	15	76	4,222
	件数 (件)	40	65	5	20	27	△73	17	20	△1	△3	2	6	125

## 15 放課後子ども教室推進事務

すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に体験学習やスポーツ、文化活動、学習活動の取り組みを推進することを目的として「放課後子ども教室推進事業」を実施した。

また、ふれあい教室との合同プログラムを各小学校で2回ずつ実施した。

新たに、市内4箇所の会場で行っている土曜日フォローアップ教室連携事業として、理科や科学実験から学習への興味につなげる「はてな科」や四條畷の郷土に対する理解・愛着を深めることを目的とした「なわて科」プログラムを各1回行った。

学 校 名	放 課 後 子 ども 教 室		まなび舎（放課後子ども教室の内数）	
	開催日数（日）	参加人数（人）	開催日数（日）	参加人数（人）
田 原 小 学 校	30	2,256	14	662
四 條 畷 小 学 校	82	2,062	21	539
四 條 畷 南 小 学 校	110	1,764	19	246
忍ヶ丘小学校	93	1,294	25	177
四 條 畷 東 小 学 校	80	763	23	132
岡 部 小 学 校	36	805	10	145
くすのき小学校	76	1,951	10	285

(土曜日フォローアップ教室内事業)

場 所 名	放課後子ども教室の内数	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)
田 原 支 所	2	6 2
四 條 畷 市 役 所	2	7 6
教育文化センター	2	1 6
くすのき小学校	2	5 1

## 16 子ども・若者育成支援事務

平成26年度に策定した「四條畷市子ども・若者育成支援行動計画」に基づき、課内にひきこもり相談窓口を設置し、下記の通り窓口相談に応じた。

四條畷市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議では、関係機関の連携のあり方検討や情報交換を行った。

また、ひきこもり等にある人の保護者向けセミナー兼居場所づくり事業である「Café Peer Pocket (カフェ・ピアポケット)」を合計13回行い、延べ92人の参加があった。また、ひきこもり当事者の居場所づくり事業である「Flat Peer Pocket (フラット・ピアポケット)」を合計3回行い、2人の参加があった。

- ・窓口相談件数 10件
- ・四條畷市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 1回

## 17 文化財保護事務

「緑と歴史をいかしたにぎわいあるまちをめざして」を多くの市民に深く理解していただく場として、歴史民俗資料館の活用を図った。

地域の開発事業に伴って、事前に埋蔵文化財保護のための確認調査および試掘調査を実施し、遺跡の保護に努めた。その結果、土木工事によって遺跡を破壊する部分に関しては、発掘調査を実施するとともに出土品の整理と保存・公開を図った。

また、市内の貴重な文化財を継承・保護・活用していくため、四條畷市文化財保護条例に基づき、四條畷市文化財保護審議会を2回開催した。第1回目では国史跡指定を目指す飯盛城跡



について航空レーザー測量の成果報告、第2回目では飯盛城跡の現地調査視察を行った。

大阪府と府下の市町村がネットワークを構築し、行政区域を越えた広域的な生涯学習の事業である「大阪府・市町村生涯学習ネットワーク会議」の事業の一環として行われている「生涯学習広域講座 おおさかふみんネット」について、北河内ブロックの広域講座を「聞く・見る・歩く 北河内パート17」というテーマで北河内7市のうち3市が交代で担当市として、それぞれのテーマで市内散策と講座を実施した。大阪府下からの参加者は延193人であった。本市は毎年担当市として参加しており、平成28年度は「きらめくヒスイと北河内の縄文時代」と題して開催し、第31回特別展『ヒスイのきらめき—北河内からみた交流と縄文のまつり—』を見学した後、更良岡山遺跡・讚良川遺跡・砂遺跡など縄文時代の集落跡を巡り、最後に近畿地方最古段階の弥生文化が入ってきた讚良郡条里遺跡を散策した。

大阪府教育委員会文化財保護課が主催する大阪府文化財愛護推進委員会の一つである河北文化財愛護推進委員連絡協議会においては、市内在住の2人の委員と共に事務局として会議や研修会に参加し、府下の他市町村の委員との交流の中で文化財に関する情報交換などの活動を行った。

なわて出前講座として「市内の古道の散策と遺跡」を1回実施した。これは、平成28年度に実施したなわて出前講座の4.2%にあたり、参加者の合計は15人であった。

その他、新規採用職員研修、小中学校初任者等及び10年経験者研修、四條畷市観光ボランティアガイド養成講座、枚方市生きがい創造学園主催の「歴史への誘い講座」において、それぞれ講師として参加した。

本市文化財に関する市外への情報発信として、刊行物等への掲載としては、平成28年7月4日発行の『歴史REAL 天皇と争乱の古代史』に奈良井遺跡出土馬飼育道具の写真、平成28年9月発行のまりこふん著『はにわ』に忍ヶ丘駅前遺跡出土子馬形埴輪の写真、平成28年9月発行の『ビジュアル戦国王7号』に飯盛城跡縄張測量図、平成29年2月発行の秋山浩三著『弥生時代のモノとムラ』に雁屋遺跡出土器台の写真、平成29年4月公開予定の株式会社島田組ホームページ・Facebook・Youtubeへ飯盛城跡確認調査の動画、平成29年10月21日発行予定の『深堀村から深堀町への変遷 聞き語りと記録』に歴史民俗資料館所蔵民俗資料の写真掲載を行なった。

展示会等への出品としては、平成28年7月16日から8月29日まで大阪歴史博物館で開催された特別企画展「都市大阪の起源をさぐる 難波宮前夜の王権と都市」へ奈良井遺跡出土品をはじめとした馬飼関係資料、平成28年9月9日から12日まで京セラドーム大阪スカイホールで

開催された「第2回河内の國今昔フェスタ」へ市内文化財等の展示パネル、平成28年9月24日から12月25日まで大阪府立弥生文化博物館で開催された平成28年度秋季企画展「キリシタン墓とその前史―摂津の人びとが生きた証―」へ千光寺跡出土の田原礼幡キリシタン墓碑等、平成28年10月8日から12月4日まで大阪府立狭山池博物館で開催された平成28年度特別展「河内の開発と渡来人―葦屋北遺跡の世界―」へ南山下遺跡出土の馬形埴輪と忍ヶ丘駅前遺跡出土の子馬形埴輪、平成28年10月15日から11月13日まで生駒ふるさとミュージアムで開催された平成28年度秋季企画展「生駒山をめぐる東と西の交流―古墳時代の馬からみた奈良と大阪―」へ岡山南遺跡出土の木製下駄をはじめ古墳時代の馬飼関係資料、平成29年1月21日から3月20日まで大阪府立近つ飛鳥博物館で開催された平成28年度冬季企画展「歴史発掘おおさか2016」へ岡山南遺跡出土子持ち勾玉と土器、平成29年2月11日から3月12日まで生駒ふるさとミュージアムで開催された平成28年度冬季特別展「戦国の生駒―北大和、河内、南山城をめぐる攻防と展開―」へ千光寺跡出土の青磁袴腰香炉、田原礼幡キリシタン墓碑等を出品した。

埋蔵文化財発掘調査に関しては、土木工事等に伴う文化財保護法第93条第1項の発掘届出の件数は164件、そのうち慎重工事の取扱いになったものは146件、立会工事の取扱いになったものは6件、発掘調査の取扱いになったものは12件であった。

発掘調査の取扱いになったもののうち確認調査後に本調査を実施したものは、宅地造成工事に伴う清滝古墳群（①・②）2件、北口遺跡（③）1件の3件であった。

①の発掘調査では、平安時代の集落跡と古墳3基を発見した。

②の発掘調査では、古墳2基を発見した。

③の発掘調査では、古墳時代・古代・中世の集落跡を発見した。

報告書作成作業として、『四條畷市文化財調査年報 第4号』を刊行し、本市の発掘調査成果を公開するため各関係機関へ配布した。

## 18 歴史民俗資料館運営事務

歴史民俗資料館は平成18年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者として平成28年度から地域文化財研究所・ケントクグループと5年間の委託契約を締結した。

貴重な遺産である歴史や文化財を愛護し、市民の郷土に対する認識を高めるとともに文化の向上及び発展への意識向上を図るため、常設展示をはじめ夏休み期間中における長期の子ども向けのイベント・特別展・講座・企画展・市内小学校の校外学習などの事業に取り組んだ。展示に際しては、指定管理者が創作したイラストをふんだんに使用し、より分かりやすく四條畷

の歴史を実感していただけるように工夫した。

また、特別展や企画展・講座などでは市外からの来館者もみられ、四條畷市の歴史をアピールすることに寄与した。

## 【1】 常 設 展 示

開館日数：215日

入館者数：5,884人（1日平均入館者数27人）

内 容：考古・歴史資料展示室では市内での発掘調査で出土した旧石器時代から安土桃山時代までの資料を展示し、民俗資料展示室では寄贈された農具などの民俗資料を展示し、四條畷の歴史や民俗を紹介した。

## 【2】 特 別 展

期 間：平成28年10月4日～12月18日（開館日数66日）

入館者数：2,507人（1日平均入館者数38人）

テ ー マ：『四條畷市史』第五卷（考古編）刊行記念 第31回特別展

『ヒスイのきらめき—北河内からみた交流と縄文のまつり—』

内 容：縄文時代の人々は、広範な地域の人々と互いに交流を行い、必要な品物のやり取りを行っていた。北河内にも東日本や北陸、三重や徳島などの地域から土器や石材・ヒスイ・水銀朱などがもたらされていた。

今回は、北河内地域を中心に旧石器時代から縄文時代へかけての遺物を中心に展示することにより、当時の人々が広範囲の人々と交流をもっていたのか。また、まつり道具を展示して当時の人々の思想について考える内容とした。

特に更良岡山遺跡から出土した大珠は、新潟県産のヒスイで作られたもので、今回は近畿地方で出土している全6点を初めて一堂に会して展示した。

関連事業として、10月21日に四條畷市立歴史民俗資料館長の野島稔氏による講座「更良岡山遺跡の縄文人と交流」と地域教育課職員による展示解説（参加者数28人）を、10月28日に生駒ふるさとミュージアム館長の塩山則之氏による講座「讃良川遺跡の縄文人と交流」と地域教育課職員による展示解説（参加者数27人）を実施した。

また、11月11日に地域教育課職員による市内散策「縄文時代の遺跡を訪ねる—南山下遺跡・岡山南遺跡・更良岡山遺跡・讃良川遺跡・砂遺跡・讃良郡条里

遺跡一」(参加者数25人)を実施した。

年間開館日数：281日 入館者総数：8,391人 1日平均入館者数：30人

(1) 企画展

発掘調査成果の速報展示会を開催し、それらに関する説明チラシを作成し配布した。

(2) 校外学習

小学校では3年生で「昔の暮らし」について、6年生で「歴史」を学習している。それらの授業の一環として、6年生は平成28年4月に、市内から出土した考古資料を使って、当時の道具の使い方や土器の製作方法などを体験学習する案内を行なったが、今年度は参加がなかった。また、3年生は平成29年1～2月に、資料館所蔵の民俗資料を実見し、また畷古文化研究保存会の方々による米作りの説明や、実際に民俗資料を使ってみることにより往時の暮らしの一端を体験学習した。

参加校 8校(市内全校・寝屋川市1校)

(3) 読書週間に伴うイベント

期 間：平成28年5月7日

内 容：図書館主催の「こどもどくしょしゅうかんスタンプラリー」の一環として、紙芝居を実施した。(参加者数20人)

## 19 飯盛城跡国指定史跡推進事務

飯盛城跡は、戦国時代末期に近畿と四国の一部を支配した三好長慶が居城とした山城で、現在も約450年前の曲輪跡や堀切跡・石垣などが各所に良好な状態で残存しており全国的にも貴重な歴史遺産であることから、これをより良好な状態で後世に受け継いでいくために保存し、また、その後に整備し活用することにより全国に城の情報を発信して多くの人に訪れていただくため、大東市と連携して国史跡指定を受けることを目的としている。

「四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会条例」に基づき平成27年8月1日に5人の委員を委嘱した。平成28年9月29日に開催された大東市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会に参加し、平成28年度事業の中間報告として航空レーザー測量・飯盛城跡関連資料調査の報告を行い、現地確認調査に関する内容の審議を行った。平成29年2月23日には四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会を飯盛城跡で開催し、大東市教育委員会が実施している千

豊敷曲輪での確認調査と本市教育委員会の石垣確認・測量調査の視察を行い、各委員からご意見をいただきました。また、2月24日には文化庁職員による飯盛城跡の現地視察があった。

## 20 清滝川文化財調査事務

一級河川清滝川改修工事に伴い平成5年度から断続的に実施してきた埋蔵文化財発掘調査の報告書作成事業として平成27年度に実施した遺物整理作業について、引き続き大阪府枚方土木事務所の依頼により報告書の作成作業を実施し、『四條畷市文化財調査報告第53集 淀川水系清滝川溪流保全工事に伴う埋蔵文化財発掘調査 上清滝遺跡・清滝街道 発掘調査報告書』として平成29年3月24日に刊行した。



## 21 市民総合センター・公民館運営事務

平成18年度より指定管理者制度を導入し、平成26年4月1日から四條畷市ラーニングコモンズを指定管理者として3年目を迎えた。

また、新たに非常用発電装置の入替工事及び3階壁面雨漏り修繕を行った。

### 市民ホール利用状況

種 別		件 数 回 数	平 成								
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月				
市 教 育 委 員 会 局 会 主 催 事 業	音楽、発表会、 演奏会、民謡	件 数	0	3	0	1	0				
		回 数	0	8	0	2	0				
	舞踊、演劇、演芸、 映画会	件 数	0	0	0	3	1				
		回 数	0	0	0	6	2				
	講演会、研修会、 総会、大会、式典	件 数	1	1	1	0	0				
		回 数	1	1	1	0	0				
	舞台使用(リハ含む) 展示会、その他	件 数	0	3	0	5	1				
		回 数	0	7	0	14	2				
	計	件 数	1	7	1	9	2				
		回 数	1	16	1	22	4				
	貸 施 設 と し て の 使 用	音楽、発表会、 演奏会、民謡	件 数	3	0	3	0	1			
			回 数	8	0	7	0	3			
舞踊、演劇、演芸、 映画会		件 数	0	0	1	0	2				
		回 数	0	0	2	0	2				
講演会、研修会、 総会、大会、式典		件 数	0	0	0	0	0				
		回 数	0	0	0	0	0				
舞台使用(リハ含む) 展示会、その他		件 数	2	0	3	1	1				
		回 数	3	0	5	2	1				
計		件 数	5	0	7	1	4				
		回 数	11	0	14	2	6				
合 計		件 数	6	7	8	10	6				
		回 数	12	16	15	24	10				
市外居住者の使用		件 数	2	0	0	0	0				
		回 数	5	0	0	0	0				
営利目的の使用		件 数	0	0	1	0	0				
		回 数	0	0	2	0	0				
使用件数 / 開館日数		使用件数	6	7	8	10	6				
		開館日数	29	30	29	30	30				
		率 (%)	20.7	23.3	27.6	33.3	20.0				
使用回数 / 開館回数		使用回数	12	16	15	24	10				
		開館回数	87	90	87	90	90				
		率 (%)	13.8	17.8	17.2	26.7	11.1				
年 曜 日 別	開館日数	使用件数	日 曜 日	51	34	月 曜 日	50	6	火 曜 日	48	9
	開館回数		使用回数	153	80		150	12		144	20
ホ ー ル 使 用 人 員 (人)				1,475	1,360		2,899		1,947	1,300	

(単位：件)

28年				平成29年			合計				
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
3	2	6	1	0	1	1	18				
8	6	14	2	0	2	2	44				
0	0	0	1	0	1	0	6				
0	0	0	2	0	3	0	13				
4	1	2	2	4	0	2	18				
8	2	5	5	9	0	4	36				
3	3	5	1	1	4	0	26				
5	8	10	2	3	10	0	61				
10	6	13	5	5	6	3	68				
21	16	29	11	12	15	6	154				
2	1	4	3	0	4	2	23				
5	3	7	6	0	8	4	51				
1	0	0	2	0	0	1	7				
2	0	0	5	0	0	2	13				
0	1	1	1	0	0	1	4				
0	2	1	1	0	0	2	6				
2	1	0	2	1	3	3	19				
3	1	0	2	2	6	7	32				
5	3	5	8	1	7	7	53				
10	6	8	14	2	14	15	102				
15	9	18	13	6	13	10	121				
31	22	37	25	14	29	21	256				
0	0	0	0	0	0	0	2				
0	0	0	0	0	0	0	5				
0	0	1	1	0	0	5	8				
0	0	2	2	0	0	11	17				
15	9	18	13	6	13	10	121				
29	30	29	27	26	27	30	346				
51.7	30.0	62.1	48.1	23.1	48.1	33.3	35.0				
31	22	37	25	14	29	21	256				
87	90	87	81	78	81	90	1038				
35.6	24.4	42.5	30.9	17.9	35.8	23.3	24.7				
水曜日	48	10	木曜日	50	13	金曜日	48	14	土曜日	51	35
	144	18		150	23		144	30		153	73
3,258	1,187	7,322	5,208	1,753	4,266	2,442	34,417				



## 22 市民体育に関する事務

### (1) 第61回市民体育祭

平成28年5月8日四條畷西中学校及び市民総合体育館を利用して、市民がスポーツを通じて健康増進と体力増強を図り、参加者相互の親睦を深めることを目的として開催した。

参加者：2,000人

### (2) 第41回市民総合体育大会の開催

平成28年5月から平成29年3月まで市民総合体育館等の体育施設を使用して開催した。

[種目] 軟式野球・サッカー・剣道・ソフトボール・バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトテニス・空手道・バスケットボール・ゲートボール・インディアカ・テニス・グラウンドゴルフ・スポーツ吹矢の15種目

参加者：2,269人

### (3) 畷歩こう会の開催

毎月第2日曜日（5月は第4日曜日）に四條畷神社から飯盛山頂までのコースで実施。自然と触れ合いながら健康増進と参加者相互の交流を図った。

平成28年10月10日の体育の日に「歩こう大会」を開催した。また、参加回数に応じて認定書を交付した（180人）。

参加者：300人

### (4) スポーツ推進委員会

市民体育祭をはじめとする市主催のスポーツ事業に、実技指導及び助言を行うとともに、積極的に参加し、スポーツの振興を図った。

また、大阪府スポーツ推進委員協議会、北河内地区スポーツ推進委員連絡協議会が主催する会議、近畿スポーツ推進委員研究協議会に参加・出席した。

### (5) 緑の文化園スポーツ振興事業の実施

市民のスポーツの振興を図るため、緑の文化園スポーツ施設を借用し、球技場・野球場・テニスコートを毎月第2日曜日（1月と5月は第3日曜日）、テニスコートにおいては毎週月・水・金曜日に市民に開放した。

### (6) 四條畷市マラソン大会

四條畷市マラソン大会実行委員会を立ち上げ、本市を代表する緑の文化園及び周辺道路をコースとした「第3回 四條畷市マラソン大会」を平成29年1月22日に開催した。競技種目

は、10km一般男女の部、3km一般男女及び中学生男女の部、2km小学生4・5・6年生男女の部・ファミリーの部を設け、参加者の健康増進、スポーツ振興を目的として老若男女に関わらず楽しんでいただけるよう企画・運営した。

参加者：2,399人

完走者：1,988人

## 23 体育施設管理事務

### (1) 指定管理者による施設管理

平成28年度から市民総合体育館や市民グラウンド等の社会体育施設に指定管理者制度を導入している。本年度からは四條畷クリーン工房SSK共同事業体を指定管理者として行っており1年目を終えた。

管理施設は次のとおりである。

市民総合体育館・市民グラウンド・市民グラウンドテニスコート・市民運動広場清滝・市民運動広場さつき・青少年コミュニティー運動広場、なわて水みらいセンターテニスコート。

なお、夜間運動場1（畷中）・夜間運動場2（西中）の管理運営については、四條畷クリーン工房SSK共同事業体に別途委託した。

### (2) 体育施設設備工事

全館空調設備入れ替えを行うとともに、アリーナに空調設備を6台増設し、照明をLEDに改修した。その影響により、平成28年10月1日から12月31日までの工事期間を利用停止としたため、使用件数が前年度から大幅に減少した。

また、館内にあるトイレの約半分を和式トイレから洋式トイレに改修するとともに、身体障がい者用トイレをすべて洗浄機付き便座トイレに改修した。

電波障害の対策として設置しているアンテナ線について不要となったアンテナ線の撤去工事を実施した。

### (3) 体育施設備品設置

市民からの要望により、市民総合体育館トレーニングルームに長椅子を設置した。

### (4) トレーニングルーム機器設置

トレーニングルームの機器入れ替えを行い、ランニングマシン2台とエアロバイク1台を導入した。また、家庭用クーラーを2台設置してトレーニングルームの環境を整えた。

## (5) 市民総合体育館

## ① メインアリーナ

区 分		平成28年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
開 放 日 数 (日)		29	30	29	30	30	29	
時 間 帯 別	午 前	開 放 件 数	87	90	87	90	90	87
		使 用 件 数	60.0	61.0	50.0	76.0	68.0	71.5
		使 用 率 (%)	69.0	67.8	57.5	84.4	75.6	82.2
	午 後	開 放 件 数	87	90	87	90	90	87
		使 用 件 数	73.5	75.0	64.0	86.5	80.5	78.0
		使 用 率 (%)	84.5	83.3	73.6	96.1	89.4	89.7
	夜 間	開 放 件 数	87	90	87	90	90	87
		使 用 件 数	73.0	76.0	75.5	78.0	71.0	67.0
		使 用 率 (%)	83.9	84.4	86.8	86.7	78.9	77.0
合 計		開 放 件 数	261	270	261	270	270	261
		使 用 件 数	206.5	212	189.5	240.5	219.5	216.5
		使 用 率 (%)	79.1	78.5	72.6	89.1	81.3	83.0
曜 日 別	日 曜 日	開 放 件 数	36	45	36	45	36	36
		使 用 件 数	31.0	37.0	35.5	39.0	36.0	33.0
		使 用 率 (%)	86.1	82.2	98.6	86.7	100.0	91.7
	月 曜 日	開 放 件 数	36	45	36	36	45	36
		使 用 件 数	21.5	28.5	19.0	33.5	28.0	28.5
		使 用 率 (%)	59.7	63.3	52.8	93.1	62.2	79.2
	火 曜 日	開 放 件 数	36	36	36	36	45	36
		使 用 件 数	30.5	33.5	25.0	34.5	39.0	30.5
		使 用 率 (%)	84.7	93.1	69.4	95.8	86.7	84.7
	水 曜 日	開 放 件 数	36	36	45	36	36	36
		使 用 件 数	29.0	27.0	34.0	31.0	26.5	28.0
		使 用 率 (%)	80.6	75.0	75.6	86.1	73.6	77.8
	木 曜 日	開 放 件 数	27	36	36	36	36	45
		使 用 件 数	18.5	25.5	28.0	30.5	31.5	37.5
		使 用 率 (%)	68.5	70.8	77.8	84.7	87.5	83.3
	金 曜 日	開 放 件 数	45	36	36	36	36	36
		使 用 件 数	36.0	28.5	17.5	33.5	27.0	24.5
		使 用 率 (%)	80.0	79.2	48.6	93.1	75.0	68.1
	土 曜 日	開 放 件 数	45	36	36	45	36	36
		使 用 件 数	40.0	32.0	30.5	38.5	31.5	34.5
		使 用 率 (%)	88.9	88.9	84.7	85.6	87.5	95.8

(単位：件)

10月※	11月※	12月※	平成29年 1月	2月	3月	合計	前年度実績	対前年度 比較
0	0	0	26	27	30	260	347	△87
0	0	0	78	81	90	780	1,041	△261
0	0	0	51.5	58.5	77.5	574	796	△222
0.0	0.0	0.0	66.0	72.2	86.1	73.6	76.5	△2.9
0	0	0	78	84	90	783	1,041	△258
0	0	0	66.5	72.0	83.0	679	894.5	△216
0.0	0.0	0.0	85.3	85.7	92.2	86.7	85.9	0.8
0	0	0	78	84	90	783	1,041	△258
0	0	0	60.5	72.5	76.5	650	909.5	△260
0.0	0.0	0.0	77.6	86.3	85.0	83.0	87.4	△4.4
0	0	0	234	252	270	2,349	3,123	△774
0	0	0	178.5	204	237	1,904	2,600	△696
0.0	0.0	0.0	76.3	81.0	87.8	81.1	83.3	△2.2
0	0	0	36	36	36	342	459	△117
0	0	0	29.5	34.5	35.5	311	439.5	△129
0.0	0.0	0.0	81.9	95.8	98.6	90.9	95.8	△4.8
0	0	0	36	36	36	342	423	△81
0	0	0	30.0	27.0	30.5	246.5	305	△59
0.0	0.0	0.0	83.3	75.0	84.7	72.1	72.1	△0
0	0	0	27	27	36	315	450	△135
0	0	0	24.0	25.0	29.0	271	371	△100
0.0	0.0	0.0	88.9	92.6	80.6	86.0	82.4	3.6
0	0	0	27	36	45	333	459	△126
0	0	0	16.5	24.5	41.5	258	364	△106
0.0	0.0	0.0	61.1	68.1	92.2	77.5	79.3	△4.3
0	0	0	36	36	45	333	450	△117
0	0	0	24.0	30.5	38.0	264	374.5	△111
0.0	0.0	0.0	66.7	84.7	84.4	79.3	83.2	△3.9
0	0	0	36	36	36	333	423	△90
0	0	0	25	27	28	246	319.5	△73.5
0.0	0.0	0.0	68.1	73.6	77.8	73.9	75.5	△1.7
0	0	0	36	36	36	342	459	△117
0	0	0	30.0	35.0	34.5	306.5	426	△119.5
0.0	0.0	0.0	83.3	97.2	95.8	89.6	92.8	△3.2

※ 工事期間中につき、利用停止とした。

② 多 目 的 室

区 分		平成28年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
開 放 日 数 (日)		29	30	29	30	30	29	
時 間 帯 別	午 前	開 放 件 数	29	30	29	30	30	29
		使 用 件 数	25	26	26	29	27	27
		使 用 率 (%)	86.2	86.7	89.7	96.7	90.0	93.1
	午 後	開 放 件 数	29	30	29	30	30	29
		使 用 件 数	24	20	22	28	27	23
		使 用 率 (%)	82.8	66.7	75.9	93.3	90.0	79.3
	夜 間	開 放 件 数	29	30	29	30	30	29
		使 用 件 数	25	27	27	24	25	22
		使 用 率 (%)	86.2	90.0	93.1	80.0	83.3	75.9
合 計		開 放 件 数	87	90	87	90	90	87
		使 用 件 数	74	73	75	81	79	72
		使 用 率 (%)	85.1	81.1	86.2	90.0	87.8	82.8
曜 日 別	日 曜 日	開 放 件 数	12	15	12	15	12	12
		使 用 件 数	10	12	12	13	11	9
		使 用 率 (%)	83.3	80.0	100.0	86.7	91.7	75.0
	月 曜 日	開 放 件 数	12	15	12	12	15	12
		使 用 件 数	11	12	11	11	13	11
		使 用 率 (%)	91.7	80.0	91.7	91.7	86.7	91.7
	火 曜 日	開 放 件 数	12	12	12	12	15	12
		使 用 件 数	8	10	9	9	12	9
		使 用 率 (%)	66.7	83.3	75.0	75.0	80.0	75.0
	水 曜 日	開 放 件 数	12	12	15	12	12	12
		使 用 件 数	8	9	10	11	11	8
		使 用 率 (%)	66.7	75.0	66.7	91.7	91.7	66.7
	木 曜 日	開 放 件 数	9	12	12	12	12	15
		使 用 件 数	9	11	12	11	11	12
		使 用 率 (%)	100.0	91.7	100.0	91.7	91.7	80.0
	金 曜 日	開 放 件 数	15	12	12	12	12	12
		使 用 件 数	13	9	9	12	9	11
		使 用 率 (%)	86.7	75.0	75.0	100.0	75.0	91.7
	土 曜 日	開 放 件 数	15	12	12	15	12	12
		使 用 件 数	15	10	12	14	12	12
		使 用 率 (%)	100.0	83.3	100.0	93.3	100.0	100.0

(単位：件)

10 月	11 月	12 月	平成29年 1 月	2 月	3 月	合 計	前年度実績	対前年度 比 較
30	29	27	26	27	30	346	347	△1
30	29	27	26	27	30	346	347	△1
25	26	25	25	25	28	314	299	15
83.3	89.7	92.6	96.2	92.6	93.3	90.8	86.2	4.6
30	29	27	26	27	30	346	347	△1
28	28	26	22	20	27	295	293	2
93.3	96.6	96.3	84.6	74.1	90.0	85.3	84.4	0.9
30	29	27	26	27	30	346	347	△1
24	27	26	23	25	28	303	314	△11
80.0	93.1	96.3	88.5	92.6	93.3	87.6	90.5	△2.9
90	87	81	78	81	90	1,038	1,041	△3
77	81	77	70	70	83	912	906	6
85.6	93.1	95.1	89.7	86.4	92.2	87.9	87.0	0.9
15	12	12	12	12	12	153	153	0
12	10	10	11	10	11	131	136	△5
80.0	83.3	83.3	91.7	83.3	91.7	85.6	88.9	△3.3
12	12	12	12	12	12	150	141	9
9	12	12	11	12	12	137	131	6
75.0	100.0	100.0	91.7	100.0	100.0	91.3	92.9	△1.6
12	15	12	9	9	12	144	150	△6
10	14	12	7	7	11	118	118	0.0
83.3	93.3	100.0	77.8	77.8	91.7	81.9	78.7	3.2
12	12	9	9	12	15	144	153	△9
12	11	9	8	9	12	118	122	△4
100.0	91.7	100.0	88.9	75.0	80.0	81.9	79.7	2.2
12	12	12	12	12	15	147	150	△3
12	12	12	11	11	14	138	141	△3
100.0	100.0	100.0	91.7	91.7	93.3	93.9	94.0	△0.1
12	12	12	12	12	12	147	141	6
12	12	11	10	10	11	129	114	15
100.0	100.0	91.7	83.3	83.3	91.7	87.8	80.9	6.9
15	12	12	12	12	12	153	153	0
10	10	11	12	11	12	141	144	△3
66.7	83.3	91.7	100.0	91.7	100.0	92.2	94.1	△1.9

③ トレーニングジム個人使用

(単位：人)

区 分	市 内			市 外			合 計			構成比 (%)
	男	女	小 計	男	女	小 計	男	女	計	
午 前	5,750	2,088	7,838	430	29	459	6,180	2,117	8,297	32.6%
午 後	6,145	1,908	8,053	466	67	533	6,611	1,975	8,586	33.7%
夜 間	6,624	940	7,564	949	48	997	7,573	988	8,561	33.6%
合 計	18,519	4,936	23,455	1,845	144	1,989	20,364	5,080	25,444	100.0%
構成比(%)	79.0%	21.0%	100.0	92.8%	7.2%	100.0	80.0%	20.0%	100.0	

④ ゲートボール場

年 月	開放日数 (日)	使用日数 (日)	利用人数 (人)	使用率 (%)
平成28年 4 月	19	14	148	73.7
5 月	16	12	128	75.0
6 月	20	17	183	85.0
7 月	12	7	71	58.3
8 月	14	7	80	50.0
9 月	12	11	105	91.7
10 月	0	0	0	0.0
11 月	0	0	0	0.0
12 月	0	0	0	0.0
平成29年 1 月	13	7	74	53.8
2 月	15	10	105	66.7
3 月	10	7	73	70.0
合 計	131	92	967	70.2

⑤ 相 撲 場

年 月	開放日数 (日)	使用日数 (日)	利用人数 (人)	使用率 (%)
平成28年 4 月	29	2	4	6.9
5 月	30	2	6	6.7
6 月	29	5	22	17.2
7 月	30	4	6	13.3
8 月	30	3	6	10.0
9 月	29	4	4	13.8
10 月	30	2	3	6.7
11 月	29	4	7	13.8
12 月	27	3	6	11.1
平成29年 1 月	26	3	5	11.5
2 月	27	3	5	11.1
3 月	30	3	5	10.0
合 計	346	38	79	11.0

(6) 市民グラウンド

① 市民グラウンド

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4 月	150	33	22.0
5 月	186	77	41.4
6 月	171	44	25.7
7 月	186	77	41.4
8 月	186	90	48.4
9 月	180	57	31.7
10 月	186	70	37.6
11 月	180	59	32.8
12 月	162	51	31.5
平成29年 1 月	162	49	30.2
2 月	168	48	28.6
3 月	186	70	37.6
合 計	2,103	725	34.5

② 市民グラウンドテニスコート

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4 月	180	76	42.2
5 月	186	74	39.8
6 月	174	37	21.3
7 月	186	63	33.9
8 月	180	47	26.1
9 月	180	49	27.2
10 月	186	68	36.6
11 月	180	60	33.3
12 月	162	49	30.2
平成29年 1 月	162	44	27.2
2 月	168	46	27.4
3 月	186	68	36.6
合 計	2,130	681	32.0

(7) 市民運動広場清滝

① 清滝テニスコート

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4 月	450	90	20.0
5 月	465	96	20.6
6 月	438	64	14.6
7 月	465	83	17.8
8 月	465	78	16.8
9 月	450	68	15.1
10 月	465	98	21.1
11 月	450	80	17.8
12 月	405	87	21.5
平成29年 1 月	405	61	15.1
2 月	420	66	15.7
3 月	465	99	21.3
合 計	5,343	970	18.2

② ミニサッカー場

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4 月	150	8	5.3
5 月	155	5	3.2
6 月	138	4	2.9
7 月	155	2	1.3
8 月	155	4	2.6
9 月	150	4	2.7
10 月	153	0	0.0
11 月	150	2	1.3
12 月	135	4	3.0
平成29年 1 月	135	4	3.0
2 月	140	0	0.0
3 月	155	2	1.3
合 計	1,771	39.0	2.2



## (8) 市民運動広場さつき

年 月	ゲートボール場			多目的広場		
	開放件数(件)	使用件数(件)	使用率(%)	開放件数(件)	使用件数(件)	使用率(%)
平成28年4月	312	34	10.9	468	3	0.6
5月	324	33	10.2	486	5	1.0
6月	312	35	11.2	468	3	0.6
7月	324	48	14.8	372	4	1.1
8月	264	43	16.3	444	4	0.9
9月	312	26	8.3	468	4	0.9
10月	324	26	8.0	486	4	0.8
11月	312	29	9.3	468	6	1.3
12月	288	23	8.0	432	6	1.4
平成29年1月	276	29	10.5	486	2	0.4
2月	288	28	9.7	432	3	0.7
3月	324	34	10.5	486	7	1.4
合 計	3,660	388	10.6	5,496	51	0.9

## (9) 青少年コミュニティー運動広場

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4月	180	63	35.0
5月	155	52	33.5
6月	138	28	20.3
7月	155	45	29.0
8月	155	3	1.9
9月	150	43	28.7
10月	155	54	34.8
11月	150	48	32.0
12月	135	46	34.1
平成29年 1月	135	17	12.6
2月	140	22	15.7
3月	155	45	29.0
合 計	1,803	466	25.8

## (10) なわて水みらいセンターテニスコート

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4月	416	248	59.6
5月	416	284	68.3
6月	624	90	14.4
7月	648	249	38.4
8月	648	259	40.0
9月	416	236	56.7
10月	432	285	66.0
11月	416	255	61.3
12月	368	235	63.9
平成29年 1月	368	214	58.2
2月	384	228	59.4
3月	432	289	66.9
合 計	5,568	2,872	51.6

## (11) 夜間運動場

## ① 夜間グラウンド睨中

年 月	開放件数 (件)	申請件数 (件)	申請率 (%)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4月	60	10	16.7	9	15.0
5月	58	15	25.9	0	0.0
6月	60	21	35.0	10	16.7
7月	60	18	30.0	12	20.0
8月	62	14	22.6	0	0.0
9月	60	15	25.0	13	21.7
10月	52	11	21.2	11	21.2
11月	58	16	27.6	16	27.6
12月	54	29	53.7	23	42.6
平成29年 1月	54	25	46.3	16	29.6
2月	56	27	48.2	21	37.5
3月	62	38	61.3	35	56.5
合 計	696	239	34.3	166	23.9

## ② 夜間グラウンド西中

年 月	開放件数 (件)	申請件数 (件)	申請率 (%)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4月	60	24	40.0	17	28.3
5月	56	24	42.9	17	30.4
6月	60	31	51.7	19	31.7
7月	62	28	45.2	26	41.9
8月	62	19	30.6	18	29.0
9月	58	30	51.7	24	41.4
10月	54	27	50.0	21	38.9
11月	60	33	55.0	31	51.7
12月	0	0	0	0	0
平成29年 1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合 計	472	216	45.8	173	36.7

## (12) 緑の文化園運動施設

## ① 野球場・球技場

年 月	開放件数 (件)	申請件数 (件)	申 請 率 (%)	使用件数 (件)	使 用 率 (%)
平成28年 4月	4	4	100.0	4	100.0
5月	5	5	100.0	5	100.0
6月	5	5	100.0	5	100.0
7月	5	0	0.0	0	0.0
8月	5	4	80.0	4	80.0
9月	5	5	100.0	5	100.0
10月	5	4	80.0	4	80.0
11月	4	4	100.0	4	100.0
12月	4	3	75.0	3	75.0
平成29年 1月	4	0	0.0	0	0.0
2月	4	0	0.0	0	0.0
3月	4	4	100.0	4	100.0
合 計	54	38	70.4	38	70.4

## ② テニスコート

年 月	開放件数 (件)	申請件数 (件)	申 請 率 (%)	使用件数 (件)	使 用 率 (%)
平成28年 4月	156	41	26.3	37	23.7
5月	159	38	23.9	35	22.0
6月	171	29	17.0	26	15.2
7月	159	26	16.4	26	16.4
8月	183	27	14.8	26	14.2
9月	159	36	22.6	36	22.6
10月	159	28	17.6	23	14.5
11月	156	42	26.9	41	26.3
12月	156	38	24.4	38	24.4
平成29年 1月	144	23	16.0	23	16.0
2月	156	16	10.3	13	8.3
3月	168	57	33.9	56	33.3
合 計	1,926	401	20.8	380	19.7

(13) 田原テニスコート

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4 月	145	40	27.6
5 月	150	43	28.7
6 月	145	13	9.0
7 月	150	32	21.3
8 月	150	24	16.0
9 月	145	21	14.5
10 月	150	29	19.3
11 月	145	15	10.3
12 月	130	21	16.2
平成29年 1 月	130	17	13.1
2 月	135	15	11.1
3 月	150	33	22.0
合 計	1,725	303	17.6

## 24 公園管理事務

都市整備部より、平成28年3月1日から北谷公園及び四條畷市総合公園の事務の補助執行を受け、管理業者と連携し施設の運営を行なった。

### (1) 北谷公園グラウンド使用状況

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4 月	120	39	32.5
5 月	124	40	32.3
6 月	120	37	30.8
7 月	124	44	35.5
8 月	124	26	21.0
9 月	120	24	20.0
10 月	124	41	33.1
11 月	120	27	22.5
12 月	124	20	16.1
平成29年 1 月	112	23	20.5
2 月	112	24	21.4
3 月	124	27	21.8
合 計	1,448	372	25.7

### (2) 総合公園人工芝運動場使用状況

年 月	開放件数 (件)	使用件数 (件)	使用率 (%)
平成28年 4 月	180	103	57.2
5 月	186	102	54.8
6 月	180	88	48.9
7 月	186	131	70.4
8 月	183	137	74.9
9 月	173	93	53.8
10 月	186	106	57.0
11 月	180	95	52.8
12 月	166	82	49.4
平成29年 1 月	163	87	53.4
2 月	166	79	47.6
3 月	186	95	51.1
合 計	2,135	1,198	56.1

## 25 生涯学習ボランティア登録制度事業事務

より多くの市民の豊かな経験、知識、趣味、技術や技能などをボランティアとして登録してもらい、それを必要としている個人や団体、または地域に活かしていくことで、生きがいある「魅力あるまちづくり」に繋げていくことを目的とした、総合的な生涯学習ボランティア登録制度事業の推進を図った。

平成28年度依頼件数 10件（うち受託件数 7件）

	平成 27 年 度			平成 28 年 度		
	新規登録者数	登録取消数	登録総数	新規登録者数	登録取消数	登録総数
個 人 (人)	1	0	5 2	0	0	5 2
団 体 (人)	0	0	1 6	1	0	1 7

# 公 民 館

## 1 公民館運営審議会事務

四條畷市立公民館運営審議会は、社会教育法第29・30条に基づき設置されており、公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき審議を行っている。

本年度は、平成27年度の事業内容の評価を受け、平成29年度公民館事業計画及び予算の審議を行ったほか、「四條畷市立公民館振興計画【後継計画】」の計画期間満了により、「第2次四條畷市立公民館振興計画」を策定するため、公民館運営審議会に計画原案に対する諮問を行い、答申を受けた。

## 2 日本語教室運営事務

「四條畷市識字基本計画」に基づき、非識字者や生活者としての外国人等を対象とした「四條畷市にほんご教室」「四條畷市にほんご教室キッズ教室」を開催し、日本語の「読み」「書き」「ことば」の習得に向けた学習支援を行っている。

また、学習成果を発表する機会の提供として、「公民館フェスティバル」に参加し、「外国人の主張」と題し、4カ国9人の日本語を学ぶ外国人学習者が、自国の紹介や日本の生活・文化に対する驚きなど、さまざまな思いを発表したほか、お花見や盆踊りをはじめ、さまざまな日本文化を体験する機会を提供した。

事業名	対象	場所等	人数(人)	開催時期	回数
四條畷市にほんご教室 四條畷市にほんご教室キッズ教室	在住外国人等	公民館	登録学習者数 82人	毎木・金	週2
お花見体験	にほんご教室 学習者・講師	深北緑地公園	約50人	4月	1
日本文化体験	にほんご教室 学習者・講師	大阪市内	36人	6月	1
浴衣de盆踊り	にほんご教室 学習者・講師	忍ヶ丘まつり	約50人	8月	1
国際交流わくわくパーティー	にほんご教室 学習者・講師	公民館	約80人	12月	1
第17回北河内識字・日本語交流会	北河内7市市民・ 在住外国人等	枚方市立 メセナ枚方会館	275人	2月	1

### 3 公民館主催講座等事務

公民館主催講座等は、市民教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として、市民ニーズに応じた生涯学習、教育文化事業の展開及び活性化を図るため、「四條畷市立公民館振興計画【後継計画】」に基づき様々な講座を展開している。

市民総合センター市民ホールでは、公民館事業として優れた芸術文化の鑑賞機会拡大と文化意識の高揚を図るため、広く一般市民を対象に、古典落語を親しむ機会として7月に「なわて落語会」を、桂 ざこば氏、桂 南光氏、桂 塩鯛氏、桂 米紫氏、桂 弥太郎氏の全5人の出演で開催した。

また、9月には「なわてオータムコンサート」を地域で活動するアマチュア音楽家の育成及び文化活動の推進を図るためのコンサートと位置づけ、特色あるコンサートとして、様々な分野でプロとして活躍しているプロのアーティストと市内で活動する市民サークルとの共演によるコンサートを開催した。第1部では、プロの音楽家の演奏と市民サークルとの共演の披露や来場者参加型のプログラムを行い、第2部ではプロのコーラスグループの歌声やプロの音楽家の演奏を聴き、またプロと市民サークルによるコーラスのコラボレーションが披露され、会場が大いに盛り上がった。

公民館では、夏・春休みを利用した小学生対象の「キッズランド」を開催した。夏休みには、人気のある新体操やヒップホップダンス、体ほぐしの体操、一輪車などに加え、マット運動、リズム縄跳びなどの体力づくりや、紙粘土、ペットボトルで風鈴づくり、トールペイントなどの工夫を凝らした各種工作・手芸等を実施した。また、環境問題について遊びを通して楽しく学ぶ「環境ゲーム」や天理大学学生による「心にピース！ ワンピース★カーニバルinサマー」では、紙芝居、クイズ、工作を通じて「仲間づくり」などのテーマで人権について学んだ。春休みには、地場産野菜を使った料理づくりや茶道御点前体験を行った。このキッズランドは、市立公民館利用サークル連絡会に加入するサークルメンバーや地域で活躍する市民等が講師となり、地域の子どものとの繋がりを深めるとともに、子どもの好奇心や情操心を育む講座を目的としている。

自主学習グループ活動の活性化の支援及び学習グループ同士並びに地域住民との交流を図るため、5月14日及び15日に「第33回公民館フェスティバル」を開催した。このフェスティバルを通じ公民館利用サークルは日頃の成果を互いに確かめ合い、地域住民との連帯を深め、自らの明日への学習意欲の高揚を図った。

また、自主グループ活動の活性化の支援として、自主的な企画運営による講座として市民企画講座や市民活動応援講座「シニアのためのスマホ・タブレット体験講座」などを実施した。

本年度の公民館主催事業（講座・教室等）は、次のとおりである。

【公民館講座等一覧】

事業名	対象	場所等	人数(人)	開催時期	回数
文学講座「源氏物語に学ぶ」	市民	公民館	41人/回	4～12月	8
子ども読書週間記念事業 「絵本とあそぼ！ おはなしコンサート」	乳児～大人	公民館	97人	4月	1
公民館寄席「なわて南光亭」	市民	公民館	① 52人 ② 51人 ③ 48人	5月 10月 1月	3
「なわて学」講座	市民	公民館	45人/回	6月～ 3月	10
市民活動応援講座 「シニアのためのスマホ・ タブレット体験講座」	市民	公民館	20人/回	11月	3
市民企画講座① 「集中力がつくれる！～みんな で楽しく集中力を高めよう～」	市民	公民館	12人	9月	1
市民企画講座② 「イキイキ、 シニア人生を実現しよう！」	市民	公民館	23人	1月	1
市民企画講座③ 「家庭、職場、交友関係が改善 されるコミュニケーション方法」	市民	公民館	19人	3月	1
第33回公民館フェスティバル	市民	市民総合センター	延3,600人 /2日	5月	1
なわて落語会	市民	市民総合センター 市民ホール	335人	7月	1
なわてオータムコンサート	市民	市民総合センター 市民ホール	250人	9月	1
冬休み子ども映画会 「パディントン」	市民	市民総合センター 市民ホール	835人	12月	2
第9回なわて環境フォーラム	市民	市民総合センター	延1,000人	2月	1
第32回四條畷市吹奏楽祭	市民	市民総合センター 市民ホール	延900人	3月	1



事業名	対象	場所等	人数(人)	開催時期	回数
夏休みキッズランド	小学生	公民館	延702人	8月	31
春休みキッズランド	小学生	公民館	延25人	3月	2

#### 4 公民館利用事務

開館日数 346日

年間総利用回数 5,139回

定期利用団体数 86団体

## (1) 月別・室別・時間帯別使用回数状況

(単位：日、件)

室名・時間帯	月	平成28年										平成29年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開館	日数	29	30	29	30	30	29	30	29	27	26	27	30	346	
展示ホール	9:00~12:00	20	19	20	22	18	20	27	25	20	21	20	21	253	
	13:00~17:00	19	18	18	17	20	17	25	25	21	17	22	13	232	
	18:00~21:30	24	26	25	20	17	25	25	23	21	20	23	25	274	
	計	63	63	63	59	55	62	77	73	62	58	65	59	759	
相談室	9:00~12:00	6	7	4	6	2	6	11	10	3	3	8	2	68	
	13:00~17:00	6	8	3	6	3	5	11	13	5	5	11	1	77	
	18:00~21:30	1	5	2	2	2	2	4	7	2	1	6	0	34	
	計	13	20	9	14	7	13	26	30	10	9	25	3	179	
料理室	9:00~12:00	6	10	4	9	9	5	8	14	9	8	10	9	101	
	13:00~17:00	4	6	3	8	7	4	6	13	11	6	8	7	83	
	18:00~21:30	1	4	2	2	2	1	3	6	2	2	5	2	32	
	計	11	20	9	19	18	10	17	33	22	16	23	18	216	
音楽室	9:00~12:00	17	15	16	19	13	18	21	21	17	18	18	21	214	
	13:00~17:00	15	17	14	14	13	11	16	18	12	13	13	16	172	
	18:00~21:30	15	17	13	15	14	13	18	19	17	15	17	14	187	
	計	47	49	43	48	40	42	55	58	46	46	48	51	573	
和室	9:00~12:00	18	13	13	13	6	11	14	18	7	12	15	12	152	
	13:00~17:00	12	15	14	14	8	12	16	15	8	14	16	12	156	
	18:00~21:30	11	14	11	12	10	11	12	15	9	10	10	9	134	
	計	41	42	38	39	24	34	42	48	24	36	41	33	442	
会議室1	9:00~12:00	13	16	12	13	5	11	17	18	13	17	14	12	161	
	13:00~17:00	11	12	12	12	7	12	18	18	10	10	12	12	146	
	18:00~21:30	10	8	6	7	4	7	10	9	5	11	14	9	100	
	計	34	36	30	32	16	30	45	45	28	38	40	33	407	
会議室2	9:00~12:00	16	18	16	19	12	16	23	20	17	14	18	16	205	
	13:00~17:00	11	14	12	14	11	12	18	20	13	13	14	11	163	
	18:00~21:30	11	12	7	8	7	8	14	11	7	9	10	8	112	
	計	38	44	35	41	30	36	55	51	37	36	42	35	480	
会議室3	9:00~12:00	7	10	8	10	5	9	12	17	5	10	13	9	115	
	13:00~17:00	13	15	11	12	8	12	16	15	7	10	15	12	146	
	18:00~21:30	3	9	6	6	3	4	7	11	5	6	7	4	71	
	計	23	34	25	28	16	25	35	43	17	26	35	25	332	
会議室4	9:00~12:00	14	14	16	13	15	15	19	19	13	13	20	16	187	
	13:00~17:00	15	9	12	12	13	9	18	17	10	7	14	16	152	
	18:00~21:30	11	13	10	9	10	13	16	17	8	7	12	10	136	
	計	40	36	38	34	38	37	53	53	31	27	46	42	475	
視聴覚室	9:00~12:00	20	18	19	21	14	20	23	20	15	21	23	22	236	
	13:00~17:00	12	18	14	22	11	14	19	21	15	15	16	21	198	
	18:00~21:30	14	14	15	20	13	16	15	15	10	13	14	15	174	
	計	46	50	48	63	38	50	57	56	40	49	53	58	608	
実習室	9:00~12:00	14	16	15	17	7	14	19	19	15	16	15	16	183	
	13:00~17:00	17	16	17	20	4	16	22	23	17	16	17	18	203	
	18:00~21:30	0	3	0	1	0	0	2	7	0	1	2	0	16	
	計	31	35	32	38	11	30	43	49	32	33	34	34	402	
ギャラリー	9:00~12:00	8	14	10	14	12	12	9	12	6	9	9	3	118	
	13:00~17:00	10	12	13	17	15	12	10	10	8	5	8	10	130	
	18:00~21:30	0	4	0	1	0	0	2	6	0	1	2	2	18	
	計	18	30	23	32	27	24	21	28	14	15	19	15	266	
H28年度合計	9:00~12:00	159	170	153	176	118	157	203	213	140	162	183	159	1,993	
	13:00~17:00	145	160	143	168	120	136	195	208	137	131	166	149	1,858	
	18:00~21:30	101	129	97	103	82	100	128	146	86	96	122	98	1,288	
	計	405	459	393	447	320	393	526	567	363	389	471	406	5,139	
H27年度合計	9:00~12:00	155	162	153	185	140	163	185	215	138	146	171	177	1,990	
	13:00~17:00	158	185	154	182	157	174	199	220	125	130	173	164	2,021	
	18:00~21:30	97	121	91	110	91	103	132	134	86	86	120	115	1,286	
	計	410	468	398	477	388	440	516	569	349	362	464	456	5,297	
対前年度比較	9:00~12:00	4	8	0	△9	△22	△6	18	△2	2	16	12	△18	3	
	13:00~17:00	△13	△25	△11	△14	△37	△38	△4	△12	12	1	△7	△15	△163	
	18:00~21:30	4	8	6	△7	△9	△3	△4	12	0	10	2	△17	2	
	計	△5	△9	△5	△30	△68	△47	10	△2	14	27	7	△50	△158	

## (2) 曜日別・室別・時間帯別使用回数状況

(単位：日、件)

室名・時間帯		曜日							合計
		日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
開館	日数	51	50	48	48	50	48	51	346
展示ホール	9:00~12:00	31	22	38	32	44	45	41	253
	13:00~17:00	46	35	23	40	25	18	45	232
	18:00~21:30	28	45	21	46	50	46	38	274
	計	105	102	82	118	119	109	124	759
相談室	9:00~12:00	21	2	5	6	4	15	15	68
	13:00~17:00	21	5	16	6	7	6	16	77
	18:00~21:30	12	0	4	2	0	6	10	34
	計	54	7	25	14	11	27	41	179
料理室	9:00~12:00	20	2	22	4	6	21	26	101
	13:00~17:00	19	2	13	2	6	14	27	83
	18:00~21:30	6	0	0	2	1	16	7	32
	計	45	4	35	8	13	51	60	216
音楽室	9:00~12:00	29	25	39	44	28	20	29	214
	13:00~17:00	42	16	43	7	6	23	35	172
	18:00~21:30	33	22	23	10	45	4	50	187
	計	104	63	105	61	79	47	114	573
和室	9:00~12:00	30	23	19	13	19	10	38	152
	13:00~17:00	17	39	5	15	16	29	35	156
	18:00~21:30	7	1	41	32	42	3	8	134
	計	54	63	65	60	77	42	81	442
会議室1	9:00~12:00	18	41	1	12	32	33	24	161
	13:00~17:00	18	9	43	10	26	13	27	146
	18:00~21:30	15	10	9	12	6	11	37	100
	計	51	60	53	34	64	57	88	407
会議室2	9:00~12:00	15	26	23	32	31	45	33	205
	13:00~17:00	15	14	43	12	39	17	23	163
	18:00~21:30	8	2	5	6	1	46	44	112
	計	38	42	71	50	71	108	100	480
会議室3	9:00~12:00	16	26	7	2	19	35	10	115
	13:00~17:00	18	8	27	13	18	38	24	146
	18:00~21:30	7	7	10	5	27	4	11	71
	計	41	41	44	20	64	77	45	332
会議室4	9:00~12:00	31	13	33	39	32	19	20	187
	13:00~17:00	21	11	24	21	28	24	23	152
	18:00~21:30	19	13	8	13	41	13	29	136
	計	71	37	65	73	101	56	72	475
視聴覚室	9:00~12:00	24	26	36	40	47	45	18	236
	13:00~17:00	25	19	31	40	18	30	35	198
	18:00~21:30	15	9	2	44	45	45	14	174
	計	64	54	69	124	110	120	67	608
実習室	9:00~12:00	12	16	34	11	23	41	46	183
	13:00~17:00	34	16	34	11	20	42	46	203
	18:00~21:30	6	0	0	0	2	2	6	16
	計	52	32	68	22	45	85	98	402
ギャラリー	9:00~12:00	19	12	14	8	23	14	28	118
	13:00~17:00	20	15	15	21	15	22	22	130
	18:00~21:30	6	0	0	0	2	4	6	18
	計	45	27	29	29	40	40	56	266
H28年度合計	9:00~12:00	266	234	271	243	308	343	328	1,993
	13:00~17:00	296	189	317	198	224	276	358	1,858
	18:00~21:30	162	109	123	172	262	200	260	1,288
	計	724	532	711	613	794	819	946	5,139
H27年度合計	9:00~12:00	252	252	250	240	294	389	313	1,990
	13:00~17:00	285	197	371	231	251	313	373	2,021
	18:00~21:30	163	72	182	187	186	206	290	1,286
	計	700	521	803	658	731	908	976	5,297
対前年度比較	9:00~12:00	14	△18	21	3	14	△46	15	3
	13:00~17:00	11	△8	△54	△33	△27	△37	△15	△163
	18:00~21:30	△1	37	△59	△15	76	△6	△30	2
	計	24	11	△92	△45	63	△89	△30	△158

## 図 書 館

### 1 利用者サービス事務

市民の教養、調査研究、リクリエーション等に資するため、資料の貸出や情報の提供を行い、また、読書活動の振興を担う施設として様々な事業を展開した。

(1) 平成28年度の登録者数（田原図書館を含む）は次のとおりである。

- ・平成28年度末現在 37,624人（うち有効登録者（当該年度に図書館を利用した登録者をいう。）9,384人）
- ・有効登録者のうち、四條畷市民は8,504人であり、市民の15.2%が図書館を利用した。

(2) 貸出冊数 350,123冊（四條畷図書館 254,175冊（一日平均853冊）、田原図書館 95,948冊（一日平均323冊））

(3) 月別貸出利用状況

＜四條畷図書館＞

年 月	開館日数	利用人数	貸出冊数		
			うち児童	うち児童書	
平成28年 4月	25日	5,008人	571人	20,530冊	5,997冊
5月	25	4,870	609	20,292	6,179
6月	25	5,043	645	20,903	6,679
7月	27	5,815	975	24,505	9,559
8月	29	5,755	1,137	23,782	10,015
9月	22	4,669	592	19,595	6,138
10月	26	5,168	583	21,316	6,684
11月	25	4,802	573	19,620	6,271
12月	23	4,622	603	19,942	6,531
平成29年 1月	22	4,605	562	19,528	6,459
2月	23	4,907	659	20,812	7,103
3月	26	5,486	731	23,350	8,112
計	298	60,750	8,240	254,175	85,727

(4) 予約処理状況

図書館では、図書館に利用者の求める資料がない場合、あるいは貸出中等ですぐに利用できない場合、後日提供できるよう予約制度を実施している。平成28年度の予約処理状況は次のとおりである。

(単位：件)

	カウンター及び 電話等での受付	インターネット による受付※	合 計
個人	10,201	7,219	17,420
団体	262	16	278
計	10,463	7,235	17,698

※インターネットで受け付けた資料は、四條畷図書館と田原図書館で貸し出した。

(5) 相互貸借の状況

図書館では、予約のあった資料のうち購入できない資料等については、他の図書館と相互貸借を行っている。平成28年度の四條畷図書館の処理状況は次のとおりである。

(単位：冊)

四 條 畷 図 書 館	他館から借受けた冊数	他館に貸出した冊数
相互貸借冊数	1,261	884

(6) 団体貸出（田原図書館含む）

小学校や保育所のクラスやボランティア団体等に図書館資料をまとめて貸し出した。貸出の実績は次のとおりである。

団 体	利 用 団 体 数	貸 出 冊 数
小 中 学 校	46 <small>団体</small>	5,170 <small>冊</small>
保 育 所 、 幼 稚 園 等	22	2,530
ボ ラ ン テ ィ ア 団 体	4	395
一 般 団 体	13	1,175
合 計	85	9,270

(7) 集会、行事等の事業の実施

① 集会、行事

市民の図書館利用を促進し読書の楽しさを味わってもらうように、ボランティア団体の協力を得ながら、子どもを対象としたおはなし会や人形劇等の行事を定期的実施した。

また、乳幼児サービスの一つとして、乳幼児と保護者を対象とした「絵本であそぼ」と「絵本のひろば」「絵本とあそぼ！おはなしコンサート」を開催した。

集会・行事名	回数	内容	人数
絵本であそぼ	2回	0・1歳児と保護者を対象とした絵本の読み聞かせ、楽器の演奏、手遊び、わらべうた等。 定員10組	48人
絵本のひろば	2	2歳～就学前の幼児と保護者を対象とした絵本の読み聞かせ、リズム遊び、簡単な工作等。 定員15組	34
絵本とあそぼ！ おはなし コンサート	1	赤ちゃんから大人までを対象にピアノの演奏にあわせた絵本の読み聞かせなどを実施。 講師：アサクル（来栖史江氏・前橋美里氏） 教育委員会主催（公民館と協力） 定員30組	97
人形劇	6	四條畷図書館で4回、市民活動センターで2回、人形劇を上演	248
おはなし会	計 36	絵本の読み聞かせ、おはなし、紙芝居等	計 363
	12	おはなしとんとん	147
	12	てくてくおはなしかい	89
	12	おはなし会	127
夏休みの工作	1	夏休み小学生の工作 「動くガイコツの絵」をつくろう！ 定員40人	28
カルタ会	1	「かるたを楽しみましょう！」	23

② 出前おはなし会

おはなしボランティア団体と職員が協力して、幼稚園と保育所等に定期的に出かけ、読み聞かせやおはなしを行った。絵本やおはなしの楽しさを知り、本に親しみをもってもらうことで、読書への誘いとなるよう努めた。

### ③ 展 示

毎月テーマを決めて、一般開架室と児童室で展示を行い、春・秋の読書週間、夏休みの特別展には展示リストを作成して様々な本を紹介した。

- ・春のこどもの読書週間には、こども読書週間スタンプラリーの事業の一つとして、「みんなでよもう この えほん」というテーマで、0歳から2歳、3歳から5歳、小学生向けの絵本リストを作成して、館内に展示し、リストは保育所、幼稚園、小学校等に配布した。
- ・夏休み前にはテーマを決めて「おさないひと向き」「小学校1、2、3年生向き」「小学校4、5、6年生向き」「中学生向き」の展示リストを作成し、幼稚園や小中学校等に配布して、図書館利用の促進を図った。

### ④ こども読書週間スタンプラリー

国民読書年（平成22年）に因んで開始した事業で、平成28年度で7回目になる。教育部の関係各課や施設が、ボランティア団体や子育て総合支援センター等と協力して、4月23日「子ども読書の日」から始まるこども読書週間期間中に催しを行った。期間中に延べ707人の子どもたちが参加した。

- ・期 間 平成28年4月16日～5月14日
- ・対 象 主として子ども
- ・イ ベ ント 数 17
- ・参加・協力団体 12団体

### ⑤ ビブリオバトルの開催

読書のきっかけづくりの一つとして、お気に入りの1冊を紹介しあう知的書評合戦「ビブリオバトル」を、四條畷図書館では3回開催した。

開催年月日	テーマ	会 場	参 加 人 数
平成28年5月29日	青	四 條 畷 図 書 館	21人（うち発表者6人）
平成28年8月27日	輪	四 條 畷 図 書 館	14人（うち発表者5人）
平成29年2月11日	なし	四 條 畷 図 書 館	21人（うち発表者5人）

※定員30人

(8) 民間事業者との連携事業

① ビブリオバトル in なわてイオンモール四條畷・未来屋書店決戦

協 力 未来屋書店イオンモール四條畷店、イオンモール四條畷

日 時 平成28年10月8日

場 所 未来屋書店イオンモール四條畷店

テーマ なし

定 員 20人、発表者4人

内 容 河島英五氏の著書「ほろ酔いで夢みれば」の贈呈式と、田原中学校生徒3人に同校OGの河島亜奈陸氏参戦によるビブリオバトル。

参加者 24人

② おはなしかいとえほんのひろば

親子で、子ども同士で、大人同士で楽しめる絵本や写真集をずらり並べ、わいわいがやがや、本を読みながら自由に過ごせる「えほんのひろば」を開催した。

主 催 大阪府教育庁、四條畷市教育委員会

協 力 未来屋書店イオンモール四條畷店、イオンモール四條畷、四條畷おはなしの会

日 時 平成28年11月5日・6日 午後1時～5時

場 所 イオンモール四條畷。1階水のコートでは「えほんのひろば」、3階未来屋書店では「おはなしかい」を開催

(9) 図書館見学、職場体験の受入れ（田原図書館含む）

図書館の利用促進と子どもの読書活動の推進を図るため、市内小学校の施設見学や中学校の職場体験を受け入れた。小学校の施設見学は4回、中学校の職場体験は2校行った。また、支援学校の体験実習を2回行った。

(10) 北河内7市図書館相互利用（田原図書館含む）

① 登録者数のうち実際に利用した人数（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：人）

自治体名	守口市	枚方市	寝屋川市	大東市	門真市	交野市	その他	合計
登録者数	8	29	309	135	33	158	4	676

※自治体名欄の「その他」：八幡市民や大阪市民等で、当該市以外の北河内6市内に在学または在職している人



② 貸出冊数（平成28年4月1日～平成29年3月31日の貸出冊数）

（単位：冊）

自治体名	守口市	枚方市	寝屋川市	大東市	門真市	交野市	その他	合計
貸出冊数	304	796	12,926	4,168	1,495	8,122	180	27,991

2 図書館資料関係事務

市民の利用に供するため、図書館資料を収集し、整理し、保存している。新鮮で魅力ある図書を備え蔵書の充実を図るため、新刊図書を中心に継続的に購入した。

また、市民から寄贈された図書のうち1,298冊を整理し利用に供した。

(1) 蔵書冊数

（単位：冊）

	一般書	児童書	合計
蔵書冊数	104,013	36,825	140,838
うち開架冊数	54,800	23,751	78,551

(2) 年間受入図書冊数

（単位：冊）

	一般書	児童書	合計
年間受入冊数	5,055	1,866	6,921
うち備品購入冊数	3,854	1,631	5,485

(3) 年間除籍図書冊数

（単位：冊）

一般書	児童書	合計
3,897	1,671	5,568

(4) その他、雑誌、新聞等を購入して市民の利用に供した。

(5) 図書のリサイクル

除籍図書や、リサイクル図書として活用する了解が得られた寄贈図書の再活用を図るため、市民や施設等に譲与した。リサイクルされた総冊数は、田原のリサイクル図書コーナー2,504冊等とあわせて12,519冊であった。

① リサイクル図書コーナー

四條畷図書館のリサイクル図書コーナーに3,904冊配架し、2,663冊譲与した。

② 北出リサイクル図書室で、9回、図書のリサイクルフェアを実施した。

開室年月日	配架冊数	譲与冊数	譲与人数
平成28年4月10日	2,475 <sup>冊</sup>	270 <sup>冊</sup>	41 <sup>人</sup>
5月1日	2,550	458	45
6月5日	3,038	562	47
10月2日	3,084	472	56
11月6日	3,179	591	47
12月4日	2,843	643	57
平成29年1月8日	2,626	449	30
2月5日	2,232	428	44
3月5日	3,288	1,023	53
計	延べ 25,315	4,896	延べ 420

③ 学校等へのリサイクル

日 時 平成28年6月15日 午前10時～12時30分、午後2時～7時まで

平成28年6月16日 午前10時～12時30分、午後2時～5時30分まで

場 所 四條畷図書館集会室

対 象 市立小中学校、保育所、ふれあい教室、保健センター、子育て総合支援センター、市民総合センター等19団体

用意した冊数 2,738冊

譲与した冊数 2,297冊

残った児童書は、北出リサイクルフェアや図書館のリサイクルコーナーに配架した。

④ その他の施設等へリサイクル159冊

⑤ リサイクルされた総冊数は12,519冊である。

### 3 図書館協議会関係事務

四條畷市立図書館協議会は、図書館法第14条に基づき設置しており、図書館長の諮問に応じ、図書館の行う奉仕について審議を図っている。

平成28年度は、図書館協議会を2回開催した。

#### (1) 第1回 平成28年11月24日

主な議題

- ・平成27年度主な図書館事業の実施状況について
- ・学校図書館活性化の取組み状況について

#### (2) 第2回 平成29年3月30日

主な議題

- ・平成29年度主な図書館事業の計画（案）について
- ・平成29年度図書館予算（案）について

### 4 障がい者サービス関係事務

通常の読書が困難な市民が図書館サービスを十分に享受できるよう、大活字図書やデイジー図書などの資料を収集して、利用に供した。

#### (1) 資料の収集

- ・大活字図書を29冊購入して、蔵書冊数は629冊になり、423回利用された。
- ・大型絵本を3冊購入して、読み聞かせするボランティア団体等に貸し出した。
- ・点字や手話についての資料を6冊購入して、市民の利用に供した。

#### (2) デイジー図書や点字版のデイジー図書利用案内をボランティア団体に依頼して作成した。

#### (3) デイジー図書の利用の促進を図るため、デイジー図書とその再生機の貸出等の案内を市広報誌に掲載し、啓発を行った。

※デイジー図書とは、マルチメディアを使った表現（音声、テキスト、イメージ画像）を記録した図書のことである。

## 5 ブックスタート関係事務

絵本を通して赤ちゃんと楽しい時間を持ってもらうため、「地域が子育てを応援していますよ」というメッセージを伝えながら、健診時に絵本を贈呈している。毎月第1木曜日に保健センターで実施される4か月児健診時に、職員が出向き、保護者にブックスタート事業の趣旨を説明し、読み聞かせや絵本についての相談に応じながら、絵本を贈呈した。計12回実施し、404人に贈呈した。同時に、図書館の利用案内や催しのお知らせ、絵本のリストを配布し、希望者にはその場で図書館カードを発行した。

## 6 図書館管理運営事務

市民の知的学習権を保障し、公平で快適な図書館利用ができるよう、適切な図書館の管理運営に努めた。

### (1) 図書館の広報

図書館で新たに収集した資料を毎月「図書館だより」（「新刊案内」）に掲載し、市民への情報提供に努めた。また、「ムクムク」（子ども向けの図書館だより）を発行して関係施設に配布し、図書館行事のお知らせや子どもの本の紹介を行い、図書館利用の促進を図った。

(2) インターネット用パソコンの利用状況                      年間利用者数                      744人

(3) 複写サービス    年間複写枚数                      2,147枚

## 7 田原図書館管理運営事務

本市の東部地区の拠点施設として、図書館資料を収集し、資料や情報を提供した。また、読書活動の振興を図る施設として、様々な事業を展開している。

### (1) 田原図書館の管理

① 図書館で新たに収集した資料を毎月「図書館だより」（「新刊案内」）に掲載し、市民への情報提供に努めた。また、毎月「ぶんかんだより」を発行し、図書館行事のお知らせやおすすめの図書を紹介し、田原地区の小中学校に配布して図書館利用の促進と読書の普及を図った。

② インターネット用パソコンの利用状況                      年間利用者数                      68人

③ 複写サービス    年間複写枚数                      411枚

(2) 貸出冊数 95,948冊 (一日平均323冊)

① 月別貸出利用状況

<田原図書館>

年 月	開館日数	利用人数	貸出冊数			
			うち児童	うち視聴覚	うち児童書	
平成28年4月	25 <sup>日</sup>	1,886 <sup>人</sup>	266 <sup>人</sup>	7,850 <sup>冊</sup>	384 <sup>冊</sup>	2,477 <sup>冊</sup>
5月	25	1,905	298	7,870	365	2,647
6月	25	1,946	313	7,863	395	2,762
7月	27	2,353	506	9,915	434	4,037
8月	29	2,373	560	9,478	427	4,214
9月	25	2,052	338	8,201	385	2,872
10月	22	1,722	247	6,981	369	2,263
11月	25	1,840	273	7,410	352	2,492
12月	23	1,863	291	7,792	408	2,724
平成29年1月	22	1,810	298	7,448	344	2,626
2月	23	1,886	268	7,487	376	2,317
3月	26	1,907	304	7,653	368	2,559
計	297	23,543	3,962	95,948	4,607	33,990

② 予約処理状況

(単位：件)

	個人	団体	合計
処理件数	4,184	62	4,246

※田原図書館のカウンター及び電話等で受付けたものの実績である。

③ 相互貸借の状況

(単位：冊)

田原図書館	他館から借受けた冊数	他館に貸出した冊数
相互貸借冊数	481	26

④ 田原図書館におけるAVブースの利用状況（年間視聴者数）

（単位：人）

ビ デ オ	C D	レーザーディスク	D V D	合 計
270	23	934	1	1,228

(3) 集会、行事等の事業の実施

① 集会、行事

市民の図書館利用を促進するため、児童を対象におはなし会や人形劇等の行事を定期的  
に実施した。また、乳幼児サービスの一つとして幼児と保護者を対象とした「絵本であそ  
ぼ」と「絵本のひろば」を開催した。

集会・行事名	回 数	内 容	人 数
絵本であそぼ	1 <sup>回</sup>	0歳児、1歳児と保護者を対象とした絵本の 読み聞かせ、手遊び、楽器の演奏、わらべう た等 定員10組	23 (9組)
絵本のひろば	1	2歳～就学前の幼児と保護者を対象とした絵 本の読み聞かせ、手遊び、簡単な工作等 定員15組	27 (12組)
人形劇	2	なるなるホールで開催	34 56
おはなし会	計 45	絵本の読み聞かせやおはなし等	計 261
	23	絵本の時間	143
	22	おはなしたまてばこ	118
工 作	2	1回 プラバンをつくろう！	22
		2回 キラキラ★水中リングゲームをつくろう！	36
小学生 1日図書館員	1	午前の部・午後の部各3人。 小学生が図書館の仕事を体験	6
アニメ上映会	2	1回 「忍たま乱太郎」他	25
		2回 「ちびまる子ちゃん」他	20
バルーンアート	1	バルーンアートをたのしもう！	90

② 展 示

田原図書館では読書週間、夏休みの特別展を含め、一般開架室と児童室では毎月展示を行い、市民の利用の促進を図った。

- ・春のこどもの読書週間には、こども読書週間スタンプラリーの事業の一つとして、「みんなでようこのえほん」というテーマで、0歳から2歳、3歳から5歳、小学生向けの絵本リストを作成して、館内に展示し、リストは保育所、小学校等に配布した。
- ・夏休み前にはテーマを決めて「おさないひと向き」「小学校1、2、3年生向き」「小学校4、5、6年生向き」「中学生向き」の展示リストを作成し、小中学校等に配布して、図書館利用の促進を図った。

③ ビブリオバトルの開催

読書のきっかけづくりの一つとして、お気に入りの1冊を紹介しあう知的書評合戦「ビブリオバトル」を、平成28年11月13日にグリーンホール田原で開催した。

テーマは「実」で、発表者6人、観戦者7人（定員30人）

(4) 田原図書館においては、図書以外にCDを購入し、図書館サービスの充実に努めた。

① 蔵書冊数

(単位：冊)

	一 般 書	児 童 書	合 計
蔵 書 冊 数	9 1 , 3 4 7	1 9 , 4 0 5	1 1 0 , 7 5 2
う ち 開 架 冊 数	3 0 , 6 7 8	1 2 , 3 2 4	4 3 , 0 0 2

② 年間受入図書冊数

(単位：冊)

	一 般 書	児 童 書	合 計
年 間 受 入 冊 数	1 , 9 3 4	5 8 8	2 , 5 2 2
う ち 備 品 購 入 冊 数	1 , 5 2 0	4 7 6	1 , 9 9 6

③ 年間除籍図書冊数

(単位：冊)

一 般 書	児 童 書	視 聴 覚	合 計
2,524	243	0	2,767

④ 視聴覚資料の所蔵タイトル数

	ビ デ オ	C D	レーザーディスク	D V D	カ セ ッ ト
所 蔵 数	827 <sup>本</sup>	2,623 <sup>枚</sup>	476 <sup>枚</sup>	173 <sup>枚</sup>	185 <sup>本</sup>
うち受入数	0	61	0	16	0
うち購入数	0	60	0	0	0

⑤ その他、雑誌、新聞等を購入して市民の利用に供した。

(5) リサイクル図書コーナー

図書の再活用を図るため、市民や施設等に除籍図書やリサイクル図書として活用する了解が得られた寄贈図書を譲与した。

リサイクル図書コーナーに2,694冊配架し、2,504冊譲与した。

## 8 学校図書館支援事務

田原小学校の図書室の支援をモデルケースとして、平成27年度から開始した学校図書館活性化の支援を、平成28年度は四條畷南小学校と四條畷東小学校の2校を加え、計3校に学校図書館支援員を配置して支援を行った。四條畷南小学校と四條畷東小学校の2校については、蔵書を整理しながらデータベース化の作業を行い、2学期からコンピュータによる貸出を開始した。

学校図書館支援員は、貸出・返却処理などのカウンター事務に加え、図書の時間のサポート、業間・昼休みの本探しの援助、読み聞かせなどを行い、その他の時間は、書架整理、本の修理、蔵書のデータベース化、書架見出しの作成、館内飾り付けなどの館内整備を行い、図書室の利用の促進を図るため、テーマ展示や図書室だよりの作成、七夕の短冊飾り、読書マラソン、スタンプラリーなどのイベントも学校と協力して行った。

また、教諭や子どもたちから問い合わせがあった本や、テーマ展示に必要な本を市立図書館から本を取り寄せるサービスも行った。





# 基金の運用状況



## 13 基金の運用状況

### 生活福祉資金貸付基金

年月	貸 付		償 還		貸付残高	基金残高
	件数	金額	件数	金額		
平成28年 3月末日	— 件	— 円	— 件	— 円	17,519,300 <sup>円</sup>	7,480,700 <sup>円</sup>
4月末日	3	230,000	23	115,500	17,633,800	7,366,200
5月末日	2	60,000	15	195,500	17,498,300	7,501,700
6月末日	1	30,000	25	159,000	17,369,300	7,630,700
7月末日	1	30,000	14	84,500	17,314,800	7,685,200
8月末日	2	130,000	18	115,000	17,329,800	7,670,200
9月末日	5	120,000	12	50,000	17,399,800	7,600,200
10月末日	4	110,000	21	111,000	17,398,800	7,601,200
11月末日	1	30,000	9	89,000	17,339,800	7,660,200
12月末日	0	0	21	133,500	17,206,300	7,793,700
平成29年 1月末日	1	30,000	18	251,000	16,985,300	8,014,700
2月末日	1	30,000	41	408,500	16,606,800	8,393,200
3月末日	2	130,000	28	148,500	16,588,300	8,411,700
合 計	23	930,000	245	1,861,000	—	—

平成27年度末 貸付残高 17,519,300円

平成28年度 貸付額 930,000円

償還額 1,861,000円

平成28年度末 貸付残高 16,588,300円



---

---

## 主要な施策の実績報告（平成28年度）

編集 四條畷市総務部財政課

発行 四 條 畷 市

〒575-8501 四條畷市中野本町1番1号

T E L (072) 877-2121 (代表)

F A X (072) 877-2074

印刷 川西軽印刷株式会社

---

---